令和6年2月10日発行(毎月1回10日発行) 1月10日発売 第47巻第2号 昭和53年12月21日第3種郵便物認可
アニメージュ
応募者全員サービス
ダンジョン飯 アクリルスタンド
2
2024 FEB.
原画／日野優希
特集 巻頭
薬屋のひとりごと
猫猫役 悠木 碧
壬氏役 大塚剛央
監督・シリーズ構成 長沼範裕
キャラクターデザイン 中谷友紀子
美術監督 髙尾克己
Special Pin-up
マッシュル-MASHLE-
BLOODY ESCAPE
-地獄の逃走劇-
王様戦隊キングオージャー
あけましてベスト100
2024年は辰年
天まで昇れ!
ダンジョン飯
治癒魔法の間違った使い方
異世界でもふもふなでなでするためにがんばってます。
戦国妖狐
スナックバス江
最強の流儀
悪役令嬢レベル99
~私は裏ボスですが魔王ではありません~
即死チートが最強すぎて、異世界のやつらがまるで相手にならないんですが。
異修羅
呪術廻戦 渋谷事変
シャングリラ・フロンティア
アンデッドアンラック
ビックリメン
ひろがるスカイ!プリキュア
ぶっちぎり?!
休日のわるものさん
青の祓魔師 島根啓明結社篇
メタリックルージュ
ワンダーハッチ -空飛ぶ竜の島-
ループ7回目の悪役令嬢は、元敵国で自由気ままな花嫁生活を満喫する
STATION IDOL LATCH!
ゴールデンカムイ
久保茂昭
カラオケ行こ!
綾野 剛×齋藤 潤
山下敦弘×二宮直彦×大崎紀昌
Winter MOVIES
機動戦士ガンダムSEED FREEDOM
SPY×FAMILY CODE: White
仮面ライダー THE WINTER MOVIE ガッチャード&ギーツ
付録
B2両面ポスター
薬屋のひとりごと
ダンジョン飯

Animage
アニメージュ

電子書籍版

はじめにご確認ください

- 紙の雑誌とはコンテンツが一部異なります。
- プレゼントや懸賞など紙の雑誌を購入いただかないと
ご利用になれないコンテンツが含まれている場合があります。
- 付録が含まれない場合があります。
- 一部ページのサイズが紙の雑誌と異なる場合があります。

以上をご理解いただき、お楽しみください。

株式会社徳間書店
アニメージュ編集部

BLOODY ESCAPE
-地獄の逃走劇-
©2024 BLOODY ESCAPE 製作委員会
Illustrated by Yusuke Kozaki

マッシュル-MASHLE-
Illustrated by AQUASTAR Inc.

王様戦隊キングオージャー
©テレビ朝日・東映AG・東映

＼特別企画／
あなたが選ぶ今月のベスト10キャラスペシャル
あけまして
BEST100
新春企画「ベスト100」！
今年も様々なキャラへの投票をいただきました！
ランク外も含め同票になったキャラも多く、大接戦に！
あなたの推しは入ったかな？　今年も「キャラクターベスト10」への投票をよろしくお願いします！
おことわり◆95位以下は同順位のキャラクター多数のため割愛します。
1位 アーニャ・フォージャー 193票 SPY × FAMILY
2位 夢原のぞみ 150票 キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～
3位 猫猫 119票 薬屋のひとりごと
4位 キュアプリズム（虹ヶ丘ましろ） 88票 ひろがるスカイ！プリキュア
5位 フリーレン 86票 葬送のフリーレン
6位 五条 悟 84票 呪術廻戦 渋谷事変
7位 キュアスカイ（ソラ・ハレワタール） 82票 ひろがるスカイ！プリキュア
8位 ヨル・フォージャー 78票 SPY × FAMILY
9位 夏木りん 77票 キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～
10位 江戸川コナン 73票 名探偵コナン
11位 キュアマジェスティ（プリンセス・エル） 68票 ひろがるスカイ！プリキュア
12位 フェルン 61票 葬送のフリーレン
13位 釘崎野薔薇 57票 呪術廻戦 渋谷事変
14位 夏油 傑 56票 呪術廻戦 渋谷事変
15位 ニャンコ先生・斑 54票 夏目友人帳
16位 出雲風子 45票 アンデッドアンラック
16位 春日野うらら 45票 キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～
18位 ロイド・フォージャー 40票 SPY × FAMILY
19位 灰原 哀 39票 名探偵コナン
19位 ミーア・ルーナ・ティアムーン 39票
19位 鬼太郎 39票 鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎
22位 スレッタ・マーキュリー 37票 機動戦士ガンダム 水星の魔女
23位 アンディ 35票 アンデッドアンラック
24位 水無月かれん 32票 キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～
25位 坂田銀時 31票 銀魂
26位 胡蝶しのぶ 29票 鬼滅の刃
26位 駒田琉生 29票 駒田蒸留所へようこそ
28位 埋れ木一郎 28票 悪魔くん
29位 鴨乃橋ロン 27票 鴨乃橋ロンの禁断推理
30位 佐野万次郎 26票 東京リベンジャーズ
31位 キュアバタフライ（聖あげは） 25票 ひろがるスカイ！プリキュア
32位 冨岡義勇 24票 鬼滅の刃
33位 壬氏 23票 薬屋のひとりごと
33位 ヒンメル 23票 葬送のフリーレン
33位 美々野くるみ 23票 キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～
36位 ボンド・フォージャー 22票 SPY × FAMILY
37位 伏黒 恵 21票 呪術廻戦 渋谷事変
38位 空条承太郎 20票 ジョジョの奇妙な冒険 ストーンオーシャン
39位 ダミアン・デズモンド 19票 SPY × FAMILY
40位 サンジ 18票 ONE PIECE
41位 緋村剣心 17票 るろうに剣心 －明治剣客浪漫譚－
41位 美翔 舞 17票 キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～
43位 冴羽 獠 16票 劇場版シティーハンター 天使の涙（エンジェルダスト）

86位 我妻善逸 4票 鬼滅の刃	72位 杉元佐一 5票 ゴールデンカムイ	72位 宇藤啓弥 5票 お嬢と番犬くん	65位 フェニックス 6票 ピックリメン	55位 ロロノア・ゾロ 9票 ONE PIECE	50位 マキマ 10票 チェンソーマン	44位 ベッキー・ブラックベ SPY × FAMILY
86位 安室 透 4票 名探偵コナン	72位 トニートニー・チョッパー 5票 ONE PIECE	72位 甘露寺蜜璃 5票 鬼滅の刃	65位 星宮いちご 6票 アイカツ！ 10th STORY ～未来へのSTARWAY～	61位 アリババ 8票 ビックリメン	50位 三重あい 10票 好きな子がめがねを忘れた	45位 神宮寺寂雷 ヒプノシスマイク -Division Rap
86位 ウタ 4票 ONE PIECE FILM RED	72位 日向 咲 5票 キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～	72位 キュアウィング（夕凪ツバサ） 5票 ひろがるスカイ！プリキュア	65位 槇村 香 6票 劇場版シティーハンター 天使の涙（エンジェルダスト）	61位 空条徐倫 8票 ジョジョの奇妙な冒険 ストーンオーシャン	50位 柚木 岳 10票 柚木さんちの四兄弟。	46位 諭吉 デキる猫は今日も憂鬱
86位 竈門禰豆子 4票 鬼滅の刃	72位 伏黒甚爾 5票 呪術廻戦 懐玉・玉折	72位 キュアサマー（夏海まなつ） 5票 トロピカル～ジュ！プリキュア	65位 桃山みらい 6票 キラッとプリ☆チャン	63位 セーラームーン（月野うさぎ） 7票 劇場版「美少女戦士セーラームーンCosmos」	55位 アクア 9票 【推しの子】	47位 キュアフィナ（菓彩あまね） デリシャスパーティ♡プリ
86位 キタサンブラック 4票 ウマ娘 プリティーダービー Season 3	72位 柚木 隼 5票 柚木さんちの四兄弟。	72位 キュアラメール（ローラ） 5票 トロピカル～ジュ！プリキュア	65位 ヤマト 6票 ビックリメン	63位 ナミ 7票 ONE PIECE	55位 飴村乱数 9票 ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-	48位 キャプテンピカチュウ ポケットモンスター
86位 シュタルク 4票 葬送のフリーレン	86位 碧棺左馬刻 4票 ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-	72位 グエル・ジェターク 5票 機動戦士ガンダム 水星の魔女	72位 有馬かな 5票 【推しの子】	65位 木之本桜 6票 カードキャプターさくら	55位 ちいかわ 9票 ちいかわ	48位 太宰 治 文豪ストレイドッグス
86位 七海建人 4票 呪術廻戦 渋谷事変	86位 赤井秀一 4票 名探偵コナン	72位 白崎優清 5票 新しい上司はど天然	72位 石神千空 5票 Dr.STONE NEW WORLD	65位 キュアミルキー（羽衣ララ） 6票 スター☆トゥインクルプリキュア	55位 フランキー・フランクリン 9票 SPY × FAMILY	50位 石田雨竜 BLEACH 千年血戦篇
					55位 松野千冬 9票 東京リベンジャーズ	51位 中原中也 文豪ストレイドッグス

Animage
アニメージュ

ダンジョン飯
アクリルスタンド

ダンジョンの最深部を目指す、冒険者のライオスと魔術師マルシル。二人の勇姿を刻んだアクリルスタンドをお部屋に飾ってください！

1700円
送料・消費税・事務手数料込み

応募締切日 当日消印有効
2024年**2月29日(木)**
商品は2024年5月下旬発送予定

※発送予定は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※締切日を過ぎますと、処理の都合上応募を受け付けることができません。その場合、お客様には事務手数料を差し引いた上、ご返金させていただきます。
※お客様都合によるご注文後のキャンセルは一切お受けしておりません。
※監修中のため、デザイン・仕様は変更になる可能性があります。

本体：約135mm×約105mm
台座：約102mm×約32mm
アニメージュ2024年2月号イラスト

応募方法

1. 138ページの左に付いている専用の「払込取扱票」(コピー不可)を切り取って、黒色のボールペンかサインペンで必要事項(住所、氏名、電話番号など)をていねいに記入してください。右側にある「振替払込請求書兼受領証」の※印がある「ご依頼人」の欄にも氏名を忘れずに記入してください。
2. 必要事項を全て記入した「払込取扱票」と代金を用意し、郵便局の窓口またはATMで手続きしてください。この際、払込手数料が別途かかりますのでご了承ください。
3. 受け付けが終わると、「振替払込請求書兼受領証」(用紙の右側)が渡されます。この用紙は、送金されたことの証明になります。商品がお手元に届くまで大切に保管してください。

- この商品は、郵便振替またはトクマショップでお申し込みされた方全員がお求めになれます。
- 郵便振替はお近くの郵便局で。窓口またはATMのお取り扱い時間をご確認の上、必ず締切日までに手続きしてください。
- 完全受注生産のため、お申し込み多数の場合、発送予定日より遅れることがあります。また、発送予定日より3ヵ月を過ぎても商品が届かない場合は、必ず問い合わせ先にご連絡ください。

注意 応募する前に必ず読んでね！

- 郵便振替は本誌綴じ込みの「払込取扱票」用紙で応募してください。用紙は折ったり点線部分を切り離したりしないでください。
- 「払込取扱票」の住所・氏名は記入欄からはみ出ないように、ハッキリとした字で記入してください。記入ミス、記入もれ、省略、略字、崩し字などは商品未着の原因になりますので、ご注意ください。
- ご注文商品番号の記入ミスや金額の過不足などご注文時の過誤防止および事務処理の都合上、「払込取扱票」1枚につき1種のご注文とさせていただきます。
- ご記入いただいた個人情報は、商品発送の目的以外での利用はいたしません。
- 締切日を過ぎますと、処理の都合上応募を受け付けることができません。その場合、お客様には事務手数料を差し引いた上、ご返金させていただきます。ご了承ください。
- 金額が不足していた場合や、必要以上の金額をお支払いいただいた場合、応募が無効となることがありますのでご注意ください。
- 為替・未使用切手・現金などによる応募は受け付けられません。
- 日本国内の発送に限らせていただきます。
- 発送予定までの間に転居される場合は、必ずアニメージュ編集部あてにハガキで、旧住所・新住所・新電話番号・申し込んだ商品名・数量・払い込み日を記入し、送ってください。
- 商品は業務を委託した業者よりお届けいたします。
- 受け取り拒否、または長期不在などの場合はキャンセル扱いとさせていただきます(発送後6ヵ月以内)。
- キャンセル扱いとなったお客様には、事務手数料を差し引いた上、代金を返金させていただきます。
- 商品・特典のデザインは変更になる場合があります。
- 万一、商品に破損など不良品がございましたら、アニメージュ編集部までお問い合わせください。
- 発送中のパッケージおよびケースの破損については、お取り替えできない場合があります。

アニメージュやコミックリュウのオリジナル商品の通販サイト「トクマショップ」
➡https://www.tokuma-shop.com/
アニメージュ公式HPからもアクセスできます
➡https://animageplus.jp/
※携帯電話からはうまくアクセスできない場合

トクマショップ問い合わせフォームはこちら
https://www.tokuma-shop.com/hpgen/HPB/entries/1.html

問い合わせ先 株式会社徳間書店 アニメージュ編集部 〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア 03-5403-4341 電話受付時間：朝11時～夜6時(土日祝休)

Animage
アニメージュ

※一部の記事が掲載されていない場合があります。ご了承くださいますようお願いいたします。

アニメージュ Animage 2024 2 vol. 548

CONTENTS

X（Twitter） @animage tokuma
HP https //animageplus jp/

表紙デザイン
間中幸子（クウ）

デザイン
クウ
山川夏実
坂野弘美
谷口圭詩
山崎サチ子
フリーウェイ
柳川ユリ
東京カラーフォト・プロセス

表 紙 薬屋のひとりごと
原 画 日野優希
仕上げ 棚辺絵里加
特 効 小川 猛

付録
B2サイズ両面ポスター
『薬屋のひとりごと』／『ダンジョン飯』

▶今月の「ANIMATION WORLD」「この人に話を聞きたい」「設定資料 FILE」「キャラクターベスト10」はお休みです。

PRESENT

応募方法

✦プレゼントをご希望の人は、本誌とじこみアンケートはがきオモテの応募欄に欲しい賞品番号を一つ記入して2024年2月7日（当日消印有効）までにお送りください。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。応募者多数の場合は抽選いたします。アンケートはがきに記入された個人情報は、今後の企画の参考と賞品の発送に利用いたします。

✦プレゼントの賞品について、第三者への譲渡または譲渡申請（オークション出品等）を行うことを固く禁止いたします。万が一違反された場合には、当選を取り消し、プレゼントの返還や価格賠償等を請求することがございますので、ご了承ください。

1（2名）『異世界でもふもふなでなでするためにがんばってます。』加隈亜衣（ネフェルティマ・オスフェ役）・梅田修一朗（ラルフ役）・武虎（ラース役）・大河元気（ヴィル役）直筆サイン色紙

『ぶっちぎり?!』直筆サイン色紙

2（2名）大河元気（灯 荒仁役）・星野佑典（浅観音真宝役）

3（2名）佐々木望（摩利人役）・竹内良太（王太役）

4（2名）『ループ7回目の悪役令嬢は、元敵国で自由気ままな花嫁生活を満喫する』長谷川育美（リーシェ・イルムガルド・ヴェルツナー役）・島﨑信長（アルノルト・ハイン役）直筆サイン色紙

5（1名）『王様戦隊キングオージャー』矢野聖人（ラクレス・ハスティー役）直筆サイン入りポラ

6（1名）『仮面ライダー THE WINTER MOVIE ガッチャード&ギーツ 最強ケミー★ガッチャ大作戦』本島純政（一ノ瀬宝太郎役）・簡 秀吉（浮世英寿役）直筆サイン入りポラ

映画『カラオケ行こ！』直筆サイン入りポラ

7（1名）綾野 剛（成田狂児役）・齋藤 潤（岡 聡実役）

8（2名）齋藤 潤（岡 聡実役）

9（2名）『HIGH CARD the STAGE - CRACK A HAND』赤澤遼太郎（フィン・オールドマン役）・丘山晴己（クリス・レッドグレイヴ役）直筆サイン入りチェキ

10（1名）あんさんぶるスターズ！！アルバムシリーズ『TRIP』ALKALOID ［通常盤］［提供：フロンティアワークス］

11（1名）『HELIOS Rising Heroes』主題歌 Vol.3「アカツキ」［豪華盤］［提供：フロンティアワークス］

12（1名）「アイドル伝説えり子」BD-BOX ［提供：フロンティアワークス］

13（3名）ONE PIECEカードゲーム エクストラブースター メモリアルコレクション［EB-01］［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは3パック

14（1名）UNION ARENA スタートデッキ ソードアート・オンライン［UA15ST］［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは1セット

15（3名）UNION ARENA ブースターパック ソードアート・オンライン［UA15BT］［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは3パック

16（3名）バトルスピリッツ 契約編:界 第4章 界導 ブースターパック［BS67］［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは3パック

17（3名）ハイキュー!! キラコレカード4［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは3パック

18（1名）UNION ARENA オフィシャルカードスリーブ ソードアート・オンライン［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは1セット

19（2名）『呪術廻戦』エナージェル エス［提供：ヒサゴ］

虎杖悠仁 / 伏黒 恵 / 釘崎野薔薇 / 五条 悟

※ぺんてるのゲルインキ黒ボールペン4本セット

20（2名）『ハイキュー!!』サラサナノ［提供：ヒサゴ］

日向翔陽（オレンジ） / 影山飛雄（ブルー） / 黒尾鉄朗（黒） / 孤爪研磨（赤）

※ゼブラの色ペン4本セット

21（2名）『ブルーロック』ジェットストリーム 4&1 多機能ペン［提供：ヒサゴ］

凪 誠士郎 / 糸師 凛

※ジェットストリームのボールペン4色＋シャープペンシルの多機能ペン2本セット

22（2名）『ブルーロック』デルガード［提供：ヒサゴ］

凪 誠士郎 / 糸師 凛

※ゼブラの芯が折れないシャープペンシル2本セット

アニメージュ

Animage

Illustrated by Yuki Hino
Painted by Erika Tanabe
Special effect by Takeshi Ogawa
一人の娘を
所望した

誰もが見惚れるほどの美貌と
絶大な権力を併せ持った、
麗しの貴人・壬氏。
莫大な金子と、世にも珍しい虫から生えた
奇妙な草を携えて
緑青館を訪れた彼が望んだのは、
最高級の妓女……ではなく、
一人の薬屋の少女だった――。
薬屋のひとりごと
◆毎週土曜日◆深夜0時55分◆日本テレビ系
HP◆https://kusuriyanohitorigoto.jp
©日向夏・イマジカインフォス／「薬屋のひとりごと」製作委員会

その姿が美しい

皇帝や上級妃とも言葉を交わすことのできる高貴な身分にある壬氏にとって、猫猫は本来関わることのない存在だ。しかし、今やそんな彼女が目が離せぬ存在に？

猫猫
マオマオ

声／悠木碧

一度は後宮を解雇されたが、壬氏の計らいで宮廷へ戻ることに。その際に、緑青館の三姫に磨き上げられた姿で戻ったため、宮廷で話題を呼んだ

壬氏
ジンシ

声／大塚剛央

後宮で強い権力を持ち、皇帝とも直接言葉を交わせる立場にいる。有能ではあるが、まだ若い彼がなぜそれほどの地位にいるのか……？

きっかけは毒おしろい事件

皇帝の御子が連続して命を落とすという事件が起きた折、いち早くおしろいが原因であることを見抜き、的確な助言で玉葉妃の息女を救った猫猫。彼女は正体を隠して助言をしたつもりだったが、玉葉妃の依頼で調査を始めた壬氏は猫猫がやったと看破。これを機に二人は関わりを持つようになる。

壬氏にとって猫猫は、最初は単なる"面白い玩具"だった。後宮で起きる謎を独特の視点で紐解いていくところ。薬の知識の長けているところ。毒に対しても異常なほどに執着するところ。そして、壬氏の美貌になびかないばかりか、毛虫でも見るかのような視線を送ってくるところ――。ほかの人にはないものをたくさん持つ彼女に壬氏は興味を惹かれるようになり、次第に"玩具"としてではなく"一人の人間"として見るようになっていった。

柘榴宮の侍女頭・風明が起こした里樹妃の暗殺未遂事件。それに端を発する後宮子女の大量解雇の折には、壬氏は猫猫を解雇するかどうかで大変に葛藤した。猫猫を"玩具"としか思っていなければ、これほど頭を悩ませることはなかったに違いない。さらに、宴席で彼女と予期せぬ再会を果たした折には、思わず指で間接キス!?　現在の壬氏にとって猫猫はそれほどまでに特別な存在ということだろうか。

莫大な金と冬虫夏草で、猫猫を宮廷へ連れ戻した壬氏。今度は彼女を後宮ではなく、自分の下に置くことにした。新たな環境で、猫猫はどんな突飛な行動を起こすのか？　第2クールも壬氏と一緒に注目しよう！

猫猫の意外な一面

水晶宮の侍女は、禁止されたはずの毒おしろいを病に伏せる梨花妃に使っていた。それを知って激昂した猫猫は、侍女を引きずり倒し、普段は見せないような強い怒りの感情をぶつける。その一部始終を見た壬氏は、「女とは本当に恐ろしいな」とぼつりとこぼしていた。

媚薬作りの依頼

玉葉妃のもとで侍女として働くことになった猫猫に、壬氏が初めて依頼したのは媚薬作りだった。猫猫はその依頼に対し、可可阿(カカオ)や乳酪(バター)などを使って、巧克力(チョコレート)を調合。壬氏は甘いお礼の言葉を彼女の耳元でささやくのだった……。

園遊会で知った そばかすの理由

園遊会で着飾った猫猫と出会った壬氏は、普段の彼女のそばかす顔が、身を護るために醜女に扮した化粧だったと知る。さらに、人さらいによって後宮に来たという経緯も聞いた壬氏は、管理の不行き届きを猫猫に詫び、そして彼女に簪(かんざし)を贈ったのだった。

内緒の里帰りに大ショック!?

「園遊会で簪をもらった女官は後宮から出ることができる」と聞いた猫猫は、自分に簪をくれた武官・李白の協力をあおぎ、花街へと里帰りすることに。だが、それを知った壬氏は、猫猫が自分の身と引き換えに李白に身元引受人になってもらったと勘違い。自分は彼に負けたのだと、大きなショックを受ける!?

李白
リハク

声／赤羽根健治

まっすぐな性格をした若き武官。猫猫の伝手で緑青館を訪れた際には、そのたくましい肉体を「三姫」の一人・白鈴に気に入られた

高順
ガオシュン

声／小西克幸

真面目で優秀、かつ気配りがうまい、壬氏のお目付け役。壬氏とは付き合いが長く、その素の表情を知る、数少ない人物の一人

里樹妃
リーシュヒ

声／木野日菜

四夫人の最年少である「徳妃」。侍女たちから軽んじられているが、人懐っこいところもあり、特に阿多妃を母のように慕っていた

阿多妃
アードゥオヒ

声／甲斐田裕子

皇帝の乳姉弟。四夫人の一人「淑妃」だったが、子を宿せぬ身体ゆえに後宮を離れることになった。壬氏と顔立ちが似ているようだが……?

突き付けられた 身分の違い

後宮の外堀に浮かんでいた女官の遺体が自殺か他殺かを考えていた猫猫は、壬氏に「もし私を処刑する場合、毒殺にしていただけませんか?」と伝える。高貴な身分にいる壬氏は、平民である自分に一存で処分を下せる立場にあるのだ、と。壬氏は普段であれば部屋を後にする猫猫を呼び止めるだろうが、そのときばかりはかける言葉を見つけられなかった……。

宮廷に連れ帰ったものの……

宴席で猫猫と再会し、彼女に後宮へ戻る意志があることを知った壬氏。莫大な金子と冬虫夏草を用いて猫猫を宮廷へ連れ帰ると、新たな仕事として外廷の官女の職に就かせるため、彼女に官女試験を受けさせた。だが、結果はまさかの落第! 猫猫は壬氏の部屋付き下女となったのだった。

すれ違いで猫猫を解雇

風明が処刑されたことで、彼女の実家と関わりのあった女官が後宮を大量解雇されることになる。そして、その中には猫猫の名前も……。壬氏は、猫猫を引き留めたいと思っており、猫猫自身も辞めたくないと思っていたが、言葉足らずな二人のやりとりは不幸なすれ違いを生み、猫猫は後宮を解雇されることに。

んだかよく分からないけど、不安だな」と感じたら、「一体何の話をしているんだろう」と耳を澄ませるような感覚になったりすると思うんですね。それがアニメーションの醍醐味だと、自分は思っています。

妓楼の心中事件に隠された"赤"の意味

――第1クールの主な舞台となった後宮と花街。両方とも美しい女性が集う場所だと思いますが、それを描く上でどのような違いを意識しましたか?

長沼　後宮は四夫人が一番強く、彼女たちが目立ってナンボなので、4人を軸にして中級妃や下級妃、侍女の人たちの色を決めています。なので『大勢のみんなが同じ』というようなんですね。みんな同じ方向を見て、足並みをそろえている感じと言いますか。一方で、花街は「一人一人の個性が出るような色の使い方をしています。花街の妓女たちはそれぞれの自分の魅力を出して客を取らないといけないので、その個性を強調する必要がありますから。

――建物はどちらも赤系統の色が基調になっていますが、"後宮の赤"と"花街の赤"の違いは?

長沼　やはり環境の違いがあると思います。それをどう表現するかを考えると、組み合わせなんです。後宮の赤は、四夫人とかぶらないようにしています。玉葉妃は濃いピンク、梨花妃は青、里樹妃は白、阿多妃は黒に近い紫、というように。花街にも赤が出てきますが、明るさや暗さ、品のあるなしも含めて、後宮の赤とは色を変えていて、かつ、ほかの色もたくさん使ってワチャワチャとした印象にしています。その中で個性の強い人たちが目立つような見せ方にしているので、赤の使い方も全然違ってきますね。

――先ほどお話にあった危険色としての夕景の赤なども含めると、一口に赤と言ってもシーンやシチュエーションごとに様々な意味を持たせていると。

長沼　そうです。さらにまた違った赤の使い方をしたのが、第8話です。心中騒動を起こした妓女には赤い着物を着せていました。基本的には死を連想させるものですが、それにプラスしてもう少し[illegible]的な要素も入れているんです。つまり「この事件は一人の妓女の意志でやったことなのか? それとも娼館ぐるみの陰謀か? あるいは花街に渦巻いている人々の怨念のようなものが取り憑いてやらせたことなのか?」と。

――猫猫は真相を究明することなく手を引きましたが、花街という鳥かごの世界には、過去にも数多の事件があったはずで、その何か……と考えると、このエピソードの見え方が変わってきそうですね。

長沼　騒動後に、妓女は窓辺でぼんやりと鼻歌を歌っていましたが、もはや相手の男が死んでいようが生きていようが、どうでもいいのだろうと自分は思うんですね。その花街の特有の空気感を赤い着物で表現し、さらに毒を盛っているシーンでは赤をより強調して。先ほどお話しした第6話のラスト、第9話までのつながりに関わるようにもしています。同じく第8話でいうと、首がないように見えるシーンも「冷静に考える理性が働けば」という意味なのですが、同時に「それは本当なのか?」という問いかけもしていまして。でも結局、正解は誰にも分からないんですよね。この見せ方は、第2クールに出てくる、とある恋人たちの話にもつながってきます。第24話まで観ていただくと、きっと感じるものがあると思います。

普段は計算高い壬氏も、猫猫に対してはポンコツなんです

アニメとマンガ、原作の循環を作りたい

――本作は会話劇が多く、情報量も多いです。観た人に流し見をさせずに視線を惹きつけるために、画作りで工夫していることはありますか?

長沼　そこに関しては、画作りもありますが、それ以上に音響監督のはたしょう二さんやキャストの皆さんの力が大きいと思います。猫猫役の悠木碧さんをはじめとする皆さんのお芝居は、モノローグ、オンゼリフ、オフゼリフ、そして会話のセリフの使い分けがとてもすばらしい。猫猫の長ゼリフ一つをとっても「ここは独り言」「今は壬氏相手に話している」「これは視聴者に対する説明」が分かりやすいんですよ。その上で特にしっかりと聴かせたいシーンは音楽を引き算しつつ、色使いや動きの面でも余計な情報を入れないように組み立てています。画面やキャラクターが無駄に動いていると、視聴者にとってノイズになってしまう場合があるので、そういう時は潔く動きは止める、というように。

――キャストの皆さんが作った芝居に合わせて画を変えることも?

長沼　もちろんありますよ。自分の場合、構成やシナリオ、絵コンテの段階で、大まかに声の芝居のイメージも作っておくんです。その後、カッティングの中でほぼ固まり、アフレコをしてキャストが声を入れると「確定」という流れで[illegible]はじめこちらから提示した芝居に合わせた芝居をしてもらう[illegible]り幅として「どのへんに持っていこうかな」という時には[illegible]お芝居やイントネーションに寄せて仕上げるという感じですね。なので、アフレコでのディレクションも、根本的に変えてもらうというより、「もう少しこういう方向性で」というような軌道修正のディレクションが多いですかね。音響監督のはたさんは長く一緒にやっている方ですし、キャストの皆さんも全部を指摘しなくても「ここを変えたら、じゃあここも変える必要があるな」と自発的に変えてくれる方ばかりです。非常にありがたいなと思っています。

――第4話の猫猫が水晶宮の侍女を恫喝するシーンは、まるで地の底から怒るような表現でしたね。思いっきり大声を出して強く怒るというアプローチではなく[illegible]

長沼　そうですね。[illegible]に対して怒る時に、[illegible]でしょ!」と感情に任せてガッと強く言うのと、目を見て言い聞かせるように低いトーンで「こら。ダメでしょ」と言うの、どちらがより心に響くかを考えた時に、自分は後者だろうなと思うんです。そして、自分がディレクションする以前に、テス[illegible]悠木さんが最初か

人間の生活に根差した場所

前号に引き続き、本作の背景美術について解説！ その季節感や生活感に着目すると、猫猫たちが暮らす世界がより身近に感じられるかも？

美術監督 高尾克己

たかお・かつみ
1968年生まれ。様々な実写・アニメ作品でコンセプトアート、3Dモデリングなどの仕事も手掛ける。代表作は『劇場版ポケットモンスター』シリーズ(美術監督)ほか。2024年から新会社の株式会社AREDを設立

アニメーションの画面の約7～8割を占めると言われる背景美術。本作においては、特に「とある大国の後宮」という作品の舞台と世界観を説明する役割も担ってきたといえる。

たとえば、猫猫の身体の数倍はありそうなほど太い柱は、後宮という場所のスケールの大きさと、それだけ皇帝が強い権力を振るっていることを物語る。また、翡翠宮、水晶宮、金剛宮、柘榴宮の色彩やデザインの違いは、そこに住む四夫人の個性が表れている。細かい装飾の入った高級そうな家具や、意匠を凝らした格子戸を見れば、彼女たちの地位の高さが伝わってくるだろう。我々が暮らす場所とは別の世界ではあるが、そういった部分から猫猫たちの生活ぶりをよりリアルに読み取ることができるのだ。

第13話で、猫猫は壬氏の部屋付きになった。そのため、きっと今後は後宮や花街のほかにも、外廷などの新たな建物やロケーションが登場する機会も増えるはず。そこでは一体どんな人々が暮らしていて、その建物はどのように使われているのか？ そんなことも想像しながら物語を追いかけるのも、本作の楽しみ方の一つだろう。そうすることで、細やかに紡がれる人間模様がより深く見えてくるに違いない！

美術ボード

猫猫の住む家 周辺

「花街の表通りから路地に入り、道を抜けたところにあるのが猫猫の家。物乞いや夜鷹もいるような、地元の人でないと危なそうな場所です。長沼監督は『花街とは雰囲気を差別化したい』と言っていたのですが、まさに“花街の表と裏”という感じを表現できたかと。それと、猫猫の家の周りには畑が広がっていますが、そこに茂る薬草は、猫猫にとっては宝の山。大事に育てている畑ということを意識しました」

美術ボード

園遊会の庭園

「庭園は、季節を一番感じられる場所。花が咲き乱れる春、紅葉が葉を散らす秋など、四季の彩りをきれいに見せるようにしています。美術の仕事は複数人のスタッフで手分けをするため、誰が描いても同じような仕上がりにできることも重要です。その工夫の一つとして、園遊会のシーン用に、描くと紅葉の葉っぱが出る“紅葉ブラシ”(フォトショップ)を開発しました。これまでに作ったものも含めて、私のフォトショには1000種類くらいのブラシがあるのですが、『薬屋のひとりごと』でさらに新たなアイテムが増えました(笑)」

美術ボード

雪の中のシャクナゲ

「以前、東京で雪が降った時に、いつか何かの資料になるかもしれないと、雪が積もった植物の写真をたくさん撮ったんです。この雪の中に咲くシャクナゲの美術の打ち合わせでは、その写真がとても役に立ちました。長沼監督と写真を見ながら雪の積もり具合について細かく相談して。ここでも専用の“雪ブラシ”を作り、薄く積もり始めた様子を丁寧に描きました。美術の仕事は身の回りに資料があるのだと、あらためて感じましたね」

美術ボード

壬氏の執務室

「ここはシックで締まった印象にしています。オシャレではありますが装飾は少なく、まさにザ・職場という雰囲気ですね。やっぱり壬氏も落ち着いて仕事がしたいと思いますから。ただ、そういった堅苦しい場所にいる時の壬氏が最も素の表情になるというのが面白いですよね。高順の前で子どもっぽい顔を見せる第7話の壬氏、かわいかったです(笑)」

美術ボード・翡翠宮（玉葉妃）

美術ボード・水晶宮（梨花妃）

四夫人の住まい

「当初は『建物の色は全部統一しよう』と長沼監督と話していたんです。でも、絵を見ていくうちに、だんだんと『やっぱり色を変えたい』ということになり（笑）。最終的には家具やカーテンの色、さらに戸の格子のデザインも、すべてそれぞれの妃に合わせたデザインにしました。毛足の長い高級そうな絨毯は、監督から『ものすごくリアルに描いてほしい』と指示されたので、写真と見紛うくらい写実的に描きました」

美術ボード・金剛宮（里樹妃）

美術ボード・柘榴宮（阿多妃）

それぞれの色み

「翡翠宮は濃いピンク系をベースにして華やかさを演出し、水晶宮は水色～紫色を使ってクールな印象に。金剛宮は薄いピンクでかわいらしく。そして、柘榴宮は黒っぽい紫や茶色で彩度を抑え、大人っぽくシックにまとめました。スタッフ内では柘榴宮のデザインが人気で、長沼監督も『現代にあってもオシャレですよね』と言っていましたね。僕自身も、ここに住みたいなと思いながら作業していました（笑）。ちなみに柘榴宮は、外観もよく見ると柱の色がほかの宮よりも濃いんです。薄く紫色も入れています」

第２クールも新たな場所が続々

「物語が進むにつれて、王都や花街など、後宮以外の建物も多く出てくるようになりました。どの場所も、『そこに人が暮らしている』という生活感を心掛けています。たとえば、通りを歩く人の流れやお店の並びなんかも、脳内で原宿の竹下通りみたいな賑わう通りを想像して『ここにこういうお店があったらいいな』とか考えながら作っています。そういうシーンは手描きだと難しいのですが、私は3Dでベースを作り、それにレタッチをかけています。その際、どこまで作画（人物など）となじませられるかがこだわりどころなのですが、『薬屋のひとりごと』では非常にいい感じにできているのではないかと思いますね。人間の生活に根差したリアリティのある街作りに、ぜひ注目していただけると嬉しいです。

今後、第14話以降にも、新たに出てくる場所がたくさんあります。妃たちが集まる講堂や、柘榴宮の楼蘭妃の私室、祭事が行われる蒼穹壇などなど……。特に蒼穹壇はとにかく大きな建物で、自分でもちょっとやりすぎたかなと思うくらい、ものすごい絵になっております（笑）。今までのアニメでは表現できなかった場所が次々に登場しますので、そのスケールも含めて楽しんでください」

コメディシーンの「カマボコ」

「コメディシーンに出る半円状のイメージ背景は“カマボコ”と呼ばれています。こういうのはこれまで描いたことがなかったのですが、いいメリハリが出ますね。緻密に描き込んだり、3DCGで作り込んだりした背景美術がある中に、こういうのがポンと入ることで、ギャグがより引き立つんだなと思いました。ちなみに、カマボコも50種類くらいのカラーチャートがあり、毎回そのシーンに合わせた色味を選んでいます」

他愛のない日常

豪華客船の旅を終え、フォージャー家の他愛のない日常が戻って来た！　……とは言え、車に跳ね飛ばされても平気だったり、放火犯を捕まえたりと、普通の日常からは程遠い!?

因果応報

情報屋がボートで一人逃げ出そうとしたところ、追ってきた殺し屋と殺し合いに発展。そこへ処理が間に合わず、海へと投げ捨てられた爆弾が飛んできて、共倒れという結果に！

アーニャ・フォージャー
Anya Forger

学校でセレブぶって見栄を張ったが、バカにされてしまう。一流シェフの料理のためなら、ベッキーが母親になるのもやぶさかではない!?

ロイド・フォージャー
Loid Forger

強制的な休暇だったが、アーニャの我儘や爆弾騒ぎで、結局多忙な時間を過ごすことに。警察犬としてボンドを訓練しようとするが……

希望を届ける光の矢

「アーニャがははをたすけてみせる!!」と、アーニャは渾身の力でヨルが落とした武器を投げ届ける。それが文字通り敵の足をすくう結果となり、ピンチだったヨルの援護に繋がった。

爆発を回避

船底に爆弾が仕掛けられていたことを知ったロイドは、船員に変装して爆弾を解除。東国の要人も乗っているため、ロイドがいなければ国家規模の問題に発展していたかもしれない。

SPY×FAMILY

★Season 2 Blu-ray&DVD Vol.2 が2月21日発売
HP★spy-family.net

ヨル・フォージャー
Yor Forger

一時は殺し屋を続けるべきか悩んでいたが、改めて仕事を続けていくと決意した。弟子入りを志願してきたベッキーに指南することも

血に汚れても

命をかけて護衛任務を遂行したヨルに、オルカは心からの感謝を伝えてハグ。ヨルは服が血で汚れてしまうと遠慮するが、「その手が、この子の未来を繋いでくれたのよ」と言う。

ご褒美

船が停泊する島での待ち合わせを提案するロイドの伝言を受け、ヨルは任務完遂のご褒美としてお休みをもらうことに。ははと再会したアーニャも嬉しそうな顔を見せた。

さらに爆弾発見！

犯罪者の心の声を聞き、時計に爆弾が仕掛けられていることを知ったアーニャ。身元がバレないようにサングラスとスカーフで変装をし、船員に不審者報告をする機転を利かせた。

はははのしょうり!!

手練れの刀使いに苦戦を強いられたヨルだが、見事勝利！　アーニャが武器を投げ渡してくれたからこそ最後の一撃を放つことができたのだ。アーニャのおかげと言っても過言ではない!?

世界一安全!?

何かと危険も伴うシュノーケリングだが、もし鮫がいてもヨルが倒してくれるとのこと。さらに凄腕スパイのロイドも一緒なので、この二人がいれば安心して海の景色を楽しめそうだ。

虫にびっくり！

ライト付きヘルメットを被り、鍾乳洞を見学するフォージャー家。わくわく顔のアーニャに対し、ヨルは虫に驚いた様子。

原作でも人気の高いエピソード「豪華客船編」を終え、クライマックスを迎えたSeason 2。「豪華客船編」では、「私が殺しの仕事を続ける意味ってあるのでしょうか」と思い悩んでいたヨルが、護衛任務を経て、改めて自身の戦う意味を見つける姿が描かれた。旅を終えて、留守番をしていたボンドが加わり、再びフォージャー家の他愛のない日常がスタート！　この平和なひと時こそ、ヨルが戦って守りたいものだった。

ヨルは戦いの中で「早晩命を落とす生き方でも　フォージャー家を離れることになっても」と、その覚悟を語っているが、3人と1匹でフォージャー家。放火事件で活躍したボンドに「無茶はするな。ウチにもおまえが死んだら悲しむやつがいる」とロイドが語ったように、誰か一人（一匹）でも欠けてはダメなのだ。

オペレーション〈梟〉から始まった仮初めの家族だが、少しずつ繋がりが感じられるようになってきた3人と1匹。これから何があったとしても、きっとフォージャー家なら乗り越えられるはず！

嘘つきアーニャ

豪華客船の話でダミアンを驚かせ、なかよし作戦プランBを遂行しようとしたアーニャ。だが、名門校の生徒にとって豪華客船の旅は珍しくもなく、苦し紛れに話を盛って恥をかいてしまう。

久しぶりの姉さん！

寂しがっていたのはボンドだけではない。ヨルに久しぶりに会えると、職場でウキウキな様子のユーリ。ロッカーはヨルの写真だらけで、相変わらずのシスコンぶりが窺える。

お疲れさま

不眠不休で戦っていたヨルが睡魔に襲われ、遊び疲れたアーニャも眠ってしまう。二人を抱えるロイドの姿は、まさに休日の父親だった。

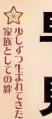
さすがちち！

巨大な砂の城を作り上げたり、海上に投げ出されたアーニャを華麗にキャッチしたりと、サラッとスゴ技を見せるロイド。普通に過ごしていてもその優秀さがにじみ出てしまう。

特大ブーメラン

セレブぶって話を盛ってしまったというアーニャの話から、「嘘はよくない」と口々に言うロイドとユーリ。だが、ヨルも含め秘密を隠し持って生きているため、3人とも気まずい微妙な空気に……。

おかえりなさい

フランキーが散歩に連れていってくれていたとはいえ、お留守番で寂しく過ごしていたボンド。アーニャたちが相当恋しかったようで、帰ってきた際は涙を流しながら飛びついていた。

ヨル・フォージャー役

早見沙織

少しずつ生まれてきた家族としての絆

――Season 2お疲れ様でした！ 今のお気持ちをお聞かせください。

早見 最初はお互いの利害の一致から始まった疑似家族だったのですが、家族でいろいろな出来事を一緒に乗り越えていくうちに、少しずつ家族としての絆のようなものが生まれていったと思います。ヨルさんの中でも、無意識に少しずつ、フォージャー家への思い入れが深くなっていった気がします。

――「豪華客船編」はヨルとしても重要なストーリーでした。このお話はヨルにとって、そしてフォージャー家にとってどんな影響があったと思いますか？

早見 ヨルさんが自分のお仕事について、また家族について深く想いを馳せて自分なりの今の答えを出すとても大切なストーリーでした。ロイドさん、アーニャさん、ボンドさん、そしてユーリ、大切な人たちのことを自分が一番ピンチのときに思い出して、最後「私は 戦うことをやめないッ!!」と言い切るシーンはとてもかっこいいなと思いました。ヨルさんがフォージャー家を心から信頼していること、それが形になった物語だと思います。

――MISSION:36ではベッキーがフォージャー家へやってきます。ロイドにアピールするベッキーや、一流シェフのためにははよりもちょぴっとだけベッキーの味方についてしまったアーニャについて、またこの一連のドタバタ劇についてどう思われましたか？

早見 とにかく、このお話のベッキーさんがかわいくてかわいくて。ロイドさんに一生懸命アピールするベッキーさんと、裏側でベッキーさんの味方をするアーニャさんの構図も面白かったです。ヨルさんはいつものようにちょっとずれた観点からの参加ですが、最終的にベッキーさんとも仲良くなって、とても微笑ましいお話だったなと思いました。

――Season 2で特に印象に残っているエピソードは？

早見 やはり一番は「豪華客船編」かなと思います。ちなみに「豪華客船編」のアフレコは、私は任務のメンバーと一緒に収録させていただくことが多くて。もちろんそのメンバーとの絆も深まり、和気藹々とアフレコしていたのですが、「豪華客船編」が終わってフォージャー家のキャストの皆さんと再会したときは、物語と同じように嬉しさと安心感を覚えました。

――劇場版についてもお聞きします。ストーリーで面白いと感じたところは？

早見 とにかく、見どころがぎゅっと詰まっている内容だと思いました。アーニャさんのうっかり（？）な出来事から始まる騒動が、てんやわんやでどんどん大きくなっていくところが面白かったです。また、新キャラクターも登場しますが、とにかく濃くて、濃すぎて魅力たっぷりで惹き込まれました。

――劇場版の見どころを教えてください。

早見 ヨルさんのバトルシーンが一番の見どころです。ヨルさんにしかできない迫力とスピードと力強さをお楽しみください。また、物語の最後のほう、フォージャー家が力を合わせて奮闘するシーンがあるのですが、そこからの流れは、達成感と、お茶目さと、「ホワイト」が詰まっていて素敵なシーンだと思います。

――劇場版はヨルにとって、フォージャー家にとってどんな影響を及ぼしたと考えますか？

早見 フォージャー家それぞれが、無意識のうちに家族のことを考えているシーンがたくさん垣間見えた、ここまで積み重ねてきたからこその関係性が感じられる劇場版だと思います。

――ファンへのメッセージをお願いします！

早見 いつもたくさんの『SPY×FAMILY』愛をいただき、ありがとうございます！ Season 2、そして劇場版と駆け抜けて参りましたが、きっとこれからもフォージャー家の物語は続くはず……！ 続いてほしい……！ ということで、引き続き皆様にたくさん応援していただけると嬉しいです。よろしくお願いいたします。

家族に深く想いを馳せて

アーニャを奪還せよ！

世界平和を揺るがす悪はもちろん、アーニャを傷つける者も許さない！
世界一頼もしいちちとははが、スクリーンで大暴れ!! 世界の危機も一緒に救っちゃう!?

事前準備 OK

駅員にちゃんと許可証をもらって、旅について来ることができたボンド。アーニャを捕らえたドミトリとルカに噛みつくなど、立派な活躍を見せる。

初の家族旅行

豪華客船ではお留守番だったボンドを加え、初めて家族全員が揃って出かける旅行にわくわくが止まらないアーニャ。これが世界の命運をかけたものになるとは知る由もない……。

通常運転

「すみませーん！　夫と娘を迎えに来たのですが」と、ヨルは敵地でも通常運転。敵に銃を向けられ発砲されても、目の前で大爆発が起きても、まったく動じない姿が頼もしい！

コミカルな敵キャラ

劇場版オリジナルキャラクターとして登場する、占いを信じがちな小心者のドミトリと、ツッコミ担当のルカ。敵ではあるが、彼らとアーニャのコミカルなやり取りにも注目！

フォージャー家全員での初めての家族旅行を描いた、完全新作オリジナルストーリー『劇場版SPY×FAMILY CODE: White』が絶賛公開中！　普段からトラブルが絶えないフォージャー家。家族旅行という一大イベントでは、世界の命運をかけた事態にまで発展して……!?

家族旅行の途中、列車内で怪しげなトランクケースを発見したアーニャ。その中に入っていたチョコレートを誤って食べてしまったことから、陸軍の軍情報部に狙われ、ついには捕らえられてしまう！　そんなアーニャを助け出そうと奮闘するロイドとヨル。彼らの華麗な活躍は見どころのひとつだ。スパイのロイド、殺し屋のヨル、未来予知犬のボンドがそれぞれのスキルをもって、敵に立ち向かっていく迫力満点のアクションシーンをはじめ、戦闘機やサイボーグの登場など、劇場版ならではの非日常の特別感が満載だ。

世界平和を揺るがす事態に、フォージャー家はどう立ち向かっていくのか。娘の危機を救うために見せる、ちちとははの本気にシビれること間違いなし！

劇場版
SPY×FAMILY CODE: White
★絶賛公開中！
HP★spy-family.net/codewhite

監督

片桐 崇

あえていつも通りを意識した劇場版

——劇場版は原作の遠藤達哉さん監修の完全新作オリジナルストーリーですが、遠藤さんとはどんなやり取りをされたのでしょうか。

片桐　遠藤先生にはシナリオ打ち合わせに参加していただき、企画段階からかなり細かくやり取りさせていただいた上で、脚本の大河内（一楼）さんにストーリーを組み立ててもらいました。題材が家族旅行になったのも、基本的には企画段階から決まっていたと思います。

——監督ご自身が特に留意した点、劇場版の方向性として意識した点は？

片桐　ひとつは、オリジナルストーリーの劇場版だからといって「変えない」というか、TVシリーズと基本的には同じルック・設定を使い、ファンの皆さんが観てきたものから大きく外さないようにすること。もうひとつは、遠藤先生が作り上げている原作の雰囲気を壊さないようにすること。まず、その二本柱がありました。とはいえ、劇場版ならではの大きなドラマ展開もあるので、そこに向けて場面を盛り上げたりもしています。

——旅行ネタは、日常から非日常へと世界を広げることができるし、かついつものやり取りも描けますよね。

片桐　そうですね。あと、上映時間が長いのでギャグやコメディのタッチを少しだけTV本編から変えたりと、そういうポイントはあります。でも基本的には、原作やTVシリーズの元の雰囲気を壊さないということを意識しました。

——ギャグのタッチが変わっている？

片桐　タッチが変わっていると言うか、TVシリーズでは抑え気味だった漫画的表現を少し取り入れたりしています。でも、それは「こだわり」というほどのことではなくて。「このシーンはそういうタッチのほうが映えるかな」という判断ですね。

——演出等で特に力を入れたポイントや、注目してほしいシーンを教えてください。

片桐　大河内さんのシナリオはとてもギミックが効いていて、張ってあった伏線を大きく回収するポイントがあるんです。そこはなるべくわかりやすく伝わるように表現に気をつけました。また、その一番大きい伏線回収がアクションのクライマックスと重なっているので、アクションも見応えがあるように力を入れました。

——それは、ヨルの口紅が絡むシーンですか？

片桐　そうです。かなりハッタリを効かせて、見せ場として盛り上げられるようにしました。スタッフの皆さんにもご尽力いただいて、いいものに仕上がったと思います。

——苦労した部分や悩まれたポイントをお聞かせください。

片桐　オリジナルストーリーなので、原作の絵がない——これは一番難しいところだったなと思います。もちろん、原作の雰囲気やキャラクター像がベースにはありますが、具体的な絵がないとスタッフそれぞれの解釈のズレが出てきてしまうんですよね。遠藤先生の絵が素晴らしいので、TVシリーズは原作を参考にできるのですが、今回はそれができないのが大変だったところかな、と。

劇場でも魅力的なフォージャー家の面々

——劇場でのフォージャー家の見どころポイントは？

片桐　共通して、声優の方々の演技はとても素晴らしいものでした。そ

こにさらに素晴らしいアニメーターの方々の作画をうまく乗せていただいているので、どのキャラも魅力的に仕上がっています。
　ロイドは知的で何でもこなせるがゆえに、逆にちょっと振り回される役。特に今回は、証拠隠滅にあくせくするシーンなど、日常シーンで江口（拓也）さんのバシッとしたツッコミが非常に効いていましたね。その上で、最後のクライマックスのアクションでは、凄腕スパイたるロイドの強さも、しっかり見せることができたかなと思います。
　アーニャに関しては、やはりコメディシーンが見どころ。作画もそうですし、種崎（敦美）さんにもリアクションの振り幅を大きくしていただいて、コンテや台本に書かれている以上に素晴らしい芝居、演技になりました。

――トイレを我慢するアーニャは、おかしくてかわいかったです（笑）。

片桐　そうですね（笑）。あのシーンは、特に種崎さんに「振り切っちゃってください」とお願いしましたが、こちらから言わずとも振り切った演技をしていただけて、かなり面白いシーンになったと思います。アフレコ現場もとても雰囲気がよくて、みんなゲラゲラ笑っていました（笑）。

――ヨルについては？

片桐　やはりアクションがめちゃくちゃすごいですね。特にクライマックスの戦いは、WIT STUDIOのスタッフが持っている力が画面に存分に出せたかなと思っています。TVシリーズも素晴らしいけれど、また違った見応えのあるアクションに仕上がったかなと。早見（沙織）さんの肉薄する声というか、新たな一面も見ることができました。日常のシーンでもお酒に酔うとか、TVシリーズで印象的だったヨルの魅力的な面を、劇場でもたくさん観られたのではないでしょうか。

――ボンドもやっと一緒に旅行に行けました。

片桐　今作のストーリーはボンドもキーになっているので、家族としての存在感をしっかり描けたと思っています。それと、やはり松田（健一郎）さんの演技が注目点ですね。演じていただく際に、台本には「ボフ」としか書いていないし、アフレコ時に絵がすべて完成してはいなかったのですが、ボンドの感情をしっかり拾って、生命感を感じさせる素晴らしい演技をしていただきました。それと……四足歩行の生き物って作画のハードルが高いのですが、アニメーターの皆さんにもとてもいい絵に仕上げていただけました。

――あらためて、フォージャー家のどこに魅力を感じますか？

片桐　それぞれのキャラクターがあんなに立っているのに、お互いがお互いの本当の顔を知らない……まあアーニャだけは知っていますけど。その結果としてのチグハグなコミュニケーションが楽しいのですが、それでも最後にはひとつになる――お互いの秘密を知らない設定なのに、ひとつになる。それが大きな魅力かなと思います。

――今作でもヨルの「家族は一緒に」という言葉が印象的でした。フォージャー家の〝家族感〟はやはり意識しましたか？

片桐　そうですね、誰かひとりが目立つというより3人と1匹で目立つ。その意味ではキーワードとしては「家族が大切」ということかなと。それでも、ロイドはどこか（家族を）ドライに捉えているとか、任務として割り切っている側面があります。そういう部分は遠藤先生からも「ロイドはこう思っている」といった説明をお聞きして、表情などで表現しています。家族の団欒感は出すけれど、それぞれのパーソナリティは崩さないというところは、表現する上でも気をつけてはいました。

衣装、お菓子、美術のこだわりポイント

――スナイデル、ドミトリ、ルカとゲストキャラも登場しました。大事にしたポイントは？

片桐　銀河万丈さん（スナイデル）、中村倫也さん（ドミトリ）、賀来賢人さん（ルカ）、お三方がそれぞれとても素晴らしい演技してくださったおかげで、どのキャラも輝いたかなと思います。なかでもドミトリとルカ、中村さんと賀来さんは原作のイメージがない中でアドリブなども効かせてくださったし、アニメーターの方たちも作画で演技を持ち上げてくれたので、とても面白いキャラクターになったと思います。スナイデルに関しても、銀河さんの声によって悪役特有の威圧感というか、とてもいい味が出て。こちらが「こういう感じにできればいいな」と考えた絵作りを上手く解釈して声を吹き込んでいただけて、本当に嬉しかったです。

――武内駿輔さんが演じたタイプFも、インパクト絶大でした。

片桐　人間のビジュアルをした機械といいますか、平たく言っちゃうとサイボーグですよね。セリフ量が極端に少なくて、しかも人間味を出してはいけないという難しいキャラクターを、武内さんには表現していただきました。今回の大きな物語として「国を滅ぼす秘密兵器を、暴走した軍が悪用するのを阻止する」というポイントがあったので、それにふさわしい敵としての強い存在感が出せたのではないかと思います。

――劇場版ならではのロイドたちの衣装が見られたのもよかったです。

片桐　メインキャラの衣装はアニメーターの石田可奈さんにデザインを起こしていただいて、遠藤先生と擦り合わせながら決めていきました。コンセプトは「冬」ですが、これまで版権イラストなどで結構、冬服も描いているので、まずは被らないように。それでいてオシャレで目を引く感じになればと、帽子やポンチョを着せてみました。あとは、浮気のサイン（?）となるロイドのタートルネックとか、バトルのときに映える〝なびきもの〟――風を受けてなびくマフラーのようにアイコンになるものがあったほうがいいかなとか、そういう物語的に必要な要素も盛り込んだという感じです。

――今回は「お菓子」もキーアイテムですが、《メレメレ》というオリジナルのお菓子が登場しましたね。

片桐　《メレメレ》はメレンゲパイをモチーフにしています。ほかの食事に関してもそうなのですが、「雪国でちょっとニッチな料理を食べよう」というシナリオではありつつ、広い層に観てもらう作品ではあるので、あまりレアすぎる料理よりは何となく知っている食べ物をモチーフにしたほうがいいかなと。基本的には馴染みのある料理から大きくは外れていないものにしました。

――家族旅行で普段とは異なる場所に行くということで、美術もいろいろこだわったのではと思います。

片桐　美術には大きなコンセプトがあって、「雪国なので雪の印象をしっかりつけられるように」というのが、まずひとつ。ただ、雪のせいでどうしても画面が白くなりすぎてしまうので、昼間のシーンは特に白っちゃけないように意識しました。また、物語の半分が夜のシーンなので「画面が見にくくならないようにしたい」というのがもうひとつのコンセプト。その二つのコンセプトだけお伝えして、美術監督のお二人（杉本智美さん、小島あゆみさん）にお願いしましたが、コンセプトに沿った素晴らしい美術を上げていただきました。見応えのある美術になったのはお二人のおかげですね。

――音楽については？

片桐　音楽に関しては、基本的に音響監督のはた（しょうこ）さんにお任せという形でした。僕からお願いしたのは、TVシリーズの音楽をなるべくリフレインさせてほしいということ。間口が広い作品なので、物語を盛り上げるべく（劇場版独自の）多彩な音楽も取り入れていただきましたが、TVシリーズで馴染みのあるBGMはしっかり取り入れて、ここぞというポイント――イントロダクションやラストの家族揃って朗らかなシーンなど――にはTVシリーズのモチーフを使い、新曲として作っていただきました。

――今回は雪国を旅したフォージャー家ですが、もしどこか別の場所を旅するとしたら、どんなところへ行く姿を観てみたい、もしくは描いてみたいですか？

片桐　難しい質問ですね（笑）。何となく考えたのは……東京のようなところとか？　横浜で船を降りて、浅草に行って、人力車に乗って……といった旅はどうでしょうか（笑）。

――それは楽しそうですね！　最後に『劇場版 SPY×FAMILY CODE: White』を観て、これからまた二度、三度と楽しもうと思っているファンに向けてメッセージをお願いします。

片桐　いろいろな設定や伏線が細かく張り巡らされているので、繰り返し観ても新たな発見ができる映画になっています。二回、三回と言わず、ぜひ何度も観ていただけると嬉しいです。よろしくお願いします！

ちちだいかつやく！
戦闘機を操縦し、アーニャのピンチに駆けつけるロイド。元々持っているスキルは高いが、劇場版ではそのスキルを駆使した派手なアクションシーンで見る者を楽しませてくれる。

口紅のプレゼント
買い物中、フリジスのハチミツを使った口紅をロイドからプレゼントされたヨル。少し元気がないヨルを気遣っての行為だったが

見ごたえのあるアクション
ヨルといえばやはり華麗なアクションが見どころ。TVシリーズでも次々と敵をなぎ倒して見事な立ち回りを見せてくれていたが、劇場版でも大迫力の見応えあるアクションに

細かな表情にも注目
TVシリーズを経て、確実に家族の仲は深まってきてはいるが、ロイドは家族をどこかドライに捉えている。細やかな表情の変化にも注目だ。

オリジナル衣装
「冬」をコンセプトにデザインされたオリジナル衣装たち。オシャレで目を引くデザインなのはもちろん、ストーリー展開上に必要な要素や画面映えも意識して作られている。

キーアイテム
チョコレートの中に重要なマイクロフィルムが隠されていた!?　《メレメレ》だけでなく、アーニャが誤って食べてしまったチョコレートも、物語のキーアイテムとなる。

呪術廻戦 渋谷事変

「呪術廻戦 渋谷事変」Blu-ray&DVD第2巻が1月24日発売
HP jujutsukaisen.jp

魂の

人間を起源とする呪いであり人の魂に触れてその姿形をも変貌させてしまう真人 彼がついに掴んだ、魂の本質とは？ そして、虎杖との正義の押し付け合いは果たしてどんな結果に!?

吉野順平の件から続く、虎杖と真人の因縁の対決がついに決着！ 七海、そして釘崎も真人の手にかかり、虎杖の心は限界を超えようとしていた。しかし、駆けつけた東堂の言葉で、虎杖は七海に後を託されたことを思い出す。

一方、真人は黒閃を経て、〝本当のむき出しの魂〟を理解して「遍殺即霊体」に変身。その姿は、虎杖が「呪霊として変身前とは別次元の存在となった」と語るほどだった。

そこまでの域にたどり着いた真人だが、それも全て夏油の計算通りだったのかもしれない。虎杖に追い込まれ、瀕死だった真人は夏油に取り込まれてしまう。さらに夏油は抽出した術式「無為転変」を使い、あることを企んでいるようで……!?

渋谷事変後、呪霊が溢れ返り、壊滅状態となった東京――呪術総監部により、五条は渋谷事変の共同正犯とされ、呪術界からの永久追放が決定する。さらに、虎杖は執行猶予が取り消され、死刑が執行されることに。このピンチを一体どう乗り越えるのか!? 続編が始まるまで応援し続けよう！

虎杖悠仁
Yuji Itadori

真人
Mahito

釘崎野薔薇
Nobara Kugisaki

思わぬ天敵

釘崎の「共鳴り」により、真人は分身体を通して本体の魂に攻撃を喰らってしまう。強敵ではないと高を括っていたが、相性の悪い敵との思わぬ遭遇で一転してピンチに!?

釘崎の過去

閉鎖的で排他的な地元を毛嫌いし、上京してきた釘崎。その地元でのエピソードが走馬灯のように描かれ、最後の「悪くなかった」という言葉がより胸に刺さる演出となった。

分身体から本体へ

分身体は術式が使えない。釘崎に本体ではないことがバレ、不利を悟った分身体の真人は本体のもとへ。上手く本体とスイッチし、不意打ちで釘崎に「無為転変」を喰らわせた。

本質

これは戦争だ

真人が何も考えず命を奪うように、虎杖も何も考えず命を救う。これはどちらかの間違いを正すのではなく、呪いの本能と、人間の理性が獲得した尊厳を押し付け合う戦争なのだ。

もう戦えない

両面宿儺がたくさんの命を奪ったのなら、自分はもっと人を助けなきゃいけない。そう言い聞かせて行動するも、目の前で七海と釘崎が倒れ、虎杖の心はついに折れてしまう。

窮地を救った東堂

「オマエは何を託された？」と戦意を喪失していた虎杖に問いかけ、再起のトリガーとなった東堂。その後の戦闘でも黒閃を繰り出し、虎杖と共に真人との“最後の呪い合い”を始める。

さすがブラザー！

120%のポテンシャルを引き出した虎杖と東堂は、真人と死闘を繰り広げる。一瞬だけ交わした目線で通じ合うなど、素晴らしいコンビネーションを発揮。これぞブラザーの絆か⁉

超攻撃型改造人間

東堂の術式を潰すため、真人は虎杖と東堂を分断させることに。本来、改造人間の等級は3級から2級弱だが、「幾魂異性体」で爆発的な力を持つ超攻撃型改造人間を作り出す。

一か八かの大勝負

東堂に攻撃を当てるために領域を展開したいが、それでは両面宿儺に殺されてしまう。そのため、五条の戦い方からヒントを得た真人は、一か八かの0.2秒の領域展開を発動させる！

東堂 葵

Aoi Todo

虎杖のことを「超親友（ブラ
心が折れか
して立ち直
受け、

魂の本当の形

呪霊でありながら黒閃を発動させた真人。領域展開後、東堂に黒閃を叩き込むが仕留めきれず、虎杖の黒閃をモロに喰らってしまう。しかし、それによってついに魂の本質を掴む！

夏油 傑

Suguru Geto

められて瀕死の
現す。真人を
り込み、
て呪物

死刑宣告

渋谷事変での両面宿儺の所業から、呪術総監部の決定により虎杖は死刑執行猶予を取り消され、再び死刑宣告を受ける。さらにその死刑執行役に、乙骨憂太が任命されることに！

真人の術式を利用

呪力の“最適化”を目指す夏油（の裡にいる何者か）は、真人を取り込み、その術式を抽出。目をつけていた非術師たちの脳を術師の形に整えるよう、「無為転変」を施した。

2024＊新春特集

今年は辰年、神獣の年！
十二支唯一の想像上の生き物から
無限のエネルギーをもらえそう
力強い龍にあやかって
己の道を駆け上がれ！

天まで昇れ！

レッドドラゴンに食われた妹・ファリンを救うべく、食料現地調達の迷宮攻略に挑むライオス、マルシル、チルチャック一行。だが、迷宮を旅するには先立つものが不可欠……しかも魔物マニアなライオスは、この機会に魔物の味を確かめてみたいとも考えていた。

死と隣り合わせの迷宮探索と魔物グルメがタッグを組んだ『ダンジョン飯』は、第1話から本領発揮！　特に二つ目の魔物食・人喰い植物のタルトを実食するまでの流れは必見だ。

材料採集時、人喰い植物のツルに拘束されたマルシルと、彼女のすぐ脇から転がり落ちる新鮮な死体のコンビネーションは、ひとつ間違えば逆に喰われる迷宮探索のリアルさを。得た素材から生まれたタルトの美味しさに、思わず顔をほころばせるマルシルは、魔物食の想定外なうまさを――それぞれ存分にわからせてくれた。また、人喰い植物のツルから救出後、拘束時の感想をマルシルに問うライオスの空気を読まない感も注目！　魔物マニアなのはわかるけれど、命の危険を感じていた相手にすべき質問ではないだろう。

ダンジョン飯、ああダンジョン飯――迷宮深く足を進める彼らの前に、次はいかなる魔物（食材）が現れるのだろうか？

竜（タツ）を食うなら何料理？

素材の来歴にも留意!?

ライオスたちのパーティーに合流時、「レッドドラゴンを調理するのは長年の夢だった」と語ったセンシ。ステーキ、ハンバーグ、しゃぶしゃぶや親子丼など、まだ見ぬ魔物食に思いを馳せていたが、その肉には消化済みファリンの一部が含まれている可能性も……!?

今後の食材調達（タツ）は？

食えない魔物が出たときは

「大サソリと歩き茸の水炊き」から始まった魔物食だが、食えない魔物もいるだろう。ゾンビは腐敗しているし、動く鎧やゴーレムなどは無機物だ。もしそういった魔物しか存在しない階層にたどり着いたとき、どうやって食材を調達するかも楽しみなポイント。

飯は剣よりも強し!?

リアルなダンジョン飯追求のために

【監督】宮島善博

――ついに放送が始まりましたね。第1話を振り返っての感想をお願いします。

宮島　魔物を食材にした〝ダンジョン飯〟が初めて描かれる回なので、料理シーンには特に力を入れました。架空の料理に説得力を持たせるべく、完成した料理をデザインするところから始まり、「この魔物にはこんな身体構造や特徴があるから、こう処理して食材にしなければならない」というのを、かなり突き詰めて作っています。

――素材の気持ち悪さに比べ、完成品は美味しそうなのも面白いです

宮島　調理中は、あくまで「魔物をさばいて必要な処理をしている」ということを意識しています。料理ができる前は食材としての魔物で、できあがった瞬間、料理になるイメージ。調理が進むにつれて、少しずつ「あれ、なんか食べられそうかも？」と感じて、センシが「完成じゃ！」と言った瞬間、美味しそうな料理に一変する。このギャップを味わってもらえたら嬉しいですね。

――第1話冒頭では、ライオスたちとレッドドラゴンとのバトルも描かれました。

宮島　そこも力を入れたポイントです。原作だと、ライオスたちとレッドドラゴンとのバトルはわりと短めに描かれているのですが、レッドドラゴンがどんな存在で、どんな動きをするのかをわかりやすく伝えたかったので、アクションの作画と演出にはこだわりました。

――レッドドラゴン[illegible]こか他人事のままで[illegible]も記憶に残りました

宮島　空腹で頭が回らなかったとはいえ、緊張感に欠けていましたよね。それがファリンの喪失に繋がってしまうわけですが。しかもチルチャックから「サイコパスだ」と言われてしまうほどに、マニアックな魔物への探究心を持っているのがライオスの特徴。でも、彼の根底にあるのは、妹を助けたいという強い気持ちです。仲間がついてきてくれるだけの信頼を得ている点も、ライオスを描く上でブレてはいけないポイント。そのあたりが伝わるように、ライオス役の熊谷健太郎さんには注意して演じていただいています。

――「魔物食とか信じられない！」というマルシルも印象的です

宮島　魔物食に対し、視聴者に近い感性で反応してくれる存在がマルシルなんです。第1話ではツッコミをはじめ、本作のコミカルな部分を担当する立ち位置でしたが、結構ドジだったり友達想いだったりと、かわいい要素がどんどん見えていきます。

――食の師となるセンシも、登[illegible]在感がすごかったですね

宮島　10年以上も魔物食を研究してきたセンシは、お腹を減らした若者に飯を食わせたい年長者という、父や母のようなポジション。センシ役の中博史さんのお芝居が巧みで、アニメではどこかかわいらしさを感じさせるキャラクターになってくれたのが嬉しいです。

――チルチャックは？

宮島　ハーフフットという子供のような見た目の種族の彼は、パーティー内の仕事に対してとても真摯な人物です。いわゆる〝プロ〟というか。第1話で、チルチャックがみんなに水を汲んでくる場面があるんですが、文句を言いつつ役割をき

Laios
ライオス
センシ
10年以上、迷宮で魔物食を研究していたドワーフ
Senshi
チルチャック
罠の察知や解除、扉や宝箱の解錠を得意とする
Chilchuck
ファリン
パーティーが壊滅しそうになったとき、食われながらも魔法で仲間たちを迷宮外に脱出させたライオスの妹。回復などが得意な魔術師
Falin
Marcille
これぞ画竜点睛!?
美味しそうな魔物食!?
作画監督の竹田直樹さんと、アニメーターの皆さんのおかげです。実際に調理過程を体験してもらったりもしました」と宮島監督。魅力的な魔物食の表現は、スタッフの努力の賜物！
地底に建（タツ）つ黄金城
迷宮が見せる多彩な顔
ちんと果たす彼のスタンスが描かれていて、あのシーンは好きですね。
——第2話、
ます。
宮島　今後も多くの魔物を、ライオスたちは料理していきます。調理過程や食べたときのリアクションに加え、食材となる魔物の生態も詳しく描かれます。
——食材がどんどん
いくんですね（笑）。
宮島　センシでさえ食べようと思わない魔物を、ライオスが食べられるんじゃないかと考える展開があるんですが、そう思った理由が面白いんです。少し先になりますが、期待していてほしいエピソードですね。始まったばかりのライオスたちの迷宮の冒険、魔物で作られているのに美味しそうだったり、「これはさすがにムリ！」といった様々な料理が待っています。ぜひとも楽しんでください！
ダンジョン飯
＊毎週木曜日＊夜10時30分＊TOKYO MXほか
HP＊https://delicious-in-dungeon.com/
X（Twitter）＊@dun_meshi_anime
©九井諒子・KADOKAWA刊／「ダンジョン飯」製作委員会
Illustrated by Tetsuya Hasegawa
Color coordinated by Hitomi Takeda
Finished by Mayu Takata(BeLoop)
Special effect by Mutsumi Saitoh(GRAPHINICA)

治癒魔法の間違った使い方

＊毎週金曜日＊深夜0時30分＊TOKYO MXほか
HP＊https://chiyumahou-anime.com/
X（Twitter）＊@chiyumahou_PR

筋肉と反骨心で道を拓け！

心の中で人並み外れた人生を求めながらも、平凡な高校生活を過ごしていたウサト。同じ学校に通うスズネ、カズキとともに異世界に召喚されるが、彼には勇者の適性はなく、二人に巻き込まれただけだった。しかし、ウサトには治癒魔法使いの適性があるとわかり、彼は救命団団長のローズに連れ去られてしまう。

第1話で強引に救命団の一員にさせられたウサトを待ち受けているのは、ローズによる訓練に次ぐ訓練！　筋肉痛になろうが治癒魔法で強制的に治される、スパルタの極みのようなトレーニングの日々だ。当初は状況に翻弄されるばかりのウサトだったが、肉体と治癒魔法を鍛え上げるうちに、自身の中にある反骨精神を研ぎ澄ませ、次第に救命団としての使命にも目覚めていく。普通の少年だったウサトが、文字通りたくましく成長する姿に注目だ。

そして、ウサトを鍛えるローズもまた、物語のキーパーソン。なぜ彼女は、前衛で戦場を駆けるという常識破りな回復要員を育て上げようとしているのか。ウサトとローズの笑いあり、バトルありの師弟ドラマを見届けよう！

回復要員起（タツ）つ!?

地獄の訓練を越えていけ

戦場の最前線を駆けまわり、負傷者を治療することが、白い団服を纏う救命団員のミッション。ローズから地獄の訓練を課されるウサトは、ブルーグリズリーの子ども・ブルリンや、勇者として戦うスズネ、カズキとの友情を支えに、立派な回復要員を目指し奮闘する！

Suzune

Kazuki

カズキ［龍泉一樹］
生徒会の副会長を務めていた、ウサトのクラスメイト。光属性の魔法に適性がある勇者。実は男友達がいないという悩みを抱えている

これぞ画竜点睛!?

最大の武器は反骨精神！

ローズと出会い、救命団に入ったことで、ウサトの肉体と心はたくましく変わる。「第2話の特訓の中で明らかになりますが、ウサトは実は、反骨心の塊なんです。彼が負けず嫌いの精神と腕っぷしで道を切り拓くようになる、その変化は見どころですね」（緒方）

Usato

コメディあり、アクションあり！

［監督］緒方隆秀

——原作を読んだ印象を教えてください。

緒方　ウサトが訓練で鍛え上げた腕っぷしひとつで、物語を切り拓いていく姿に爽快感を覚えました。ウサトと同じで、物語自体も小手先のテクニックを使わず、一本芯を通して全体がひとつの輪になるようにまとめられている気がします。

——アニメ化にあたっては、やはり爽快感を大切にされたのでしょうか？

緒方　そうですね。指針として"異世界もの×少年マンガ"と打ち出されていたこともあって、哲学的な内容にはせず、コメディあり、アクションありの観やすいアニメにしたいと思いました。

——主人公のウサトの描写で、気をつけたことは？

緒方　序盤のウサトは、モブのようなキャラにしてほしいというオーダーがあったんです。それで、キャラクターデザインの田辺謙司とも相談し、モブキャラに混ざってもおかしくないようなデザインに調整しました。ウサト役の坂田将吾さんは、私が監督した別作品でご一緒したことがあって。コメディがやれて熱い芝居もできる、緩急をつけられるところがウサトに合うんじゃないかと思っていました。原作のくろかた先生とお会いした時、『クローズZERO』が好きだとお聞きし、反骨精神を持つウサトのキャラクター性が腑に落ちましたね(笑)。

——ウサトと同じく異世界に召喚された、スズネとカズキのキャスティングについてはいかがですか？

緒方　スズネはリングル王国に召喚されてからオタク気質が全開になるけど、現実世界では優等生で、どこか満たされてないところがあったんです。明るさの中にも影があるようなお芝居をされていたので、七瀬彩夏さんにお願いしました。カズキは勇者らしいキャラで、第1話では意図的に彼が主役に見えるような構図も入れ込みました。これからウサトに嫉妬する姿を見せるようになり、彼にも満たされない部分があるとわかるんですが、高梨謙吾さんが上手に表現してくれましたね。現実世界に帰りたがるような素朴な感性の持ち主で、個人的に一番思い入れがあるキャラです。

——これからウサトを鍛える、ロ[illegible]写で大切にしたことは？

緒方　威圧感ですね。ローアングルのカットや、グッと睨むなど目のアップをたくさん入れることで、キャラを立たせました。特にローズの初登場シーンは、原作を読んでいて最初にグッときたところだったので、かなりこだわりました。作画監督に圧力が感じられるようにとオーダーしたり、音楽の藤間仁さん(Elements Garden)に「『北斗の拳』のラオウが登場するみたいな感じで」とお願いしたり(笑)。あとは田中敦子さんのお芝居がとにかく素晴らしい。原作を読んだ時点で田中さんの声でイメージしていて、ダメ元でお願いしたんですが、お引き受けいただけて感激しました。

——魔法の演出など、映像面でこだわった点を教えてください。

緒方　治癒魔法のエフェクトは、撮影監督の山本耕平さんや音効さんと綿密に打ち合わせして、キャラによって微妙に変化をつけたり、いくつもの効果音を重ねたりして作っていきました。あと、第1話では現実世界から異世界へ行った時の爽快感を、視覚効果でも狙いました。

——確かに現実世界のシーンは、どんよりとした雰囲気が感じられました。

緒方　ウサトたちの満たされなさを画に出したかったんです。明るい異世界の描写との対比として、小雨を降らせる、色味を暗くするといった演出をしました。

——最後に今後の見どころをお願いします。

緒方　今の時代だと結構アウトな、ローズの鬼教官ぶりは期待してほしいです(笑)。なぜ戦士ではなく、治癒魔法使いを肉体的に鍛え上げるのか。ローズが抱えている事情にも注目してもらえたら嬉しいですね。

Illustrated by Chiemi Kishi
Finished by Masaaki Hino
Special effect by Kohei Yamamoto

ローズ
Rose

達(タツ)人に学べ！

最強の師・ローズ

ウサトを自身の右腕とするべく鍛え上げるローズ。傍若無人な彼女にも、どうやら事情があるようで……？　「アニメで中盤に描かれるローズのお話は、彼女の人間味が深まって、個人的にも思い入れがあるエピソードです。ぜひ楽しみにしてください」（緒方）

人間が他の種族を迫害している異世界・アスディロンを舞台に描かれるチルアニメ『異世界でもふもふなでなでするためにがんばってます。』（通称：『もふなで』）。過労死してしまった社会人・みどりは、ネフェルティマ（以下：ネマ）として異世界に転生し、さまざまな生き物を可愛がりながら、人間と共存できる世界を目指す！
転生時に神様からネマに託されたのは、このアスディロンの人間を滅ぼすべきかを見定めるという使命。そして「人間以外の生き物に好かれる」という力を授かった。おかげでネマは、本来なら契約した主以外には懐かない聖獣・白虎のラースともすぐに心を通わせ、みんなを驚かせることに。
ネマはあらゆる動物や聖獣、さらに魔物とも仲良しになる。彼らと人間たちとの架け橋になろうとするネマだが、そもそもなぜアスディロンの人たちは、他の種族を虐げるようになったのか。この世界にはどんな秘密があるのだろうか。ネマの頑張りと共に、そのかわいいもふなでライフを見守って、疲れた心に癒やしのひとときを！
Sol
ソル
ネマの姉・カーナが書いた魔法陣で呼び出した炎竜で、ラースと同じ聖獣の一種。人間の身勝手な理由で呼ばれたことに怒りを覚える
心休まる異世界生活
ボロボロになるまで働いていたみどりは死の直前、人生に未練を覚えた。それは実家の猫をなで、すべすべで滑らかな毛並みを一日中堪能し、疲れた心を癒すこと。その願いは神様によって叶えられ、今はたくさんの動物に囲まれるという夢の暮らしを手にしている！
Nefertima
異世界で
もふもふなでなでするために
がんばってます。
＊毎週日曜日＊夜10時＊TOKYO MXほか
HP＊https://mohunadeanime.com/
X（Twitter）＊@mohunade anime
©向日葵・高上優里子　双葉社・もふなで製作委員会
Illustrated by Mio Inoguchi
Special effect by Kumiko Tsuchiya
Painted by Yuki Tozawa

世直し姉弟参上

人の営みの傍らに闇と呼ばれる人外が存在した戦国時代。仙道・迅火と妖狐・たまは、世直し姉弟として乱世の時代を旅していた。

妖狐といえば、怪異として禍々しいものとされたり、狐憑きのように危害を加えるものとしてマイナスなイメージが強いかもしれない。だが、本作に登場する妖狐のたまは、人にとても好意的。人と闇が争わずに暮らしていける平和な世の実現を、心から願っている。悪事を働く者に力で対抗するのではなく、あくまで言葉で交渉しようとするたま。その愚直なまでの純粋な姿に、心を動かされるところもありそうだ。

一方、義弟の迅火は、普通の人間でありながら人嫌いを公言。いつか闇になることを願っているというが……？　真介という武芸者を仲間に加え、世直し旅へと進む一行を、これから見守っていこう。

これぞ画竜点睛!?

光と音で魅せる秘術

たまの血を使う精霊転化と呼ばれる秘術で、迅火に強大な力を付与する。髪や眼球、尾が妖艶な光に包まれ変化する様は、迅火を人以上の存在として認識させる。また、発動時の幻想的な音楽には、光線が広がるような効果音も加わり、本作のファンタジー要素を強めている。

長生きな妖狐ならでは

「たま役」高田憂希

時間をかけて向き合い たまを作り上げた

——原作を読んでの印象をお聞かせください。

高田　バトルシーンやシリアスなシーンに、突然飛び込んでくるギャグが絶妙なバランスで描かれているので、ページをめくる手が止まりませんでした。シリアスなシーンが続くと、どうしても一呼吸置きたくなるんですが、「ここで一息抜いていいよ」という水上(悟志)先生の緩急がいい案配で入ってくるんです。ほかにも墨文字の迫力や、キャラクターの表情がコロコロ変わる豊かなところも素敵だなと思いました。

——たまは妖狐という人ではない存在ですが、高田さんは「妖狐」にどんなイメージをお持ちですか？

高田　頭身高めなお色気系のお姉さん。ちょっと妖艶な雰囲気をまとっているイメージもあります。のちに登場する、くずのはさんはまさに妖狐のイメージです。初めてたまを見たときは「何!?　この可愛い妖狐ちゃんは」と思いましたし、好物がお揚げではなく大根なところも、意外でした。

——役作りの際に、大切にしたことを教えてください。

高田　たまは共に旅をするメンバーの中で一番冷静に見えるけど、一番お茶目でもあります。そんな彼女は、登場時からずっと"たま"でした。原作でも、たま自身のことや過去を深掘りするシーンが限りなく少ないので、とっかかりにできる部分がなくて苦戦しました。だからこそ、たまの持つ昔から変わらない芯の強さを表現するにはどうしたらいいのか、時間をかけて向き合うことで、たまを作っていきました。

——アフレコを重ねる中で、たまを作られたんですね。

高田　ありがたいことに、台詞の声色などでディレクションをいただくことはありませんでした。冒頭の話はたまが会話の流れを作る役割を担っているので、シリアスなシーンをぶち壊すギャグのテンション感と普段の元気な一面で緩急をつけられるように、何度もトライさせていただきました。

——第1クールを演じてみて、印象の変化はありましたか？

高田　私自身は変化を感じなかったので、スタッフさんに私の演じたたまと原作のたまとで印象に変化があったか聞いてみたいですね。また、アニメ化が決まったときの原作ファンの盛り上がりがすごかったので、皆さんがアニメを観てどんな印象を抱いているのか、とても気になっています！

——高田さんはたまのどんなところが好きですか？

高田　幼い見た目に反して200年以上生きている可愛い妖狐ですが、年の功もあって彼女の言葉は的を射ていることが多いです。長く生きてきたからこそ、闇と人それぞれの裏の顔もたくさん見てきた中で、人は正せる、親切は繋がっていると今も信じています。今、迅火に「どうせ人は変わらない。世直しを続けても1000年後にようやく直る程度ではないか？」と言われても、「1000年後にいい世の中になるなら、それで大成功だろ」と返します。長生きな妖狐ならではの視点というか、たまだからこその考えというか。常に前向きな姿勢が魅力だと思います。

一番上の姉として 迅火と真介を見守る

——高田さんから見た、迅火と真介の印象を教えてください。

高田　迅火は、思春期の男の子？(笑)　一貫して嫌いなものは嫌いと言うところが子供っぽく見えつつも、彼の中ではちゃんと嫌いな理由があり、迅火自身の強さにも繋がっています。真介に対して無駄にビビらせるようなことも言っていますが(笑)、その行動も含めて可愛いところがある義弟だと思いま

非道を断つ

人間も闇も平等に

たまは人間だろうと闇だろうと、非道であれば正しい道を説こうとする。妖狐の彼女がそうする理由は、とにかく人間が好きだから。乱世を憂う者として、悪行撲滅に従事している。迅火はたまに付き合わされているだけらしいが、彼女の考えを否定することはない。

戦国妖狐

✳毎週水曜日✳深夜0時✳TOKYO MX
HP✳https://sengoku-youko.com/
X（Twitter）✳@sengoku_youko

下学上達の道は長い

高みを目指して

真介は農民出身だが、野盗狩りで名を上げていけば、いつか大名から声がかかるという妄想を膨らませている。「修行と実益を兼ねた素晴らしい着想」だと言うが、迅火は「俗物的な考え」と呆れるばかりだ。いつか真介の夢が現実となることはあるのだろうか……!?

す。真介は、作中で心情の変化が分かりやすく描かれるキャラです。最初は闇の存在も知らない一般人でしたが、たまたちと旅をする中でどんどん強くなります。それは、もともと真介が持っているポテンシャルが高かったからだと思います。

――たまと迅火、たまと真介という関係性について、どのように捉えていますか？

高田　たまと迅火は姉弟以上の信頼関係が構築されていて、阿吽の呼吸みたいなものを感じます。お互いを想い合い、大事にしている二人だけの空気感があって。精霊転化も信頼関係がないとできない行為だと思うので、固い絆で結ばれているんだと思います。そして、たまと真介は、たまと迅火よりも姉弟らしさがある気がします。たまは多くを語らない性格なのか、真介にアドバイスをすることはありません。真介は真面目で素直な人なので、アドバイスを与えれば絶対に伸びる人だとは思うんですが……。あえて言わずに、お姉ちゃんのように温かい視点で見守っているのかな。ただ、私の中で一番しっくりくるのは、迅火と真介が兄弟で、二人のお姉ちゃんとして、たまが見守っているという構図です。

――確かに、そう感じる場面が多くありますね（笑）。アフレ〔コ〕はどなたと一緒になることが多かったのでしょうか？

高田　旅のメンバーは揃ってアフレコをすることができました。現場では、迅火役の斉藤（壮馬）さんと真介役の木村（良平）さんの声の張り合いから、臨場感を肌で感じていました。魂の叫びが第1話からずっと続くので、毎話クライマックスなんじゃないかと思うほどで。お二方は汗だくになって演じていたので、私はひたすらのど飴を配っていました（笑）。たしか木村さんは、真介が闇に対する前知識がないという設定を再現するために、あえて台本以上の話は漫画で読まれなかったそうで。先を知っているキャストと「ネタバレするなよ〜！」みたいなやり取りがありました。皆さんと和気あいあいとした雰囲気で収録できましたね。

――今後の見どころを含め、読者にメッセージをお願いします！

高田　ここまでたま、迅火、真介を中心にお話させていただきましたが、第2話は灼岩という女の子と出会うところからスタートします。この出会いは、第一部「戦国妖狐 世直し姉弟編」の大きな出会いになります。今後の展開も熱いですし、登場するキャラ全員が魅力的で、大事な役割を持っています。全3クール見逃すことなく、味わっていただけると嬉しいです！

夜はスナックで夢見心地！

小雨
一見、スナックバス江スタッフの中では常識と良識を持ち合わせているように思えるが、実際はそうでもない

バス江
ボンパドールの髪型にサングラスと、インパクト抜群なビジュアルが特徴。訪れる客に不思議と安心感を与えてくれる、みんなのママ

Tatsunii
タツ兄

「試される大地」こと日本列島最北の地・北海道。道内最大の繁華街すすきの――から5駅離れた北24条にあるスナックバス江には、今宵も語らいの場を求める客が足を運ぶ。

「週刊ヤングジャンプ」の〝場末（巻末）〟で連載中の、スナック流ムダ話コミックがアニメ化。作り手がこだわったのは、あくまで本物のスナックのような空気感だ。目まぐるしいアクションや、今どきのギャグアニメ、ショート動画のような間断のないテンポ感があるわけではまったくない。

作品のベースとなるのは、強烈な個性の持ち主である明美やバス江たち〝スナックバス江〟のスタッフと、これまたインパクト絶大な常連客・一見さんによる、ワンシチュエーションの会話劇。緩急の伴った会話からは、お酒と陽気な笑い声が絡み合うスナックの雰囲気を味わえる。思わず近所のスナックを探してしまうような感覚とともに、〝スナック通い〟が今年の流行語になる未来が視えてくるかも？

笑いとゆったりと流れる空気で、癒しやエネルギーを与えてくれる心のオアシス、スナックバス江にぜひご来店を。

スナックバス江

＊1月12日より放送開始＊毎週金曜日＊深夜1時5分
＊TOKYO MX、HTB北海道テレビほか
HP＊https://snackbasue.com/　X（Twitter）＊@snackbasue

STAFF　原作　フォビドゥン澁川『スナックバス江』（集英社「週刊ヤングジャンプ」連載）　監督・脚本・シリーズ構成・美術監督　芦名みのる　キャラクターデザイン・作画総監督　富山。　撮影監督／大久保澗一　音響監督／郷 文裕貴　音響効果／古谷友二　音楽／小鷲翔太　アニメーション制作　スタジオぷYUKAI
CAST　明美／高橋李依　バス江／斎藤貴美子　小雨／宮本侑芽　山田／阿座上洋平　タツ兄／落合福嗣　森田／岩崎諒太　風間　福島 潤　東 美樹／笠間 淳　カワちゃん／濱野大輝　勇者／高橋良輔

取材に行って経費で酒が呑める!

【監督・脚本・シリーズ構成・美術監督】芦名みのる

ファンが観たい話をすべてアニメに!

——本作は芦名さんがヤングジャンプ編集部に、アニメ化の企画を持ち込んだそうですね。

芦名　前々から飲み会などでアニメ関係者とか相手に「『バス江』のアニメやりてぇ～!」とずっと言っていたのですが、そのたびに「いやぁ、難しいでしょ……」と返されてきて(笑)。普通、原作もののアニメで出版社に許諾を取ったりするのは、製作側の仕事なんです。でも、アニメを現実化するには味方を集めるのが先だと思って、ヤングジャンプ編集部に乗り込んで「アニメ化したいんや!」と熱意を伝えて、プロデューサーたちに「これだけ仲間集まったから、俺にアニメ化するための金を出してくれ!」と(笑)。

——そこまで熱意を持ってアニメ化したいと思った、原作の魅力を挙げるとしたらどこでしょうか?

芦名　ネタの引き出しが多いことですね。星新一のショートショートと並ぶくらいテーマが出てきますよね。さらに、一話の中にたくさんギャグが入っているから、何回読んでも面白い。手数の多さにフォビドゥン澁川先生の天才性を感じましたし、アニメでもそこは表現したいと思いました。僕はもともと、スナックといった夜の街の文化が好きなのですが、コロナもあってそういう文化が減っていってるじゃないですか。僕はこのアニメがスナックに行くきっかけになればいいなとも考えました。制作面の話でいうと、ウチ(スタジオぷYUKAI)はもともと決まった空間で展開するアニメーションが得意な作り方をしているんです。スナックの中だけで話が進行する『バス江』とは相性が良かったですね。あと、とても大事なことなのですが、『バス江』なら取材と称してスナックに行っても許される! もっと乱暴に言うと、経費で酒を呑んでも許される、みたいな?(笑)

——(笑)。シリーズ構成や、エピソードのセレクトで意識したことは?

芦名　原作ファンがアニメで観たい、自分がアニメで観たいと思ったエピソードは、全部やろうという決意で、ほぼNGなしの構成でアニメ化できました。さすがにご時世的に誤解を招きそうな部分は多少アレンジしましたが、『バス江』で日和ってはいけないという想いを、関わる人みんなが理解してくれたと感じましたね。あとは人気のある山田、タツ兄、森田は毎週必ず出す。小雨、東、風間にも出番を作るなど、登場キャラクターのバランスには気をつけました。

——台本を見て驚いたのですが、あのネコたちも出るんですね……(笑)。

芦名　コレはある意味一番大変でした(笑)。彼らに限らず他のゲストキャラクターもとても豪華なので、ぜひ楽しみにしてください。ガッカリはさせません。

スナックらしさを目指した芝居と音楽

——キャスティングで大切にされたポイントを教えてください。

芦名　スナック自体がゆっくり落ち着く場なのもありますが、何より作品傾向として内容をしっかり理解してこそ笑えるギャグですから、喋る速度と間(ま)を大切にしないといけないなと。だから、その意図を理解したうえで演じてくださる方にお願いしたいと思っていました。結果的に素晴らしいメンバーが揃いましたね。オーディションで決めたキャラクターもいますが、明美役の高橋李依さん、バス江役の斉藤貴美子さんはオファーです。高橋さんは若いキャラを演じることが多いのですが、実は演技の幅がとても広い人なんですよね。だから、高橋さんの大人な雰囲気を出した演技がハマると確信していました。ひどい役ですが、引き受けてもらえて嬉しかったです。斉藤さんはみんなで雑談できる、肩の力を抜いた空気感を作るのが上手な方です。そういう意味で、現場でもママとして完璧だなと。そんな二人がまわすアフレコ現場ですから、みんなものすごく仲が良い感じで収録が進みました。まるでスナックみたいに(笑)。

——エセ関西弁を話す森田役を、関西出身の岩崎諒太さんが演じることは、キャスト発表時に話題となりました。

芦名　岩崎くんにはエセ関西弁ということを無理に意識せず、関西弁そのままで演じてもらっています。僕も関西出身なんですが、実際の関西弁は言葉少なく雑に喋るから、きちんと話すアニメの関西弁って、充分エセに聞こえるんですよ。今回は無理してアクセントを上げるなどのクセは付けず、普通の感じでお願いします、と。ちなみに森田は、原作読者の中でも、高い声なのか低い声なのかイメージが分かれていると思いましたが、アニメでは高い声ということにさせてもらいました。ほかの常連でいえば、山田役の阿座上(洋平)さんのツッコミはなくてはならないし、東 美樹役の笠間 淳さんと、風間役の福島 潤さんのじゅんコンビのギャグのぶっ込みも最高ですし、カワちゃん役の濱野大輝さんの落ち着いてひどい発言も聞いていて安心感がある。3人とも別のタイトルでご一緒していたので、人となりはよく存じ上げています。『バス江』キャストは周りの演技やシチュエーションを考えて演じる、実力派ばかりですね。まあ、呑みながらただ喋っているだけにしか聞こえませんが(笑)、そのように思わせるのが素晴らしいです。

——スナックらしさという意味だと、劇伴などの音づかいも印象的です。

芦名　激しい音楽を多用したほうがギャグアニメって映えるんですよ。でも、スナックの雰囲気を出すために、あえて実際に店内で流れているような音楽が欲しいとお願いしました。EDで歌われるカラオケの選曲も、実際のスナックで歌われているような曲にバッチリなっていると思います。ずっとまったりしていますね。要は関西ローカルで放映されていた、『たかじんnoばぁ～』みたいなフォーマットの番組なんだと思います。セットにゲストが来て喋って、最後にちょこっと歌って終わりって。伝わる世代が限られてきますけど(笑)。

——最後に読者へのメッセージをお願いします。

芦名　ファンの皆さんが待っているセリフもたくさんあると思います。はい! 言います! さらに皆さんが待っているキャラも出ます! 何より回を増すごとにどんどん内容がヒドくなる!(笑) パロディネタや下ネタもふんだんですが、意外とピー音なしでお届けできるかと。とは言っても、ひどすぎてTVに流せず、BD特典になった話もありますが……(笑)。でも、本当にキャラクター全員が魅力的な作品です。明美がいて、バス江ママがいて、小雨がいて、話すと楽しい常連たちもいる。めっちゃ良い店だなとこのアニメを作っていて改めて感じましたし、観た人にもそう思ってもらえたらいいなと思います。僕とスタジオぷYUKAIが培ってきたものが、アニメ『スナックバス江』には注ぎ込まれているので、スタッフクレジットの少なさと共に注目してください(笑)。応援よろしくお願いします!

白羽の矢が立つ!

干支を冠する男・タツ兄

常連客のタツ兄は強面だが気さくな性格で、"おじさんあるある"を肴にして明美たちに絡む。実はキャスティングに最も難航したキャラクターだそう。芦名監督いわく「ちょっとくたびれているのに自然」なところが決め手となり、落合福嗣さんに決定。

目指したのは"普通の会話"

勢いやテンポ感が重視される今のギャグアニメーションの流れに逆行し、本作はあえて会話の「間(ま)」が意識されている。「スナックって、ゆっくりするために行く場なんですよ。だから肩肘の張らない、普通の会話のようなゆったりとした喋りを展開することはとても意識しました」(芦名)

絵に影響を与える熱演

キャスト陣の熱演も本作の見どころ。制作現場では想定外の事態も起きたとか。「昨今の人気アニメのような予算はありません。コストを考えないといけないアニメなので、同じレイアウトで極力絵を使い回そうと思っていたんですけど、キャストの皆さんの演技が素晴らしいせいで、しっかり作画しないといけなくなっちゃって結構カロリーかかってます」(芦名)

これぞ画竜点睛!?

店のモデルはリアルバス江

スナックバス江の設定のモデルになったのは、芦名監督行きつけの仙台のスナック。偶然にも原作の店内に近いレイアウトだったという。「お店のあらゆる場所を撮影し、3Dで背景をモデリングしました。店を知ってる人は『あの店じゃない?』ってなると思います(笑)」(芦名)

Illustrated by Takeru Miyano
Supervised by Hitomi Kaino
Painted by Hitomi Fuji
Finished by fogproduct

最強の流儀

一度は憧れたことがあるかもしれない"最強"の称号
人並み外れた力を持った彼ら・彼女らにはそれに相応しい生き方や
普通の人にはない悩みもある!?

気づいたら最強!?

最強が生きる世界　ようこそヒカユウの世界へ

"私"が転生してきたのは、剣と魔法の世界が舞台のRPG系乙女ゲーム。第1話のゲームOP風の演出は、原作やコミカライズにはないアニメ独自の要素で、驚いた人も多いはず

最強の証!?　うっかりに注意!?

いざとなったら自力で魔王を倒せるようにとレベル上げした結果、ゲーマー魂に火が付いてダンジョンを周回しまくり、本人も知らぬうちにレベル99になっていたユミエラ。今後もうっかりミ……

最強の隣に　友達は頼れる少年？

周りから敬遠されがちなユミエ……

◆パトリック・アッシュバトン

不吉、悪の象徴とされる黒髪を持ち、主人公のアリシア・エンライトに嫌がらせをする悪役令嬢、ユミエラ・ドルクネス。その正体は、アリシアたちが魔王を倒した後に現れる、レベル……刀打ちできないほど超強力な裏ボス――というのが本来の『光の魔法と勇者様』ことヒカユウの設定だ。なぜかユミエラに転生した"私"は、ユミエラとしてこの世界で生きるため、ゲームのストーリーに関与しないと決意するが……。

自分がラスボス以上の最強スペックの持ち主と知りながらも、実力がバレたくないと考えているのが、ユミエラのユニークなポイント。悪役ムーブを回避して目立たず、平穏に生きようとするユミエラだが、王立学園の新入生が受けるレベル判定でレベル99と知れ渡ることになり、入学早々に先行きが危うくなってしまう。

今後の展開でユミエラは自身の能力を発揮したことで、周囲の人たちから魔王と疑われてしまう事態に。波乱の学園生活は、まだ始まったばかり！

悪役令嬢レベル99
～私は裏ボスですが魔王ではありません～

毎週火曜日◆深夜0時30分◆TOKYO MXほか
HP　https://akuyakulv99-anime.com/
X(Twitter)◆@akuyakuLV99

強さの秘訣は感情表現？

監督　山岡 実

──主人公のユミエラの印象や描き方で気をつけたことを教えてください。

山岡　ユミエラは孤独な人間なんですが、それを嫌がっていない性質を持っていると感じました。自分とちょっと似ている部分もあって、シンパシーを抱きましたね。原作チームからの要望もあり、基本的に無表情で、セリフも感情をつけずに喋ることを、ユミエラの描写の軸にしました。

──感情表現が巧みな印象のあるファイルーズあいさんがユミエラを演じることは、意外に思いました。

山岡　ドラマCDから引き続きのキャスティングなんですが、ファイルーズさんは本当に明るい方で、ユミエラと真逆な印象を受けました。アフレコでは時々感情を抑えるよう提案させていただきましたが、基本的には役を自分の中に落とし込んで、上手く演じていただいた記憶があります。

──ユミエラはクールな中にも、どこかかわいらしさを感じられるのが印象的です。

山岡　それに関してはディレクションで特別意図したものではなくて、ファイルーズさんご自身が持っているものが出ているのかなと。ほかのキャラクターとの絡みでは、彼女ならではの目線で冷静にツッコミを入れているところに、愛嬌が感じられると思います。

──強大な力を持つユミエラの強さを表現するうえで、意識したことはなんでしょうか？

山岡　先ほどのお話と重なりますが、感情を表に出さない、表情をつけすぎないことです。僕らの世代で言えば、『北斗の拳』のラオウや『グラップラー刃牙』の花山薫みたいに、感情が見えないヤツは強いというイメージがあって（笑）。演技をなるべく抑えることで、強さが出せるんじゃないかと考えました。

──ほかにユミエラに関する演出で気をつけた点は？

山岡　魔法を使う場面で纏わせているオーラに、少し赤い光を入れてもらっています。真っ黒にすると、本当に悪役に見えてしまうと思ったんですよね。あと、ユミエラ本人というより周りの描写なんですが、彼女を際立たせるために、ほかのキャラクターの色付けや背景で、極力黒色を使わないようにしました。黒色が忌み嫌われている世界観や、その中でユミエラだけが黒髪だという、原作の要素を崩したくなかったんです。

──ちなみに、山岡さんが考える最強の人やものはなんですか？

山岡　Mリーグ（麻雀のプロリーグ戦）のKADOKAWAサクラナイツに所属している、渋川難波選手です（笑）。渋川さんは、Mトーナメントという現役のプロ雀士のトーナメント戦でも、優勝したことがある方で。麻雀はその時の運の要素が絡んでくるのですが、運を味方につけるというのは、最強の要素の一つじゃないかなと。オリンピックなども、ピークの時期が開催のタイミングと重なった人のほうが強いと思いますし。

──確かに運は強さの大事な要素ですね。すでに放送された第1話では、ユミエラがAパートのラストまで全く出てこない構成に驚かされました。

山岡　原作小説やコミカライズにない、アニメオリジナルの仕掛けを入れたいと、シリーズ構成の志茂文彦さんや、エグゼクティブプロデューサーの田中翔さんたちと話していたんです。ゲームのオープニングを入れるアイデアを提案してくださったのは田中さんで。僕はやりすぎかとも思ったんですが、作品の世界観が端的に表現できてよかったと思います。ご覧になった方に「ナンだこのアニメ!?」と、気に留めてもらえたら嬉しいです。

──第2話以降の見どころをお願いします。

山岡　第2話では、ユミエラの強さの片鱗が見える魔法が登場するので、そこに注目してほしいですね。原作の世界観をベースにしてはいますが、原作やコミカライズとは違う世界線の物語として、アニメも楽しんでいただければ幸いです。

◇ユミエラ・ドルクネス
声・ファイルーズあい

闇属性魔法を使う悪役令嬢。前世は日本の女子大生で、5歳の時にヒカユウの世界に転生したと気づいた。あまり感情が顔に出ない

◇アリシア・エンライト
声・和氣あず未

ヒカユウの主人公。貴重な光属性魔法の使い手。困っている人を見過ごせない朗らかな性格で、学園の王子たちなど周囲に好かれる

コイツが裏最強!?

◇エレノーラ・ヒルローズ
声・日高里菜

高遠夜霧
即死チートが最強
✦毎週木曜日✦深夜0時30分　TOKYO MXほか
HP✦https://sokushicheat-pr.com/
X(Twitter)✦@sokushicheat_pr
©藤孝剛志／アース・スター エンターテイメント／即死チート製作委員会
最強の流儀
なろう系最強の男!

最強が生きる世界　人々を抑圧する賢者たち

この世界に召喚され《ギフト》を得た者は賢者候補となる。賢者はこの世界を守るべき立場だが、多くの者は力に溺れ歪んだ性格。夜霧たちを召喚したレオンも、そんな賢者の一人だ

最強の隣に　なりゆきで旅の道連れに

夜霧と知千佳は、第1話のバスの中で初めてまともに会話をした間柄。《ギフト》を持たない知千佳としては、夜霧の力は頼りになるので、なりゆきでパートナーの関係に。

最強の証!!　相手を即死させる能力

夜霧の能力は、この世界を統べる賢者たちの力をはるかにしのぐ。相手の殺意を瞬間的に察知でき、指を差して「死ね」と言えば即死。実は殺したい相手に意識を集中しさえすればいいという。この世界に来て発現した力ではないようで、その意味で夜霧の過去も気になる。

修学旅行中のバスがトンネルを抜けると、そこはまさかの異世界だった!?　そんな突飛なシチュエーションで始まる本作は、タイトル通りに、相手を意のままに即死させる能力を持つ高校生が、異世界で無双の旅をする物語だ。

異世界に「賢者候補」として召喚された高遠夜霧、壇ノ浦知千佳とクラスメイトたち。しかし多くの生徒は《ギフト》という特殊能力を与えられていた。そしてあろうことか彼らは、ギフトを得られなかった夜霧たち数人を「足手まとい」として、ドラゴンの餌食にする選択を平然と採った!

ドラゴンに惨殺されるクラスメイトたちを前に、恐れおののく知千佳だが、夜霧が持っている即死能力によって一撃で危機を回避!　さらに、レベルアップした能力で挑んできたクラスメイトの花川たち男子3人組も、夜霧の敵ではなかった!

かくてクールな夜霧と、どこかお気楽な知千佳の珍道中が始まった。だがここが、多くの賢者たちによって抑圧されている世界だということを、二人はまだ知らなかった――。

気だるげ男子とツッコミ女子のデコボココンビ

即死チート能力で俗物たちをやっつける

――異世界転生ものに菱田監督が携わるのは珍しいですよね?

菱田　というか初めてですよ。最近トレンドの異世界転生ものに触れたこと自体、これが初めてです。『即死チート』の原作小説はすでに完結していますけど、登場人物がとにかく多いんですよね。そこを踏まえた上で、僕のような異世界転生作品の初心者にも分かりやすく作ることを心掛けています。

――夜霧が処断する賢者たちは、基本的に他人を抑圧する俗物たちです。そこは、菱田監督が手がけた『Fairy蘭丸～あなたの心お助けします～』に通じる感じがします。

菱田　基本は同じですよ。今回も嫌なヤツをやっつけていく話です。だから、僕に合っていたんでしょうね。僕の心の中の口癖は、夜霧が能力を発揮する時のキーワードの「死ね!」なので。あくまで心の中の口癖ですが(笑)。だから、そのあたりはスパッとハマった感じはありました。

――シリーズ構成・脚本も言葉謙名義で担当していますが。

菱田　この作品を引き受けたのが、僕がちょうど50歳になった頃だったのと、オクルトノボルという新しい会社で制作するので、一つの作品に腰を据えて全話の脚本段階からじっくり関わりたいと思ったんです。僕が『プリティーリズム』シリーズをやっていた30代後半から40代は、どんな仕事でも受けてこなしていたんですね。多い時は3つくらい、全然傾向の違う作品の監督もしていました。でも、さすがに体力的に厳しいし、頭の切り替えもついていかなくなった。なので、新しい形でやってみたいと思ったわけです。まぁ平たく言えば、歳だからですよ(笑)。

――メインの夜霧と知千佳について、どのように捉えていますか?

菱田　夜霧は「なろう系最強」とまで言われている主人公ですが、物語は実質、知千佳が引っ張っていきます。知千佳が隣でツッコミ役として機能してくれるからこそ、物語が成り立つんです。そうでないと、夜霧と出会ったヤツがひたすら死んでいくだけの話になると思うので(笑)。それと、知千佳は壇ノ浦流という武術のスペシャリストで、結構な修羅場をくぐり抜けてきた子なんです。死生観も意外と夜霧に近いところがあって。だからこそ、目の前で人がバンバン死んでも、意外と平気なんです。

――それで、状況に驚愕はしつつも、そこそこ平常心でいられるわけですね。

菱田　普通だったら、気が触れちゃったり気を失ったりしそうですけどね。夜霧のものすごい力についても、意外とすんなり受け入れちゃう。今後、守護霊のもこもこという、またとんでもないヤツが旅に加わるんですけど、それも知千佳は受け入れちゃう。そういう肝が座っている部分は面白いです。知千佳の芝居の方向としては、いわゆるぶりっ子をさせない。叫ぶ時は汚い声を張り上げる。素の感じ、「女子しかいない状況での女子のリアクション」をやってもらっています。

――ちょっと明け透けな感じなんですね(笑)。

菱田　そういうところが、僕は好きですね。演じる富田美憂さんも、そのあたりをつかんで楽しく演じてくれました。作品タイトルは夜霧のことを指していますが、知千佳の物語でもあるんですよ。

だんだんと近づいていく夜霧と知千佳の関係

――夜霧の最強具合を見せる上で意識していることは?

菱田　夜霧が無理して頑張っているように見せないことです。一生懸命に相手を殺すのではなくて、そうなる前の段階で、汗もかかずに淡々と相手を即死させます。あと、激怒はしない。殺すシーンでも、喜怒哀楽を抑えていくことですね。

――夜霧が指を差した途端、相手がノーリアクションで倒れてしまう呆気なさもポイントですね。

菱田　そこも徹底しています。相手が死ぬ時は、劇的に倒れるのではなく、電池が切れた人形のように力がなくなって倒れます。とはいえ、一番見せ場になるところではあるため、画的に何もしないのも寂しい。なので、死んだ瞬間に画面の色を変える処理を入れて、「相手が死んだ」ことを分かりやすく伝えています。

――第1話は絵コンテ・演出も菱田監督でしたが、気をつけたことは?

菱田　夜霧と知千佳はクラスメイトでありながら、ちゃんと話をするのは第1話が初で、そこからお互いの心が近づいていく。そういうストーリーなんです。だから、知り合うきっかけを丁寧に描いて、この先、二人の関係が深まっていく道筋を見せました。

――第1話はアバンも印象的です。夜霧の幼少期で、とても謎めいていました。

菱田　夜霧の小さい頃の話は、今後も出てきます。夜霧の人格を構成する上でとても大事な話になっていて、ちらっと登場した朝霞という女性も物語に関係してきます。原作小説を読んで、この過去の話がすごく面白かったんですよ。これは丁寧に見せておきたいと思ったので、その振りとして、第1話アバンに入れました。

――今後の展開を楽しみにしています。最後に、現実世界で菱田監督が最強だと思う人は?

菱田　そうだなぁ、やっぱり富野由悠季監督じゃないかな。80歳を過ぎて、今もお元気で何よりですが、僕はサンライズ(現・バンダイナムコフィルムワークス)で姿を見かけると、思わずサッと隠れてしまいます。僕より年上のサンライズの演出さんは、みんな同じことを言うんです(笑)。それくらい、富野さんって最強なんだと思います。そういえば、もう20年くらい前の話になりますけど、上井草にサンライズがあった頃、富野さんは杉並区の市民プールで一泳ぎして、会社に歩いて戻ってきていたんですよ。しかも、海パン一丁にタオルを掛けてね。「この人、最強だ!」って思いましたよ(笑)。

★菱田監督のお話は次号に続きます。お楽しみに!

コイツが裏最強!?

◇遠い鉤爪のユノ

◇世界詞のキア
声・悠木碧

◇赤い紙箋のエレア
声・能登麻美子

最強・最強・最強！

魔王が何者かによって倒され、平穏が訪れた世界。だがある日、学術都市のナガンが大迷宮から現れた機魔（ゴーレム）の襲撃で壊滅。騒乱の只中にいたユノは、親友のリュセルスを目の前で失い、絶望に打ちひしがれる。そんな彼女の前に突然現れた、異世界から訪れし剣豪ソウジロウは、機魔たちを一刀のもとに斬り捨てた。ユノは理不尽なまでの力を振るう強者に憎悪を抱き、復讐することを誓う。

今作の特徴は、最強を誇る"修羅"が群雄割拠の様相を呈する群像劇であること。驚異的な槍術と音より速い機動力を誇るスケルトンの傭兵、武器や道具の扱いに長けた三本腕のワイバーンなど、修羅たちの在り方はさまざま。次から次へと現れる、強烈な個性と異能を宿す修羅たちが関わり合い、殺し合う物語が描かれる。

最大の国家である黄都との戦争に備えて、修羅を呼び集めるリチア新公国。一方、黄都も修羅によるリチア首脳の暗殺を目論んでいた。最強と最強が激突する、人智を超えた戦いの幕開けは近い――

最強の証！
理を超越した殺戮の剣技

「全員が最強」を貫く
総監督 高橋丈夫×監督 小川優樹

――原作小説を読んだ印象をお聞かせください。

小川 次々と最強と呼ばれるキャラクターが登場し、話が進むにつれてぶつかり合ったり、仲間になったりしていく。そういう群像劇的な要素が魅力だと感じました。キャラクターたちが、ほかの作品の主役レベルの技を持っていることも面白いなと。

高橋 強さの描写やバトル演出に全振りしているような話の作りに、ほかの作品とは一味違う面白さを感じました。小川監督も話していましたが、作品全体の主人公がいない群像劇になっていることも印象的でした。

――アニメ化にあたっては、やはりバトル描写にこだわられたのでしょうか？

高橋 そうですね。とにかく全編を通して、バトル演出が見劣りしないように力を入れています。

小川 各話でメインとなるキャラクターが異なるので、映像にするうえでキャラクターごとに強い・弱いの優劣を出さないことに気をつけました。キャラクターによって強さの差が出てしまうと、「全員が最強」というキャッチコピーから逸れてしまうので。

――すで[illegible]ソウジロウ、遠い鉤爪のユノの印象は？

高橋 ソウジロウは見た目が全てというか、戦い以外に何も考えていないバトルジャンキーです（笑）。ユノはすごく不安定な感じで、あまり自分がないタイプの子。だからこそ、リュセルスに惹かれたり、ソウジロウに反発したりと、個性が強いキャラクターたちに、反応を見せていくのかなと。

小川 ユノは大切なものを失ったところからスタートしましたが、ほかのキャラクターと絡むうちに、少しずつ成長していきます。ソウジロウは、とてもわかりやすい強キャラ。何でも斬るし、戦うこと以外は気にしないところが、見ていて好きなキャラクターです。

――ソウジロウの強さの表現で[illegible]されたことはありますか？

高橋 第1話に限らずですが、バトルが続いている間はテンションが落ちてしまわないように気をつけていました。途中で休憩したり、話が別の方向に行ったりすると、視聴者の緊張感も途切れてしまうので、最後までどうエスカレートさせていくかは大切にしましたね。

小川 第1話の絵コンテは高橋さんが描かれているので、僕はその勢いに乗って、凄いと感じてもらえるものを、映像としてどう見せられるか意識しました。

高橋 第1話はとにかくカット数が多くて、尺に収めるのが結構大変でした（笑）。

最強の流儀
右も左も最強

異修羅
◆毎週水曜日◆夜11時◆TOKYO MXほか
HP◆https://ishura-anime.com/
X(Twitter)◆@ishura_anime

最強の隣に"最弱"の復讐者ユノ

全てを失ったユノは、不条理な力を持つ強者の存在そのものを憎む。

最強が生きる世界 修羅が跋扈する魔境

ソウジロウが訪れた世界には、最強の力を持つ数多の修羅が存在する。黄都とリチア新公国に集結する修羅たち。闘争を求めるソウジロウと彼らの道が交わった時、何が起きる？

コイフが裏最強!?

「強い、とはまた違いますが、月嵐のラナは思い入れがありますね。彼女は一般人より少し強いくらいで、もっと強いキャラに振り回されてしまうんです。それでもしっかりあの世界で、がんばって生きているというところが好きです」小川

「作画とCGの絡みも含めて、どこまで踏み込んで描くか苦労したという意味で、第1話のジャイアントゴーレムですかね（笑）」高橋

小川　そうでしたね。機魔（ゴーレム）との戦闘シーンなど、作画と3Dを組み合わせるシーンが多く、普通のアニメではやれないような演出にいろいろ挑戦できた感じがします。

――ソウジロウ役の梶裕貴さん、ユノ役の上田麗奈さんの印象は？

小川　僕がアフレコに立ち会ったのですが、梶さんは感情表現や、叫びや動きに合わせた息の入れ方がとても上手で。力を入れていないのに強い相手を倒すソウジロウの魅力や、一瞬でその場から離れたと思ったら敵を斬っている動きのメリハリは、梶さんの演技と合わさって映像に乗せられたのかなと。ユノ役の上田さんは、静かで内気なところから、ソウジロウを恨んでいく感情の表現を、ディレクションで調整しながら上手く演技してもらいました。

――ちなみに、お二人が考える最強の人や物はなんですか？

小川　今だと会社に行くための自転車ですね。電車やバスが走っていない時間帯に仕事が終わっても、いつでも家に帰れるんで、チャリが最強です（笑）。

高橋　うーん、俺は妻かなぁ……体調管理もしてもらっていて、頭が上がらないです。

一同　（笑）。

――最後に今後の見どころをお願いします。

小川　ぶつかり合う最強たちだけでなく、彼らに振り回されている兵士や、普通に暮らしている人たちもこだわって作っています。あの世界に生きている人たちの描写にも、目を向けてもらえたら嬉しいですね。

高橋　最初の小川さんのお話とも重なりますが、序盤は最強キャラたちを紹介していき、第5話くらいから彼らが衝突し、バトルも盛り上がっていきます。そして、キャストも最強な方々ばかりです（笑）。ぜひキャラクターが持つエネルギーを感じながら、後半の展開に期待していただければと思います。

忍び寄る影

1月より放送が始まった『青エク』の新章「島根啓明結社篇」。
謎多き組織「イルミナティ」の登場によって、
壮絶な真実が今、燐たちに明かされる!!

祓魔師(エクソシスト)――それは、人や物質にとり憑いた悪魔を祓うことを生業とする者。人間と悪魔の血を引いている奥村燐は、義父・獅郎の仇を討って「サタンをぶん殴る」ため、祓魔師になることを決意する。
京都で復活した不浄王の討伐を終え、平和な日常を過ごす燐たち祓魔塾生。しかし、学園では悪魔が見える生徒が現れるなど、異変が起きていた。はじめは苦戦していた燐たちだが、分析能力に長けた子猫丸の作戦が見事にはまり、"擬態霊(ミミクリースピリット)"を祓うことに成功した。
これから楽しい学園祭が始まるというのに、世界では異変の波が広がっている。何か企むようなメフィストの不敵な笑みも気になるが、林間合宿や不浄王討伐を共に乗り越えてきた燐たちなら、どんな悪魔相手だろうと怖いものはない!?

おさらい [祓魔塾]

正十字騎士團内に設けられた、祓魔師養成機関。燐を含めた訓練生たちは、夏休み前の抜き打ち試験を経て、全員が候補生に昇格した。授業科目は雪男が教える悪魔薬学を始め、悪魔学、グリモア学などさまざま。

おさらい [物質界(アッシャー)と虚無界(ゲヘナ)]

物質界は人間が住む世界。虚無界は悪魔が住む世界。悪魔はあらゆる物質に憑依することで、物質界に干渉する。第1話では、メフィストの力により燐の意識は虚無界へと一時的に次元移動させられた。

祓魔師を志望する人は、まず訓練生(ペイジ)として祓魔の基礎を学ぶ。のちに認定試験に合格すると候補生(エクスワイア)となり、より専門的な実践訓練を受ける。現在の燐は、この候補生に位置している。

おさらい [祓魔師の階級と称号(マイスター)]

祓魔師の階級は、上から上一級・上二級・中一級・中二級・下一級・下二級がある。上一級のさらに上の名誉称号として名誉騎士、四大騎士。そして、ただ一人にのみ与えられる最強の称号・聖騎士が存在する。

燐宛てのラブレター!?

可愛らしい封筒と丸文字で書かれた手紙は、燐へのラブレター……ではなく、メフィストからの晩餐のお誘いだった。わざと誤解を生む封筒を使ったのは、メフィストのいたずら?

悪魔の弱点

人間の想像をはるかに超える力を持つ悪魔だが、尾と心臓という弱点がある。ほとんどの悪魔がそれらを隠す中、燐は一切気にせず、丸出しであることが多い。メフィストいわく、見ている側が恥ずかしくなるほど、燐は無防備らしい。

雪男の悩み?

雪男がニコニコしているときは、何かを隠している証拠。燐は本人に直接「何か隠してないか?」と聞くが、雪男は笑顔を崩さない。クロも雪男の隠し事に勘づいているが……

脱・燐頼りの戦法

何でも詠唱で片づけようとしてしまう勝呂、積極性に欠けるしえみ、本気で詠唱騎士(アリア)を目指さない志摩に対して、子猫丸は喝を入れる。これからの戦いは、燐に頼ってばかりではいられない!?

青の祓魔師(エクソシスト) 島根啓明結社(イルミナティ)篇

✦毎週土曜日✦深夜0時30分✦TOKYO MX ほか
HP✦https://www.ao-ex.com/　X(Twitter)✦@aoex_anime

Composite by Shinnosuke Kato
ぶっちぎり?!
HP◎bucchigiri.jp
©「ぶっちぎり?!」製作委員会
STAFF　原作／内海紘子・岸本 卓・MAPPA・東宝　監督／内海紘子　シリーズ構成・脚本／岸本 卓　キャラクターデザイン・総作画監督／加々美高浩
「Sesame」Kroi　エンディング・テーマ／「らぶじゅてーむ」甲田まひる
「ステゴロ」KDH & Novel Core
「God Mode」BALLISTIK BOYZ from EXILE TRIBE　NG BOYSチームソング「E-NERGY BOYS」DA PUMP
制作／MAPPA
CAST　灯 荒仁／大河元気　浅観音真宝／星野佑典　千夜／こばたけまさふみ　まほろ／永瀬アンナ　摩利人／佐々木望　華一郎／斉藤次郎　座布／野津山幸宏　駒男／山口勝平　王太／竹内良太　蛇走／古川 慎　刃暮／葉山翔太　阿久太郎／鈴木千尋
灯 荒仁
名前を呼ばれただけで
絶えない波乱万丈な学園生活の中で、
ココロと変わる彼の豊かな表情にも注目だ。
冴えない高校生となった灯 荒仁。
しかも幼馴染の浅観音真宝と
再会し、それをきっかけに強者たちの戦い
に巻き込まれていくことに。そんな中、
大な魔人の影が現れて……!?
監督・内海紘子、シリーズ構成・岸本卓、
キャラクターデザイン・加々美高浩、制作・
MAPPAが贈る、オリジナルアニメがいよ
いよ放送開始！　ヤンキー×千夜一夜物
語という、今まで見たことのないジャンル
に期待は高まるばかり。
ヤンキーものならではのチーム同士の抗
争や、力には力で対抗する泥臭いケンカ
は見応え抜群。また、硬派な古きよきヤン
キーを、カラフルなキャラクターデザイン
とポップな音楽でオシャレに彩っていると
ころも面白い。そして、そこに巻き込まれ
る荒仁と魔人・千夜の存在が、この作品を
とんでもなくぶっちぎったものへと昇華して
いる。どんな展開になるのか予想もつかな
世にもぶっ飛んだヤンキー×千夜一夜物語が開幕！
願いを叶える魔人が、ヤンキーたちの争いに介入すると一体どうなる!?
でも、荒仁の望みは童貞を捨てることで……!?
ぶっちぎりに
予想不可！

荒仁と真宝の関係性

灯 荒仁役　**大河元気**×**星野佑典**　浅観音真宝役

大河　難しい距離感の二人ですね　台本を読んで、荒仁として真宝との関係を考えたときに思ったのは、「本当に(真宝と)話したくない」だったんです　これは本編を観ていただければどういうことなのかわかると思いますが、荒仁を演じる上でとにかく真宝とは距離を取りたくて　でも、そこが強く出すぎていてもよくないというディレクションもいただいたので、その部分に気をつけながら演じました

星野　真宝を演じるにあたって、一番大切にしているのが荒仁への想いなんですよね　第1話で久しぶりに荒仁と再会して、なぜか素っ気ない対応をされるんだけど、真宝自身はすごく嬉しい　“真宝の中のあらちゃん”がいるので、僕もずっとそれを持ち続けて荒仁と接していました

大河　だから嫌なんですよ(笑)

星野　(笑)

大河　このすれ違いとかが、この作品の面白さでもありますね

星野　そうですね　荒仁と真宝が現在の関係値を形作るまでに何があったのか？　ひと言でポンと表せるような簡単な事柄ではないので、そこはぜひ本編を観ていただきたいです

大河　キービジュアルにも注目してほしいですね　実はいろいろな情報が詰まっているので、本編を観てから改めてビジュアルを見ると、きっと「なるほど！」と思うはずです　それを語って、皆さんの楽しみを削いでしまうのはもったいないので、今は黙っておきますね　ビジュアルを見て想像するものよりも、さらに面白いものが本編では出てくるので、楽しみにしていてください

浅観音真宝

荒仁とは幼馴染で、かつて共に修行し、“本気人”を目指していた。魅那斗會に所属しており、1年生ながらその実力を認められている

摩利人
Marito
シグマスクワッドのヘッドで、自由奔放な戦闘狂。魅那斗會の準一郎とはライバル関係にあり、威血須高校のテッペンを張っている

摩利人役 佐々木望 × 王太役 竹内良太

見た目やセリフに反して摩利人はピュアでかわいい!?

—キャスティングを見て、お二人はご指名かと思っていたのですが、オーディションだったそうですね。

竹内　オーディションの話をいただいたときは、40歳を過ぎてまだ高校生役をできるかもしれないとワクワクしました。テープオーディションは結構自由にやらせていただき、自分の高校時代を思い出しながらフレッシュな気持ちで臨みました。

佐々木　摩利人の絵とセリフを見たときに、きっと自分よりもピッタリな人がいるだろうなと思ったのですが、「狂暴さや厳つさより、ちょっとしたかわいさを求められている」とお聞きしたので、「面白いキャラクターだな。演じてみたい！」とテープオーディションに臨んだんです。それからずいぶん日にちが経ったので、「決まらなかったんだろうな」と思っていたら、スタジオオーディションの連絡が来て……。

竹内　摩利人はスタジオまで行ったんですね。

佐々木　二回オーディションを受けて、一層摩利人に愛着が生まれていたので、決まったときはとても嬉しかったです。

—摩利人の立ち絵を見ても、"かわいい"があまり想像できないのですが……。

佐々木　最初はすごくぶっ飛んでいるというか、既存のタイプに当てはまらないキャラクターという印象だったのですが、物語が進むにつれてどんどんかわいさが見えてきました。見目麗しく、強いけどゴツくなくてかわいい。そして内面はすごくピュアなんですよね。

竹内　自由で、何物にも縛られていないですよね。行きたいときに行き、ワクワクするときは全力でワクワクしていて。魅那斗會やNG BOYSとは違って戒律を気にせず、「自分のやりたいようにやる」という陽のエネルギーをすごく感じます。自由な生き方でとても羨ましいです。

—そんな摩利人と共にシグマスクワッドというチームを支えるのが、竹内さん演じる王太ですね。

竹内　王太は本当に高校生なのかなと疑ってしまうくらい、高校生らしからぬ大人の落ち着きを持っている人です。言葉数が少なく、動きで見せていくようなお芝居が多くて、どちらかというとお父さんのような目線で摩利人を見守っている印象があります。真っすぐな信念を持って摩利人と接し、シグマスクワッドに所属しているんだなというのは、最初のアフレコのときから感じました。

話数が進むと、摩利人との過去なども明らかになっていきますが、やっぱり視線は変わらず摩利人へ向いていますね。言葉では語らずとも、ずっと摩利人のことを気にかけているんだなと思いました。

佐々木　庇護者のような王太がいてくれるから、摩利人もピュアでいられ

これまでに"本気"になったことは？

星野　水泳とゲームですね。特に水泳に関しては、選手コースのあるクラブに年中から高校生までずっと通っていて、ジュニアオリンピックにも出場しました。今振り返ってみても、その十数年はひたすら水泳に真剣に打ち込んでいましたね。ゲームは子供のころから好きで、これもずっとやり続けてきていることです(笑)

大河　「全てのことに対して本気で取り組む」が僕の人生のテーマなので、全てが本気なのですが……直近で言えば、この『ぶっちぎり?!』ですね。叫ぶシーンのアフレコでは、その場で倒れそうになるくらい、手足が痺れるほどまで叫んで……。それだけ「本気でできた！」という幸せを感じられた作品なので、今本気でやっているものとなると、やはり『ぶっちぎり?!』が最初に頭に浮かんできます

るのかもしれません。一緒にいて自然だし、よき理解者だし、王太の前では一番自分でいられるので、親友よりももっと上の存在なのかも。摩利人と王太は「一心同体」と言ってもいい関係だと思います。

竹内　親友という言葉では足りないですよね。

先輩と後輩が入り混じり思い出話に花が咲く現場

——実際に演じてみての感想や、印象に残っているシーン、ディレクションがありましたら教えてください。

佐々木　摩利人は何を言い出すか、何をし出すかがわからなくて、毎回驚かされながら楽しく演じています。ある話数では、突然歌い出してビックリしました（笑）。

竹内　「王太はそこまで表情を出すキャラクターではない」というディレクションをいただいたので、内にこもった感情は持ちつつも、表現としては淡々としていたり、ちょっと熱を持つだけだったりという、微妙なところを狙って演じています。そのさじ加減が、結構難しいですね。

佐々木　内海（紘子）監督や菊田（浩巳）音響監督がイメージされている摩利人の像に、少しでも近づきたいので、演技をあまり決めすぎずにスタジオに行って、演出を受けながら演じています。摩利人は、脱力しているときとギラッとしているときのさじ加減が難しいですね。そこを作り込まずに自然に感情が変化するように心がけています。

竹内　相手の会話を受けたときに王太がどう思うのか、その新鮮な気持ちは残しておきたいので、僕もあまり作らずに、掛け合いで出てきたものを重視しようという気持ちで現場に臨んでいます。でも、10代の気持ち自体はしっかり作らないといけないので、そこは気をつけていますね。

——ケンカなど賑やかなシーンが多い作品ですが、アフレコ現場はどんな雰囲気ですか？

竹内　『ぶっちぎり?!』の現場って、先輩と後輩のバランスがよくて、雰囲気自体もすごくいいんです。平均年齢もちょっと高めなので、「昔、高校は学ランでした？　ブレザーでした？」「卒業式、第二ボタンどうしました？」みたいな懐かしいトークもあったりして（笑）。

佐々木　そんな話もしていましたね。それと、スタジオでは、シグマスクワッド、魅那斗會、NG BOYSで、自然と同じチームの人同士で近くに座っているのが面白かったです。

竹内　そうそう、近くに座り合って、懐かしい話をしたり、脚本の感想を語り合ったりと、和気あいあいとしていましたよね。これはやっぱり座長である大河元気くんの持つ雰囲気が、大きな影響を与えている気がします。それと、個人的な話ですが……望さんと一緒にお芝居ができるということ自体がとにかく嬉しいです！

佐々木　ありがとうございます！　こちらこそ！

わかりやすいように見えて荒仁は謎多き主人公！

——主人公の荒仁にはどんな印象を持っていますか？

佐々木　摩利人目線で言うと、荒仁は、目下「最大の興味の対象」という存在でしょうね。自分から見ると、荒仁は「つかめない人」という印象です。何か謎を秘めているように思えるのだけれど、それが何なのかはまだ見えてこない……そんな主人公です。

——どんなところでそう感じたのでしょうか？

佐々木　たとえば、荒仁の発するセリフでは、思ったことを全部言っているように見えて、実は言葉や態度に出していないこともいっぱいあるんだろうな、と感じます。

竹内　「ほかの学生とはちょっと違うな」と思わせる雰囲気を醸し出していますよね。ちょっと弱々しい言動だったり、「本当に強いのか？」と疑われるような性格だったりするのですが、やっぱりどこか怪しいような、もしかしたら何か隠し持っているんじゃないかと思わせるものがある。元気くんのお芝居も相まって、そこがさらに面白くなっていると思います。荒仁って感情の落差は王道で、わかりやすいんです。本気になるときはなるし、落ち込んだり、元気になったりするのも全部100%で表現が激しい。そこに謎めいた要素が加わることで、より面白いキャラクターになっているんだと思います。

——真宝の印象は？

佐々木　真宝は、摩利人や王太側から見ると距離がちょっと遠いので、まだ「爽やかで優しい」みたいなふんわりとした印象です。でも、真宝も荒仁と同じように、秘めた部分がきっとあるように感じます。

竹内　真宝は優しさが際立っていて、「優しすぎるけど大丈夫？」と少し心配になるキャラクターだなと思います。「胃が痛くなっているんじゃない？」みたいな。気遣いができる優しさがあって、ちゃんと強くて、しかも接しやすい……抗争しまくっているこの学校の中ではとても話しかけやすくて、ある意味イレギュラーな人ですね。

——摩利人と王太が所属するシグマスクワッドをはじめ、本作には3つのチームが登場します。それぞれリーダーの特色が出ていて、面白いですよね。

佐々木　シグマスクワッドは、まさに「THE 自由奔放」という言葉が似合うチーム。いい意味でバラバラ度が一番高いと思います。

竹内　確かに統一感はあまりないですね。摩利人のカリスマ性ありきで、チームとして機能している印象があります。

佐々木　摩利人本人はその自覚がなくて、それをわかって支えているのが王太ですね。

竹内　そうですね。反対に魅那斗會は、「THEチーム」という印象です。

佐々木　拳一郎は留年しているのを差し引いても、貫禄がありすぎですね。40歳くらいに見えますもん（笑）。NG BOYSはまだ謎で、今のところ阿久太郎が一人でずっと喋っている印象です（笑）。セリフ量が一番多そう。

竹内　確かに（笑）。主人公なのに、意外と荒仁のセリフ量が少ないんですよね。戦いになると周りがすごく喋るので。

——ちなみに、お二人がいずれかのチームに属するなら、どのチームがいいですか？

佐々木　あんまりどこにも属したくないかも（笑）。

竹内　強いて言うなら、やっぱりシグマスクワッドです。

佐々木　確かに、選ぶならシグマですね。魅那斗會はメンバーの関係性が定まっている分、ちょっと窮屈な感じがするし。

竹内　拳一郎も怖いですしね。シグマスクワッドは服装を含めいろいろと自由で、締めるところを締めておけばOKといった感じがあります。

佐々木　トップが摩利人なので、下っ端はいてもいなくても気にされずに自由にいられそうですよね。

竹内　そういう意味でも、一番気楽に過ごせそうですね。

——癖の強いキャラクターばかりですが、気が合いそうなキャラクターはいますか？

佐々木　もし自分が高校生で彼らとクラスメイトだとしたら、みんな怖そうなので深く関わるのは遠慮したいですが（笑）、王太や真宝とは付き合えそうです。荒仁とも普通に仲良くできるかも。摩利人はかわいいけどちょっと近づきにくいかな。

竹内　僕はいけますよ、摩利人。これは僕自身が上の立場になるよりも下で働きたい、働きアリになりたいという気質ゆえですね（笑）。摩利人の下でちょこちょこ働いて、「竹内、いいじゃねえか」と言われるような立ち位置になりたいです。

——最後に見どころを含め、読者へメッセージをお願いします。

佐々木　我々も何が何だか……という感じで、全貌は全くわからない作品です（笑）。

竹内　わからないですね（笑）。個人的には、各キャラクターのキャラ立ちがすごくて、特に荒仁のお母さんのやや子さんが懐かしさを感じるようなTHE 王道の濃いキャラクターなので、そこも注目していただければと思います。

佐々木　王道だけれど、キャラクターが多くてそれぞれに濃いので、第1話を観ただけで圧倒されてしまうかも（笑）。摩利人は既定路線から外れてぶっ飛んでいるし、王太も寡黙で過去が語られていない部分がありますが、そもそも主人公の荒仁が一見普通っぽいのに、実は不思議ですね。

竹内　一面しか見えていないですからね。

佐々木　荒仁がどんな人物で、摩利人をはじめ、周りのキャラクターたちにこれからどんなふうに関わって影響を与えていくのかを、私自身も楽しみにしているんです。

竹内　摩利人と王太で言うと、注目は今後放送されるとある回ですね。歌あり、「あっち向いてホイ」ありで弾けまくっています（笑）。

佐々木　そうそう、あの回はガチャガチャにぎやかで楽しいお話でした。

竹内　摩利人がちょっとだけグッと真剣になるシーンもあるので、そのカッコよさと望さんのお芝居をぜひ堪能してほしいです!!

Nozomu Sasaki
1月25日生まれ／広島県出身／インスパイア所属　主な出演作は『永久少年 Eternal Boys』（柿崎 誠）、『王様ランキング』（ミツマタ）ほか

Ryota Takeuchi
9月22日生まれ／兵庫県出身　青二プロダクション所属／主な出演作は『Paradox Live THE ANIMATION』（西門直明）、『セブンボイスミュージアム～名画と7人の巨匠たち～』（山側利夢叶）ほか

これまでに"本気"になったことは？

竹内　高校時代の部活でやっていた弓道ですね。文化祭や運動会など全部放り出して、ずっと矢を射っていました　もともとチームプレーが苦手だったので、自分との戦いである弓道にすごく魅力を感じたし、弓道をすることで気持ちの持ち方みたいなものも変わりましたね

佐々木　私のほうは、武道は武[illegible]でも半端に終わったんですが、中学生のときに観たブルース・リーの映画に影響を受けて、格[illegible]技に興味を持ちました　ブルース・リーのトレーニングの真似をして、足腰を鍛えるために、それまでやったこともないスクワットを一日100回いきなりやって、次の日ベッドから立てなくなったりしていました（笑）

ピアス、フェイスチェーン、ネックレス、ブレスレット、リングなど、多数のアクセサリーを重ね付けしている姿が特徴的な摩利人。大好物のマジバブもアイデンティティのひとつ。

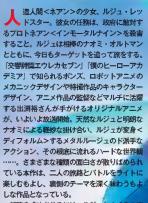
シグマスクワッド

自由気ままに振る舞う摩利人だが、その姿こそが人々を惹きつけてやまない。摩利人のカリスマ性でシグマスクワッドを束ね、王太がそれをサポートするという理想的なチームだ。

不良グループは魅那斗會、シグマスクワッドだけではなく、もちろん他校にも存在する。なかでも「エンペラー」こと阿久太郎が率いるNG BOYSは、勢力を増してきているらしい。

ヤンキーものと言えば、やはり不良同士の派手なケンカが見どころ。威血頭高校でトップを争う魅那斗會とシグマスクワッドは敵対関係にあり、バチバチの戦いが期待できそう！

ただいまミッション遂行中

人造人間<ネアン>の少女、ルジュ・レッドスター。彼女の任務は、政府に敵対するプロトネアン<インモータルナイン>を殺害すること。ルジュは相棒のナオミ・オルトマンとともに、今日もターゲットを追って旅をする。『交響詩篇エウレカセブン』『僕のヒーローアカデミア』で知られるボンズ、ロボットアニメのメカニックデザインや特撮作品のキャラクターデザイン、アニメ作品の監督などマルチに活躍する出渕裕さんが手がけるオリジナルアニメが、いよいよ放送開始。天然なルジュと明朗なナオミによる軽妙な掛け合い、ルジュが変身<ディフォルム>するメタルルージュのド派手なアクション、その根底に流れるハードな世界観……。さまざまな種類の面白さが散りばめられている本作は、二人の旅路とバトルをライトに楽しむもよし、裏側のテーマを深く味わうもよしな作品となっている。

任務を成功させるには、ルジュとナオミの連携が必要不可欠。旅の中で遭遇する事件やアクシデントを経て、二人の関係性がどう変化していくのかにも注目だ。

ナオミ・オルトマン
[illegible]ルジュをサポートする

ルジュ・レッドスター
世間知らず[illegible]り、人付き合いが[illegible]が心優しい性格。チョコレートが大好物。17歳くらいに見えるが、実年齢は10歳

『ラーゼフォン』以来、19年[illegible]ズ×出渕裕タ[illegible]クが送り出すのは、人造人間と人間の女性バディのロードムービー。シリーズ構成を担当し、プライベートでの親交も深い出渕裕さん&根元歳三さんに、注目のポイントを伺う！

メタリックルージュ

[illegible]日より放送開始✦毎週水曜日✦深夜0時55分✦フジテレビ"+Ultra"枠ほか
HP✦https://metallicrouge.jp/
X (Twitter)✦@MetallicRouge

STAFF　総監修／出渕 裕　シリーズ構成／出渕 裕、根元歳三　監督／堀 元宣　キャラクターデザイン／川元利浩　特技監督／村木 靖　グラディエーターデザイン／竹谷隆之、篠原 保　メカニカルデザイン／[illegible]　山田 陽　音楽／岩崎太整、yuma yamaguchi、TOWA TEI　アニメーション制作／ボンズ
CAST　ルジュ・レッドスター／宮本侑芽　ナオミ・オルトマン／黒沢ともよ　ジーン・ユングハルト／武内駿輔　サラ・フィッツジェラルド／嶋村 侑　ジャロン・フェイト／吉野裕行　ジル・スタージョン／小倉 唯　アフダル・バシャール／津田健次郎　エデン・ヴァロック／興津和幸　アッシュ・スタール／宮内敦士　ノイド262／小林千晃

ハードな世界のライトな生き方

総監修・シリーズ構成
出渕 裕 × シリーズ構成 **根元歳三**

いづぶち・ゆたか
1958年生まれ／東京都出身／代表作に『機動警察パトレイバー』（メカニックデザイン）、『ラーゼフォン』（原作・監督）、『宇宙戦艦ヤマト2199』（総監督・シリーズ構成）など

ねもと・としぞう
1974年生まれ／新潟県出身／代表作に『マクロスΔ』（シリーズ構成）、『機動戦士ガンダム ククルス・ドアンの島』（脚本）、『ウルトラマンデッカー』（シリーズ構成）など

企画の出発点は「女キカイダー」

――本作の企画が立ち上がった経緯を教えてください。

出渕 元々はボンズの南（雅彦）くんと会った時、「そろそろまたやろうか」という感じで動き出しました。『ラーゼフォン』でタッグを組んでから20年近く経ち、その間もデザインなどでお付き合いは続いていましたが、またボンズのIPになるようなオリジナルを作ろうと。同じ世界観を共有し、いろいろな切り口で作品が作れるスタイルなら、スタッフが変わっても成立するし、面白いんじゃないかと話をしました。それで作品の世界観というか歴史を作り、その中でアンドロイドの女の子がほかのアンドロイド、いわば自分の兄弟を処分していく、一話完結の物語を考えていきました。ぶっちゃけて言うなら、女キカイダーみたいな（笑）。

――言われてみると、確かに『人造人間キカイダー』みたいな構図ですね（笑）。

出渕 都筑（道夫）さんの小説『なめくじに聞いてみろ』とか、ほかにも影響を受けたものはあるんですけどね。最初はどうしても暗いというか、悲しさや寂しさをストレートに描く物語になっていたんです。そういう路線は大好きですが、今やる意味が見いだせなかった。根元くんが打ち合わせに加わるようになったあとに、「これではいけないんじゃないか？」と、アプローチを見つめ直していきました。

――根元さんがシリーズ構成として参加した段階だと、世界観や大まかな作品の方向性は決まっていたんですね。

根元 はい。最初に渡された企画書の時点で、作品の世界観の設定や歴史が書かれていました。出渕さんとはプライベートでよくお会いしていて、僕も出渕さんも特撮好きだから、特撮的なニュアンスのある作品を一緒にやりたいと話していたんです。『キカイダー』みたいな同族殺しの話ができないかなとも言っていたのですが、何年も経って「女キカイダーやれるぞ！」と聞き、面食らいました（笑）。先ほど出渕さんが話していた通り、当初はダークな雰囲気で、人間だと思って生きていたアンドロイドが、自分が人間じゃないと知ってしまう……という導入だったんです。打ち合わせで出渕さんが、「自分は真面目に考えるところがあるけど、今回はちょっとふざけたいんだ」とおっしゃっていて、僕もお手伝いしたいなと知恵を絞りました。パディというキーワードが出てきて、ナオミが生まれるまでは結構大変でしたよね。

出渕 そうだね。掛け合いができるようになって、暗い部分や重い部分が軽減できた。テーマとして同族殺しを持ってくると、僕も根元くんも、石ノ森イズムに引っ張られていくんですよ（笑）。それをどうにか打破できないかと考えて「これだ！」となった。ベースにはハードな部分があって、主人公も悩みはするけど、掛け合いの面白さで相殺しようと、全体をライトな方向に舵を切れました。

――実際、本編を拝見してルジュとナオミの掛け合いの楽しさは、とても印象に残りました。特にルジュが結構天然ボケで、チームものならともかく、バディものの主人公に据えるには少し珍しいタイプだなと。

出渕 天然ボケのルジュが主人公っていうのは、むしろ上手くいくと思ったんだよね。

根元 ルジュというキャラクターは、今まで知らなかった世界を見て育っていく、という狙いがありました。

出渕 伸びしろがあるほうが、魅力的な主人公になるんです。そういう意味だと、本当はルジュの成長をじっくり描くために、2クール分くらい話数がほしかった（笑）。

根元 限られた時間で物語を描くために、前置きはバサッと削って、暗殺の任務をやっていますというところから始めることにしたんです。

出渕 そうそう。ルジュのターゲットも、第1話の時点で何人か死んでいることにして。それに、あまり難しく考えずに観てもらうようにしたほうがいいのかな、とも思ったんです。作り込んだ世界観を最大限に活かすというより、たまたま彼女たちが生きているのがちょっと変わった世界だった、と捉えてもらったほうがいいんじゃないかと。世界観の奥行きにも興味を持ってほしいけど、それがノイズになることが怖かったし、そもそも尺がない（笑）。

――ある意味、今後描く余地が残っているということで（笑）。ルジュ役の宮本侑芽さん、ナオミ役の黒沢ともよさんの印象は？

出渕 ルジュもナオミもテープオーディションで、宮本さんは監督の堀（元宣）くんが推していたんです。宮本さんは朴訥さの中に儚さがあって、何より真面目にかわいらしく演じても、コントっぽい感じが出るかもなと思いました。黒沢さんはとても奔放に演っていて、面白くしてくれるかもしれないと感じたんです。最終的には声質や役者のタイプのつり合いというか、違いを出すことを意識して、お二人にお願いしました。

根元 僕はお二人の声を聴いて、もうバッチリだと（笑）。ナオミは何をやってくるかわからないし、ルジュもいい受けをしてくださる。声とお芝居のバランスが素晴らしかったです。脚本で書いた以上にハネている気がして、良いコンビができたなとホッとしました。

シャロン・フェイト
ルジュの標的であるインモータルナインの一人。人類社会転覆を目論むアルターの一員だが、組織の信念より自分の楽しみを優先する

ジーン・ユングハルト
ロイ・ユングハルトの息子で、ルジュとは兄妹として育てられた。目的のためなら非情に徹する性格が災いし、組織の内外に敵も多い

アニメの世界に特撮的な感覚を

――出渕さんはシリーズ構成としてだけでなく、総監修としても携わっていますが、具体的にはどう関わっているのでしょうか?

出渕 脚本はメインライターの根元くんと二人でシリーズ構成ということになっていますが、総監修として書かれた脚本を調整させてもらうこともありました。ルジュとナオミの掛け合いを、もっと面白くできないか考えたり。

根元 そうですね。たとえば、情報のやり取りをする場面では真面目になりすぎないように、言い回しや口調を工夫して。

出渕 あとジャロン。彼は書いていて楽しくなっちゃって、ほぼ自分でやっていた気がする（笑）。後半はライター陣がキャラを掴んで、手を入れることもなくなっていったんですが。アフレコにも顔を出して、セリフのイントネーションの部分とかで時々コメントしていました。

根元 初登場するキャラがいる回は、出渕さんにも意見をいただきながらキャラを作っていきました。

出渕 デザイン関係では、この人が良いんじゃないかというデザイナーに僕からお声がけさせていただきました。美術周りの打ち合わせにも参加し、堀監督と意見をすり合わせながら、ビジュアルイメージを考えていって。逆にコンテやダビングとかは、堀監督にお任せしていました。

――作品の入り口にあたる部分を中心に携わっていたと。

出渕 そうですね。スタッフィングを含めて、作品の指標を示すところには関わっていました。

――デザイン周りだと、ルジュが変身する戦闘形態のメタルルージュが秀逸でした。

根元 デザインを見た瞬間、「これは造形物が欲しい！」と思いましたね。

――確かに。立体化しやすいデザインになっているようにも感じました。

出渕 デザインしたのが造形家の竹谷（隆之）くんだから、半面平身だけど造形物はもう作られているんです。彼は絵で描くより、造ったほうが早いという人なので。デザインチェックの時も、造形物を見て確認していました。

根元 動いている姿を見て、ますます造形物が欲しいと感じました。所有欲を刺激されるデザインですよね。

出渕 今回は特撮的な感覚を、アニメーションにフィードバックしたいという気持ちがあったんですよね。僕が若い頃、アニメ的な感覚が特撮に欲しいと東映の鈴木（武幸）プロデューサーに言われて、特撮へ参加することになったんです。あの時とは逆に、メタルルージュたちグラディエーターには特撮的な要素を入れたいと思い、東映特撮でクリーチャーデザインを担当した竹谷くん、篠原（保）くんの二人に頼みました。

ルジュとナオミの関係を楽しんで

――今回シリーズ構成として同じ作品に携わり、改めてお互いについてどのような印象を抱きましたか？

出渕 この企画は根元くんと一緒にやろうと決めていたんです。

根元 ありがとうございます。

出渕 飲んだ時に「どうだった？」って根元くんに聞いたら、「楽しかったです」と答えてくれて。楽しいと感じるということは、いい仕事ができたってことなんです。楽しくなければ、仕事じゃないと思っているんで（笑）。声をかけた僕としては、楽しかったと言ってもらえるのが一番手ごたえを感じます。あと、根元くんは打ち合わせの時に例えを出しやすい。

根元 同じものを観ていて、趣味性が近いですから。

出渕 逆に監督を含めた若い人たちは、特撮の例えとか出すとキョトンとするから……（苦笑）。

根元 二人で盛り上がってごめんなさい、という感じです（苦笑）。今回の仕事を通して、出渕さんのいいところ、と言ったら生意気ですが……。

出渕 いや、褒めてよ（笑）。

根元 （笑）。前から抱いていた印象ですが、フラットな方だと改めて感じました。誰に対しても壁がないし、こだわりは持っているけど柔軟性に富んでいる。出渕さんの作業メモに僕がコメントを返した時とか、さらっと次のアイデアを出されていたんです。それだけ柔軟で、いろいろな手を持っている方なんだと、感じました。僕もかくありたいと思いましたね。

――最後に、改めて本作の見どころをお願いします。

出渕 やっぱりルジュとナオミの関係ですね。

根元 掛け合いもそうですし、次第に二人が抱えているものが見えて関係性も変化していくので、二人を軸に観ていただければと思います。

出渕 二人の関係が物語のベースだけど、クラウン（道化師）的な立ち位置のジャロンも面白いし、ルジュのターゲットになる敵役も個性豊かで。

根元 そうですね。不死の9人（インモータルナイン）のキャラクター性や戦い方は、出番が多くないからこそ、どう印象づけるかは結構議論しました。

――特撮的な考え方をするなら、レギュラーキャラがホストで、各話の敵はゲストですしね。

根元 そうですね。

出渕 ウルトラマンでも、どの怪獣が出てきた話が良かったって話になるから。登場人物の誰が不死の9人なのかってところも含めて、彼らのドラマも観てほしい。でも、基本的にはルジュとナオミの話で、彼女たちが世界を巡るロードムービー的な要素もあるから、そこを楽しんでほしいです。「SF？」「なんか難しそう」と恐れずに（笑）、観て感じてもらえればなと。

根元 最初は特撮をオマージュしようって話でしたが、出来上がった作品はいい意味でオマージュ色がそんなに強いものではなくなった気がします。途中で「あれ？」と思ったこともあるくらい（笑）。

出渕 まぁ、あくまできっかけの部分だから。

根元 結果的にSFで、バディもので、アクションもメッセージ性もある、すごくオリジナリティの強い作品になったと思います。ぜひこの世界観を楽しんでもらえたら嬉しいですね。

出渕 個人的には、現実世界と図らずもリンクしたと感じる部分もあって。テーマとして分断など、現代の問題を描きたいとは考えていましたが、思わぬ形で重なるところが出てきた気がします。作品を通して、今の時代を取り巻く空気と同じものを感じ取ってもらえるかもしれません。

特撮の話題で意気投合

KeyWord

Happy Day Off

人類を滅亡させようとする“悪”なはずなのにオフモードは実はいい人？
パンダと癒し満載のわるものさんの休日がついにスタートです♪

On Mode

ON ▶▶▶▶▶▶ OFF

Off Mode

- 美味しい食事を摂る
- 良質の睡眠を取る
- 目にも栄養を与える
- 仕事と離れることが一番大事！

ゆったりモーニング

冷蔵庫の中を確認し、朝食をつくる。洗濯機の音を聞きながら、ゆっくりとコーヒーを飲む。“悪の組織の幹部”というワードからは想像できない、なんとも平和な休日の朝だ。

わるものさん
声・浅沼晋太郎

知らんぷり

休みの日にうっかり同僚と会ってしまうこともある。事前に避けられればよいが、何かに夢中になっている姿を見られたらどうしようもない。その時は、はぐらかす。

人類を殲滅し地球を母星のものにすべく、悪の組織の幹部として日々戦いに身を投じる“わるものさん”。大変（？）な仕事だからこそ、わるものさんは休日をとても大事にしている。

オフモードの時のわるものさんに、“悪”らしさはあまり感じない。天敵の地球防衛軍「レンジャー」と遭遇しても戦わず、それどころか手助けすることも。第1話では、そんな彼をレイメイグリーンの空と麦は「案外悪い人じゃなかった」と評価、道案内をしてもらったアカツキレッドは、再会した際に「悪の組織の親切な方」といい人なのか悪い人なのかわからない呼び方をし、お礼のクッキーを贈っていた。敵相手にそれでいいのかというツッコミは置いておいて、わるものさんは「いい人」と感じさせる人物なのだ。

第2話以降も、わるものさんの日常が描かれていくという。次はどんな姿を見せてくれるのか。まだ出てきていないレンジャーや悪の組織の面々とはどう関わっていくのか？もっとわるものさんのことを知っていきたい。

休日のわるものさん

わるものさんたちの生きる世界を映像に

監督・小高義規×アニメプロデューサー・斉藤広行(SynergySP)×キャラクターデザイン・島崎知美

“生きている”感を描いていきたかった

どのような経緯で『休日のわるものさん』の制作に関わることになったのですか?

斉藤 『休日のわるものさん』のアニメ化企画のお話をいただきまして、SynergySPからはぜひ監督に小高義規さん、キャラクターデザインに島崎知美さんという座組でいきたいと思い、お二人にお声がけをしました。僕も小高さんも、島崎さんも付き合いが長いんです。

小高 もう一緒にお仕事をするようになってから20年以上になりますよね。斉藤さんも島崎さんも同じ釜の飯を食べた仲で、斉藤さんなんて僕のことを僕以上に知っているんじゃないかというくらいなんです(笑)。

斉藤 ちなみに小高さんはものすごく戦隊モノが好きなので、「戦隊モノができますよ!」と一生懸命に口説いたんです。

小高 確かそうでしたね。いざ読むと、ヒーローではなくわるものさんが中心のお話でしたが(笑)。でも原作を読んで、すごく素敵だなと感じたんです。地球を狙う悪と、それに対抗する戦隊というファンタジーな設定なのに、登場人物が僕らと同じ世界のどこかで生きているように感じられる。もし制作できることになったら、この“生きている”感じをちゃんとアニメでも描きたいと思いました。

斉藤 そうして制作することが本決定して、原作の森川侑先生にお会いしたのですが、一瞬で僕らがアニメでやるべきことが掴めた感覚があったんですよ。

小高 『わるものさん』の優しい世界観は、森川先生だからこそ生み出せたんだと思わせるお人柄で、「この雰囲気を描くべきだ」と思いました。アニメを制作していく中で、森川先生には本当にたくさん協力いただいて。

斉藤 話の流れで聞いただけのことでも、毎回詳細な資料を用意してくれたりもして。

例えばどのようなことを?

小高 「レンジャーってどんなふうに戦うんですかね」と話したら、こういう武器を使ってこういう戦い方をするとイラスト付きで送ってくださったり。戦隊モノにおいて武器は大事なアイテムなので、戦隊好きとしても嬉しかったし、なによりも先生の熱量がありがたかったです。

斉藤 その資料を見て「これは出さないと」とシナリオを調整して武器使用シーンを入れたんですよ。あと、シノノメピンクはヒーローではなくて魔法少女に憧れている女の子で、「魔法少女エンジェル☆アニマ」というアニメが好きなんです。劇中でこのアニメが流れるシーンがあって、先生にどういう作品なのかと聞いたらこれまた資料をたくさん用意してくださって。

小高 世界観、ストーリー、魔法少女たちキャラクターのプロフィールが詳しく書かれていて、これなら「魔法少女エンジェル☆アニマ」でスピンオフが作れるぞ! と思えるほどでした。ほかにもたくさんの資料を用意してくださって、本当に助かりました。原作の作業も同時進行されていたので、申し訳ない気持ちも生まれつつ……。

斉藤 途中から編集さんの目をちゃんと見られませんでしたよね……(苦笑)。

このインタビューが掲載される頃には、第1話がオンエア済みとなっています。わるものさん役の浅沼晋太郎さんがこの作品を「茶柱が立ったお茶を出されたような」と表現していたのですが……。

斉藤 さすが浅沼さんだ……。

小高 本当にぴったりな表現だと思います。

まさにその通りで、ほっとするような、ゆったりとした雰囲気を感じました。

小高 ゆったりした感じはあえて意識したところでもあるんです。実際、生きている人が常にせかせか動いているかというと、そうじゃない。だから絵をあえて動かしていなかったり、動いてもゆったりにするポイントを作って、マイペースな感じを出しました。昨今いろいろな作品があるけれど、この作品ではほっと一息ついて、心地良さを受け取っていただけたらいいなあと思って。

また、劇中に登場するパンダも心を癒してくれました。アイキャッチで登場していたり、パンダはアイコン的な役割を担っていますね。

小高 もはやメインキャラだと言ってもいいくらい、パンダは大事な存在なんです。

斉藤 劇中のパンダはすべてアニメーターの森亜紀子さんがデザインを務めています。森さんは動物を描くのがとても得意な方。原作を渡しつつ依頼をしたのですが、最初ははっきりとしたお返事をいただけなかったんですよ。「ほかのお仕事で忙しいのかなぁ」なんて思っていたら、1週間ほど経った頃に突然僕のデスクにやってきて、「写真を撮ってきた」とパンダの写真を見せてきて。

それが引き受けるという返事だったのかもしれませんね(笑)。

斉藤 そうだと思います(笑)。

——第1話に登場したパンダも、とても可愛かったです。

小高 森さんには、リアルからデフォルメされたものまで多くの設定を作っていただいたんです。今後もみなさんの心を掴むパンダがたくさん出てくるので、楽しみにしていてほしいです。

ちなみにこの作品のアフレコはかなり手間がかかったと聞きました。

斉藤 特に浅沼さんにはいろいろお願いしましたからね(苦笑)。

小高 わるものさんは感情の幅があるキャラクターなので、そこを表現するべく話し合うことも多かったです。お休みの日＝オフの状態のわるものさんは、あまり表情には出さないものの、パンダにときめいていたり、コンビニでほしい商品がなくショックを受けていたりするので、モノローグの声にグラデーションをつけていただいたりもして。繊細な作業だったと思いますが、浅沼さんはすべて見事に表現してくれました。

斉藤 あと、わるものさんは食べるシーンが多いんです。コーヒーをストローで飲むシーンでは、浅沼さんが現場にコーヒーを持ってきて実演してくれたりもして。

小高 ほかのキャストさんにも言えることですが、めちゃくちゃ作り込んでくれて、現場で感動したんですよ。

斉藤 ただ、役者さんに用意させるのは申し訳なくて、その日のアフレコ後、監督に「次は監督が用意しないといけませんよ」と言ったんです。この先のエピソードで食べるシーンがあるので、そこで用意するのがちょうどいいからって。

小高 確かにそうだと思って、コロッケを買っていったんですけどね……。

地球の不思議
コンビニエンスストア
さまざまな商品が揃っているコンビニは、わるものさんにとって興味深い場所のようだ。お気に入りの紅芋ソフトがなくなっていたのはショックだったけれど、代わりに新商品の冬季限定苺もちバーに出会えたし、店員さんから美味しいアイスの食べ方を教えてもらえた。

地球の不思議
パンダの可愛さ
知らない生物の多い地球で、ある時パンダに出会ったわるものさん。その日から、地球を殲滅したくなるようなこと(たとえばカレールーの辛さを間違えたり)があっても、パンダを見ればクールダウン。もしかして、パンダが地球を救っているのかも?

アカツキレッド
声・石橋陽彩

正義感に満ちたレンジャーのレッド担当。わるものさんに今日は休戦と言われてすぐに納得する純粋さを持つ。水族館のはずが違う駅にある動物園に行ってしまうなど、極度の方向音痴

レイメイグリーン・空
声・山村 響

レイメイグリーン・麦
声・山村 響

最年少の双子。わるものさんの前ではかわいい笑顔を見せていたが、普段はあまり感情を見せず、大人びた性格をしている

わるものさん表情集（オンモード）

わるものさん表情集（オフモード）

斉藤　浅沼さんに実際に食べてもらい、その音を録れたらいいなと思ったのですが、理想の「サクッ」が出なかったんですよ。しかも監督が山ほど買ってくるもんだから、現場には大量のコロッケが残り、キャストさんに配り歩くことになるという（笑）。

小高　ちょっと買いすぎてしまいましたね（笑）。

そのほかアフレコ現場でのエピソードはありますか？

小高　最終話のアフレコの日が、レッド役の石橋さんが高校の卒業式で、終わり次第スタジオに駆けつけていただいたんです。制服姿に花束を抱えて「卒業しました！」と現れたのをよく覚えています。

斉藤　石橋さんのフレッシュさに、こちらも若返るかのような気持ちになりましたよね。

小高　あと、キャストさんや関係者から差し入れをいただくこともあったのですが、多くがパンダのお菓子とかパンダモチーフのもので、すごく嬉しかったです。

原作の持つ魅力をアニメにどう生かすか

さて、ここからはキャラクターデザインの島崎知美さんにも参加いただき、各キャラクターについてお話を聞いていきたいと思います。まずは島崎さん、キャラデの依頼がきた時にどのように感じましたか？

島崎　原作の印象がとてもよかったですし、これまでSynergySPではあまりやってこなかったタイプの作品なので、実現できたらきっと楽しいだろうなと思いました。

原作からキャラクターの設定を起こす際にどのようなところを意識しましたか？

島崎　一番は、森川先生の絵の持つ柔らかな雰囲気を出していけたらいいなと。主人公のわるものさんについては、どうメリハリをつけるかを監督たちと話し合いつつ進めていきました。

小高　最初わるものさんのお仕事＝オンの時はいかにも"悪"の感じを出して、お休み＝オフの時とはっきり差を出したほうが面白いかもしれないと考えたんです。けれど、原作を読んで、さらに森川先生ともお話させていただいて、オンとオフの切り替えはあれど、地続きである感じを出していくほうがいいと考えを改めたんです。

見た目や姿勢の大きな変化はありつつ、あくまで一人の人物であるということですね。今回、島崎さんの描いた設定の現物を持ってきていただきましたが（画像参照）、わるものさんの作画でポイントとなったのは？

島崎　目ですね。オフの時はほとんど見えませんが、オンの時はどのくらい目の周りを黒くするか、どこまで激しい顔をするのかがポイントでした。タッチ線が多いので、作画の際に汚くならないかどうかも意識したところです。

斉藤　影をタッチ線で表現することもあれば、ベタ塗りにすることもあるんです。僕は制作の人間なので、線が多いと作画さんが大変じゃないかとか、撮影で処理を入れたほうがいいのかと意見したりもして。

小高　結局、ミックスするような形にしたんですよね。細かなタッチ線は原作の絵の魅力を引き出せるので可能な限り使いつつ、動きの速いシーンはタッチ線だとうまくいかないことが多いので、あらかじめ作っておいたテクスチャを撮影で入れていきました

島崎　あと、オフの時の影をどうするのかも話し合いましたね。

小高　そうでしたね。オフの時のわるものさんは近くに強めの光源があったとしてもなるべく顔に影を入れないようにしたんです。その代わりオンの時はガッツリ目に影をつける。そうすることで、オンとオフの違いを見た目でも出しました。オフの時に影を濃くしすぎると野暮ったくなったり、ちょっと性格とずれてしまう気がしたので、それを避けるという目的もありました。

斉藤　ここは試行錯誤でしたよね。極力影を少なくしたいと言ったものの、わるものさんのシルエットがかっこいいので「洋服とかのシワはちゃんと影をつけて表現したい！」と現場にお願いをしたり。

小高　でも黒い服なので、色を塗ったらほとんど影が見えないという……（苦笑）。

斉藤　せっかく作画さんに入れていただいたのに……。

わるもの　んとは幼馴染　子供の頃から　腐れ縁　悪の組織で働いている　な研究者　ほぼ　令部に住み込　いるほどの社畜　管制室のコ　で行き倒れてい　こともあるとか

ルーニー
声・斉藤壮馬

悪の組織の幹部　何　からこうかって　る　ガラが悪いが常識のあるタイプ　のため、マイペースなわるものさんやレ　に振り回され苦労することも多いそう

トリガー
声・中村悠一

ルーニー表情集

次回予告にも注目を

次回予告では、わるものさんの思いがゆったりと語られるのも、制作陣のこだわり　わるものさんの語りをよく聞くと、なんともポエティックで微笑ましい。

「最終回以外の　話数　わるものさんのポエムが入ります。淡々とした語り口調ながらも味わい深いわるものさんの言葉を楽しんでください」（小高）

小高　苦労かけましたよね。でも、原画が白と黒の線だけだと、なんだか不安になっちゃうんですよね……。

――影とはまた違いますが、わるものさんの所属する悪の組織の一員・ルーニーも目の周りが特徴的ですよね。

島崎　ルーニーはいつも寝不足で、クマがしっかりあるけれど、それを黒で表現したくなかったんです。かといってシワに見えてもいけないので、タッチ線を細かに入れて、そこに紫がかった色を乗せました。

小高　そうですね。ルーニーはどこか中性的な印象もあるので、クマの濃さのバランスも意識したところです。

島崎　そしてトリガーは、感情が顔に出るキャラクターです。怒っていることが多いので、険しめの表情が多めですが。あと、一見筋肉質っぽいけれど、あまりがっしりしないようにしました。

――悪の組織はお仕事中の服装が素敵ですね。

島崎　正装だと襟がつまっていて、オフになってやっと首筋が見えるんです。わるものさんとトリガーはチェーンもついていて、重量感があります。わるものさんの正装は胸元が大きく開いていて、そこから見える胸の模様がどうなっているのかは森川先生に教えていただきました。母星のお花が描かれているそうです。

小高　素敵ですよね。わるものさんは服を脱いでなにかをすることが少ないのですが、エンディングでお風呂に入っているシーンがあるので、普段は隠れている部分を見せることができました。

――地球防衛組織「レンジャー」の5人についてはいかがですか?

小高　レッドはまっすぐでピュアな青年です。方向音痴なところもあるし、一見手がかかりそうな雰囲気なのだけど、「この人なら大丈夫」と思わせるカリスマ性があるんです。わるものさんと休日に会っても戦わなくて、二人の間にある武士道のようなものもいいなと思っています。

島崎　少年っぽさをどのくらい出すのかが少し悩みどころでした。大人っぽくても子供っぽくても違うし、美形すぎるのも違うしなぁと。あと、森川先生の描くレッドは目がとても特徴的かつ魅力的なので、アニメ絵に落とすのに苦戦しましたね。

小高　くりっとした目をしているけれど、少女漫画のキャラクターとはまた違うんですよね。うまい落としどころを見つけてデザインに起こしていただけたと思います。

島崎　ブルーも目が難しかったです。吊り目でもタレ目でもない。目つきがあまり良くなさそうだけど、冷たくはなくという。

斉藤　ブルーはクールキャラではないんですよね。

小高　イケメンだけど単純なイケメンではないというか。ちなみにブルーは世話焼きなお兄ちゃんなんです。気苦労が多いので、若干の疲れが見られるのもポイントです。あと、ピンクは毛量をどうするか問題がありましたよね。

島崎　ありましたね。

小高　一枚絵として描く際は原作通りのボリュームでも良いのですが、アニメで動かすとなると毛に動きが出るので、ものすごく大変な作業になってしまうんです。

島崎　でも、これがピンクの可愛くて魅力的なところでもあるので、可能な限りふわふわ感を残せるように調整していきました。そして空と麦は、大きな表情変化はない子たちです。でも、無邪気な芝居を打つシーンがあるので、笑顔も設定に入れました。

――無垢な笑顔のように見えて、芝居なんですね。

小高　そうなんですよ。まだ小さいけれど、背伸びをして大人びたことを言うようなタイプの子で、ツッコミ役を担ってくれたりもするんです。

島崎　寂しい思いをしてきた子なんですよね。

小高　そうそう。寂しい顔まではしないけれど、感情をあまり表に出さないようにしているように感じましたね。

――そして最後はブラックです。

島崎　感情の起伏はあるけれど、それがあまり顔に出ないタイプです。でも、原作を読んでいるとブラックの気持ちが滲み出て、読み手に伝わってくるんです。先生はおそらく、口元の微妙な変化で表現しているんですよね。この微妙な塩梅を設定に起こしていくのは難しかったです。

――ブラックはレンジャーのお父さん的存在とのことですが、この6人は家族というわけではないんですよね?

小高　そうなんです。ブラック以外は世代交代しています。前の代の仲間は何かしらの理由でいなくなってしまって、若い子たちが新たな代を担うことになり、今度は自分が守らなきゃいけないと思っていて。彼らはなかなか深いドラマを持っているんですよ。

斉藤　この先、レンジャーを深掘りするエピソードもあるので、ぜひチェックいただきたいです。

――楽しみにしています! ちなみにアニメの制作はもうすべて終わっているそうですね。

小高　最終話まで完パケしていて、今は平和な時間を過ごしています(笑)。みなさんと一緒に、オンエアを楽しもうと思います。

――スケジュールとの戦いが常のアニメ制作において、一段落している状況というのは大変素敵なことです。改めてこの作品の制作を振り返っていかがでしたか?

小高　ものすごく幸せな時間でしたよね。

斉藤　そうですね。完パケしているからこそ、よりそう思えます(笑)。

島崎　すごく楽しかったし、あっという間の制作期間だったように思います。原作のリズムがちゃんとアニメにも出ていて、それを感じていただけるといいなあと。

小高　あとはみなさんが作品をゆったりと楽しんでいただければ、より幸せですよね。この作品は短編で構成されていて、各エピソードだけ、オープニングだけ、エンディングだけ、予告だけを切り取っても楽しめて、続けて観るとさらに面白い! と思えるものを目指して作りました。こだわりを多く詰め込みましたので、ぜひ第2話以降も楽しんでいただけると嬉しいです。

魔法少女エンジェル☆アニマ

シノノメピンクが大好きなアニメ「魔法少女エンジェル☆アニマ」。わるものさんがよく行くコンビニなどでも商品展開がされている人気作なんだとか。どんな作品なのか気になるところ。

流れるのを楽しみにしていてください」(斉藤)

ソウテンブルー
声・江口拓也

ソウテンブルー表情集

前の代から引き続きブラックを務めているレンジャーの一員。それもあって、みんなのお父さん的存在。昼に起きていることが苦手なため、夜に活動することが多い。

ヨイヤミブラック
声・梅原裕一郎

シノノメピンク
声・加隈亜衣

休息の時間

対レアン寮・祝勝パーティーの次は、羽子板で対決!?
迫りくる脅威も試験も、マッシュのパワーですべて粉砕する！

魔法が使えないことを隠してイーストン魔法学校に入学し、神覚者を目指すマッシュ。鍛え抜かれた肉体一つで、魔法のごときミラクルを起こしてきた彼は、神覚者候補選抜試験を受ける資格を得た。しかし、マッシュの秘密が校内で噂になり、彼の周りはにわかに騒々しくなっていた。

これまではフィンたち同級生の手助けもあって、マッシュは自分の秘密を隠したまま学校生活を送れてきた。秘密がバレればマッシュだけでなく、彼に手を貸してきたフィンたちも、処罰は免れない。それでも彼らが協力する理由は、苦楽をともにした強敵だから、マッシュのことが好きだからと様々。だが、マッシュにとって心強い味方であることに変わりはない。

魔法局に呼び出されてしまったマッシュは、尋問にかけられることに。神覚者や謎多き犯罪組織・無邪気な淵源（イノセント・ゼロ）の刺客など、彼の前には次々と困難が立ちはだかる。たまには試験や魔法のことを一切忘れて、友達とのささやかな休日を満喫してほしい！

フィン・エイムズ
マッシュの初めての友達で、寮では相部屋。ツッコミ役に回ることが多い。友達思いな性格

Chiaki's comment
[illegible]

KEY WORD
【神覚者（しんかくしゃ）】魔法界でも特に優秀な魔法の使い手で、魔法界を統制するものたち。神に仕える者の証として、神杖の名の称号を与えられている。

口にした言葉がマッシュの本心
マッシュ・バーンデッド役◆小林千晃

『マッシュル-MASHLE-』の現場は自由度が高い

——ついに第2期の放送が始まりました！　まずは第1期の感想をお聞かせください。

小林　第1期はまさに、主人公マッシュ・バーンデッドの[illegible]先の展開を知る原作ファン[illegible]ては正直、不完全燃焼で終わ[illegible]しまったなと感じていた[illegible]ただ、業界内外問わずに好[illegible]な反応をいただけて、普段アニメを観ていない方からも、「『マッシュル-MASHLE-』面白いね」と言葉をかけていただくことが[illegible]ました。それはひとえに、この作品のわかりやすさと面白さが、アニメでより多くの人に伝わったんじゃないかなと。イベントなどいろいろ出演させていただきましたが、『マッシュル-MASHLE-』の現場は自由度が高いと感じていて、毎回僕らがやりたいことをやらせていただいています。ラジオ番組の「MASH RADIO」も、言いたい放題やっていて（笑）。どのイベントも楽しくて仕方ありません！

——昨年ABEMAで配信された特番「バースデー・パーチー」でも、キャスト同士の仲の良さが伝わってきました。

小林　フィン役の川島（零士）くんは、ツッコミ役として孤軍奮闘してくれていることが多いんですが、ぶっ飛んでいる部分も持ち合わせているんですよ。作中で押しが強いドットが意外と常識人なところは、演じられている江口（拓也）さんにも似たところがあると思います。レモン役の上田（麗奈）さんの爆発力、ランス役の（石川）界人さんのクレバーさは、イベントや特番のたびにキャラと似ているなと感じています（笑）。

——キャストの皆さんも、キャラと重なる部分があるんですね。マッシュとフィンたち同級生との関係性に、変化を感じることはありましたか？

小林　[illegible]ったときにどれだけ安[illegible]て過ごしていたのか[illegible]認識しました。

嬉しいという感情を入れ過ぎないように

——原作で、第2期「神覚者候補選抜試験編」で描かれるエピソードを読んだ際の印象を教えてください。

小林　まず感じたのは、甲本一先生の画力がどんどん上がっているということ。バトルが一層ド派手になり、ストーリーも面白さが増したように思いました。神覚者や他寮の実力者が出てくるので、画力や演出もパワーアップしないと、読者は納得しない。でも、甲本先生は読者の期待を上回る絵を描かれていて。高いクオリティを維持しつつ、緊迫した空気の中で起こるギャグといった、『マッシュル-MASHLE-』らしい緩急の付け方も相変わらず面白い。作品の根幹は変えずに、新しい物語が描かれていると感じました。

——神覚者たちが数多く登場す

マッシュル -MASHLE-

＊毎週土曜日＊夜11時30分＊TOKYO MXほか
HP➡https://mashle.pw/　X（Twitter）➡@mashle_official

Illustrated by AQUASTAR Inc.

Chiaki's comment

「阿吽の呼吸というか、腐れ縁というか。なんとなく一緒にいると居心地がいいんだろうな。彼もフィンくん同様、面倒見がいいので頼りにしています！

Chiaki's comment

恋愛ム[illegible]はさておき、純粋に自分を慕ってくれるいい友達。マッシュのために作ってくれたシュ[illegible]子ちゃんは、いつまでも大切に持っているんじゃないかな

Chiaki's comment

ノリが合っているような気がするので、空気感が近い二人だと思います。マッシュも口にはしませんが、強敵と書いて"トモ"と思っているかも

ることも、第2期の見どころだと思います。

小林　原作ファンとしては「ついに出てきたな！」というわくわく感がありました。キャストとキャラクターの相性もピッタリですよね。「バースデー・パーチー」でキャスト発表したのですが、ファンの皆さんも「ナイスキャスティング！」と盛り上がってくれて、とても嬉しかったです。

――神覚者の中だと、レインは第1期からマッシュと関わりがあるキャラです。

小林　レインは同じアドラ寮の先輩で、彼が登場したときは、「ようやく神覚者が来たな」という感覚がありました。レイン役の梶（裕貴）さんは、僕が声優を志しているときにはすでに、主役級のキャラを演じられていて、それから時が経ち、僕が主人公を演じ、梶さんが先輩役を演じていることに、マッシュとレインの関係性と近いものを感じます。

――小林さんが注目している神覚者は誰ですか？

小林　たくさんいるんですが……第1期が終わった後に流れた第2期[illegible]で、唯一声が流れたライオですかね。[illegible]に感じました。[illegible]、何より[illegible]（貝一）さんが演じることで、ゴーシャス感が[illegible]（笑）。

――ライオはマッシュを巡る尋問の中でも、単純に否定するわけでもなく、独自の立ち位置で話しているように感じました。

小林　確かに大体の神覚者は同じ[illegible]物事を捉えているんですが、ライオとレインは違った考えを持っているような気がします。だからこそ、ライオには一目置かれたのかな。性格上難しいとは思いますが、マッシュの持つ胆力や思いの強さで、彼らの考えを変えることができたらいいですね。

――第13話の対レアン寮祝勝パーティーでは、マッシュも楽しんでいる様子を見せていましたが、演じる際に意識されたことは？

小林　他のキャラクターが盛り上がっていても、マッシュだけは嬉しいという感情を入れ過ぎないようにしています。「わーいわーい」というセリフも、音色は乗せないようにしました。マッシュの心の声が素直に出ているから、より嬉しそうな表現をする必要がないというか。たとえば、「わーい」って言うときは本当に嬉しいし、「美味しい」と口にするということは本当に美味しい。口にした言葉自体がマッシュの本心なんだと意識して演じています。

――逆に、怒っているときは表情も変化しています。

小林　そうですね。単純に嬉しいという感情より、怒りのほうがエネルギーを使うので、怒りの感情はちゃんと気持ちを乗せようとしています。マッシュが怒ること自体、相応な理由がないと表情にも出ませんが、本気で許せないときはしっかり怒りを乗せていることが多いです。「もう少しドスを効かせて」と具体的なディレクションをいただくこともあり、スタッフさんもマッシュの怒りにはこだわりがあるんだと感じています。

――今後の注目キャラクターや見どころを教えてください。

小林　マーガレットは神覚者たちからも一目置かれているキャラクターで、個人的に注目しています。見どころは、全部（笑）。一言で試験と言っても段階があって、それぞれに面白さやわくわく感があります。第2期はマッシュの出生についてや、神覚者になるために本格的に動き出すので、ぜひ最後まで楽しんでいただけたら嬉しいです。引き続き応援のほど、よろしくお願いいたします！

こばやし ちあき／6月4日生まれ／神奈川県出身／大沢事務所所属／主な主演作は『30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい』（安達 清）、『フグナクリムゾン』（ラグナ）ほか

アルノルト・ハイン
ガルクハインの皇太子。冷酷非道で残虐な人物だと言われているが、妙にリーシェのことを気に入り、妻になってほしいと持ちかけた

リーシェ・イルムガルド・ヴェルツナー
繰り返しの人生が7回目を迎えた公爵令嬢。過去のループで身に着けたたくましさ、さまざまな分野のスキルで、充実した人生を過ごそうとする

公爵令嬢のリーシェは、王太子のディートリヒから突然、婚約破棄を言い渡される。リーシェはそのことにショックを受け――る素振りはこれっぽっちもなく、城から出るべく駆け出す。なぜなら彼女にとって、この婚約破棄は7回目の出来事だからだ。

20歳で死んでは5年前の婚約破棄の瞬間にループするという、数奇な運命を背負うリーシェ。だが、リーシェはそんな境遇を悲観せず、むしろ積極的に人生のやり直しを楽しもうとする。そもそも彼女は、最初の人生で行く当てがなくなった直後でも、偶然出会った商人に指輪の買い取りを持ちかけるなど、切り替えが早く前向きなポジティブ少女。繰り返す人生の中で学んだこと、経験したことを糧にしてパワフルに生きていくのが、リーシェの魅力と言えるだろう。

6度の人生をフルスロットルで生きた分、7回目のループでは長生きして、のんびりだらだら今生を満喫すると決意。その矢先に、偶然出会ったアルノルトになぜか求婚されてしまう。彼は、過去の人生でリーシェが命を落とす原因となった戦争を引き起こし、6回目の人生では敵国の皇帝として彼女を殺した、張本人であるというのに……。波乱の幕開けとなった今回の人生を、リーシェはどうやって生き抜いていく!?

ループ7回目の悪役令嬢は、元敵国で自由気ままな花嫁生活を満喫する

＊毎週日曜日＊深夜0時＊TOKYO MX ほか
HP＊https://7th-timeloop.com/　X（Twitter）＊@7th_timeloop

20歳で命を落とす人生を何度ループしても、そのたびに新たな生き方を切り開いてきたリーシェ。彼女が迎えた7回目の人生は、元敵国での花嫁生活！夢の長生き・ごろごろライフを実現できるのか!?

Seventh time is the charm?

リーシェ・イルムガルド・ヴェルツナー役 長谷川育美 × アルノルト・ハイン役 島﨑信長

観ればリーシェを好きになる！

ただの10代じゃないリーシェの難しさ

――原作を読んだ印象をお聞かせください。

長谷川　最初はタイトル通り、自由気ままな花嫁生活を満喫する姿が見られる、ほのぼの系の作品なのかなと思ったんですけど、実際に読んでみたら真逆でしたね。リーシェはごろごろするどころか動きまくっているし、お話もシリアスな部分が多くて、いい意味で第一印象とギャップがありました。リーシェは行動力があるところ、いろんなことに興味津々なところが、これまでの全ての人生で表れていて。それが7回目の人生の中で回収されていくさまがすごく気持ちがいいし、読めば読むほどとても緻密に作られている作品だと感じました。

島﨑　僕もタイトルを聞いた時は、最近のトレンドを押さえたライトなテイストの作品という印象でした。原作を拝読したら、確かに入りは今風で取っつきやすいんですが、僕らくらいの世代が読んでいた、大河ドラマ風な王道少女マンガの面白さがある気がしました。

長谷川　わかります！

島﨑　主人公に芯があって、生命力にあふれていて、ガンガン前に進んで自分の周りや世界を変えていく。そこに元気をもらえるし、最近の作品では珍しい王道の魅力を感じましたね。長谷川さんがお話しされたように伏線が緻密に張られていたり、感情の繊細な動きもしっかり表現されたりしていて、面白い作品だと思いました。リーシェも余裕で困難をクリア、って感じじゃなく、7回のループで身につけたスキルで、直面する問題を綱渡り的に乗り越えていくのが良いなと。

長谷川　そうですよね。急に与えられたものとかは別になくて、ちゃんと自分の力で得たものを使っていて。

島﨑　そうそう。どちらかというと、アルノルトのほうがチート感ある（笑）。

長谷川　確かに（笑）。リーシェって、家柄的には結構良いところの子じゃないですか。

島﨑　そうだね。育ちも良いし。

長谷川　お嬢様だけど守られているだけじゃなくて、ちゃんと自分で行動していけるところが、女性の立場からすると好印象というか。見ていてすごく憧れます。

――リーシェは最初の人生の時点で、ほとんどへこたれていないのが印象的でした。

長谷川　もともと前向きな性格で、お母さんから抑制されて我慢していただけなんだろうな、ってことが表れていますよね。

――そんなリーシェを演じるうえで、意識したことはなんでしょうか？

長谷川　7回目の人生だってことを意識して、相応の年齢感を出すことは考えていました。リーシェって見た目の年齢は10代なんですよね。だから最初、10代らしい幼さも少し乗せて演じてみたんですけど、「もっと年齢感を上げていただいて大丈夫です」とディレクションをいただいて。確かに7回も人生を経験していたら、「精神年齢は何歳なんだろう？」って思うところはあるんです。たとえば、内心では焦ったり動揺したりしていても、それを包み隠せるくらいの経験値を得ているんです。しかも彼女の場合、全ての人生で同じことをしていたわけじゃなく、いろいろな土地に行って、さまざまな職業に就いてきた。何なら騎士として命のやり取りもしていて、人生経験のレベルが違うんです。「そんじょそこら

の10代の子と同じ表現じゃダメだな」と思いました(笑)。

島﨑 リーシェって、第1話の時点でたくさんスキルを持っているのに、嫌な感じがしないよね。毎回の人生の中で地に足をつけて努力して、一つ一つ身につけてきたものだから。

長谷川 そうですね。「興味があるからやってみたい」「いろんな国に行ってみたい」とか、自分のやりたいことのために進んでいるのもデカいのかなって。そういうものを持って働いているのって、人としてとても魅力的だと思います。

――何回ループしても生きるモチベーションが高いことも、リーシェの素敵なところかと。

長谷川 7回目の人生も、「ごろごろしたい」って気持ちがあるのに、そのためにだらけず動けるのがすごいですよね。私だったら速攻ごろごろする気しかしないです。

一同 (笑)。

頼もしい先輩たちに囲まれたアフレコ

――アフレコはどなたと一緒になる機会が多かったのでしょうか?

島﨑 僕たち二人はほぼほぼ一緒でした。

長谷川 テオドール役の伊瀬(茉莉也)さんとも、ご一緒することが多かったです。あと、最初の頃はオリヴァー役の土岐(隼一)さんも。

島﨑 後半はこれから登場するキャラのキャストさんと一緒に録ることが多くて、最初から最後までとなると伊瀬さんかな。

――長谷川さんは本作が初主演なんですよね。

長谷川 はい。だから第1話のアフレコの時、めっちゃ緊張してました(笑)。

島﨑 キョロキョロしてたね(笑)。

長谷川 いっぱいセリフを喋る役が初めてなわけではないんですが、主役となると急に「どどど、どうしよう……」って(笑)。信長さんがいろいろお話してくださったので、アフレコするうちにだんだん落ち着いてきました。本当にありがたかったです。

島﨑 リーシェ自体も主役然としたキャラだしね。周りを引っ張っていくというか。

長谷川 そうなんです。私は自分が人を支える側の人間だという認識があって、主役のポジションに立つことはきっとないだろうと、どこかで思っていたんです。リーシェ役に決まったと聞いた時は、「えっ? 主役がきた」って嬉しさと困惑がありました。しかも、ほかのキャストの方を見たら、「先輩しかいないじゃん!」となって(笑)。

島﨑 まぁでも、昔の座長はそういうもんだったよ。

長谷川 最近は、私より芸歴が下の子がいる現場ばかりなんですけど、今回は周りに先輩しかいなかったです。逆に「私が引っ張らなきゃ」とか思わなくていいや」って安心感はありました。

島﨑 『ルプなな』はそこまで出番があるわけじゃない役でも、先輩方がキャスティングされていたよね。初っ端から社長だし。(※ディートリヒ役の岡本信彦さんは、長谷川さんが所属するラクーンドッグの代表取締役)

長谷川 いきなり社長に婚約破棄されました(笑)。

島﨑 社長に契約を破棄されると思ったら怖いね(笑)。

長谷川 契約破棄は困ります! 路頭に迷っちゃうんで(笑)。先輩方ばかりなことも最初は緊張していたんですが、現場に入ったらもう頼もしすぎて!

島﨑 物語の作りとしても、今回のキャスティングは理にかなっていると思う。ディートリヒ役の信彦さんもそうだけど、脇を固める役を先輩方がきちっと演じることで、ストーリーに合わせてリーシェという人間がドンドン立って、実はやりやすくなるというか。

長谷川 そうですね。もはや私が何もせずとも(笑)。

島﨑 先輩方が巧みに表現したキャラがリーシェのことを認めるから、「リーシェはやっぱりすごいな」って納得できるところもあると思う。

長谷川 リーシェの説得力がすごく増したと思います。皆さんのおかげです、本当に。

島﨑 あと、『ルプなな』の現場はディレクションが細かく、的確なものが多くて、台本からも熱量を感じられました。台本には、僕らのセリフがページの下の段に、ト書きという状況やキャラの動きを説明する言葉が上の段に書かれているんですが、そこがかなり細かく書かれていたんです。

長谷川 「ここまで細かくト書きを書いてくださるんだ」と感激しました。演じる側としても、やりやすさが全然違ってくるというか。

島﨑 記憶に残っているのが、リーシェが剣の素振りをしている背後から人が近づいてきて、声をかけるシーン。声をかけられて気づくほうが自然なんですが、達人のリーシェは近くに人がいたら気がつくんですよね。そういうキャラの細かいリアリティを突き詰めて、一個一個積み重ねていくからこそ、みんなが没入できる作品になると思うんです。士気がとても高くて、感動させられっぱなしでした。その分、難しい表現を求められたところもありましたけど(笑)。

――細かなこだわりにも注目、ということですね。最後に読者に向けて、改めて見どころをお願いします!

島﨑 ワクワクやドキドキ、ヒリヒリ、時々キュンを感じながら、元気をもらえる作品になっていると思います。何と言っても、主人公のリーシェがすごく気持ちのいい人で、観ていただければ絶対好きになるんじゃないかな。リーシェが茨の道を臆せず、果敢に進んでいくさまを楽しんで、アニメの終着点を見届けていただけたら嬉しいです。

長谷川 ここまで話してきた通り、リーシェの経験値が物を言うストーリーになっていきます。終盤になるほど立ちはだかる壁が高くなる中で、今まで培った経験をどう活かしていくのか。逆に7回目の人生だからこそ考えられる策を巡らして、どう問題に立ち向かうのか。あと、信長さんがリアリティについてお話しされていましたが、細かい動きやリアクションも、ほかのアニメと比べると最低限しか入れていないんです。ぜひいろんな視点で、この作品を楽しんでもらいたいです!

Q 人生をループするとしたら、7回目では何をしたい?

長谷川 声優じゃなかったらやりたかったことは、2回目でやりますよね。

島﨑 いいや?

長谷川 あ、やらない?

島﨑 声優がやりたかったから、3、4周目くらいまでは続けていると思う。子役からやったらどうなるか試したりして。

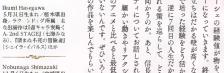
長谷川 私は逆に、7回目で一周まわって声優です。声優になるための行動を起こしたのが割と遅かったので、「もうちょっと早めにやりたいことに動いていたらどんな未来だったんだろう」って、今でも思うんですよね。

島﨑 なるほど。僕は最初の頃は声優をやりつつ、今ある知識を活かしてとんでもないお金持ちになって、好きなエンタメを作っているかな。7周目になると次もあると考えて、8周目に備えて行動しているかもしれない。あるいはループすることに絶望しているか。培った人間関係とかがリセットされるのってキツい気がする。

長谷川 そうですよね。最初は面白いかもしれないけど。

島﨑 どうせ全部リセットされると思うと、人とのつながりに価値が感じられなくなりそう。7回目だと何とか頑張って人生を楽しもうとする、迷い期に入っているかも。そう考えると一周一周、別のことに夢中になれるリーシェはすごい。

長谷川 すごいですよ、7回目でやっとごろごろしたいという欲が出てくるって(笑)。そんなに人生でやりたいことがまず見つからない。

島﨑 一生かけてやりたいことなんて、人生の中で一個見つけられたら万々歳だと思う。

お嬢様転職記

リーシェは過去のループでの経験を活かして、それぞれの人生で別の生き方を選んできた。ここでは彼女が就いた職業の一部を紹介!

商人

国外追放の身となった挙句、家族からも見放されたリーシェが出会ったのは、新進気鋭の商人であるアリア商会の会長タリー。彼から商いを学んだリーシェはやがて独立し、「すべての国を旅する」という夢も手に入れた。

薬師

2回目の人生では、家から持ち出した私財を元手に海外へ渡り、薬学を学んだリーシェ。薬草の流通に関わる情報や疫病の流行時期など、1回目のループで得た知見や経験を活かして、薬師としての生活を謳歌したようだ。

騎士

リーシェは6回目の人生では男装し、騎士として軍事国家ガルクハインと戦っていた。皇帝アルノルトと遭遇したリーシェは彼に立ち向かうも、目の前で仲間たちが次々と倒され、自身もアルノルトに殺害されてしまう。

Ikumi Hasegawa
5月31日生まれ/栃木県出身/ラクーンドッグ所属 主な出演作は『弱キャラ友崎くん 2nd STAGE』(七海みなみ)、『望まぬ不死の冒険者』(シェイラ・イバルス)ほか

Nobunaga Shimazaki
12月6日生まれ/宮城県出身/青二プロダクション所属/主な出演作は『神は遊戯に飢えている。』(フェイ)、『道産子ギャルはなまらめんこい』(四季翼)ほか

※長谷川さんと島﨑さんの対談は次号にも掲載予定。アルノルトのお話や二人の関係性の表現など、さらに深く掘り下げていきます!

たくさん癒されて！

エムル役 日高里菜

――『シャングリラ・フロンティア』のどんなところに面白さや魅力を感じましたか？

日高　『シャンフロ』を主人公がとても楽しそうにプレイしている姿は、ゲーム実況を見ているような気分になり、自分もプレイしたい！と思えるような作品です。

――印象に残ったオススメのエピソードやシーンは？

日高　エピソードは、初めてサンラクさんと一緒に戦ったマッドディグ戦が印象に残っていますが……第11話後半の酒場のシーンで、ヘンシルゴンたちにバレないように、サンラクさんの後ろで一生懸命隠れているエムルがお気に入りです、

――エムルの魅力やかわいいポイントを、兎の姿と人間の姿それぞれについてお聞かせください。

日高　いつも元気でたくさん褒めてくれるし、盛り上げてもくれるし……一緒にゲームをしたら絶対楽しいキャラクターだと思います。個人的に、サンラクさんに頼られて嬉しそうにするエムルが大好きです。人間の姿になっても表情豊かなところや天真爛漫さは変わらずで、人間バージョンのエムルにもとても癒されます。

――エムルを演じる際に、注意しているポイントは？

日高　ツッコんだりアワアワしたりギャグシーンも多いのですが、常に「かわいらしさ」を意識してお芝居しています。エムルはセリフ以外にも、後ろで動いていたり表情がコロコロ変わるキャラクターなので、アドリブも細かめに拾うようにしています。

――サンラクについて、エムルはどう思っていると思いますか？　また、日高さんの目から見たサンラクの印象や魅力についてお聞かせください。

日高　エムルは「サンラクさんならできる！　やり遂げてくれるはず！」と絶大なる信頼感を抱いています。サンラクさんは「みんなのヒーローのようなカッコいい主人公」とはちょっと違って、すぐ人を煽ったりするんですけど（笑）、でもなぜだか憎めない――そんなキャラクターです。あとは、純粋にゲームスキルの高さに感心&驚かされます。

――ほかに印象に残っている、もしくはお気に入りのキャラクターはいますか？

日高　どのキャラクターも本当に大好きで、推しポイントがそれぞれあるのですが……サイガ-0は本当にかわいらしいキャラクターです。強いし、見た目はあんなにゴツいのに、照れたりアワアワするそのギャップがとにかく面白いんです（笑）。思わず応援したくなっちゃうようなキャラクターです。

――エムルの父・ヴァイスアッシュ、弟のピーツ、姉のビィラックとエルクなど、致命兎の国「ラビッツ」関連のキャラクターが次々と登場します。兎の家族についてはどんな印象がありますか？

日高　同じ兎でも見た目や性格が全然違うんですよね。兎さんから大塚明夫さんの渋いお声がするなんて……それはもう堪りません！（笑）ヴァッシュやビィラック、エルクたちのもふもふ人形がグッズとして出ないかな？と勝手に期待しています（笑）。みんなを並べて飾りたい！

――ヴァイスアッシュやエムルが度々口にする「ヴォーパル魂」とは何だと思いますか？

日高　ヴォーパル魂はヴォーパル魂です‼（笑）　ビビビッと感じる、うおおおー！となる、あの感じ！　言葉ではなかなか伝えられない、むしろ説明不要！　パッションです、パッション‼（ぜひ皆さんならではの「ヴォーパル魂」を感じてください）

――エムルやヴァイスアッシュは、サンラクのどんな部分に「ヴォーパル魂」を感じているのでしょうか。

日高　あくまで私個人の想像でしかありませんが、肝が据わっていて、本気で敵と向き合い真剣にゲームを楽しもうとする姿勢……でしょうか？

――普段ゲームで遊んだり、VRの経験はありますか？

日高　番組の企画でVRを体験したことがあります。映像もとても綺麗で、本当にその世界に入り込んだような感覚になりビックリしました。あの没入感は現実に戻って来られなくなりそうです。

――『シャンフロ』をプレイするとしたら、どんなアバター（性別と外見）で、どんな職業を選択してみたいですか？

日高　女性キャラでかわいらしい見た目にします。ガチガチに戦いにいくプレイスタイルではなく、他のプレイヤーと交流をすることをメインにゲームを楽しむと思います。いろんな方とお喋りもできそうだし、ご飯屋さんやカフェなどの飲食店で働きたいです。

――エムルは動物大好きなAnimaliaに兎状態を見つけられ、全力でもふもふされていました。日高さんご自身は動物は好きですか？

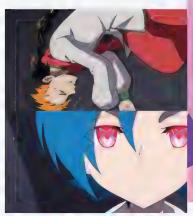
日高　大好きです！　もふもふしたくなる気持ち、痛いほどよくわかります！　子供の頃からわんこと一緒に暮らしていたのですが、その子からしか得られない癒し効果ってあるんですよね。もふもふ感といい、匂いといい、あたたかさといい……。実際の動物も好きですが、動物をモチーフにしたキャラクターも好きなので、エムルの声を担当できて本当に幸せです。

――今後の見どころを踏まえつつ、ファンへのメッセージをお願いします。

日高　今後も『シャングリラ・フロンティア』をみんなでたくさんプレイします！　敵によって戦術や攻略方法も異なるので、ぜひそちらにも注目して楽しんでほしいです。そしてどんな時でもエムルはかわいいので（笑）、たっくさん癒されてください。よろしくお願いします。

どんな仕草もかわいいエムルだが、イチオシはMP枯渇時に、ポーションをクピクピ飲む姿。両手で瓶を抱えて、美味しそうに飲む様子が愛おしい。何時間でも見ていられそう。

ビックリメン

★Blu-ray＆DVD BOX 下巻は2月23日発売
HP★https://anime-bikkuri-men.jp/

令和の聖魔大戦ついに集結！ 天使と悪魔の因子を持つ者たちは、どんな輝く未来を作っていけるのか。どうかこれからも、夢を語るたび強くなれ！

僕たちにはビックリマンがある！

マリア MARIA
スーパーデビルの元部下。ビックリバン後の世界でマリスの前に現れ、対話を果たす

マリス MARIS
自分が苦しんできた因子による悲しい輪廻。それを断ち切りたいという想いが、ビックリバンという世界のすべての因子の消滅を望むことに

ヤマト YAMATO
荷物と共に、預けた人の想いも届ける。その気持ちが、スーパーマリスロココのシールをなんとしてでもマリスに届ける原動力となった！

フェニックス PHOENIX
一度はスーパーデビルに敗れたが、マリスとの聖魔合神で復活。戦いの後、聖フェニックスに合神し、その力「創造理力」で街を復元した

ピーターの身体を依り代にして顕現したスーパーデビルは、ブラックゼウスを呼び出して人々を次々と悪魔化。さらに、アリババを巨大な亀に変化させ、世界を、混沌と絶望へと堕としてゆく！

ブラックゼウスとスーパーゼウスの合神で引き起こされるすべてのビックリマン因子の消滅＝「ビックリバン」にこだわり続けてきたマリスだが、それでは事態の解決には至らず絶望する。そこへ、カーンが描き起こした未知のヘッドシール「Super MaR（スーパーマリスロココ）」を届けに来たヤマト。マリスとロココは聖魔合神してスーパーデビルと対峙する！ ピーターのマリスへの想いがチャンスを作り、スーパーデビルは倒された。

また、ヤマト、牛若、ジャック、一本釣にフッドが協力してヘラクライストを再起動。ブラックゼウスの撃退にも成功した。ヤマトたちによって亀化を解かれたアリババは、繰り返される運命から解放された！

みんなの力を結集した戦いは、まさに聖魔和合。しかもエンジェルマートとデビルストアも合併して、聖魔和合してしまった！ 同じお店に集う仲間が増えたヤマトたちの物語は、これからも続いていく!!

自分の生き方は自分で決める

監督 月見里智弘

「自分を変えていく」と思うこと自体が尊い

——シリーズ後半は、ヤマトたち3人のコミカルな話から打って変わって、マリス（マリア）が話の軸になるシリアス展開でしたね。

月見里　前半と後半で、意識的に雰囲気を変えようとしたわけではなかったんです。ただ、レギュラーキャラの数が、絞ったつもりでもやっぱり多いなと。それで、シリーズ前半はヤマトを中心にワチャワチャ感を出しつつキャラを掘り下げ、『ビックリメン』の世界観やビックリマン自体の歴史の説明などをしていきました。後半は、本流のテーマを掘り下げる方向にしました。作品のテーマとして、多様性の尊重はもちろん、「頑張りすぎなくてもいいよ」とそっと背中を押すようなところを描きたいと思っており、特に第9話以降はそこにシフトしていった感じです。そして、ラストは原作の正史を踏まえた形で締めくくる。そういう全体の流れは、世界観がコンビニ設定に決まった時から決めていました。

——シリーズのバックボーンとしては、ロココとマリアの因縁のドラマでした。

★デザインコンセプトは「星」と「天照」

月見里　作中で扱う正史の時代感として、若神子の活躍する時期をやりたかったんです。そうなると、おのずからマリアとロココ、つまりフェニックスとの関係も描いていくことになるかなと。

――ストーリーの構造や流れは、シリーズ構成の綾奈ゆにこさんがリードする形で組んでいったのですか？

月見里　はい、そうです。綾奈さんはまず、大筋のフローチャートを作ってください ました。各話のワチャワチャを入れつつも、ビックリマンの正史になぞらえたイベント（挿話）や相関関係は崩さないようにと。そして、最後はあえてビックリマンの輪廻から外れるような形で描きました。

運命を受けとめつつ、今の自分の人生をポジティブに生きよう、そういったメッセージでしょうか。

月見里　それもあります。自分の気持ちを大事にしながら、常にアップデートを試みる。もちろん変えきれないかもしれないけど、変えようという想いを持って生きていく、それ自体が尊いということ。変えることができた結果よりも、アリババみたいに「ここから変えていくんだ」と思うことが大事だよねって。そういうお話です。

テーマを担うキャラクターとしては、第9話から登場のサタンマリアもいます。日笠陽子さんはオーディションだったんですか？

月見里　いえ。音響チームから出してもらった候補の中から、指名させていただきました。マリアは不遇な運命を辿った悲劇的な女性ではありますが、決意とプライドを持って戦う面もある。悲しみに暮れた時の寂寥感ある声と、バトルになった時のパワフルさへの切り替えが重要でした。日笠さんはその二面性の演技が本当にすばらしかったです。

――ディレクション的にも、そうした部分をお願いしたのですか？

月見里　特に最初から細かなディレクションをしたわけではありませんでした。第9話の段階で他のレギュラー陣の演技も固まっていたので、話の流れも含め、日笠さんは事前に理解した上で臨まれました。最初からとっても感情の機微に富んだお芝居をしてくださり、マリスと同じ人だと感じさせるシームレスさもビックリしました。もうなりきっているとしか思えない！という印象です。

やれることを自分なりにコツコツとやっていく

シリーズ後半はデビルストア側の掘り下げもありました。マリスは因子を持って生まれたことを忌み嫌い、ピーターは誰かに構ってもらいたくて、それを叶えてくれたマリスを慕っている。フッドは三億枚事件絡みで利害が一致して、マリスに協力と。

月見里　原作のシールやキャラのビジュアルからの着想を膨らませて、キャラ性や設定を作り込みました。ストーリー的にはテーマも含めて共感性の高いものにしたいということで、それぞれのキャラクターの生い立ちを考えていきました。現代に生きる人が抱えているであろう悩みや社会的な事情なども意識して、視聴者の皆さんにも3人の心理状態に何かしら共感してもらえる部分があると考えていました。

3人とも心に欠けたものがあり、それを埋めるための関係だったかと。純粋な友情関係だったヤマト、牛若、ジャックたち3人と好対照です。

月見里　そこは最初から狙っていた部分もありました。ヤマトたちの明るい関係とは違う、影のある関係です。「悪魔VS天使」という感じで、分かりやすいコントラストになったと思います。

マリスたち3人がどういう事情で一緒に行動しているのかは長く伏せられていただけに、驚きがありました。

月見里　ずっと引っ張った形にしていましたからね。店員でもないピーターやフッドが、コンビニのバックヤードにまでズカズカ入ってこられるのも、不思議な話で。しかもなんか偉そうだし（笑）。

ピーターとフッドは、仲間にしては不仲ですし（笑）。

月見里　この3人は、仲間らしい友情ではなく、むしろ利害関係でつながってきましたよね。とはいっても、フッドとピーターは第10話で一緒に照光子をとっちめたりはしています（笑）。

第6話でも、二人でタッグを組んでビーチバレーをしたりとか（笑）

月見里　ケンカするほど仲がいい、みたいな。別にお互いに全然気を使っていないわけでもないですし。そうした二人の関係性は、各話の中でちゃんと出せていたかなと思います。

――それでいくと、真反対に思えた牛若とジャックは、それほど角を突き合わせることがなかったですね。

月見里　そこは綾奈さんの絶妙な手腕と言いますか。牛若がツンケンしていても、ジャックはそれを受け流すし、牛若もジャックに本気で突っかかってもしょうがないみたいに思っているところがあったり。ヤマトはいいヤツだから、二人には強く出ずに自分の本心をちゃんと話す。この3人は本当に絶妙なバランスだったと思います。

第11話でアリババが、「少しずつだけど、この世界でできることが増えてるんだ」と、レジ打ちやアイロンなどについて話すところにはぐっときました。

月見里　お客さんをさんざん並ばせておいて「セルフレジです」とかいうギャグシーンが、実は……という。そこをアリババの変化につなげたのは、綾奈さん無双って感じです。やれることを自分なりにコツコツとやる。そして周囲はそれを見守り、無理強いをしない。第11話も、あくまでアリババが自分の意志で決めることで変わっていけたんです。しかも第6話でヤマトがマリスに言う「アリババの生き方はアリババが決められるはずだ！」をちゃんと回収していて、綾奈さんすごい！

他にも、第1話で戦ったピーターを最終話では瓦礫から救い上げる照光子や、第7話冒頭では「まだ、分かんね」と見下ろしていた母の故郷の街を自分の意志で助けるフッド。挙げるとキリがないですが、作品シリーズ前半から散りばめていった要素を美しく回収してくれました。

私は私になりたかったというマリスの想い

――スーパーデビルの復活が、ピーターを依り代にするという展開も興味深かったです。マリスとしても想定外だったようですが。

月見里　マリスはすべてを一人で背負うつもりだったので、ピーターに対しても巻き込みたくないからと、突き放す態度を取っていたんです。スーパーデビルにブラックゼウスを召喚させ、そこでビックリパンを発生させて、ビックリマンを終わらせようと。でもスーパーデビルとしては、マリスの心は支配しきれないと踏んでいたので、「マリスの役に立ちたい」と願うピーターの心の隙をついて、そそのかしたわけです。

しかし、デビルは若神子をあなどっていました。ピーターの想いが彼の予想を超えて強かったために制御しきれず、逆

CLIMAX!

巨大怪獣が出てくるスペクタクル展開

第11話でアリババが亀の怪獣（亀神アリババ）にされ、街を破壊していくスペクタクルな展開に。「原作での聖魔大戦に匹敵する絶対的な絶望が欲しくて。仲間がそれを象徴するような破壊神にさせられてしまったヤマトたち。その絶望感は凄まじいものだったと思います」（月見里）。また原作での、アリババが自分の運命に抗いながらも悪魔■に堕とされる悲劇を、亀神化で体現させている。

アリババ
ALIBABA

亀神アリババにさせられ、自分の意志とは無関係に街を破壊しながら、ビックリマン工場を目指す。肯定感が芽生えはじめていた分、悲しみは大きかっただろう

CLIMAX!

ビックリ山に埋まっていたヘラクライスト

最終局面で大事な役割を果たしたヘラクライストは、ビックリ山に埋まっていた。第1話でフェニックスが参拝していたのも、この伏線。当初はコンビニの横にオブジェとして置いてある案もあったが、「山のてっぺんに角だけ出して、御神木という形で眠っていてもらうことになりました。フェニックスや一本釣はそれを知っていて、危機が迫る予兆も感じていたから、様子を見に行っていたのです」（月見里）

CLIMAX!

マリアバージョンのED

第9話～第11話のEDテーマは、マリスの想いをマリアが歌った「祈り」。当初はEDを2つ作る予定はなかったとのことだ。月見里監督としては、EDはマリアの葛藤や憂いを表現するものにしたい構想があったという。一方で、EDは『ビックリメン』らしい元気で楽しい雰囲気にしたいという案もあり、「よくばった結果、マリアが登場する第9話から“後期ED”にさせていただけることになりました！」（月見里）

に自らが滅ぼされてしまうきっかけとなった。それで、内側から倒されてしまったわけです。おごり高ぶったスーパーデビルの力よりもピーターの純粋な気持ちが勝ったということです。ここはビックリマンの設定によるものではなく、『ビックリメン』のピーターが成し遂げたことでした。

――スーパーデビルはブラックゼウスを復活させましたが、人間と天使を悪魔化するための切り札だったのですか？

月見里　スーパーデビルは復活したばかりで、自分のパワーがまだ完全ではないことは分かっていました。それに彼はもともと参謀役で、頭は切れるけどフィジカルが強くはないので、そこを補完するためにブラックゼウスを呼び寄せたんです。彼らはどちらが上か下かということではないんですけど、見え方としては、スーパーデビルがブラックゼウスをコントロールしている形になっています。

――マリアとマリスの対話シーンも重要です。第12話で、マリスは「私は私になりたかった」とこぼしていました

月見里　マリスとしては、どうにもならない自分の運命に縛られず、自分の思うままに生きたかったというか……。OPでも「僕は僕しかいないんだ」の歌詞のカットでマリスの眼鏡が大写しになります。

――マリスの想いが形になったのが「スーパーマリスロココ」であり、ヤマトがこのシールを届けるのも象徴的です。ヤマトが宅配便のアルバイトをしている設定はここにつなげる狙いも？

月見里　実は第1話の脚本を作っていた時点では想定していませんでした。これも綾奈さんの手腕によるものです。ヤマトの中にある「想いを届ける」という強い信念を、見事に最終話の展開で生かしてくれました。物語が進んでいくと、どうしてもマリスとフェニックスが話の中心になるのですが、ここ一番でヤマトがフェニックスをサポートするという流れです。

――第1話ではヤマトの危機をフェニックスが救いましたが、その構図が第1話と逆転しているのですね。

月見里　そういうところも含めて、エモーショナルだなって。次の世代の明るい未来も想像させられますしね。

――このスーパーマリスロココという勝利の鍵を『ビックリメン』オリジナルのシールにした理由は？

月見里　ビックリマンのファンの方には賛否両論あったかもしれません。原作のファジーマリアロココも、聖魔和合を象徴するようなシールです。ただ、ファジーマリアロココは聖魔和合を成し遂げた後に、シヴァマリアとラファエロココが結ばれ誕生したのですが、『ビックリメン』のマリスとロココはまず合神し、スーパーマリスロココとなってスーパーデビルを倒しました。そして平和を取り戻した後、再び分かれてそれぞれ生きていくという道を選びました。

――その意味で、オリジナルのシールにしたわけですね

月見里　スーパーデビルを倒して聖魔和合したとしても、いつかまた悪魔と天使が対立してしまう恐れはあります。でも今回、正史とは違う手段で解決できるのであれば、今後も運命に囚われるだけでなく、自分の意思で未来を変えることもできるというメッセージを打ち出せるだろうと。そのためには、新しいシールを作らなければいけないと思ったので、原作のロッテさんに新しいシールのデザインをご相談しました。オリジナルのシールは、シリーズのどこかで出したいと考えていたので、このような出し方にできたのは一番理想的だったと思います。

――マリアではなく、マリスのシールというのがいいですね。

月見里　マリス自身が自分の運命から一歩踏み出した、という象徴になればと。マリスとロココが聖魔合神した姿で、スーパーデビルとブラックゼウスと戦う。フィジカルなバトルだけでなく、心理的なやり取りもありました。

――スーパーマリスロココは、小西克幸さん（マリス役）と斉藤壮馬さん（フェニックス役）が二人で声を合わせた演技でしたが。

月見里　セリフはそんなに多くなかったものの、これほどきれいにユニゾンされるとは驚きました。実際にお二人同時に声を合わせて収録していただいたんですが、最初から息ぴったりで、リテイクはほとんどなかったと思います。

――ヤマトたち子ども組がヘラクライストを操縦してブラックゼウスと戦うシーンでは、ブラックゼウスのビームをフッドがラクロスのシュートの要領で弾き返したのが熱かったです。

月見里　第12話の脚本を作っている時に「ブラックゼウスをどうやって倒すか？」という話になり、「第7話のラクロスを活かそう」と。ヘラクライストの剣をラクロスのスティックのように見立てて……と。第7話は「チームプレイなんて」と試合に行かずに終わったフッドでしたが、ここでみんなの理力を合わせ、協力してブラックゼウスを打ち返した。綾奈さんが粋な回収をしてくれました。

スーパーデビル
SUPER DEVIL

人間も天使も悪魔化させ、悪魔だけの「平和な世界」を作ろうと画策。人間の信念や意志を甘く見た結果、予想外の反撃に合い、消滅に至る

CLIMAX! 人々を悪魔にするブラック戒律

スーパーデビルの計画で、街の人々の多くが悪魔化。本来的な設定ではブラック戒律は悪魔をコントロールするものだが、「今回は『人間の心にわずかに潜む醜い部分を増長させる力』としても描いているんです。誰しも心に抱えている闇の部分につけ込まれて、破滅に陥る可能性もあるのだということを表現しました」（月見里）。転生ではない形で顕現したスーパーデビルは、ブラック戒律の化身でもある。

フッドのほろ苦い当番回

――第7話はフッドのバックボーンを掘り下げるエピソード。完全な一般人のゲストキャラ・ナナカと関わるという異色の回でした。

月見里　第6話まではコメディ色が強く、第8話以降はシリアスなシーンも増えてくる。その転換回にあたるお話でした。フッドを掘り下げる回でしたが、ビックリマンの因子を持っていないであろう人との交流を描くことで、普通の人と因子を持っている人とが混在している世界観も見せられました。綾奈さんとご相談し、脚本をご担当いただいた大河内一楼さんには「シリーズの中では異色感のある、少しビターな印象もあるお話にしたい」と依頼しました。僕が直接、絵コンテ・演出を担当させてもらったのですが、こういったタイプのお話を担当した経験がなかったので、学びも多かったです。

――ナナカは女子ラクロス部のマネージャーで、お守りシールが好きな女の子でしたね。

月見里　作中ではどのシールも平等に扱いたいたくて。そこをフッドのお母さんとの共通点とし、フッドの家族との思い出話を入れました。何事も白黒はっきり付けられるものばかりではなく、人の心も矛盾が生じるもの　生きていく上で、本音と建て前のバランスを取っていくこともある。「人間てのは、心が面倒な生き物なんだよ」と諭すマリスと、分からなくはないけれども分かりたくもないフッド。もしかすると、マリスは自分自身のことを言っていたのかもしれません

――フッドが、ラクロスの試合には行かないままだったのも、ビターで余韻のある終わり方でした。

月見里　綾奈さんとは、第7話は『ウルトラセブン』の雰囲気になるといいなと話していました　アイロニーなナレーションで視聴者に問いかけて終わる話も、『セブン』にはあるじゃないですか。そういう味わいに近い感じで、大河内さんに書いていただいたんです。

コンビニも聖魔和合！フェニックスは副店長

――シリーズのラストは聖魔和合を受けて、まさかのエンジェルマートとデビルストアの合併というオチでした。

月見里　コンビニ設定が活きました（笑）。確かシンエイ動画の林郁美プロデューサーのアイデアだったと思います。林さん、コンビニでバイトしていた経験があるから詳しくて。コンビニも今、ドミナント戦略で狭い地域に集中したり、近場にライバル会社が店舗を出したりとか、いろいろありますよね。そこを「ライバル会社同士が本当にくっついちゃったよ！」って見せるコミカル感が、ビックリマンらしいのかなと。絵的にも分かりやすく、2つのお店が2階建てに合神しているという（笑）。シリーズ前半から、フェニックスはエンジェルマート本部に呼び出されて店を空けていることがあったり、第10話ではデビルストアの改装が始まっていたりと、実は経営統合の話はかなり初期から出ていたのかもしれませんね（笑）。新店舗ではフェニックスは副店長となり、デビル店長（気弱なおじさん店長）の下についてるんですよ。マリスの立場はエリアマネージャーのままですね。

――『ビックリメン』に携わってよかったことはありますか？

月見里　まず、原作のビックリマンに対しては、当時を思い出してノスタルジックな気持ちにさせてもらえました。正史や原作シール、キャラクターについて、子どもの頃はよく分かっていなかった部分が、今調べることで「そういうことだったんだ！」と分かることも多くて。その発見も楽しかったです。『ビックリメン』はビックリマンシールが原作ではありますが、ストーリーやキャラクターのデザインや性格、出生などはオリジナルでした。僕はこれまでは完全な原作ありきの作品経験しかなかったため、生み出す大変さと面白さを経験できました。

綾奈さんや武井宏之先生とストーリーやキャラクターを作り上げたこと。また、自分がこれまでご一緒してきた信頼できるスタッフ陣と制作に臨めたこと。そういったチームで一丸となって『ビックリメン』に取り組めて光栄でした。皆さん、ご視聴いただき本当にありがとうございました。

読者投稿コーナー「フリースペース」出張版

『ビックリメン』プロデューサーチームの選んだ作品をご紹介！

▲広島県　瑠璃丸（44）

▲埼玉県　夏さん

▲千葉県　オタクくん

▲神奈川県　ヘッドユウコ

▲神奈川県　りらりら（26）

▲神奈川県　ちまねこ（26）

★月見里監督の選んだ受賞作品はP.129～を見てね！

他が為の力

球体状の拘束具を纏う不可触（アンタッチャブル）の否定者・タチアナ
町一つ消し飛ばすことができる
強大な力を彼女は解放させた
自分に寄り添ってくれた大事な人の命を救うために

昔は仇敵、今は戦友？

ジーナを慕っていたタチアナにとって、ジーナを殺したアンディは憎い仇。ユニオン加入当初は揉めに揉め、今もゾンビ呼ばわりしているが、彼への仲間意識はある様子。「タチアナは憎まれ口を叩きながらも、何だかんだで信頼しているなと感じます」（釘宮）

かけがえのない友達

暴走寸前だったタチアナに、友達になろうと語りかけた風子。「とても大事[illegible]存在でもあり、強く友愛の気持ちを抱[illegible]思います」（釘宮）[illegible]風子を助け[illegible]自分の力を解き放つ決意を[illegible]

タチアナ

不治の勧誘任務で、アンディとともに夫婦として客船に潜入する風子をからかう。戦いでは、状況を正しく分析する観察眼を発揮した

アンデッドアンラック

[illegible] 深夜1時23分 MBS/TBS系 [illegible]28局[illegible]

否定者の中には、自らの能力によってつらく、悲しい思いをした者も多い。不可触（アンタッチャブル）の能力者・タチアナもその一人だ。

常に自分の肌と髪から、あらゆるものとの接触を否定するバリアを発生させているタチアナ。5歳の誕生日に能力が発現した彼女は、自身の力で両親を殺めてしまう。やがてビリーと出会ったタチアナは、彼から自身の力について説かれる。「キミの力は無闇に人を傷つけるモノじゃない」「大切な人を守る為に使う時が来る」と。

そして、その時が訪れる。不治の否定者・リップと対峙し、彼の能力を[illegible]風子。彼女を治すには、リップを殺して能力を解除するしかない。初めてできた大切な友達を助けるため、タチアナは自らの意思で力を解放。逃走を図るリップをあぶり出した。否定者の能力は災いをもたらすこともあるが、自分や他人を救うこともできる。今回の戦いは、望まず手に入れた力をどう使うのかを問う戦いと言えるのかもしれない。

ふたたび睨み合うアンディとリップ。洋上の激闘を制し、生き残るのはどちらか——。

心を救ってくれた恩人

敵の名はUNDER（アンダー）

強力な否定者を無理やり集めていることから[illegible]者狩り。と呼ばれていたアンダー。[illegible]世界への復讐とされている。現状構成員と確認されているのは、メスと両脚のアーティファクトで戦う不治の否定者・リップ、ラトラ、ファン、クリードの四人だ。

新たなる否定者

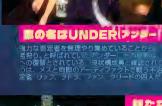
[illegible]不動（アンムーブ）の否定者[illegible]かけられそうだった彼は、ユニオンとアンダーの戦いに巻き込まれる。リップの攻撃から自分をかばった風子を助けるため、アンディに協力すると決意する力。リップとの決戦では、彼の能力が鍵となるはずだ。

衝撃の第2クール！

タチアナ役 **釘宮理恵**

——原作を読んだ感想を教えてください。

釘宮 原作を拝読して、テンポの良さとわくわく感が盛り上がって行く感覚が、気持ちの良い作品だなと感じました。

タチアナに抱いた印象、演じるうえで意識していることは？

釘宮 幼いながらに複雑な環境ではありますが、元気いっぱいで素直で、健気で芯の通ったキャラクターだと感じています。（掛け合いでは）それぞれ自分が感じたタチアナから相手への印象を踏まえて、演じられたら良いなと思いお芝居しました。

アフレコで思い出深い出来事はありますか？

釘宮 アドリブをちょこちょこ指示いただいて、恐る恐るでしたが、楽しく入れさせていただきました。それが印象に残っています。

『アンデラ』で好きなキャラクターを挙げるとしたら誰ですか？

釘宮 風子が好きです。ふわふわしてるけど、まっすぐで心がとっても温かくて大好きです。

演じていて印象に残っているシーンは？

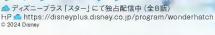
釘宮 やはり（今後のエピソードで描かれる）ビリーの一件が大きく印象に残っています。原作を読んでいたので、あらかじめわかってはいたシーンですが、それまでビリーとの楽しいやり取りで大きく気持ちが膨らんでいたので、それがぺしゃんこになり、どん底にまで突き落とされたような気がしました。

くぎみや りえ
5月30日生まれ　熊本県出身　アイムエンタープライズ所属　最近の出演作は『劇場版ホールプリンセス!!』（忍央アズミ）、『愚かな天使は悪魔と踊る』（リズ）ほか

響き合う2つの世界

異世界「ウーパナンタ」からの来訪者が、現実世界を変えていく。異なる2つの世界の若者たちの出会いは、一体何をもたらすのか？

タイム
演・声／奥平大兼
落ちこぼれのドラゴン乗りの少年。現実世界で出会ったナギやソンと友情を深める一方、迷いを抱えつつもスペースの計画に加担する

ガフィン
声／武内駿輔
ドラゴンの子どもでタイムのかわいい相棒。タイムと共に現実世界にやってきた。世間に存在がバレないようナギたちに匿われている

ナギ
演／中島セナ
「音に色がついて見える」という能力を持つ高校生。亡くなったと聞かされていた母のハナは生きており、数年ぶりに再会を果たす

ディズニープラス「スター」にて独占配信中（全8話）
HP https://disneyplus.disney.co.jp/program/wonderhatch

現在、ディズニープラスで第5話まで配信済みの『ワンダーハッチ-空飛ぶ竜の島-』。崩壊が迫る異世界「ウーパナンタ」からやってきた少年・タイムと、女子高校生のナギとの出会いを描くファンタジー・アドベンチャー大作だ。

異形の存在・ジャイロによって、現実世界へ放逐されてしまったタイム。彼はナギと共に、1年前に現実世界へ飛ばされた英雄アクタを探し出すが、アクタはもはや故郷へ帰るのをあきらめ、現実世界で家庭を築こうとまでしていた！　タイムは意気消沈しつつも、なんとか帰る方法を模索するが、そんな中、10年前にこの世界にやってきた伝説の英雄スペースに巡り合う。スペースは、ナギの母親のハナこそがウーパナンタの「創造主」であり、彼女を殺すことが世界を救うことだと主張する！

「実写で構成された現実世界」と「アニメで描かれた異世界」。2つのパートが混然一体と化した物語に触れていると、実に不思議な感覚を覚えるだろう。そして、異世界へ戻る術がなく現実の生活に埋没し、絶望していく勇士たちの姿は、物悲しくもとてもリアルだ。

そんな「逆・異世界転生」ともいえる物語は、中盤に来て意外な展開を見せている。ナギとタイムがどんな選択をしていくのか、見届けよう。

手描きの魅力が最大限伝わる絵作りを

アニメーション監督 **大塚隆史** × プロデューサー **伊藤 整**（I・Gポート）

畑違いのチームとの共同作業は刺激的

――『ワンダーハッチ』は実写パートとアニメパートが混在した作品ですが、本作の企画がどんな経緯でスタートしたのか教えてください。

伊藤　元々は、監督の萩原健太郎さんが「ドラゴン乗りたちが住むファンタジー世界の住人が、現実世界にやってくる」という実写作品を企画されていました。ただ、そうした大スケールの作品を果たして日本でできるのかという問題があり、実現への道筋が見えない状況でした。

そんな中、萩原さんと一緒に企画を推し進めていたディズニーのプロデューサーである山本晃久さんから、実写とアニメの両方の制作経験のある僕にお声がけいただきまして。現実世界パートを実写で、異世界パートをアニメで描くという形で融合させれば、この企画を実現させられるのではないかというお話になったんです。そこから、僕が本格的に参画して、世界観やストーリーの構築から関わらせていただきました。

そしてスタッフィングを進める際、Production I.Gのプロデューサーである松下慶子さんから、大塚監督をご紹介いただいたんです。大塚さんはこれまで『スマイルプリキュア！』や『ONE PIECE STAMPEDE』を手掛けており、萩原監督が期待している少年漫画的な世界観をアニメで描けるはずだ、と。そこで大塚さんにお声がけしたところ、企画に興味を持っていただけました。

――『ワンダーハッチ』の企画について、大塚さんはどんな印象を持ちましたか？

大塚　現実世界と異世界を実写とアニメの融合で見せるのは面白そうだな、というのが最初の印象でした。アニメで描かれた異世界の住人が、現実世界に来ると実写の人間になるというところは、ディズニー映画『魔法にかけられて』とコンセプトが似ているけど、お話のテーマがまったく違う。そして、ここ最近はそうした作品にお目にかかっていなかったので、新鮮に感じましたね。ただ、中途半端にやったらチープなものになってしまうだろうという懸念もありました。だから、やるからには本気で取り組まなければいけないなと覚悟を決めました。それと、仕事としてもワクワク感があるなあと。

――どういう部分にワクワクされたのでしょうか？

大塚　やはり実写とアニメの2パートが描かれる作品というのは、まだそれほど開拓されていない分野なので、金の鉱脈が埋まっている企画だという部分がまず一つ。そしてもう一つは、実写作品の監督と一緒に作品を作れるという部分です。こちらが持っている武器をどういう形で提

アクタ
演・声／新田真剣佑
ウーパナンタ最強のドラゴン乗り。ウーパナンタに戻るのを諦めており、現実世界で出会った女性と惹かれ合い、また出産も控えている

供できるのか、そして何が求められるのか。普段やりとりをする機会のない世界の方と打ち合わせを重ねるのは、大きな刺激になりました。

——実写とアニメとでは、作品に対する向き合い方や制作の仕方が異なると思います。そういった畑違いの方と共同制作をする上で、どんなことを念頭に置いていたのでしょうか？

大塚 おっしゃるとおり、同じ映像を作る職業でも実写とアニメとでは「共通言語」が違うものです。「Aが欲しい」と言われたからといって、そのまま「A」を出すだけではダメだと思うんですよね。そこは、これまで培った経験と勘で、相手が本当に求めるものを推察して投げ返す。「この場合、AよりもむしろBのほうが喜ばれるだろうな」と予想して、より良いものをお渡しする。そんなふうに、監督である萩原さんの右腕として「そうそう、これこれ！」というものをご提供するのが、今回のミッションでの一番の肝だと思ったんです。

ソン
演／エマニエル由人
ナギの同級生で親友。いつも明るいムードメーカー。漫画家になるという夢を持っているが、優等生の兄に夢を否定され反発している

伊藤 それができるアニメ監督はなかなかいないんです。自分のやるべき仕事に集中しながら、相手が求めるものを真に理解してより良いものに昇華する、と大塚監督が考えてくださっていたから、思いのほかスムーズに進行したんですよ。

大塚 もの作りにおける実写とアニメの作法はまったく違うので、自分たちのやり方を押し通したら絶対にうまくいかない。そこを踏まえて、「こうすれば相手はやりやすくなるだろう」と気遣い合うことが重要でした。多少の行き違いや齟齬が生まれるのは仕方ないですが、それをいかに減らすかが勝負だと思っていましたから。

——実写チームとアニメチームの間に立っていた伊藤さんは、制作においてどんな役割を担っていたのでしょうか？

伊藤 当初は、監督、脚本家、プロデューサーによる企画開発チームにて、世界観設定やプロット、シナリオの制作をしていました。実際に制作が始まると、実写とアニメの両方の経験があるのが僕だけだったので、両チームが力を発揮しつつ作業できるように橋渡し的なことをしていました。たとえば実写チームが、都合により、ある衣装のパーツを外して撮影することになっても、それを知らないアニメチームは元の衣装のまま作画を進めるので、完成時に映像に齟齬が出てしまいます。そういう間違いが起こらないよう、それぞれの状況を逐一チェックしてお伝えすると か。小さいことの積み重ねで大きな間違いにつながりかねないので、細心の注意を払う必要があったんです。

緻密な情報が伝わるような構成

——萩原監督からは、どのようなアニメを求められたのでしょうか？

大塚 大元のコンセプトとして、「CGではなく、日本ならではの手描きのアニメーションにしたい」と萩原監督からお聞きしていました。たとえば、ドラゴンが目まぐるしく飛び回って戦うシーンなんかは、CGで作った方が制作コストを抑えながら見栄えのいい映像にできるんです。しかし、それでも萩原監督は、全編手描きでというこだわりを持っておられた。つまり、手描きでもCGでやる時のようなカメラワークにすることもありますが、そうではなく、あくまでも従来の手描きアニメのような見せ方で作ってほしいということだな、と解釈しました。そのため、アニメパートは手描きの魅力が最大限伝わる絵作りを制作のテーマにしたんです。予算とスケジュール、そして制作スタッフの数などのリソースを踏まえ、一番効果的に見せられるものを可能な限りいい形で絵コンテに落とし込んでいく。これは僕が監督をする時はいつも意識していることですが、今回はもう一つ制約があったのが大変でした。

——その制約とは……？

大塚 もう一つ、萩原監督に言われたのが「作中でナレーションや字幕による解説を入れないでほしい」ということです。『ワンダーハッチ』は緻密な世界設定がある作品で、固有名詞がたくさん登場する上に、異世界ウーパナンタには独自の言語まであります。さらに完全オリジナル作品なので、分かりにくい部分を視聴者が原作などを見て補完することができないんです。だから、視聴者にきちんと情報が伝わらないものになってしまった場合、よく分からないままお話が進んじゃうんですよね。しかも、『ワンダーハッチ』は映画で

アクタの密かな目論見!?

アクタは横須賀・猿島に自分の信奉者を集めて、原始共産社会のような、自給自足の平和な暮らしを営んでいる。しかしその一方で、ウーパナンタを維持する力「理」を密かに蓄えており、その力で島を丸ごと浮かすなど、何か途方もないことを考えてもいるようだ。

スペースの悲しき過去

スペースの息子は「理の外の世界へ行く」という教えにこだわるあまり、島から身を投げてしまう。その悲しみが癒えないうちに、スペースは巨大な「理」に触れて、世界の行く末を知る。それが元で暴走を始めた彼は、「創造主」を殺すという考えに取りつかれてしまった。

サイラ
演・声／SUMIRE
ウーパナンタの住人で、現実世界の研究者。タイムたちを追って、自らも現実世界へ来訪。実はスペースの娘であることが判明した

柴田
スペース
演・声／森田 剛
伝説のドラゴン乗りとして名を馳せた男。現在はコンビニのアルバイト。「創造主を殺せば世界は救われる」という考えに取りつかれる

ジャイロ
声／津田健次郎
ウーパナンタを支える「理（ことわり）」の独占を目論む異形の存在。かつてはスペースの仲間で、世界を滅びから救おうとしていた

はなく、40分×全8話というシリーズ作品なので、最初のほうで情報を消化できないと続きを観てもらえない。だからといって、作中の合間に「ここはドラゴンと人が共存する世界、ウーパナンタ……」などとナレーションや字幕で解説を入れたとしても、右の耳から左の耳へと通り抜けるだけなんです。物語に入り込む前に聞き慣れない用語を羅列されても消化できないでしょ。だから萩原監督の注文通り、ナレーションや字幕は入れず、それでも視聴者が物語に入り込みやすくするため、キャラクターの表情芝居やちょっとした見せ方の工夫で情報が伝わるよう工夫したんです。

――確かに情報量がとても多く、第1話の序盤は何が何だか分からない感覚もあります。でも、観ていくうちに、なんとなく状況が理解できるように作ってありますね。

大塚　そう思っていただけたのなら、こちらの狙い通りですね。たとえば「ウーパナンタ」や「ピュトンピュト」といった独特の用語は、視聴者の頭に浸透するように何度もキャラクターの口から出すようにしたんです。また、大事な情報が出てくるシーンで、カッコよさを重視したレイアウトやアクションをメインにしてしまうと、そちらに気を取られて内容が伝わりにくくなってしまう。僕のこれまでの経験でも、こちらはちゃんと伝えたつもりでも視聴者に伝わっていない、ということがちょくちょくありました。だから、分かりやすさ重視にしながらも「説明されている感」が出すぎないよう、絵で伝えられる部分はあえて語らないということもしました。

このあたりの見せ方が下手だと、「ああ、なんか説明コーナーが始まったぞ」となってしまい、視聴者が物語に入り込みかけていたところからスッと離れてしまうんです。一方、そこがうまい作品は、特に疑問も抱かず普通に見られるので、一見すると何の工夫もしていないように感じる。でも、実は様々な計算の元で巧みに作られているんです。『ワンダーハッチ』の制作では、そういう見せ方を目指しました。

伊藤　第1話の冒頭はアニメパートから始まりましたが、いきなりクライマックスからの幕開けなんですよね。その時点で異世界は崩壊しかけていて、最後の希望であるアクタ空団がラスボスであるジャイロに挑んでいるという。その中で「浮島が空にできた渦の中心に吸い寄せられる」という特異な現象を大塚さんがうまく描いてくださったことで、この作品の独自性が補完できました。視聴者がお話にすんなり入るにはどうアプローチすればいいのか、僕自身も今回の作品を通じて勉強になりました。

大塚　冒頭は「なんだか大変なことが起こっている」くらいしか分からないと思いますが、観ているうちにこの世界のことがつかめていく。そして、ちょっとずつ入ってくる説明を通して、物語にどんどん引き付けられていく。そういう形になればと思いました。

世界を救おうと奮闘するタイム

共に世界を救おうとしていたアクタには拒絶され、帰る方法も見つけられないタイム。それでも彼は、絶望にとらわれることなく奮闘していた。しかし今、タイムは「ウーパナンタを救うためハナを殺す」というつらい決断を迫られており、彼の中の「正義」が試される。

アニメシーンを切り分けた妙手

「当初、第1話はほとんどアニメシーンで構成するはずでした。でもアニメパートの納品後、萩原監督がそれを半分に切り分けて、後半を第2話に挿入していたんです。完成映像を拝見して『こういうふうにしたのか！』と驚きました。

ナギと母親の再会

亡くなったはずの母・ハナは実は生きており、自我を失いながらも病室で孤独に過ごしていた。自分は捨てられたと思っていたナギだが、ハナの現状を知って、心が大きく揺れ動く……。ナギがこれから母とどう向き合っていくのかも、注目していきたい。

ハナ
演／田中麗奈
ナギの母親で漫画家。見たことのない世界のイメージが次々に頭に浮かぶようになり、やがて病院に入院。今も自我を失ったままだ

モチーフにしたのはモンゴルなどのアジア圏

――ウーパナンタの独特の世界観やキャラクターなどのデザインを手掛けたのは、漫画家・イラストレーターの出水ぽすかさん。どのような経緯で依頼することになったのですか？

伊藤　企画当初、コンセプトアートをどなたにお願いするかの話し合いになった時、物語を生み出すだけでなく作品世界を一から構築できる人として漫画家にお願いしたいというお話になりまして。そして、魅力的な世界を描ける作家として出水先生の名前が挙がったんです。出水先生といえば『約束のネバーランド』が有名ですが、SNSではファンタジックな絵をたくさん発信しているんです。個性あふれる魅力的な世界を緻密な絵で表現できる出水先生ですが、特にドラゴンのイラストをたくさん描かれていたので、本作のコンセプトアートに適任だという話になりました。

――『ワンダーハッチ』に登場するドラゴンたちはみんな愛嬌もあって、カラフルですね

伊藤　萩原監督からは「東洋発のファンタジーアドベンチャー」というコンセプトが提示されていたので、ドラゴンもよくある西洋風のものではなく、東洋の要素も盛り込んだ路線でお願いしたいとお伝えしました。そうして出水先生が考えてくださったのは、鯉のぼりをモチーフに、これまでにない発想で描かれたドラゴンだったんです。出水先生のオリジナリティあふれるデザインで仕上がったドラゴン、ウーパナンタのコンセプトアート、そして魅力的な登場人物たちが、作品の方向性を決めてくれたと思います。

――ほかにウーパナンタのモチーフになったものはありましたか？

伊藤　モンゴル人の衣装やアジアの少数民族の文化などが、ウーパナンタの美術設定のモチーフになっていたようです。萩原監督からは「東洋風にしてほしい、ただし和風にはしないで」という注文がありまして。その希望に応えて、出水先生はアジア圏のさまざまな文化をベースにしながらも、特定の民族のものとは明らかに違うという絶妙な落としどころでデザインしてくださいました。どこかで見たことある気がするけど世界のどこにもないという異世界の文化が、衣装や背景設定から伝わるものになっていると思います。

――出水さんの原案を元に、キャラクターデザイン・総作画監督の千葉崇洋さんがアニメ用にリデザインしています。千葉さんが手掛けたキャラクターたちを見て、どのように思いましたか？

大塚　千葉さんは尊敬する先輩なので、監督の立場で偉そうにコメントするのははばかられますが……さすが千葉さん、見事にこちらの意図に応えてくださったと思います！　出水先生の絵の魅力を活かしつつ、千葉さんの個性とカッコよさを乗せたデザインに落とし込んでいただきました。特に第1話は、アニメシーンが多いし、作品の導入部としても重要だったんですが、千葉さんが作画監督を担当したカットが多く、タイムやアクタたちが生き生きしていたなと思います。

タイムが現実世界へ行った時期

クタが現実世界へ飛ばされ、タイムも後を追って現実世界へ行きましたが、その期間がどれくらい空いていたのか、作中では明言されていません。一応、タイムが日本の文化や日本語について勉強しているシーン……の時間経過……たが、『約……だければと……

――千葉さんの絵のどんなところに魅力を感じますか？

大塚　キャラクターを斜めから見た時のシャープなあごのラインとか目の角度が、エッジが立っていてカッコいいんですよ。そして作中のタイムの表情がすごくいい。キャラ設定画の段階でもいいなと思っていましたが、制作中に千葉さんが描いた原画はこちらが想定していた以上のカッコよさで「うわっ、すご!!」と一人で喜んでいました（笑）。ほかの原画マンさんのカットに僕が修正をのせても「うーん、普通」という感じなんですけど、千葉さんが修正を入れると2段階くらいレベルが上がる。やっぱり千葉さんが総作監をやってくださると安心感があるし、実写とアニメの共同作業という難しい作品の制作を乗り切れたのも、千葉さんのおかげだと思います。

――今後配信される第6話以降の見どころを教えてください。

大塚　第5話では、スペースやジャイロの過去が明かされるなどの大きな展開がありました。ここから、ウーパナンタの理の歯車がかみ合わなくなっていった理由なども分かり、終盤に向けて物語が加速していきます。どうか最後までお付き合いください。

伊藤　タイムやアクタよりもずっと前に現実世界に来ていたスペースが、ナギの母親・ハナの命を狙うという急展開を見せています。第6話以降はもうジェットコースターみたいな展開の連続で、最後まで一気に観たくなると思います。タイムとナギは、世界を救うためにどんな行動をとるのか。そして、アクタは何を考えているのか。彼らの行く末を見届けていただければと思います。

ドラゴンのデザイン

「出水先生は、メインどころのドラゴンだけでなく、こちらが依頼していないモブドラゴンのデザインも、空いたスペースにいろいろ描いてくださいました。そういう『おまけで描いてくださったもの』も、ありがたく作中で使わせていただきました！」（伊藤）

★大塚さんの連載コラムはP104〜を見てね。

アニメージュ
Animage

ひろがるスカイ！プリキュア

300年前のプリンセスたち

力がすべてではないのだとしたら

アンダーグ帝国を統べるカイゼリン・アンダーグがついに姿を現した！ スカイランドとアンダーグ帝国との戦いは、300年前の因縁にさかのぼる。

キュアノーブル プリンセス・エルレイン
伝説になった最初のプリキュア。パワ　を使い果たした後は一番星となり、ソラたちを見守ってきたエルに最後の力を渡すと、平和を願い消滅した

エルとエルレインの関係

エル（成長した姿のエルさん）とエルレインは、名前だけでなく容姿もどこか似ている。また、それぞれ変身したキュアマジェスティとキュアノ　ブルの名乗りは、どちらも「降り立つ気高き神秘！」。エルはエルレインの生まれ変わりではなく、別人格の　　　　　一番星となったエルレインの力を　　　　　その意味で共通項が多い

少女だったカイゼリン

　　カイゼ　ンはエルレインに優るとも劣らぬ心優しき少女だった。それは、強さとは力ではなく優しさであるという、シリーズのテーマ性から来ているものだ　特に第45話、キュアノーブルは怒りに任せてカイザーを力で倒そうとしたが、カイゼリンは身を挺し、傷を負いつつ制止した。このシーンが彼女の本質を象徴している

カイゼリン・アンダーグ

マジェスティクルニクルンの力によって300年前の世界を訪れたソラたち。当時のスカイランドも、アンダーグ帝国から侵攻を受けていた。そしてプリンセスであるエルレインは、人々を守りたい想いからプリキュアに変身。これが、伝説のプリキュア・キュアノーブルだ。

カイザー・アンダーグとキュアノーブルの激しい戦いが繰り広げられる中、カイザーの娘・カイゼリンは和平を望み、自らを盾にして両者を止める！　優しきプリンセスの友情は、両国の平和の証となった。しかし、その後カイゼリン側は、なぜか一方的に交流を断ってしまったという。

とはいえ、アンダーグ帝国とも一度は分かり合えたのも事実だ。キュアスカイは、スキアヘッドに今一度対話を求めるが、彼は自らの身をもって差し違えようとする。キュアマジェスティの力でスカイは助かったが、スキアヘッドは……。

恨みをつのらせるカイゼリンは、裏切ったのはキュアノーブルのほうだと主張するが、それは本当なのだろうか？　300年前の真実は、まだ見えぬままだ。

カイゼリン・アンダーグ
アンダーグ帝国の現在の支配者。自分の教師でもあったスキアヘッドを頼りにしている。300年前の傷が開いたため、カプセル内で静養することに

現在のカイゼリン・アンダーグ

ついにマジェスティの個人技が発動

これまで個人技がなかったキュアマジェスティ。それが第47話でエルレインから「最後の力」を渡されたことで、キュアノ　ブルの決め技・マジックアワ　ズエンドと、アンダーグエナジーから防御する技・マジェスティックベールが使えるようになった。守りたいという気持ちを持つ彼女自身の技が、ようやく生まれたということか

「心の力」と「仲間」はプリキュア不変のテーマ

シリーズ構成 金月龍之介

エルちゃんという

★アニメージュ1月号増刊「ひろがるスカイ！プリキュア特別増刊号」絶賛発売中。P.80を見てね。

Animage

アニメージュ

ドラマチックに血まみれ

[…]世界で繰り広げられる
[…]ストーリーと暴力的なアクション
谷口悟朗監督が送る[…]映画の魅力に迫る

遺伝子改造により生み出された亜人、獣人、魔族など多様な種族が壁に囲まれ、それぞれが独自の文化を持つ街「クラスタ」で暮らす世界。素手や銃撃戦から魔法や超科学まで、"何でもアリ"の自由なエンタテインメント——それが谷口悟朗監督が発想した「エスタブライフ」の魅力だ。

TVシリーズ『エスタブライフ グレイトエスケープ』では橋本裕之監督が、この世界で活躍する逃がし屋・エクストラターズの少女たちをポップでキッチュに描き、時にコミカル、時にドラマチックなストーリーで楽しませてくれた。

そして同じ世界観で谷口監督自身は、シリアスで、乱暴で、かつ血なまぐさい『BLOODY ESCAPE』を作り上げた。行き場をなくした改造人間・キサラギ、キサラギと因縁を持つ人間の兄妹、不死の吸血鬼集団、新宿をナワバリにするヤクザ、さらにTVシリーズの主人公だった逃がし屋たちも登場して繰り広げられる逃走劇。TVシリーズともまったく異なる"何でもアリ"の危険な魅力を、ぜひ劇場で味わってほしい。

ルナルゥ
兄のクルスと共に新宿クラスタに住む人間の少女。ヤクザの世界か水商売でしか生きる道のない街で、異なる生き方を求めながら高等学校に通う

キサラギ
元は普通の人間で下級奴隷だったが、人体実験で改造されサイボーグ・ヴァンパイアとなった。生きる理由も死ぬ理由もない虚無の男

【逃走、闘争、そして逃走】

吸血鬼集団「不滅騎士団」から逃れたキサラギが新宿クラスタに流れ着き、ヤクザと不滅騎士団との闘争が開始され、そして新宿からの脱出劇へ——物語はめまぐるしく展開する

【孤独な男の秘密】

キサラギは改造人間で"サイボーグ・ヴァンパイア"とされる存在。その過剰に盛られた特徴の裏には、実は物語の根幹に関わる事実と悲しい過去が隠されている

【血まみれのストーリー】

映画冒頭から容赦なく展開する血まみれシーンは本作の大きな特徴。吸血鬼も登場するストーリーの中で、"血"は単なる残酷描写にとどまらない、重要なモチーフとなる

【特別な血】

作中で飛び散る"血"の中でも特に重要な意味を持つのが、キサラギが体内に宿す血。彼の血には不死身の吸血鬼を滅ぼす効果があり、それゆえに不滅騎士団に追われることに

【新宿クラスタ】

物語の舞台となる新宿クラスタ[…]が、物語を陰鬱に支配する

【新宿の兄妹】

新宿に流れ着いたキサラギは、クルスとルナルゥの兄妹のもとへ。キサラギと過去に因縁を持つ兄と妹の物語は悲劇を乗り越え、未来を目指[…]

【ド熱い秘密兵器】

改造人間としての身体[…]を駆使して戦うキサラギのもとに、クライマックスで驚きの"武器"が届けられる。その武器が初めて火を噴く瞬間、興奮は最高潮に

【逃がし屋】

[…]逃がし屋・エクストラターズは、本作ではキサラギとルナルゥの逃走を手助けしつつ[…]ポジションで登場。TV[…]も見どころ

監督 谷口悟朗×キサラギ役 小野友樹

舞台が新宿になった理由

谷口　TVシリーズと基本設定は変えないとすると、新宿以外の場所はパンツを履いていなかったり（お台場）、ペンギンが支配していたり（池袋）で、クセがありすぎて。

小野　（笑）。

谷口　新宿だったら少なくともまだペンギンにも支配されていないし、映画で手が出せる余地があるということですね。

小野　新宿はアフレコスタジオなどもあってよく通っているし、僕も愛着があります。今回のテーマに沿った「荒廃感」みたいな面でいうと、主な舞台になっている区画って歌舞伎町あたりがモデルになっていますよね？

谷口　イメージとしてはバブル期の新宿ですね。だから汚いんです。汚いけれど、夜になるとネオンの明るさ、華やかさでその汚さが隠れちゃう。

小野　ああ、そういうことなんですね（笑）。まあ、今の新宿が「汚い」ということではなく、あくまでイメージですが……生活感や「その日暮らし」的な空気感がある一方で、夜になると煌びやか。その両方がある街としての新宿。まさにこの作品のテーマにピッタリだったわけですね。

BLOODY ESCAPE
-地獄の逃走劇-

✦新宿バルト9ほかで絶賛公開中　HP✦bloody-escape.com

監督

谷口悟朗

Goro Taniguchi
主な作品は『コードギアス 反逆のルルーシュ』（監督、ストーリー原案）、『バック・アロウ』（原作、監督）、『ONE PIECE FILM RED』（監督）ほか

乱暴で予測不能なアクション映画

――本作は[illegible]通する自由度の高い世界を舞台にした映画ですが、改造人間、吸血鬼、ヤクザと詰め込まれた要素のバイオレンス度が高めですね。

谷口　映画としての特徴を出したかったということです。TVシリーズ（『エスタブライフ　グレイトエスケープ』）は女の子3人組が主人公で、明るくて時には笑える賑やかな作品でしたが、映画はそれとは違う雰囲気にしよう、と。その時、ヤクザだったりヴァンパイアだったり、どこか血生臭いものを持ってこないと私自身も（TVシリーズの雰囲気に）引っ張られる危険性があった、ということもありますね。

小野　僕も台本を読んで、TVシリーズとの雰囲気の違いにビックリしました。もちろん、地続き部分もあって、TVシリーズのキャラクターも登場しますが、描く角度がまったく違うんだなと感じました。女の子たちがあまり出てこなくて、代わりにやたらと血みどろだし（笑）。タイトルロゴもスタイリッシュな今風ではなく、昭和の任侠映画のようなニュアンスがあります。

谷口　世界観は同じでも見え方が違う。TVシリーズはこちら側から見た景色、映画は反対側から見た景色という。そうすると当然、いろいろ変わるものが出てくるわけです。私はここ数年、綺麗なアニメ映画がちょっと増えたなと感じているんです。別にそれがダメだと言うつもりはないですが、ややもするとアニメが青春映画やアイドル映画ばかりになってしまう危険性もある。私がもともと好きだったアニメーションは、もっと多様性を持っていた気がします。幸いにしてそうじゃないタイプの作品もいくつかあって、なら私もアニメーションがもともと持っていた下世話な部分や乱暴な部分を思い出して撮るべきなんじゃないのか？　そのためにも、今作のような映画をぶつけておきたかったという気持ちもありました。

――「今、血みど[illegible]」といった感覚が？

谷口　ジャンルの多様性の問題ですね。あと、「血みどろであること」より、「血みどろの意味」が大切と言えばいいかな。血が飛び散るのはあくまで結果であって、飛び散るのだったら飛び散るだけの理由があるし、登場人物たちもそれを踏まえて描くということ。そういった意味も含めて、今作で目指したのはいい意味で乱暴なアクション映画です。綺麗ではないアクション映画。「綺麗ではない」というのは、ソフィスケートされていないもの、という意味ですね。

――荒っぽくて意外性に満ちた映画で、小野さんが演じた主人公キサラギはどんなキャラクターとして描いたのでしょうか。

谷口　わかりやすく伝えると、「被差別の民」を描きたかったんです。明確な自己主張をしないと社会に居場所がない人。私の中では、改造人間というのも社会的弱者なんです、『仮面ライダー』の頃から。社会の隅にいて、石を投げられる存在です。

小野　監督のおっしゃるとおり、キサラギは追われ続けて、本当に自分の居場所がないですよね。過去の描写を見ると、素直で温かい部分を持っていたと感じるけれど、生まれ育った新宿を追われ、逃げ込んだヴァンパイアの世界からも追われ……その中で本来持っていた性格や感情がなくなっていった。そんな彼が、失ったものを取り戻していく過程が描かれます。改造人間だとか、ヴァンパイアを殺せる〝血〟が流れているとか、身体的にはぶっ飛び設定を持っていますが、心は誰より人間だなと感じながら演じました。

――キサラギのアクションをご覧になった印象はいかがですか。

小野　完成した映像を観て、月並みな感想ですが本当に驚きました。キサラギのワイヤーアクションは僕としても推したいポイントです！　空中を浮遊して自由に動くのもファンタジーとしては楽しいですが、キサラギはワイヤーを使った直線的な動きをつなげながら移動するんです。あのワイヤーアクションは独特ですね。

谷口　私はいわゆる「有線」が好きなんです。無線って確かに楽ではあるんだけど、あまり楽しくない。線がつながっていると多分、そこになんらかの色気が発生する。

小野　「有線のよさ」……今、すごくしっくりきました（笑）。

谷口　私が『機動戦士ガンダム』第1話で一番好きな場面は、連邦軍がザクに向かって有線で誘導ミサイルを撃つところ。ザクなんかどうだっていい（笑）。

小野　（笑）。無線でいろいろ便利になる時代へのアンチテーゼではないですが、有線のよさを感じるアクションシーンですね。

――TVシリーズはそれこそ魔法や超能力的な描写もあり「何でもアリ」の世界ですが、映画ではもう少し生々しくリアルなアクションを目指したのかなと。

谷口　そうです、飛び道具だらけになったらやはりつまらないですから。どこか地に足をつけさせるという意味で、そのひとつがキサラギのワイヤーアクションでもありました。

小野　そういう意味で言うなら、今回は「鉄道」ですよね。線路の上を列車で疾走するのがクライマックスです。決まった線路の上を走って逃げるしかない状況で、「さあ、どうする？」というストーリーが描けるのも「有線」の面白さのひとつかもしれない。

谷口　そこはやはり映画の伝統ですね、鉄道が出てくるというのは。鉄道は映画にとっては大事なモチーフだったりするじゃないですか。

小野　なるほど、『新幹線大爆破』しかり、『オリエント急行殺人事件』しかり（笑）。

――リュミエール兄弟が作った「世界で最初」と言われる映画の1本も、蒸気機関車の映像（『ラ・シオタ駅への列車の到着』）ですからね。

谷口　そう考えるとやはり、ここは線路を使わないといかんよね、と。

断食で挑んだ[illegible]

――アフレコでの印象的なエピソードはありますか？

小野　オーディションで合格をいただいて――さあ収録だという1週間くらい前でした――谷口監督からわざわざ「収録に向かうにあたって」というお手紙をいただいたんです。そこには、「今まで培ってきた芝居の技術は一度忘れてほしい」、そして「キサラギというキャラクターは〝飢え〟を大事にしてほしい」というメッセージが熱い言葉と共に書かれていました。なので、技術に関してはとにかく抜き身でやらせていただくしかないなと考えて。そして、飢えに関してはどうしようかと考えて……じゃあ自分で感じてみようと思ってアフレコ前の二日間、断食をしました。

――え？　本当に断食を!?

小野　「え？」ってなりますよね（笑）。はい、本当に断食してみました。もちろん、栄養が足りずに頭が動かなくなったら意味がないので、酵素ドリンクなどを摂取して慎重にやりましたが。物質的な固形物は抜いてアフレコに臨みました。

谷口　あの……私が「断食しろ」って言ったわけじゃないですよ（笑）。〝飢え〟を大事にしてほしかったのは確かですが、どういう形で大事にして表現するかは演じるご本人が決めることであって。

小野　はい、それで自分なりに考えた結果、「物理的に飢える」というのが僕のアプローチでした（笑）。

――監督は断食しての収録だとご存じでしたか？

谷口　いや、収録の時は聞いていなかったので。ただ、小野さんの演技にいい感じで余計な力が入っていないことは感じました。何となく、自然体に近い形でキャラクターに入ってくれたんじゃないかなと思っていましたが。

小野　じゃあ、意味がありましたね、よかった。普段のアフレコでは断食は絶対にダメですからね、お腹が鳴っちゃうので。でも、僕なりにやっぱり収穫があったというとおかしいですが、飢えている状態ってやはり無意識に何かを求める感覚が生まれるんです。それを上手く芝居に転換できたかどうかはわからないですが、監督にそんな風に届いていたとするならば、ある意味でバカな方法ですが、僕なりのひとつの回答は出せたのかなと思います。

谷口　でも……他作品でそれをやっても、私は責任取らないですからね（笑）。

小野　みなさんには絶対にオススメしません！（笑）

――そんな渾身のアフレコを経て完成した本作、観客にぜひ、ここを観てほしい！というところを教えてください。

小野　見どころは数多ありますが、今の話の流れで言うと……監督も「力が入っていなかった」と言ってくださいましたが、断食して臨んだこともあって、今回は普段の僕のお芝居と〝出し方〟がまず違うんです。声の発露の位置が違うという感覚。それがどのようにキサラギに乗って届くのかが僕としても楽しみですし、皆さんにもぜひ注目していただきたいポイントのひとつです。それと合わせて、個人的にどうしても言いたいのですが――ルナルゥ役の上田麗奈さんの声も。今まで聞いたことのないところから出ている感覚がありました。今回、僕は主に上田さんと一緒に収録したのですが、彼女も彼女なりに普段と違うアプローチを求められて、自問自答しながら頑張る姿を横で見ていたんです。声も含め

たルナルゥの存在感をしっかり聞いていただけると嬉しいです。今までとはひと味違う上田さんを感じられると思いますので、ぜひお楽しみに！
谷口　確かに各役者さんがそれぞれ頑張って答えを出していただいたので、その声を味わっていただけると嬉しいかなと思いますね。広く〝音〟という面では効果音や音楽に関しても、映画館で一番楽しめるように調整してもらっています。
――音の迫力もすごいですよね。
谷口　CGアニメの技術的な面で言うと、キャラクターの芝居ですかね。今までのポリゴン・ピクチュアズさんの仕事を基にして、さらに進めるために顔や体の表情や表現をオーダーし、スタッフの皆さんがそれに応えてくれています。さらに、アクションを含めたキャラクターの動きに関しても、CGアニメーターさんたちに「これくらい柔らかく捉えていいんだ」とか「こういうポージングでいいんだ」と伝えるために、手描きのアニメーターさんに協力してもらっていて。加藤裕美さんと木村貴宏さんにポーズ参考などを描いてもらっています――それでいうと多分、木村さんの最後の作品のひとつになるのかな。そういった形で、多くの人たちのアイデアを使わせてもらいました。と同時に、改造人間、吸血鬼、ヤクザといろいろ〝アホな要素〟が多いですが、シリアスなドラマもちゃんと入れていますので、そういうところも感じてもらえると嬉しいです。アクションものはやはり劇場で観てこそですから、ぜひ大きなスクリーンや豪華な音響で楽しんでいただけるとありがたいですね。

Illustrated by Yusuke Kozaki ✦「劇場とも少し違った、劇画な雰囲気で描いてみました」

キサラギ役 小野友樹

Yuki Ono
6月22日生まれ／静岡県出身／フリー／主な出演作品は『[illegible]』（[illegible]）、『佐々木と宮野』（小笠原次郎）ほか

――最後にタイトルにもある「ESCAPE＝逃亡」という言葉にちなんで、「ここから逃げたい」と思っているものはありますか？
小野　僕は、強いて言えば〝脂肪〟ですね。食べるのが大好きなんですが、一食で3～4キロ太るんですよ、僕。
谷口　え？　そんなに!?
小野　メチャクチャ食べるんです、本当に。
谷口　それ、生配信番組とかでやったほうがいいんじゃない？　「一食で4キロ太る男」。
小野　そもそも去年、ダイエットして2ヵ月で25キロ落としたんですが、落とした理由は「食べたいから」なんです（笑）。たくさん落とさないと、その分食べられないから落としたんですけど、その後、10ヵ月くらいでまた30キロ戻ったんです。でも、もういい年齢なので、これを繰り返すのはまずいってことで。今回の減量こそもう二度と減量しなくていいようにと、今は食べながら減らしているんです。もう二度とついてほしくないという意味で、逃げたいものは〝脂肪〟です。そんな僕がこの作品には断食をして向き合ったということを、最後にあたらめて強調しておきます！（笑）
――では、谷口監督が逃げたいものは？
谷口　まあ……それはもう、アニメの仕事ですよね。
小野　あらまぁ。
谷口　面倒くさいもん、毎回、毎回面倒くさいけど、まぁやるしかない。もうずっと、そういうことの繰り返しですよ、何十年も。私、他には何もないから、それ以外のものでご飯を食べる方法がない。それに、他人様が作っているのを見ると腹が立つじゃないですか、ものすごく（笑）。
小野　（笑）。
谷口　そうすると結局、憤りを埋めるために仕事をするしかないけど、また面倒くさいなぁみたいな、そういうことの繰り返しです。仕方ないですね、そうしてここまで来ちゃったので。

涙と共に進んだ道のり

一人一人のキャラクターに濃厚なドラマが描かれた「SEEDシリーズ」。最新作の公開を前に、キラ・ヤマトの印象的なシーンをピックアップ。過酷な戦いの日々の中で歩んできたキラの足跡を振り返る——

アスラン・ザラ
声／石田 彰
キラの幼なじみのコーディネイター。頭脳明晰で生真面目だが、熟考の末にブレることも

1. 平和の終わり

プラントの軍事組織ザフトと地球連合軍の戦争が続く最中、中立国オーブの資源衛星ヘリオポリスで生活する学生キラ・ヤマトの日常は、平和なものだった。だが、地球連合軍が開発したモビルスーツ奪取のためザフトが襲来。現場にいたキラとその友人は巻き込まれてしまう。

2. 思いもよらぬ再[illegible]

逃げ遅れた少女を追ううちに、工場区画に迷い込んでしまったキラ。居合わせた地球連合軍士官マリュー・ラミアスが、キラをストライクガンダムの中に避難させようとする。その瞬間に襲ってくる一人のザフト兵——それはキラのかつての親友、アスラン・ザラだった。

3. キラの能力の[illegible]

アスランはイージスガンダムを奪取して去り、キラたちも爆発する工場からストライクで脱出。キラは負傷したマリューの代わりに操縦し、凄まじい速度でストライクのOSを修正していた。誰にも教わっていないのにできたのは、キラがコーディネイターだからだ。

4. 地球連合軍のパイロ[illegible]

機密保持のためキラは、地球連合軍の戦艦・アークエンジェルに拘束される。キラがOSを書き換えたストライクは、彼にしかパイロットを務めることができない。アスランたち同胞と戦うことへの苦悩、仲間を守りたい気持ちの両方を抱き、キラは戦場へ出るのだった。

5. ピンクの[illegible]お姫様

デブリ帯で救出した救命ポッドから出てきたのは、プラントの最高評議会議長シーゲル・クラインの娘であるラクス・クライン。二人はお互いアスランと縁があることに驚き、話に花を咲かせた。なお、当時のラクスは政治的な理由から、アスランと婚約関係にあった。

6. 彼の手は取れない

ザフトの攻撃を止めるための人質にされたラクスを見て、キラは彼女をプラントへ戻すべく、独断で連れ出した。ラクスを引き渡す際、アスランから「一緒に来い」と誘いを受けるが、キラは応えなかった。アークエンジェルには大事な友達がいるから、と。

7. 助太刀はあの日の[illegible]

アークエンジェルは連合の地球本部に向かう途中、軌道を外れてザフト勢力圏のアフリカへ降下。ザフトに夜襲を仕掛けられるも、レジスタンス部隊「明けの砂漠」の助太刀で難を逃れる。その部隊には、ヘリオポリスで逃げ遅れていた少女、カガリ・ユラ・アスハも所属していた。

8. 戦争の終わりとは

ザフトと知らず、アンドリュー・バルトフェルドの屋敷を訪れたキラ。バルトフェルドは戦争について問う。「どこで終わりにすればいい？」「敵である者をすべて滅ぼして、かね？」。それは大切な人を守るために、敵を倒し続けていたキラを変える言葉となった。

2024年、完全新作の映画『機動戦士ガンダムSEED FREEDOM』が公開——その一報に、歓声を上げた人も多いだろう。劇場版の制作が発表されたのは随分前、2006年の5月。当時は本誌も表紙で祝い、公開を楽しみにしていた。あれから約18年、やっとその日が来たのである。

現在も根強い人気を誇る「SEEDシリーズ」。放送当時の熱狂ぶりは、計り知れないほど絶大だった。その理由の一つが、人間ドラマの奥深さ。平和な日々が一変し、戦争に巻き込まれていく[illegible]たち。[illegible]かに向き合い、考え、苦悩する姿と[illegible]としての弱さ[illegible]衝突し、[illegible]をしていく中で、[illegible]言動がちぐはぐだったり、異性の[illegible]に負ける姿を見せる。不格好で、[illegible]人間くさい[illegible]の姿は[illegible]視聴者の共[illegible]生み出した。そして[illegible]されるもの[illegible]だろう。[illegible]の[illegible]であとわず[illegible]いま一度、[illegible]の[illegible]たどるのもいいか[illegible]

9. 今も大事だから

アークエンジェルが潜伏していると睨んで潜入したオーブで、アスランは自分がキラに送った鳥型ロボットのトリィを見つける。キラのもとへ届けに行くも、すぐに立ち去るアスラン。その背にキラは「昔、大事な友達にもらった、大事なものなんだ」と投げかけた。

10. 戦いたくないのに

「これ以上戦いたくない！」と、アスランに訴えるキラ。アスランを助けるため、二人の間にザフトのパイロット、ニコル・アマルフィが割って入る。咄嗟に反撃したキラは、ニコルを死に追いやってしまう。その時のアスランの絶叫は、キラの耳にも届いていた。

11. 憎しみと友情の

アスランと再び戦場で邂逅したキラは、自分を援護しにきたトール・ケーニヒを目の前で失い、激しい怒りによって覚醒。同じく覚醒したアスランと死闘を繰り広げる。最終的にイージスを変形させ、ストライクを捕らえたアスランが機体を自爆させ、決着を迎えた。

12. フリーダムと共に

倒れていたところを救出されたキラ。ラクスのもとで戦う意味を考えながら、傷ついた心と体を癒していたが、アラスカ基地にいる仲間の危機を知って帰還を決意。ラクスから"今のあなたに必要な力"として、フリーダムガンダムを託されたキラは、地球へと飛び立つ。

13. 彼の手を取って

キラの苦戦を前にアスランは、さまざまな思いが交錯するも共闘する道を選ぶ。戦いを終え「俺たちは本当は、何とどう戦わなくちゃいけなかったんだ？」と問うアスランに、キラは「一緒に行こう、アスラン」「みんなで一緒に探せばいいよ、それもさ」と微笑む。

14. キラ出生の秘密

メンデルでの戦いでキラは、ラウ・ル・クルーゼを追跡し、遺伝子研究室に行き着く。クルーゼは、ここで行われた最高のコーディネイターを産む遺伝子研究の唯一の成功例がキラだと語る。多くの犠牲のうえで自分が生まれたことに、キラは衝撃を受ける。

15. 悲劇を前にして

キラがフレイ・アルスターの乗る脱出艇に手を伸ばした瞬間、それを撃墜したクルーゼ。悲しみに暮れる間もなくキラは、クルーゼの襲撃を受けるラクスのもとへ駆けつける。人の業の深さを問われるキラだが、「それでも！」「守りたい世界があるんだ！」とクルーゼを討った。

キラ・ヤマト

声／保志総一朗

コーディネイター。温和で優しく、精神的に弱い面もあるが、こうと決めたらまっすぐで、その性格は戦闘でも表れる

機動戦士ガンダム SEED FREEDOM

★1月26日(金)全国ロードショー
HP★https://www.gundam-seed net/freedom/
X(Twitter)★@SEED_HDRP

STAFF 企画・制作／サンライズ 原作／矢立 肇、富野由悠季 監督 福田己津央 脚本／両澤千晶、後藤リウ、福田己津央 キャラクターデザイン／平井久司 メカニカルデザイン／大河原邦男、山根公利、宮武一貴、阿久津潤一、新谷 学、禅芝、射尾卓弥、大河広行 メカニカルアニメーションディレクター 重田 智 色彩設計／長尾朱美 美術監督 池田繁美、丸山由紀子 CGディレクター／佐藤光裕、櫛田健介、藤江智洋 モニターワークス、田村あず紗、影山慈郎 撮影監督／葛山剛士、豊岡茂紀 編集／野尻由紀子 音響監督 藤野貞義 音楽 佐橋俊彦 主題歌 西川貴教 with t.komuro「FREEDOM」 製作／バンダイナムコフィルムワークス 配給／バンダイナムコフィルムワークス、松竹

CAST キラ・ヤマト／保志総一朗 ラクス・クライン／田中理恵 アスラン・ザラ／石田 彰 カガリ・ユラ・アスハ／森なな子 シン・アスカ／鈴村健一 ルナマリア・ホーク 坂本真綾 メイリン・ホーク／折笠富美子 アグネス・ギーベンラート 桑島法子 アウラ・マハ・ハイバル 田村ゆかり オルフェ・ラム・タオ／下野 紘 シュラ・サーペンタイン／中村悠一 イングリット・トラドール／上坂すみれ グリフィン・アルバレスト／森崎ウィン

イラスト初出：ロマンアルバム 機動戦士ガンダムSEED［ストライク編］
Illustrated by Hisashi Hirai, Youichi Ueda　Finished by Reiko Iwasawa／Special effected by Masayuki

気になる絆の行方

アスランとカガリ

16. 少年の意味深な言

前大戦から２年。オーブの慰霊碑を訪れたキラは、ザフトの少年シン・アスカと出会う。慰霊碑の周りの花を見て「波を被ったから、また枯れちゃうね」と話すキラに、シンは「誤魔化せないってことかも。いくら綺麗に花が咲いても、人はまた吹き飛ばす」と言う。

17. 狙われたラクス

オーブのマルキオ導師のもとへ身を寄せ、ラクスや孤児たちとともに静かな日々を送っていたキラ。プラント、地球連合間の緊張が再び高まる中、キラたちはラクスを狙うコーディネイターの特殊部隊の襲撃を受け、みんなを守るためにフリーダムで戦場へと戻る。

18. 想いはすれ違っ

ザフト、オーブ・地球連合軍の同盟軍の戦いに武力介入したキラたちの真意を聞くべく、アスランは彼らに接触する。ラクスの暗殺未遂の件や、それによるプラント最高評議会議長であるギルバート・デュランダルへの不信感を語るキラに、アスランはオーブの戦争参入自体を止めさせるよう言い放つ。

19. 募る憎しみ

ステラ・ルーシェの乗るデストロイガンダムは、シンの声で動きを止めていたが、フリーダムが視界に入ったステラは暴走し、キラはやむを得ず撃墜。キラはシンたちの事情を知らない。しかし、戦いの中で抱いたシンのフリーダムへの憎しみは、ますます強くなるのだった。

20. キラ、撃

武力介入を繰り返すアークエンジェルに対し、デュランダルは討伐作戦エンジェルダウンを発令。復讐に燃えるシンはフリーダムを撃墜、キラは大怪我を負う。この一件もあって、デュランダルへの疑念を拭えなくなったアスランは、命からがらザフトを抜け出した。

シン・アスカ

声／鈴村健一

優れた資質を持つコーディネイター　目の前で家族を失った過去に苦しんでいた。後先考えず、心の赴くままに行動してしまう一面も

忘れられない人

ステラ・ルーシェ

声／桑島法子

イラスト初出：アニメージュ 2005年5月号
Illustrated by Hisashi Hirai　Finished by Nagisa Abe

21. ラクスを守るために

メンデルへ調査に向かったラクスの乗るエターナルが、ザフトに発見された。キラは「ラクスを守るんだ、絶対に」とアスランに言われ、カガリから借りたストライクルージュでエターナルへ。そこで新たな機体ストライクフリーダムガンダムに乗り換え、ラクスを守り抜いた。

22. 当たり前の幸

ラクスからキラが語った言葉を伝えられたアスランは、キラを助けるために戦線へ復帰。オーブでの戦いのあと、キラはアスランとまた話ができる喜びをかみしめる。「平和な時は当たり前で、すぐ忘れちゃうけど、そういうの、本当はとても幸せなことだって」と。

23. デスティニープ

デュランダルが提唱するデスティニープラン。それは人間のDNAを完全解析して、適性に合った職業に従事させる――つまり、遺伝子のみで人生を決める計画だった。個人の自由意志を認めない社会を築こうとするデュランダルを止めるべく、キラたちは決戦に臨む。

24. その命は誰のもの

レイ・ザ・バレルはキラに、自分はラウ・ル・クルーゼだと名乗る。クルーゼと同じ人間のクローンであるレイは、遺伝子上はクルーゼと同一人物。だが、キラは「命は、何にだって一つだ！」「だからその命は君だ！　彼じゃない！」と叫び、レイは狼狽えた。

25. 引き金を引いたのは

デュランダルとキラが銃口を向け合う中、銃声が鳴り響く。倒れたのはデュランダル。撃ったのはキラではなく、レイだった。「明日が欲しいんだ」「どんなに苦しくても、変わらない世界は嫌なんだ」。レイはキラがデュランダルに向けて放った言葉に、心を動かされた。

26. 何度でも花を

プラントとオーブの戦争が終わり、オーブの慰霊碑でシンと再会したキラ。シンはアスランから、キラがフリーダムのパイロットだと紹介される。かつてここで聞いたシンの言葉に、キラは返す。「いくら吹き飛ばされても、僕等はまた花を植えるよ。きっと」と。

27. キラの身に何が？

再び花は吹き飛ばされ、世界に新たな戦いが巻き起こる。すでに公開されている『SEED FREEDOM』のPVと本予告では、「僕たちは何も守れてない」と嘆くキラや、「闇に堕ちろ、キラ・ヤマト」という声が。これまでの戦いで多くの苦悩と怒り、そして希望を抱いたキラは、何を目にし、何を感じるのだろうか？

気になる絆の行方

俺たちは走り続ける

高橋 英則

伍代 晃役
三浦 祥朗

大崎 新市役
菅沼 久義

羽撮 寿里役
小山 剛志

撮影：大山雅夫

声よし、所作よし、笑顔よしのパーフェクト駅員たちが奏でる楽曲が、ついにアルバムに。聴くものを魅了し続ける、メロディに乗り遅れないよう注意しよう!!

30人の個性豊かな駅員たちが繰り広げるアイドル×駅員プロジェクト『STATION IDOL LATCH!』が、ついに1stアルバム「THE FIRST TRAIN～声よし！～」「THE FIRST TRAIN～所作よし！～」「THE FIRST TRAIN～笑顔よし!～」を発売！　新テーマ曲「Going My LATCH!」に加え、「エキメン総選挙2023」で編成されたブロックごとの新曲を含む異なる7曲と、LATCHたちの日常が垣間見られる完全新録ボイスドラマが収録される。

昨年末には、総選挙で注目を浴びている5人による「第3回エキメン総選挙特番」が配信され、新曲のレコーディング秘話やクリスマスにちなんだクイズで、パッセンジャーたちと大いに盛り上がった。このままの勢いで、2024年も飛躍の年になりそう!!

そして、1st LIVEから約2年ぶりとなる「エキメン総選挙 開票LIVE」が、すぐそこまで迫っている。3rd中間発表を経て、ついに山手線最強アイドルが決まる瞬間を、会場で見届けよう。

投票方法

アニメージュ読者のみんなも投票に参加しよう！

1 まずはこのページのQRコードをスマホで読み込んでね！

一人1日につき1回投票できるよ！
この二次元コードで投票できるのは
2024年1月10日(水)～
2024年2月7日(水)
23時59分までだよ

2 「エキメン総選挙」投票ページに飛ぶよ

3 スマート・リーダー・エンターテイナー・ファンタジスタ・エレガントの5つのブロックから、各ブロック1人ずつ、合計5人のメンバーを選んでね。

スマート
リーダー
エレガント

誤って違うメンバーへ投票してしまっても変更や追加、取り消し等はできないよ。気をつけて！

4 これで投票完了！

投票ありがとうございました

君が投票したメンバーは果たして選ばれるかな？　お楽しみに～！

ほかにもいろんな投票方法があるので、ぜひLATCH公式サイトをチェックしてね
公式HP：https://latch.jp/

今日もアニメイト日和☆

第154回 アニメイト店員雑記

岡ノ部亭 真泰 アニメイトの人。好きな竜は、ドラコケンタウロス。

アニメイト X（Twitter）➡@animateinfo

明けましておめでとうございます！　昨年は世間的にも世界的にもあまりにいろ[illegible]なことがあった一年でした。素晴らしいエンタメを享受して、いろんなことを[illegible]られること自体が、すでに一定以上幸せであることの証左。アニメを、マンガを楽[illegible]る幸せを噛みしめながら振り返る、アニメイトの新春です。

アバヨ卯年、ヨロシク辰年！

今月のお題

2023年

2023年、アニメイトにとっては、**池袋本店のグランドオープン**、**秋葉原店のリニューアルオープン**という、フラッグシップ店舗の大変身が2つもあった印象的な一年でした。感染症対策による様々な規制も緩和され、ライブイベントでは再び歓声を上げられるようになりました。海外からのお客様もまた大勢見られるようになって、まだ気は抜けませんが、新しいお店にたくさんのお客様と、とても活気づいたような印象を受けました。

活気づいた街を見て思うのは、アニメグッズがどんどん日常にありふれたものになっていくなあということです。ここ最近、街行く人々の**スマホケースが軒並みクリア素材**になって、そこにお気に入りのステッカーや写真を入れて持ち歩くというのがトレンドです。そこで**シールやチェキ風のカード**などのアニメグッズが使われているのを見ることの、なんと多いことか。

そういえば最近はグッズの中でも、キーホルダーよりもカードやステッカーのような薄くて小さいものがよく売れていましたが、街中でその理由が知れた思いです。

もちろん、グッズが盛況なのは、そもそも人気のあるアニメが多いからでもあります。SNS上で毎週感想が吹き荒れた『**機動戦士ガンダム 水星の魔女**』、駅や街で見かけない日がない、まさに完璧で究極のアイドルを生み出した『**【推しの子】**』、第1話を地上波の映画枠で放送し、お茶の間の注目をかっさらった『**葬送のフリーレン**』など、いわゆるアニメファンに留まらない認知を獲得した作品が一年を通して絶えなかった印象です。

一方で、物語の丁寧な補完を行い、テーマ性をより鋭く描いている『**るろうに剣心 －明治剣客浪漫譚－**』、ヒロインたちが成長した姿を少しビターに、しかししっかりと希望をもって描いた『**キボウノチカラ～オトナプリキュア\'23～**』などからは、前からあるタイトルの単なるリメイク・リブートではなく、様々な方向からのアップデートを試みる意思を強く感じられました。

映画も話題の尽きない一年でした。TVシリーズで描かれた物語に、最高に賑やかでさわやかなファンファーレを鳴らした『GRIDMAN UNIVERSE』、「DAY1」「DAY2」と現実世界のライブのようにセットリストを変えて上映された『**劇場版アイドリッシュセブン LIVE 4bit BEYOND THE PERiOD**』など、既存タイトルの劇場版作品も傑作揃い。

そんな中、ティザー以外の宣伝をほぼ打たずに封切りを迎えた、宮﨑駿監督の『**君たちはどう生きるか**』は實録のアニメーション表現を見せつけ、シーンを圧倒。ブレンデッドウイスキーづくりという珍しいモチーフを丁寧な描写とリスペクトで作り上げた『**駒田蒸留所へようこそ**』、そして国民的有名タイトルのシリーズ作でありながら、現代社会への鋭い批判的な視点と、魅力的なキャラクターによって紡がれる胸を打つドラマで話題となった『**鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎**』などのオリジナル劇場作品の存在感も、2023年は特に強かったように感じます。

アニメもマンガもフィクションですが、**作り手が考え抜いたことや込められたメッセージはホンモノ**。作品を観て好きになったら、いろんなものを受け取り、人のこと、生き方のこと、世界のことなど、**様々なことを想像するための補助線**にしていく。それが、アニメを好きな私たちが、アニメを観てできることの一つなのではないでしょうか。

2024年も、変わらずアニメを楽しめる世界でありますように！

animate information

★機動戦士ガンダムSEED FREEDOM 劇場公開記念アニメイトフェア

全国アニメイト・アニメイト通販にて【機動戦士ガンダムSEED FREEDOM　劇場公開記念アニメイトフェア】を1月26日より開催いたします。フェア期間中、対象商品のご購入・ご予約で、正装姿のキラやアスラン、ラクス、カガリたちを描いた特典「ブロマイド（全8種）」を1枚プレゼント。同じ絵柄を使用した「アクリルスタンド」や「クリアファイル」などの新グッズも登場いたします。特典がもらえるこの機会をお見逃しなく！

◎機動戦士ガンダムSEED FREEDOM 劇場公開記念アニメイトフェア
開催期間：2024年1月26日～2月25日
開催場所：全国アニメイト・アニメイト通販

うさぎの年は終わらない!?

今月のアニメイト分

2023年のアニメイトのスタートを華々しく飾った、**兎田ぺこらさん**をフィーチャーした「**全人類兎化計画フェアinアニメイト**」。あまりの反響の大きさに、まさかの年末年始を跨いでのアンコール開催です。名付けて「hololive 全人類兎化計画－アンコール－ フェア in アニメイト」！

兎田ぺこらさんが「全人類兎化計画」を掲げ、駆け抜けた2023年。アニメイトジャックをはじめ、多くの大企業とのコラボレーションを実施、新曲を出したりクラフトコーラを出したりの怒涛の勢いの快進撃。さらに、フィナーレを飾る**有明アリーナでの単独ライブ**も大成功で、まさに2023年は何重もの意味で「うさぎ年」でしたが、アニメイトのフェアで、さらにそこに花を添えようというわけです。

新商品も続々ラインナップ、そしてもちろんもらえるフェア特典はぺこーら一色！　加えて、アニメイト秋葉原の2号館ではオンリーショップも開催中です。秋葉原のリニューアルも同じくうさぎ年・2023年。そんな店舗でショップをやるのは、もはや必然です。**さあ、「全人類兎化計画」の続きをやりましょう。**

俺の気になるアレ

オレキニ

ライジングインパクト

『週刊少年ジャンプ』の連載開始か[illegible]ファンなら全員が待っていた[illegible]メ化!!　初報を聞いたときは、口が開きすぎて[illegible]が外れかけました（実[illegible]）。生き生きとしたキャ[illegible]ーたちの群像劇としても極上。情熱と技が[illegible]つかり合う、衝撃のゴルフ物語[illegible]初めて観る世代の心のホールにも届け!!

ライジングインパクト
伝説の
激アツゴルフ物語、
25年以上の時を経ての
アニメ化!!!!
あの頃に夢中になった
ガウェインたちに
また逢えるとは!!!!
黒峰さん推しです!!!!

Illustrated by Shinyasu Okanobetei

大人気配信アプリ『IRIAM』で話題のVtuber/Vライバーに注目！

IRIAM

Liver Magazine

IRIAM×アニメージュ

2024 February Vol.11

あなたのこと
ミイつけたっ！
これからも一緒に
時を刻んで
いこうねー！
宙乃ミイ

IRIAM
Liver Magazine

PROFILE

はじめまして！　こんにちは！
『Razzプロダクション』所属、お話大好き、
あなたと一緒に時を刻んでいきたい、
宙乃(そらの)ミイです！
推してくれる人、応援してくれる人、
好きでいてくれる人を絶対に
後悔させないことを信念に
配信をお届けしています！

from 宙乃ミイ

いつも応援してくれているリスナーさんへ
こんミイ！　今回この『Animage』という素敵な雑誌に、
半年記念というタイミングで掲載させていただけること、
本当にありがたく思っています！
みんなのたくさんの応援のおかげで、
とっても大きく掲載していただくことが出来ました！
この半年間でたくさんの
リスナーさんと出会うことが出来て、
たくさんたくさん想い出を作ることができました！
ミイの配信に来てくれるリスナーさんは
本当に優しくて暖かい人たちばかりで、
初見さんとも一瞬で仲良くなってくれて、
一緒に素敵な枠づくりをしてくれて嬉しいです！
そして、今回のこの掲載を見て
少しでも興味をもってくれたみなさん！
雑談に歌枠に楽しいたくさんの企画などなど、
毎日みんなを笑顔にする配信をお届けしているので、
ぜひぜひ遊びに来てくれると嬉しいなっ！
最後に、ここまで読んでくれたみなさん、
これからも上を目指して頑張っていくので、
ミイについてきてねー！
みんな大好き！

歌と競馬が大好きな浮遊霊！
高校野球も見ます

from 七原六花

馬主の皆へ
七原を『Animage』に載せてくれてありがとう。
おかげさまで全国各地の馬主のみんなの手に
渡るものを世に送り出すことが
できるようになりました。
今年4月12日のデビューからの
半年記念で全国誌に載れること、
とってもとっても嬉しく、
幸せだと感じています。
誰か1人が欠けていても
達成できなかったことだと思います。
七原とずっと一緒にいてくれてありがとう。
次はきっと1位をとりましょう。
まだまだ配信を続けていくので、
末永く応援してね。

IRIAM
Liver Magazine

PROFILE

業界未経験の前世社会人Vシンガー、
七原六花です。
好きなことは競馬観戦と歌うこと、
それから配信でリスナーのみんなと
お話することも大好きです。
定時配信は夜の8時から10時まで
毎日やっています。
ぜひ会いに来てくれると嬉しいです。

七原六花

@7hara_ritsuka

PROFILE
ハロウィン大好き性悪魔女！
見た目はセクシー、喋ればネタカテ。
悪口でしか得られない栄養素がある。
確定音とレバブルは生きる原動力。
配信にくればくるほど
ハマるVライバー。
気付いたらレーアの虜！
こちらの性悪は
ビジネスと
なっておりますので
悪しからず〜
（＾ら＾）ガハハ
from レーア・シェルム
大好きなパシリのみんなへ
IRIAMを始めて1年半、
一番夢だった雑誌掲載を
叶えてくれてありがとう！
気合いの入った企画から、小さい企画まで、
全てを楽しんでくれてありがとう。
レーア・シェルムの配信は楽しいって
思ってくれるその配信は、
みんなのコメントやギフトがあってこそ！
一人一人嬉しかったエピソードを
話せるくらいには、みんなの些細な一言が
嬉しくて支えになってました。
みんなと作り上げてきた私という存在は、
本当にかけがえのない存在になりました。
みんなに愛されてとっても幸せです！
これからもずっと
そばで見守っててね。
レーア・シェルムより
レーア・シェルム
@lea_schelm
Liver* 03 | 10

しろせ ぬこ
引きこもりだけど
天性のアイドル!☆
くらえ!!
ぬこびーーーーーーーーむ!!
PROFILE
ぬこぬこ星からやってきた
しろせぬこだよ!
普段はリスナーさんと
和気あいあい…
プロレスごっこして
楽しく配信しています!☆
得意なことはお歌とおえかき、
苦手なものはアボカドとぬこ虐
清楚でかわいい
無敵のしろせぬこに
早く会いにきてね♡
かわいいちゃん
超絶最強に可愛い
オネェライバー
PROFILE
初めまして!
『IRIAM』で活動中の最強に
可愛いオネェ様はお好き?
普段『IRIAM』では雑談配信と
雑談と雑談をしてまぁす。
喋ることしかできない
タイプでーす!
なので気になる子
めっちゃ待ってる!
IRIAM
Liver Magazine
PROFILE
IRIAMの深夜帯は、このトドにお任せ!
いつでものんびりあなたをお出迎えします!
0時から6時までが基本枠!
トドにおはようとおやすみを伝える日々を始めてみない?
1周年を迎えるスペシャルな1月に、
あなたと会えるのを待ってます♡
「あなたの推しを
聞かせてよ!」
今月でデビュー1周年の
トド系アイドル!
登々坂もなか

PROFILE

臨界突破の11ヵ月連載となりました。
ご心配をおかけしたこともあり
正直凹んだ時もあり。顔を叩き、
立ち直っては走り出しました。
疲れてしまってベッドに倒れ込みたい
気持ちもあるわけ……ないだろうがぁ！
今更止まることはない！　突き進むのみ!!

『IRIAM』で唯一11ヵ月連続で
掲載されているオンナ！

@suikun0525

初めまして！
あ、スイクン男だよ～
ちょっと!?
リスナーの皆!?
嘘教えないで!?

PROFILE

こんもんどー！　皆の日常に潤いを届けたい。
そんな一人前のVライバーを目指す
主水スイクンだよ～。
元気になりたい、笑いたい
そんな時はスイクンにおまかせあれ！
たくさんのポンコツエピソードで
君を笑顔にしちゃうよ！

天使シータ

魅惑の歌声と軽快なトークで
シータにメロメロ!?
君もシータと
熱チュウ症♡

PROFILE

新年明けましておめでとうでありんす！
キス魔の堕天使、天使シータでありんす♡
パリピ陽キャだけどオタクに優しい、
天真爛漫な無性別天使は2024年も元気に活動中！
君と会えるのを心から楽しみにしてるでありんす♡
軽率にキス、されてみない？

カトレアぽんぽん

@CattleyaPonPon

心が踊り出すような
最高の感動と興奮を
お届けします！

PROFILE

原曲に溶け込むちょっぴり不思議な
お歌枠をしています♪
七色の声でさまざまな曲にシンクロさせて
感動と興奮をお届けしています♪
『才能』と『努力』と『生き様』で
本気の勝負をしています！

王様戦隊 謁見の間

宇宙を救う時だ

チキューの〝お片付け〟に来訪した最悪の敵、宇蟲王ダグデド・ドゥジャルダン
ダグデド打倒のために雌伏の時を過ごした、元シュゴッダム国王ラクレス・ハスティー
宇宙の王とチキューの王、最後に勝利を手にするのは……

Guide to シュゴッダム

始祖の国と呼ばれる工業が盛んな王国。中心にそびえるコーカサスカブト城は、地球からの移住に使われた宇宙船で、巨大ロボットのキングコーカサスカブトに変形して戦うことができる。シュゴッダム王家は2000年にわたり、ダグデドの〝お片付け〟に手を貸していた。

これまで宇宙空間に存在する星々と命の〝お片付け〟と称し、異なる種族を憎み合わせ、戦わせて、星を滅ぼす遊びを行ってきた宇蟲王ダグデド・ドゥジャルダン。チキューで起こった人類とバグナラクの戦いも、ダグデドの仕業だった。

歴代シュゴッダム国王はダグデドに仕える宿命にあり、ギラの前の王で彼の兄であるラクレス・ハスティーも、ダグデドに付き従っていた。しかし、ラクレスはその裏で不死身のダグデドを打倒し、宇宙を救うという遠大な計画を遂行していた。

ダグデドの力を受け継いだギラを鍛え上げて、不死身を殺す力を手に入れる――その目的を果たすため、邪智暴虐の王であろうとしたラクレス。かつてギラは、「民は道具。私が国だ」と語ったラクレスに刃向かい、邪悪の王になると宣言した。民を救うという信念を胸に、あえて偽悪の道を進んだあたり、兄弟の根底に流れるものは同じだったと言えるだろう。

死罪判決が下されたラクレスだが、蘇ったダグデドを倒すため、王様戦隊の道具として生きることに。ついに交わった、ギラたち王様戦隊とラクレスの行く道。ダグデドとの戦いは、最終局面へ突き進んでいく！

ラクレス・ハスティー
オオクワガタオージャー

国民や弟ギラを想う心を隠し、暴君として振る舞っていた。ダグデドを倒し、チキューの民を救うため、自分の命を捧げると決意する

なりきりのコツは威厳！

「ラクレスのなりきりをするなら、低く落ち着いた声で話すことと、胸を張ること、一切の動揺をなくすことが大事だと思います。王鎧武装のポーズは正面を向いて、オージャカリバーZEROにかける指を見せないことがポイントです。トリガーに指を二本かけるのは僕が考えたポーズなんですが、ブランクがあると上手く入らないんですよね～（苦笑）」（矢野）

衣裳のポイントは派手さ！

「王様感がある、派手なところが好きですね。シェイクスピアの世界に出てきそうな、貴族や王族の服装に近くて、気品のようなものが感じられます。これから僕が仕事をしていく中でも、着られるかどうかわからない衣裳だなと」（矢野）

ラクレス・ハスティー／オオクワガタオージャー役

矢野聖人

王様戦隊キングオージャー

毎週日曜日 朝9時30分～ テレビ朝日系
HP https://www.tv-asahi.co.jp/king-ohger/
X(Twitter) @King47_toei

撮影／山本一人（平賀スクエア・STUDIOGP05）

宇宙を遊び万物を弄ぶ

ダグデド・ドゥジャルダン

王様戦隊と共に戦うシュゴッドなどの昆虫生命体を創造した。キラとラクレスに敗れ命を落とすか ミノンカンの中から復活を果たす

ダグデド・ドゥジャルダン役 石田 彰

……秘密戦隊ゴ……たとコメ……改めて……ースの印象や思い出……い。

遊び感覚と怖さのバランスを意識して

スーパー戦隊シリーズに対しては、子どもたちにとっての通過儀礼みたいなもの、みんな観ているのが当たり前、という感覚です。昔はスーパー戦隊シリーズという言葉もなくて、僕はある程度年齢を重ねて卒業しましたが、仕事で関わるようになってから、「今こうなっているんだ」と、子ども時代に見ていたものとの違いに驚きました。今のほうが特撮技術のレベルは上がっていますが、当時の僕たちは脳内ですごいヒーロー像を補完していたんですよね。だから、今『キングオージャー』を観ている子たちと比べても遜色なく、作品を楽しめていた気がします。

映像の進化という意味だと、石田さんがバエ役でレギュラー出演した『獣拳戦隊ゲキレンジャー』の頃から、様変わりする部分があったのでは？

そうですね。最初にリハ用の映像を観た時、「今回は全部CGで舞台を作って、その中で演技しているんだ」「時代は変わったな」と思ったんです。後で巨大なLEDパネルに映像やCGを投影し、その前で芝居していると知って、「そんな技術があるの？」とビックリしました。まだまだ知らないことが多いなというか、すごい世界だなと『キングオージャー』で改めて思い知りました。

ダグデド役はオファーだったとのことですが、お話を聞いた心境は？

少し語弊のある言い方かもしれませんが、「これは大変なことになるな」と感じました。僕は普段アニメーションの仕事が多いのですが、アニメーションと特撮の現場って、なんとなく感覚的に違うんですよね。アニメーションの場合は台本が設計図になっているから、そこから大きく逸脱することはない。特撮はスーツアクターの方が、「このほうが良いだろう」「今このキャラクターはこういう感情で動いているに違いない」と、一日撮影現場でお芝居を作られている。それが全て台本に書かれているというわけではなく、現場のノリの中で考えられていることもあるんです。先に演じられた映像を、アフレコの時に観て読み取るという作業が、アニメーションと一番大きく違うところだと思います。アニメーションにもアドリブというものがありますが、その場の空気を読み取る重要さの度合いは、特撮のほうが大きいのかなと。『ゲキレンジャー』でバエを演らせてもらい、その辺りは理解していたんです。ただ、それから随分と間が空き、特撮の世界にも触れていなかった。また呼んでいただけたのはありがたいけど、大変なことになるかもと思ったんです。

> 「資料にクマムシと書かれていたんですが、そうとは見えなくて、「クマムシにしてはカッコいいな」と感じたのが第一印象です。この前、収録の時に教えていただきわかったのですが、頭の透明な部分の中に入っているのがクマムシなんですよね。そこもエイリアンっぽくて、素敵だなと思いました」（石田）

ダグデドは本心が見えづらい、人物像が掴みにくい印象を受けるので、より難しかったのではないかと。

ダグデドは最初に、遊びでやっているような感覚を出しつつ、本当は強大な力を持っていて怖いというところを、ちょいちょい見せてほしいと言われたんです。遊び感覚と怖さの塩梅を考えるのも、難しそうだと感じました。根っこには恐ろしい部分がありながらも、星の命運すら気軽に遊べてしまう非常識な強さだから、基本的には楽しさが前面に出ていれば良いのかなと捉えました。ただ、映像でふざけたことをやっている姿を見ると、ついつい怖さを忘れてそちらに全振りしてしまうんです（笑）。

映像を受けての瞬発力を大切にされているんですね。

はい。スーツアクターの清家（利一）さんが、表現をすごく細かくつけてくださっていて。収録現場で話し合ったりする機会がないので、清家さんの表現を取りこぼさないように演じることが、毎回のアフレコのテーマです。

画面を通して、演技のキャッチボールをするというか。

そうですね。僕としては清家さんが演られたことを、声色のニュアンスやアドリブのセリフを入れて、観ている人によりわかりやすく伝えようという気持ちで演じています。けれども、役者としてはそこに引っ張られすぎてしまうところもあるんです。ちょうど今日収録した話ではト書きの指示にない、面白い演技をされていて、それをそのまま拾おうとしたら監督から「そこからはみ出すことをしてくれ」と言われまして。清家さんの演技に、僕がもう一枚乗っけなければいけなかったのだと思い直しました。とても難しいせめぎ合いだと感じましたね（苦笑）。

二人で一人の役を演じる面白さ

ダグデド以外に、印象的なキャラを挙げるとしたら？

面白いと思っているのは、三木（眞一郎）くんが演ってるカメジムです。策士的、参謀的なポジションなのかと思いきや、ダグデドからの扱いが……（笑）。まぁダグデドはカメジムだけでなく、ほかの配下の人たちも頼りにせず、自分勝手にやっているんですけど。ただ視聴者として見ると、カメジムの前半での暗躍はものすごく印象的で。最終回までの間でどうなるのかわかりませんが、何かやってくれるんじゃないかと期待しています。

石田さんが考える、特撮作品に出演する面白さややりがいを挙げるとしたら、どこでしょうか？

先ほどお話ししたこととも重なりますが、僕が演じるより前に、僕とは違う解釈で演られている方が存在するというのが、ほかの仕事ではないことで。謎解きと言ったら大袈裟ですけど、シーンごとにどういう意図で演じたのかを汲み取るプロセスが入るのが、面白いところだと思います。そして、後から音声を入れる立場としては、スーツアクターの方の演技の合間を埋める隙というものもあるんです（笑）。編集によって組み上げられた映像に、どうセリフのニュアンスを加えていけるか、アドリブで埋めていけるかということが、特撮のやりがいというか、醍醐味だと思います。

ある意味、自由度が高い現場なんですね。

あと、お芝居する側としては小さい子たちのために、よりわかりやすくしたほうがいいんじゃないかと考えながら演じています。今のスーパー戦隊シリーズは小さい子たち以外も観ていますが、メインターゲットは変わらず子どもだと思うので。ただ、自分のことを振り返ると、子どもの頃って「子ども扱いしなくてもわかってるよ！」と、大人たちに反発していたんですよね。「大人が思うほど子どもってバカじゃないぞ」と（笑）。決して子どもの理解力を侮っているわけではないんですが、どうしても親切に表現しようとしてしまいますし、それは余計なことなのかもしれないなとも思ってしまいます。

でも、誤解なく心情などを伝えようとすることは、素敵な考え方だと思います。

どうなんでしょうね……。ただ、今はそういう気持ちの揺れみたいなものを抱えながら、最終的にはわかりやすさを目指して演っています。

最後にダグデドや『キングオージャー』のファンに向けて、メッセージをお願いします。

ダグデドのファンなんているんですか？（笑）

いやいや、たくさんいますよ！

（笑）。『キングオージャー』は「あ、こういうふうに舵を切るんだ」と思うようなネタが、根本的なところに組み込まれているのが面白いなと。ギラが邪悪の王だと言っていたのも、「王様を目指しているのになんで〝邪悪〟なんて言うの？」「変！」と思っていたんです。でも、話が進むにつれて、そういう意味合いならそれはそれでアリだな、と思えるようになってきて。ラクレスが戦隊側のキャラとして復活するのも驚きで。ダグデド側についたことを素直に受け止めていたから、裏の事情があるとは思っていませんでした。はたして自分が子どもの頃に観ていたとしたら、この驚きをきっちり受け止められていたのかと少し不安になるくらい、何層にも重ねられた複雑なドラマが作られている。だからこそ、全てをわかって俯瞰で見ると、とても面白い展開になっているんです。これからどうなっていくのか目が離せない、この後に何が仕込まれているのか期待が持てる作品なので、ぜひ最後まで観ていただければと思います。そして、そういう強烈なキャラが揃っている戦隊チームに対して、「おツブたち」とバカにしながら、軽く吹き飛ばしそうな風情でいるダグデドのことを、強くて怖い正統派の敵キャラとして受け止めてくれていたなら、とてもありがたいです。今後とも『キングオージャー』をご贔屓のほど、よろしくお願いいたします。

仮面ライダー THE WINTER MOVIE ガッチャード&ギーツ 最強ケミー★ガッチャ大作戦

➤全国上映中
映画公式HP➤https://kamenrider-winter.com/
映画公式X(Twitter)➤@toeiHERO movie

願いを重ね合わせろ

自分勝手な人間の邪な願いのために引き起こされた一連の騒動
宝太郎と英寿たちは友情を結んだケミーの願いを背負い決戦へ挑む!

一ノ瀬宝太郎／仮面ライダーガッチャード、浮世英寿　仮面ライダーギーツの前に現れた、レベルナンバー10の大魔法使いのケミー・クロスウィザード。英寿の仲間である桜井景和　仮面ライダータイクーンたちをケミーの姿に変え、さらには5体のレベルナンバー10ケミーを捕獲するゲームを仕掛けてきた。

タイクーンたちを人間に戻すため、"支配してはならない"レベルナンバー10のケミーに挑む宝太郎たちだったが、実はこのゲームの背後には黒幕がいた。仮面ライダーたちの真の敵、それは宝太郎が通う錬金アカデミーに派遣された、錬金連合調査官の釘宮リヒトだった。

明るくて活発な宝太郎と、クールで頭が切れる英寿。正反対な二人の共通項は、自身の願いと平和のために真っ直ぐ突き進むこと。クロスウィザードの心に触れた宝太郎は、釘宮から救うために闘志を燃やす。一方、英寿はギーツケミーとの間に刻まれた絆に助けられ、その想いを胸に戦いに臨む。未来を掴むため に力を合わせる二人の仮面ライダー。その熱き雄姿を、スクリーンで見届けてほしい。

うきよ えーす
浮世英寿

浮世英寿／
仮面ライダーギーツ役
簡 秀吉

いちのせ ほうたろう
一ノ瀬宝太郎

一ノ瀬宝太郎役／
仮面ライダーガッチャード役
本島純政

ギーツケミー

ホッパー1

クロスウィザード

撮影／山本 人(平賀スクエア・STUDIOGP05)

夢を掴むために

全てのケミーと仲間になるという夢を抱く宝太郎にとって、自分の目的のためにクロスウィザードを利用した釘宮は、絶対に許せない相手だ。釘宮との最終決戦で宝太郎は、ケミーとの絆の力で、かつてない奇跡を起こす！

ライダーズ！

自分のチームにないものを感して

——お二人は今作で、『仮面ライダーギーツ』最終話以来の共演となりました。

筒　最終話の時は絡みがなくて、今回の映画で初めて会話するシーンが撮れました（笑）。

本島　そうですね（笑）。ほぼワンシーンだけの撮影で、あの時はそんなに深いお話とかできなかったんです。

筒　去年（『仮面ライダーギーツ×リバイス MOVIEバトルロワイヤル』）の前田拳太郎くんとの共演を、昨日のことのように覚えているので、一年って本当に早いなぁと感じましたね。本島くんは18歳らしい、パワフルでエネルギッシュな子だなと。堂々とした度胸のあるお芝居をしていて、すごいと思いました。

本島　嬉しい、ありがとうございます！　筒さんは『仮面ライダーギーツ』を全話観ていたから、英寿のクールな印象が強かったんです。お会いする前に天然な方だと聞いていたのですが、全然そんなことはなくて、堂々としている方だと思いました。カッコよくて男前なところは、英寿のイメージそのままだなって。

筒　ありがとうございます（照笑）。

本島　映画の撮影や取材を経て、だんだん僕らの仲も深まってきた気がします。また別の場所で、筒さんと共演できたら嬉しいです。

——お互いのチームについて、どのような印象を抱きましたか？

本島　『ギーツ』の皆さんは一年演じてきたからこそのチームワークがありましたし、スイッチの切り替えがすごいなと思いました。休憩の時はみんなでワイワイご飯を食べたりするんですけど、現場に入るとパッと切り替えてお芝居していて。そこがすごく良いし、大人なチームだと感じました。

筒　『仮面ライダーガッチャード』チームは、元気な子がいっぱいいいましたね。作風通りすごく和気あいあいとしていて、僕たちにはないものがあるというか……（笑）。もちろん僕たちも仲は良いんですが、あまりない空気感があったなと。

——前号の座談会で、現場では筒さんたちが話しやすいムードを作っていたと伺ったのですが、何か意識したことなどありますか？

筒　いやぁ、本当に意識していたことはなくて。当たり前のように、この一年間で培ってきたもの一つ一つを現場で出すというか。いつも通りに浮世英寿を演じていました。意識していたら、もっとカッコよかったんやろなぁ……。

本島　（笑）。筒さんはこうおっしゃるんですけど、現場では学べることがたくさんありました。僕たちの間で「ここ良かったよね」と、これから話し合っていきたいです。

——今作では宝太郎の成長が描かれ、英寿も意外な過去が明かされましたが、演じるうえで意識したことは？

筒　ギーツケミーの正体を知り、別れた時の気持ちの動き方は、『ギーツ』38話の母さん（ミツメ）とのやり取りに少し似ていると思って。英寿が大切にしていた、相棒のような存在が亡くなるというのは、あの時の気持ちと重なるものを感じました。

本島　僕は映画の宝太郎はドラマ本編の5話のころみたいな、当初の宝太郎らしさが全面的に出ている印象で。宝太郎の子どもらしさや元気いっぱいな感じを見てもらって、元気を与えられたら嬉しいなと。そして、宝太郎が戦いの中で成長した姿も見せられればと思い、成長する前と後のお芝居の緩急をつけることも大切にしました。

——宝太郎と英寿に関しては、本宮泰風さんが演じる今回の黒幕・釘宮リヒトとのシーンも印象的でした。

筒　本宮さんは仮面ライダーシリーズの先輩でもありますし（※本宮さんは『仮面ライダー剣』に伊坂役として出演）、出演されていた作品も拝見していたんです。現場でお会いしたらすごく身体が大きいし、存在感のあるお芝居をされていて、とても勉強になりましたね。英寿として現場に入る以上は負けないように、という思いがありました。

本島　TVと今回の映画で、釘宮との関係がどう変わっているんだろうと考えましたが、すごく迫力がある人物だということは一貫していて。釘宮と対峙するシーンでは、その迫力を自分の中に落とし込んで、しっかり立ち向かいつつも、ちょっと怖気づいているような感じを出して演技しましたね。

ホッパー！ホッパホー！
（訳：宝太郎が夢を叶えるまで一緒に頑張るぜ！）

過去に終止符を

2000年もの長きにわたって生まれ変わり、前世の記憶を引き継ぎデザイアグランプリに挑んできた英寿。今回の戦いの中で英寿は、思わぬ形で自分の過去と向き合うこととなった。釘宮との決着の果てに彼を待つものとは？

バトンタッチ

白い指輪にパワーアップ!?

——演じていて、印象に残っているシーンはありますか？

本島 宝太郎がプンスカ怒りながら、テンフォートレスの中を徘徊するシーンは結構好きです。宝太郎がギーツに化かされていて、同じ主役の仮面ライダーでもこんなに違うんだと感じましたし、いろいろ大変な目に遭う宝太郎は観ていて面白いところなのかなと。

簡 タイクーン、ナーゴ、バッファがケミーになったのは、英寿としては驚くところでしたが、僕自身はすごく面白いなと思っていました。そこからあんまり絡んでないんですけど……。

本島 えっ、タイクーンケミーは？

簡 タイクーン？

本島 テンフォートレスで俺と一緒にいたじゃん。

簡 ギーツケミーとの絡みは覚えているけど……。

本島 ちょっと簡さーん！

一同 （笑）。

簡 まぁでも、ケミーたちと芝居をするのは新鮮な気持ちになりました（笑）。演じていて、難しいところもありましたし。

——そういう意味だと、本島さんはケミーとのお芝居はすっかり慣れたのでは？

本島 いやいや、慣れてなんかないですよ！ ケミーとのお芝居って、めっちゃ難しいんです（笑）。10話のラストで加治木（涼）を見届けるシーンなんかは、セリフを言いつつホッパー1を動かして、そのホッパー1を抑える芝居もやらなきゃいけなくて、同時に3、4つのことをしていたんです。簡さんが言っていたことは、身に染みてわかります。

簡 いやぁ、ケミーとの芝居はムズかった！

一同 （笑）。

——撮影中もコミュニケーションを取っていたかと思いますが、いま改めて本島さんから簡さんに聞いておきたいことなどありますか？

本島 仮面ライダーを一年間演じるうえで、一番大切にしたことを聞いてみたいです。

簡 礼儀・礼節や、所作ですかね。

本島 それは役としてですか？

簡 人としてですね。役としてはカメラの前に立ったら集中して、その役として生きればいいから。

本島 なるほど！ 大事なことですよね、人としての礼儀って。

簡 自分が演じやすい環境で芝居できるよう、しっかり挨拶したりして、心地の良い現場を作ることが大事。そのほうが芝居も伸びていくと思う。

本島 スタッフ・キャスト全員が気持ちいい環境で演技できたら、作品の質も上がりますよね。これからも意識していきます！

——逆に、簡さんから本島さんに聞いてみたいことは？

簡 なんやろ……指輪の色はいつ変わるんですか？（笑）

本島 わからないです、プロデューサーさんに僕も聞きたいです（笑）。宝太郎もベルトはパワーアップしてるんですが、映画でりんねの指輪の色が変わったみたいな、指輪のパワーアップはまだなくて。これから宝太郎の指輪の色が変わるのかはわかりませんが、するとしたら何色になるかはすごく気になっています。

——ちなみに、パワーアップして色が変わるとしたら、何色の指輪がいいですか？

本島 僕、黒が好きなんですよね。でも、黒＝闇落ちみたいなところもあるから、少し怖い。ほかに挙げるなら、エンジェルっぽい白とか。白い指輪だと強そうじゃないですか。

——確かに、ギーツも最強フォームのギーツⅨは白い狐でしたし。

本島 ギーツの意志を引き継いでいる、って意味も込められるから、白い指輪いいかも！

簡 良いね～！

——最後に、今年の俳優としての目標をお聞かせください。

簡 仮面ライダーギーツとして一年間カメラの前に立ち、現場で学んだことをしっかり活かしたいです。今年も地に足つけて一歩一歩、ちょっとずつ頑張っていけたらと思います。

本島 事務所に入ったのが去年の3月で、6月ごろには『仮面ライダーガッチャード』がクランクインしたから、2023年は盛りだくさんの一年でした。去年の間に学んだこと、培ってきたことは継続したいし、『超英雄祭2024』や次の映画で学べることもあると思うんです。これからに向けて、しっかりと準備していきます！

コーン！コンコーン！
（訳：これからも英寿の応援よろしくね！）

大塚隆史
メライフ!

第8回

チャンスも悩みもいろいろ!? 若手アニメーターのリアル

イラスト：川村敏江

おおつか・たかし
アニメ監督・アニメ演出家　1981年2月23日生まれ／大阪府出身　業界歴23年目　代表作は『映画プリキュアオールスターズDX 1〜3』（監督）、『スマイルプリキュア！』（シリーズディレクター）、『ONE PIECE STAMPEDE』（監督・脚本）ほか。アニメの仕事をわかりやすく解説した書籍『アニメができるまで』発売中

新進気鋭アニメーターがハピアニにゲスト参戦！

大塚・小松田　皆さん、新年あけましておめでとうございます！　今年もよろしくお願いします！

小松田　今回はアニメーターというお仕事にスポットを当てたお話をできればということで、『SPY×FAMILY』などで原画を務めるWIT STUDIO所属のアニメーター・大倉啓右くんに来てもらいました。

大倉　こんにちは、大倉といいます。今日はよろしくお願いします。

大塚　ようこそ来てくださいました！　僕は大倉さんとお会いするのは今日が初めてなんですが、今注目の若手アニメーターということでお名前はいろんな人から聞いているんですよ。小松田さんはどういう経緯で大倉さんと知り合ったんですか？

小松田　大倉くんは2019年に公開された、ゲーム『モンスターストライク』とタツノコプロのコラボ映画『パンドラとアクビ』でキャラクターデザイン・総作画監督を担当していたんですよ。僕はそのキャラデザを見たときに「いったいどこの誰が描いているんだろう!?」と、ものすごい衝撃を受けて。しかも調べてみると、ほぼ新人に近いキャリアなのにも驚いて。それ以来、大倉くんの仕事に注目していたんです。それから数年後、WIT STUDIOの自分の斜め後ろの席に大倉くんがタツノコから移籍してきて、知り合いになっていろいろと話すようになったんですよね。

大倉　確か、自分が落としたセキュリティカードを、小松田さんが拾ってくださったんでしたよね！

小松田　そうそう！「まさか、あの大倉さんですかっ!?」って声かけたんだよね（笑）。

大塚　小松田さん、さすがのコミュ力だなぁ（笑）。

小松田　第二原画制度が当たり前になった今、各アニメーターがどんな仕事をしているのか、なかなか分かりづらくなってきているんです。でも、その中で大倉くんは僕にとって、名前とその仕事が一致する、数少ない若手の一人だったんですね。それに大倉くんは現在30歳なので、僕らよりも読者の皆さんと年齢が近いし、きっと僕らとはまた違った視点で話をしてくれるんじゃないかなと思って、今回ゲストにお呼びしました。

大塚　では、さっそくいろいろと聞いていきましょう！

大倉　お、お手柔らかにお願いします……（笑）。

『エウレカ』きっかけでアニメに興味を持った

大塚　まず知りたいのは、やっぱりアニメの仕事を志した理由やこれまでの経歴ですよね。子どもの頃からアニメはよく観ていたんですか？

大倉　いえ、スタジオジブリ作品や細田守作品などは観ていましたけど、アニメをガッツリ観ていたわけではなかったと思います。ただ、絵を描くこと自体は好きだったので、当時はどちらかというと「漫画家になりたい」と漠然と考えていました。

小松田　そうなんだ。アニメの道に興味を持ったきっかけはなんだったんですか？

大倉　中学3年生の頃に、レンタルビデオショップで見かけた『交響詩篇エウレカセブン』の第6巻パッケージに衝撃を受けたことです。ホランドというキャラクターの躍動感あるイラストだったんですが、漫画とはまた違う動きの表現にすごく新鮮さを感じて。誰が描いたのか調べてみたら吉田健一さんというアニメーターの方だと知り、それで初めてアニメーターという仕事を意識しました。

小松田　吉田さんの絵は本当に素晴らしいよね！　それにしてもレンタルビデオショップが出会いというのは面白いです。僕や大塚さんの場合、〝同世代の子みんなが同じアニメをTV放送で観ていた〟という視聴体験があったりしたけど、大倉くんの世代だと個人的な視聴体験の影響が大きいというのが、一つのジェネレーションギャップなのかな。

大塚　確かに。僕らの頃よりも娯楽の種類が増えていそうですからね。『エウレカ』でアニメの仕事に興味を持つようになってからは、どんな進路に？

大倉　高校は普通科に進学して、でもやっぱりアニメの仕事に憧れがあって。大学を決めるときに、親に「絵について学べる大学に行きたい」という話をしたんです。そうしたら、両親は「絵の仕事に就くにしても、まずは絵以外のことを体験できる大学に行くべき」「そのためには地方の大学よりも都会の大学に行ったほうがいい」と言っていて。それで地元の広島を離れ、神奈川県にある一般大学の建築科に進学しました。

大塚　地元を離れることへの抵抗はなかったですか？

大倉　もともと子どもの頃から親の転勤で引っ越しが多かったので、あまり抵抗感はありませんでした。ただ、実は大学ではあまり勉強をしていなくて……（苦笑）。Twitter（現X）で、同世代のアニメーター志望の人が専門学校に通ったり、アニメーターとしてバリバリ仕事をしたりしているのを見て、「自分はいったい何をやっているんだろう……」と考えてしまい、一時は退学しようとも思っていたんです。でも、両親にそう伝えたら、「お金は払ってやるからちゃんと卒業しなさい」「それも経験だ」と。

前に向かって進むことは絶対にいいこと

小松田　特に理系は学費が高いからね（笑）。

大倉　今振り返ると本当にその通りですね（笑）。それで、1年留年しつつもなんとか大学を卒業して、タツノコプロに入社しました。業務委託のアニメーターとして3年ほど在籍し、その後、2年ほど前に社員としてWITに移籍して現在に至るというのが、ざっくりとした経歴ですね。

運とチャンスに恵まれた新人時代の生活事情

大塚　一般大学からいきなりタツノコに入れたのがまず、すごいなと思ったんですが、大学在学中には何か作画の勉強をしていたんですか？

大倉　全然していなかったですね。趣味で絵は描いていたけど、基本的には飲み会とバイトに明け暮れる大学生らしい毎日を送っていました（笑）。強いて言うなら、Twitterでアニメーションを作れるツールがあったので、それに触れていたくらいです。

小松田　気軽にアニメ作りができるツールがあるというのは、今の時代らしいね。

大倉　僕の場合は、本当に遊びのレベルでしたけどね。だから、基礎がまったくないぶん、いちから仕事について教われるところに入りたいなと思っていて。当時タツノコにはデジタルツールに優れたクリエイターの方が所属していて、その方たちに仕事を教えてもらえるらしいと聞いたのがタツノコを選んだ理由の一つでした。実際、作品の画面からも「技術として新しい何かを開発しよう」という意欲みたいなものが感じられて、そういう方たちに教えてもらえるのが面白そうだな、と。

小松田　とはいえ、教わる前に試験もあったわけでしょ？　それはどうやって突破したんですか？

大倉　入社試験は「子ども部屋の中に立っている男の子を好きに動かす」というお題だったのですが、真っ向勝負をしたらアニメーションを学んできた人には勝てないぞと思って、「窓から大きな手が出てきて、その男の子を握りつぶす」という動きを付けたんです。

大塚　ええっ！（笑）

大倉　グッとカメラに寄ったり、血しぶきも舞わせたりして。とにかく、パワーのある画面で押し通した感じですね。

大塚　はー、発想の勝利ですね。面白い（笑）。実際にアニメーターになってからの生活の面ではどうでした？　実家から離れ、関東で動画マンからのスタートとなると、やっぱり暮らしていくのは大変だったのでは？

大倉　実は僕がタツノコに入るのと同じくらいのタイミングで、広島に住んでいた両親が仕事の都合でたまたま都内に引っ越してきたんですよ。だから、実家から通えたので食べられないということはなかったです。最初の給料としては、月5万円の拘束費プラス出来高でしたけど。

小松田　それはめちゃくちゃラッキーだったね!?　僕や大塚さんとはまた違う意味で再現性がまったくない（笑）。

大倉　そうなんです、それがなかったらアニメーターをやれていなかっただろうと思うと、本当に運がよかったです。その後、2年目の頃には『パンドラとアクビ』のキャラデザ&総作画監督をやったのでボーナス的に報酬が入ったり、拘束費もアップしたりもして、実家から出て生活するのも困らないくらいもらえるようになりました。WITに移ったときも、タツノコ時代の額に合わせて給料を設定してくれたので、本当にありがたかったです。

大塚　未経験で業界に入って2年目でキャラデザを担当というのもすごいですよね。それはどういう経緯でやることになったんですか？

大倉　「新人たちにチャンスを与える」という目的で、若手も参加できるキャラコンペがときどき行われていて、それに通った感じでした。でも、あの頃の自分はまだ原画もレイアウトもほとんどやったことがない動画マンだったので、本当に大変でしたね。アニメー

小松田大全 ハッピーアニ

～“好き”を進路にしてみたら～

新年一発目となる今回は現在公開中の『劇場版 SPY×FAMILY CODE: White』にも参加している注目の若手アニメーター・大倉啓右をゲストに招き、アニメーターの仕事について深掘り！　大倉が業界を志した経緯や生活事情、アニメーターの苦楽を、大塚＆小松田が直撃する！

こまつだ・だいぜん
アニメーター・アニメーション監督・演出家／1973年3月13日生まれ／埼玉県出身　業界歴25年目　代表作は「ブブキ・ブランキ」（監督）、「ヱヴァンゲリヲン新劇場版」シリーズ（副監督）ほか。現在、映画『アイゼンフリューゲル』（監督）を鋭意制作中

ターの皆さんが「動かしてみたい」と思うデザインにすることと、ビジュアルを観た人に引っかかるようなキャッチーさを入れられればという一心でひたすら作業していた気がします。

小松田　実際、僕はそれをきっかけに大倉くんを意識するようになりましたし、その気持ちはちゃんと伝わっていたと思います！

“世界”を生み出せるキャラデザはすばらしい

大塚　アニメーターになって楽しかったことってなんですか？

大倉　楽しいのはまさに今ですね。『SPY×FAMILY』では演出の高橋謙仁さんと一緒にやらせていただくことが多いのですが、高橋さんのアイデアを素に、自分のアイデアも提案させてもらったりして、一緒に作らせてもらえる感じがすごく面白いんです。例えば、Season 1第23話のテニスのシーンでは、「これが東洋に伝わる『酔拳』なのか——!?」というセリフがあったんですが、高橋さんから「香港映画の『酔拳2』のような派手なアクションにして、3Dで回り込みましょう！」と提案していただき、それをベースに原作の動きを盛り込んでみたり。コンテでは全然そんなカットではなかったんですが（笑）。

小松田　大倉くんと高橋さんは、確かに世代が近かったよね。若い作画と演出が連携しながらワイワイとやっているのを、僕は間近で見ながら、強烈なパワーと熱気を感じていました。

大塚　大倉さんは着実にキャリアを積んでこられたと思うんですが、逆に苦しかったことってありますか？

大倉　めちゃくちゃありました！　やっぱり『パンドラとアクビ』のときは自分自身のスキルが追い付いてないのがしんどかったです。まだ新人だったから、社外から参加したアニメーターの方々をハンドリングできる度量なんてなかったですし。あとは、人間関係がある程度は大切だろうとは思っていましたけど、想像の100倍は大変だった気がします。本当に、今振り返っても、新人の動画マンがいきなりキャラデザって恐ろしいですよ……（苦笑）。

“次世代の吉田健一”になってほしい！

大塚　今の若い子は早くにチャンスをもらえていいなぁなんて思ったけど、それゆえの大変さも当然あるんですね。

大倉　あとは、また別のとある作品にキャラクターデザインとして参加することになったときも大変でした。自分である程度アイデアを考えてから監督との最初に打ち合わせに臨んだんですが、監督は僕が作った資料をチラッと一瞥するや「全然違いますねぇ」という感じで、手にすら取ってくれなくて……。

大塚　うわ〜！　それは心が折れるやつ！　てか「監督の了承を取ってから人選してくれよ！」って話でもありますね。

大倉　結果として、その作品からは降りたんですが、その経験が「自分は嫌なことがあったらまた途中で逃げてしまうかもしれない」という恐怖心にもなっていて。2024年は新しいことに挑戦するつもりなんですが、また逃げることになったらどうしよう……といまだに考えてしまいますね。

大塚　その気持ち、わかるなぁ。参加スタッフ同士でそりが合わないというパターンは僕も経験がありますよ。けど、前に向かって進むことは絶対にいいことです。自信を持ってどんどんいろんなことに挑戦していってほしいですね。ただ、「この案件、なんかキナ臭そう」と思ったら早めに対処を考えないと火傷しますね。

大倉　そうですよね。ただ、僕にはまだその見極めが難しくて。そんなにキャリアのない自分にチャンスをくれた」と思うと、自分から「降ります」とはなかなか言い出しづらいですし……。

大塚　確かに、経験が浅いうちはどんなチャンスにもいろいろな成長があるので、「降りる」のはもったいない。

参加したいジャンルで言うとSFはやってみたいですね

出会ってすぐに意気投合!?　初のゲスト・大倉さんを挟んで、小松田さん（左）と大塚さん（右）

おおくら・ないすけ
アニメーター　1993年8月28日生まれ／広島県出身　業界7年目　代表作は『パンドラとアクビ』（キャラクターデザイン・総作画監督）、『SPY×FAMILY』（原画）ほか。現在公開中の『劇場版 SPY×FAMILY CODE: White』にも原画として参加している

小松田　火傷も含めて、それも経験かなぁ。痕に残らない程度に（笑）。ちなみに、今後の目標はあるの？

大倉　今はレイアウトを描くのが楽しくて、とりあえずレイアウトをたくさんやりたいという気持ちが強いです。あと、キャラクターの表情や絵柄を自分の思う形に統一するような、ルックを自分でコントロールした話数を作ってみたいですね。そのためには、描くスピードや体力面でもまだまだレベルアップが必要だなと思っています。参加したいジャンルで言うと……SFはやってみたいですね。

小松田　SF！　いいですね！　僕個人としては、大倉くんには“次世代の吉田健一”になってほしい。あ、それは別に、吉田さんの真似をしろといいたいわけじゃなくてね。吉田さんのすごいところって、“一枚の絵から物語が生まれるキャラクター”を生み出せるところだと思うんですよ。さっき話に出た『エウレカ』のホランドも、ちょっと禿げ上がった前髪に、苦労や苦悩を感じられるじゃないですか。そこには、そのときの吉田さん自身のキャラクターを産み出すことの苦労がにじみ出てるかのようで。そんな「この人が絵を描くと“世界”が生まれる」キャラクターデザイナーやアニメーターに、大倉くんもなってほしいな、と。きっと、吉田さんが作るSF作品に参加できる機会があったら、世界が大きく変わるんじゃないかなと思います。

大倉　吉田さんとはまだお会いしたことがないので、こうやってお名前を出すのも恐縮なんですが　機会があったらぜひやってみたいです！　今日は本当にいろいろなお話を聞いてくださってありがとうございました。

大塚　こちらこそ、仕事の裏側をたくさん教えてくれてありがとうございました。こういうと自分がじじいになっちゃった感じがするからあまり言いたくはないけど、若い人と話ができてすごく刺激的で楽しかった！　年代によってやっぱり見てきたものが違うんだなとも改めて感じて、大倉さんのような若くて元気な友達を増やしたいって思いました。

小松田　そうですね。今の若い世代は僕らの頃よりも早くチャンスが来るし、アニメーションを作る技術も進化しているし、才能あふれる人がたくさんいて、正直羨ましいなと感じるんだよね。でも、だからと言って苦労がないわけじゃなくて、その世代ならではの悩みもある。大倉くんの話を聞いていて、そう実感しました。これからも活躍を楽しみにしています！

大塚　次回はプロデューサーの仕事にクローズアップ！　同じくWIT STUDIOより山中一樹さんにゲストに来ていただき、その仕事の裏側をたっぷり教えてもらおうと思いますので、お楽しみに！

畠中祐 連載

タスクのつぶやき

TASUKU no TSUBUYAKI

第8回

バック・トゥ・ザ・2023

声優・アーティストの畠中祐さんが、お仕事や日常の中で気づいたことなどを自由に綴るコラム連載！　年明け一発目の今回は、ミュージカルなど新しい挑戦もあった2023年のお仕事の話。“5年に一回出会えたら奇跡”と話す、かけがえのない体験を回想しています。

はたなか・たすく
8月17日生まれ／神奈川県出身／賢プロダクション所属／代表作に『LUPIN ZERO』（ルパン）、『僕のヒーローアカデミア』（上鳴電気）、特撮ドラマ『ウルトラマンZ』（ウルトラマンゼットの声）など

2023年が終わる。

やっと肌寒くなってきた。

木々は緑を失って、冬枯れのもの寂しさを抱えているけれど、空はどこまでも青く透き通って、そのコントラストにものすごく冬を感じる。

ん……なんだろうこの気持ちは。

やっぱり、一つの作品が終わるのは寂しさがある。かけがえのない舞台だった。だからこの感情に襲われるのは当然なのだ。

『シャボン玉とんだ宇宙（ソラ）までとんだ』。

このミュージカルの稽古を、音楽座ミュージカルの皆さんと始めたのは半年前。本読みとか、バレエのレッスンを、週一ペースくらいで始めた。最初は根が人見知りというのもあってか、団員の誰ともまともに話せなかった。

そんな僕を見かねて、男だけの飲みに誘ってもらったり、朝の会議に一緒に参加させてもらったり、とにかく、打ち解けられるように、皆さんが協力してくれた。

時間がかかったが、もう今では、稽古場に入っていくのも当たり前な感覚になってしまった。だから、この舞台が終わって、荷物をまとめて稽古場を出て行かなきゃいけないのが寂しくてしょうがない。ずっと荷物を残せたらなぁ。

また絶対に出たい。音楽座さん、出させてくれないかな（笑）。

鼻の奥がツンとするような、体の芯が熱くなるような、お芝居体験。**相手が心に入ってきて、そして突き動かされる感覚。**僕はずっとこれを求め続けている気がする。そしてそれは、相手とのお芝居の中でしか生まれないもので、自分一人でなんとかしようとしても、本当にどうしようもない。

今年は、そんなたまらないお芝居体験がたくさんあった。アフレコでも朗読劇でも、それを感じる瞬間があった。そしてこのミュージカルでもたくさん、たくさんあった。

お芝居って基本、嘘なはずなのに、自分でも、本当としか思えない瞬間を体験して……。**この瞬間と出会えたとき、やっててよかったなぁと思うし、これを求めてまた芝居をしてしまうのだ。**つらいことがたとえ9割だったとしても、この体感さえ味わえれば、もうそんなつらいことなんてどうでも良くなってしまう。この感覚を求めて、またつらいってわかっててもやってしまう。**中毒だと思う。**大小関係なく、これが欲しくて、またあてもなく彷徨うのでしょう。

そして、この感覚を味わえる瞬間は、本当に少ないことも、なんとなくわかるのだ。5年に一回出会えたら奇跡だ。それは、多くの条件が整わなきゃ訪れない。

だからこそ、今年の経験は本当に尊かった。このお芝居体験は、そうそう味わえるものじゃない。

2023年は、本当にかけがえのない年になった。

そんな年に幕が降りるとき、幼少期の、あの、遊園地から帰るときの寂しさを思い出す。

夕焼けに照らされた空を見ながら、親に手を引っ張られて出口へと向かう。「蛍の光」が、古ぼけたスピーカーから流れてきたとき、なんだか、胸がキューっと痛くなるくらい、寂しくなったものだ。帰るのを泣きながら嫌がる僕を「またいつか来ようね」と母がなだめる。

僕は「いつか」という言葉が嫌いだった。それは一体いつなのか教えてほしかった。次があれば帰れるのに。その「いつか」という言葉が抱える限りのない長さが、どうしようもなくつらかった。

次はいつ、こんな体験に出会えるんだろう。

「またいつかね」

2023年は僕にそう言って去っていく。

「蛍の光」が流れる冬の夕暮れの中を歩いていく。そうやって今年が終わっていく。でもその夕暮れは、冬の澄んだ空気の中に染み入るようにどこまでも広がっていて、なんか、「明日もこりゃ晴れるんじゃないかなぁ」と思わせてくれる。

そうやって来年、2024年がやってくる。

どんな年になるだろうなぁ。全く予想できない。そんな感覚を楽しめるといいな。

本当に、今年も楽しかったよ。

ありがとうございました。

今回は新幹線の中で執筆されたという畠中さん。2024年も素敵なお仕事と出会えますように！

お便り募集中！

本コーナーではお便りを募集中！　テーマ宛のものだけでなく、感想もお待ちしています。

現在募集中のテーマ
「最近、あなたの気持ちが動いた瞬間は？」

郵送
➡〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒CS
㈱徳間書店 アニメージュ編集部「タスクのつぶやき」係

Web投稿
➡https://animageplus.jp/webform/

富野に訊け!!

人生相談【第255回】

富野由悠季 とみのよしゆき

1941年、神奈川県生まれ。日本大学芸術学部卒。原作、監督を担当した『機動戦士ガンダム』『伝説巨神イデオン』『Gのレコンギスタ』ほか、多くの作品でアニメファンのみならず広い分野に影響を与えている。

Photo ●大山雅夫
Illustration ●やまむらはじめ

大学時代はモラトリアムだと言われますが、日々の生活も緩くなりがちな時期かもしれません。富野監督から、悩める若者たちに心構えをビシッと一言お願いします!

Question 271

大学生は時間にルーズ?

東京都/リン（大学1年生・19歳）

私は夏休み明けから大学サークルに入ったのですが、リーダー(3年生の男性)がやたら遅刻しやすい人です。毎週のミーティングも、たいてい20分遅れくらいで始まります。もう何を言っても変わらない感じがするので、私たち後輩はみんなあきらめて、始まるまでの間にやれることをやっています。

他大学の親友に話してみたところ「いや、男子大学生ってそんなもんみたいよ」と言っていました。彼女の周りにいる人たちも、男子同士が集まる時間はいつも適当で、スマホで連絡を取り合っているそうです。また、その親友のお姉さんも、彼氏が待ち合わせ時間にオンタイムで現れることはまずないので、いつも喫茶店で編み物をしながら待っており、その待ち時間の積み重ねで、そこそこの大作ができたそうです。

逆に、私の高校時代の同級生で、いつも時間に余裕を持って行動をしている女の子がいました。彼女はいかにも育ちのいいお嬢さんという感じの子で、「私は早く行って待つのが好きだから」と言っていました。でも、そこはたぶん男女は関係ないのだとは思います。私も、サークルの先輩ほどではないにしろ、お店の予約時間などには遅れがちなほうかもしれません。時間にルーズにならないための心構えを教えていただければと思います。

大学生の緩み切った時間感覚は「普通」ではない。もっと世の中のことを知ると共に、自分で生活の段取りをつける、主体性のある暮らしを!

なかなかびっくりするような相談事です。世の中の人というのは、みんな毎日ちゃんと起きて、やるべきことを時間通りにやっていますよ。そうして仕事をして、家族を養っています。無断で20分遅刻なんて、社会に出たら通用しません。**戦前の軍隊なんか「5分前行動」が基本でした。**

リンさんの周りがそんな男子学生ばかりだとしたら、そんないいかげんな男たちと付き合わなくちゃいけないのは、本当に不幸だと思います。**もっと外に出て、いろいろな人と会ったほうがいい。**アルバイトもして、社会で働いている人をもっと見てください。

「時間にルーズにならないための心構えを」とありますが、リンさんたちも中学高校の6年間かけて、時間にルーズでない生活を送ってきたはずです。大学に入って、それをチャラにしてしまったということですね。もう一度、**生活態度を含めて中学高校の勉強のやり直しをしてください。**まだ1年生なのだから、これから巻き返しはできます。どうか緩みきった生活を改めてください。

それともう一つ、**生活に対する主体性の問題**もあります。今の環境は、どこもかしこもきれいに整っているために、何も考えずに自分の欲しいものがパッと手に入ります。その裏には、泥だらけの大根を洗って、ダンボールに入れて、仕分けして棚に並べている人たちもいるわけですが、そこが想像しにくい世の中になっています。あまりにもいろいろなことがクリーンになりすぎたおかげで、生活の中に「段取り」が見えなくなりました。

たとえば、**畑仕事だったら毎日がお天気と相談です。**自然が相手なので、思い通りにはなりません。何事も自分の思い通りにはなりません。毎朝起きて空を見上げ、その日の段取りを考える必要があります。そういった「生活の感度」が失われているのが現代です。

今の都会の人たちがその日その日で考えることといったら、ゴミの収集日くらいでしょうが、それも、たいてい来てくれますから、曜日だけを覚えておけばいい。**徹底的に受動的**で済んでしまっています。自分で段取りをつけないでも済むから、時間に対する感覚もルーズになっているのでしょう。

そもそも、晴れているか曇っているか自体にも、今の人たちは関心がなくなっているのかもしれません。すべてスマホで済んでしまう生活だと、**空を見上げなくても暮らしていける精神構造**になるような気がします。

ただ、こういう環境にしてしまったのも、僕らの世代の責任でもあります。文明が発展する中、**人間が取りこぼしていって埋め合わせをしないといけないもの**が、こういうところにあります。そのためには、年寄りはもっと発言していかなければいけないと感じます。その意味では、今回は、僕も勉強させてもらいました。

このコーナーではみなさんの悩みを募集中です。どんな些細な内容でもかまいません。詳しい悩みの内容、氏名(本名掲載不可の場合はペンネームも)、年齢、学年もしくは職業)を明記して、右の住所までお送りください。ご記入いただいた個人情報は上記の目的以外での利用はいたしません。なお、投稿原稿は返却いたしません。原稿の一部を手直しすることがあります。掲載された原稿は書籍化などの複製使用

郵送の宛先 〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1

Web投稿

正月休みも過ぎ去って、やってきました2024年。学校や会社が本格的に動き出しましたね。今年も最新音楽の情報をわかりやすく皆さんにお届け出来るよう、がんばります！

Front Interview

群咲 Murasaki ｜声優というカテゴリーではできない歌詞、曲調

TEXT＝花木 洸

『ウマ娘 プリティーダービー』シリーズのダイワスカーレット役などで活躍する声優の木村千咲と、作家・ラムシーニ。二人による音楽ユニットが新作アルバムをリリースする。ユニークなこのユニットの特徴とともにアルバムについて話を聞いた。

──アルバムはどんな作品に仕上がりましたか？

ラムシーニ（以下ラム） "タブー"を超えるアルバムかなと思っております。声優というカテゴリーではできない歌詞、曲調のアルバムになりました。特に「一般ピポピポ」「模造生活」は、普通はネタにできない、SNSで炎上した千咲の体験を歌詞のモチーフにしました。そんな声優はそうそういませんよね。

──印象的なアルバムタイトルですね。ネーミングの由来は？

木村 前作は「明日こそ」というタイトルだったので、今回は「昨日より」という案が出たりもしました。でも、もっと前向きな印象にしたくて。「お先真っ暗」って言葉があるなら、この先眩しいくらい明るい未来があってもいいんじゃないかと考えて、今のタイトルにしました。最初は「☆」も付いてなかったのですが「眩むくらい」と言う意味も込めて「☆」を付けました。

──お二人のお気に入りの楽曲を教えてください。

木村 私は「一般ピポピポ」ですね！ 今までで一番観客の皆さんと盛り上がれる曲になっています。あとは、私が普段から思っていた「一般人ってどこからどこまで？」「周りから見れば私は一般人じゃない？」「私から見れば私だって一般人なのに」といった疑問や感覚をいっぱい詰め込んだ作品になっています。悩みに悩んだ「一般人」についての想いを感じてもらえると嬉しいです。

ラム 僕は「ただ灰に塗れる」が一番のお気に入りです。過去に悔しい思いをした出来事がありまして、その悔しさをぶつけた楽曲になっています。ピアノの演奏では、この曲が一番キマってプレイできたのではないかなと手ごたえを感じています。また今回ギターを大学の時の先輩に初めてお願いして、音楽業界でお互い活躍でき、時を超えて一緒に仕事できるなんて。そんな感極まった思い出の曲でもあります。

──制作中に印象的だったエピソードはありますか？

ラム 「この日までに作詞できないと発売延期！」ってところまできまして、別の作詞家を入れるかという話まで出ていたほどなのですが、追い詰められた千咲が火事場の馬鹿力を発揮し、スケジュールギリギリで完成しました。いつも以上の実力が発揮された歌詞でした。どの曲か聴きながら当ててみてください（笑）。

──このユニットの"らしさ"といえば何でしょうか？

木村 ネガティブなくせにポジティブ。これが群咲らしさです。最初は悩んで悩んで一番下まで沈んで、なのに沈んだとて最終的には這い上がってくる。愚痴をこぼしてもたもたして、なのに最終的には未来を見据えている。今作ではそれが見せっぱなしで全開になっていると思います。すべての曲に注目して、群咲らしさを感じてもらえると嬉しいです。

──最後に、読者の方へメッセージをお願いします。

木村 「群咲？ 初めて聞いたな」。そんな方がほとんどだと思います。ここで出会えたのも何かの縁。ぜひ一度一曲でもいいので気になったタイトルの曲を聴いてみてください。本音を言えば2ndミニアルバム、買って全部聴いてください！

ラム 泥臭い部分もあえて残して、何回もリピートしたくなるようにと願って制作しました。聴いてみてください！

お先☆真っ眩
Next Purple Record
CD 2000円
1月17日発売

※PCI MUSIC オンラインでは、Tシャツやメッセージ動画、ブロマイドなどが付いた豪華な限定版も販売予定。

Sprout
カロンズベカラズ 1月24日発売

Butai Entertainment
CD 3300円

歌い手・島爺と、作家・ナナホシ管弦楽団がタッグを組んだ音楽ユニットが、初となるアルバムをリリース。島爺のワイルドで男らしいボーカルに、ロックサウンドと、ナナホシ管弦楽団のちょっとひねくれた楽曲が合体。みごとに融合している！

CHA∞IN
内田真礼 1月17日発売

ポニーキャニオン
初回限定盤(CD+BD) 2640円
通常盤(CD) 1400円

内田真礼16枚目のシングルは、自身も声優として出演している、絶賛放送中の『魔都精兵のスレイブ』のED主題歌だ。通常盤のジャケットは内田演じる出雲天花のイラストを使用。初回盤のBDにはMVとそのメイキングを収録している。

ROUNDABOUT
キタニタツヤ 1月10日発売

MASTERS X FOUNDATION
初回生産限定盤(CD+BD) 8140円
通常盤(CD) 3520円

『呪術廻戦』第2期「懐玉・玉折」のOP曲である「青のすみか」がスマッシュヒットし、昨年末の紅白歌合戦にも出演したキタニタツヤ。今、波にのっている彼が待望のニューアルバムをリリースする。冒頭の曲に加えて『BLEACH 千年血戦篇』のOP曲「スカー」も収録。自身の活動のみならず、ヨルシカのサポートや他のアーティストへの楽曲提供も数多く行っている彼らしく、アルバム内の楽曲もアレンジは自由自在。バンドサウンド、EDM、しっとりと聴かせる曲まで多岐にわたっており、どの曲も切ない歌詞とパワフルな歌声を堪能することができる。なかでも、さまざまな要素が絡み合うアルバムのOPチューン「私が明日死ぬなら」は、悲観的にも肯定的にもとらえることが可能な、彼らしい歌詞世界と、叫びに近い歌声に強い意志が感じられる。

星巡り、君に金星
PEOPLE 1 1月10日発売

Polyanna Records
完全生産限定盤(CD+BD+Goods) 9900円
通常盤(CD) 3080円

2019年に活動を開始し、次世代のロックバンドとして話題を集めているPEOPLE 1が約2年ぶりにアルバムをリリース。『チェンソーマン』ED「DOGLAND」をはじめ『王様ランキング 勇気の宝箱』のOP曲「GOLD」など、アニメタイアップの楽曲だけでも、もりだくさん。彼らのジャンルレスな音楽性とツインボーカルならではの楽曲の幅広さを垣間見ることができるが、今回アルバムはほかの楽曲も一緒に並んでおり、さらにその幅の広がりを感じる。ロックを基調にさまざまな音楽を飲み込み、オシャレにも、爽やかにも、厳つくも姿を変える楽曲と、その端々に仕掛けられたセンスのいいアイデアを、アルバムを聴き進めるほどに体感できる。完全生産限定盤には、単独公演の様子をぜいたくに3公演分収録。50曲以上が楽しめるぞ！

TVアニメ『らき☆すた』オリジナルサウンドトラック
神前 暁 1月31日発売

Lantis
2CD 3850円

今年、原作の連載開始から20周年を迎える人気作『らき☆すた』。これまで映像作品の特典としてしか聴けなかったBGM集が、CD2枚組、全87曲の大ボリュームでリリース。もちろん全曲をアニメ音楽界の至宝・神前暁が手がけています。

because
丁 1月31日発売

Lantis
CD 1430円

絶賛放送中の『最弱テイマーはゴミ拾いの旅を始めました。』。そのEDを担当するのは、昨年メジャーデビューしたばかりのシンガーソングライター・丁。透明感のある歌声とシンフォニックで壮大な楽曲はやはり唯一無二です。オススメ！

※価格は全て税別です

Feature

アクアマン／失われた王国 | カラフルで楽しさいっぱいのシリーズ第二弾！

AQUAMAN AND THE LOST KINGDOM

NOTES

アクアマンを父の仇と追い続けるブラックマンタは、邪悪かつ最強のパワーを秘めた古代のトライデント（三叉）を入手。それを武器に再びアクアマンの前に立ちはだかる。出演はジェイソン・モモアとパトリック・ウィルソン。監督はジェームズ・ワン。（1月12日公開）

全世界で11億ドルを越える大ヒットを記録した1作目『アクアマン』から5年。同じメンバーで作られたその続編『アクアマン／失われた王国』が公開される。

前回、壮大な兄弟げんかの末、弟でありアトランティスの前王オームを王座から引きづり降ろし、自らが王を名乗ったアーサー・カリーことアクアマン。が、今回の敵を倒すためにはオームの力を借りなくてはいけない！

というわけで、犬猿の仲のはずの兄弟がアトランティスのため、さらには地球のため手を組み大冒険を繰り広げる。地球温暖化の影響であらゆるところに歪みが生じ、彼らのまえに現われるのは巨大になってしまったチョウチョやバッタの群れ。植物もユニークかつカラフルなシェイプ＆色合いになっていて、そのノリはまるでジュール・ヴェルヌ。『地底旅行』の映画化『地底探検』等、懐かしい空想科学小説の世界が展開して目にも楽しい。

また、ストーリーの根幹となるのは〝ファミリー〟。息子が生まれ父親になったアクアマンだからこそ、血のつながった唯一の弟オームとの関係性を再考するという展開。環境に対する配慮もあって、オタク要素、ドラマ要素、社会要素を巧みにブレンド。誰もが楽しめるオールマイティなスーパーヒーロー映画になっている。さすがジェームズ・ワン！

1アクアマンでブレイクしたジェイソン・モモア。コミックではこのキャラ、金髪の白人だった2犬猿の仲の弟オームを演じるのは監督ワンのミューズ（？）パトリック・ウィルソン。ワンに愛されているせいか本作ではとりわけかっこいい3アクアマンに怒りをたぎらせるブラックマンタ4七つの海を統べる王アクアマンの乗り物はタツノオトシゴっぽいドラゴン（？）5まるで『海底二万哩』のノーチラス号のようだったりスチームパンクっぽかったりするブラックマンタのオクトパス型マシン。これもかっこいい6宿敵ふたりの武器はどちらとも新旧のトライデント！7自作にはほぼ出演しているミューズのウィルソンに指示をするワン。ふたりはとっても仲良し！

PICK UP

REBEL MOON − パート1：炎の子

『SW』×『七人の侍』！

REBEL MOON PART ONE: A CHILD OF FIRE

NOTES

銀河宇宙を統べるマザーワールド。その魔手が辺境の星にも伸びて来た。このままでは村が潰されてしまうと考えた農民は戦士を雇うことにする。出演は『キングスマン』等のソフィア・ブテラ、『パシフィック・リム』等のチャーリー・ハナム。（Netflixで配信中）

Netflix映画『REBEL MOON − パート1：炎の子』独占配信中

Netflixと契約を結んだザック・スナイダーがゾンビ映画『アーミー・オブ・ザ・デッド』に続いて放つのは『スター・ウォーズ』×『七人の侍』の『REBEL MOON』。映画を観るようになった子どもの頃、多大な影響を受けたスペースオペラと黒澤明を1本にまとめて独自のSFアクションを作ってみせた。ちなみに構想20年の悲願の作品だ。

そもそもジョージ・ルーカスも黒澤明の影響を受けて『スター・ウォーズ』を作ったので両者の相性は問題ナシ。ただし、監督＆オリジナル脚本はザックなのでヒーローになるだろうキャラクターはみんなクセ者すぎるアウトローでアクションも過激。敵キャラもサディスティックなどの邪悪さを発揮している。

本作は二部構成になっていて、前半の本作は帝国と戦ってくれる仲間集め。おそらく大アクションが展開するだろう後半は4月19日に配信予定。

ふたりで高みを目指す、2vs2の呪術連携バトルが登場！

▲2vs2を活かした連携技「共連撃」は、特定キャラの組み合わせで専用演出が発生

▲捻出技で呪力を溜める虎杖。このまま溜め続けるか消費するか、その判断が重要だ

▲呪術"十種影法術"で召喚した式神とのコンビネーションが特徴の、近接コンボアタッカー・伏黒恵。虎杖の頼れる仲間の一人だ

▲オンライン対戦は、プレイヤーランクが変動する昇級戦と、気軽に戦える交流戦がある

▲戦いの中で虎杖を導く東堂葵。第1期の名場面をピクチャードラマで追体験

「呪力」を溜めて、己を高めろ！

特級呪物・両面宿儺の指を口にしたことがきっかけで、呪術の世界に身を投じた虎杖悠仁。仲間と共に数多の呪霊と戦うことになる彼の姿を描いた話題作が、新たにゲームで登場だ。

16名のキャラから2名を選び、戦略的かつド派手な呪術戦を展開していく。バトル以外にもTVシリーズ第1期＋『呪術廻戦劇場版0』の物語をシチュエーションバトルで体験するピクチャードラマ等、複数のモードが搭載されている。

バトルシステムの特徴としては「呪力レベル」の存在があげられる。相手にダメージは与えられないが「呪力」が溜まる「捻出技」を使い、一定値まで呪力を溜めると呪力レベルが上昇。それと共に攻撃力向上や一部の技の変化、潜在能力［パッシブスキル］開花など、様々な恩恵が得られるのだ。呪力と呪力レベルを最大まで溜めると、バトル中1回限定で「覚醒技」の発動が可能。「領域展開」をはじめとする覚醒技は、特大ダメージを与えたり、自身に有利な状況を作り出すことができる。

一方、溜めた呪力を消費して相手にダメージを与える「呪力技」も重要。捻出技と呪力技を絡め素早くダメージを与える「連撃技」で、速攻撃破を狙うのも手だ。

世界中のプレイヤーと対戦する「オンライン対戦」や、協力して連続バトルに挑む「オンライン協力」を楽しめるオンラインコンテンツも見逃せない。オンライン協力は、己に「縛り」を課すことで一部の能力を強化したり、経験値等の報酬でキャラを「育成」できるのが面白い。

虎杖 悠仁
YUJI ITADORI
高い身体能力と潜在能力が特徴の近接パンチャー。潜在能力"ギアアップ"は、呪力レベル上昇に伴いダッシュがしやすくなる

両面宿儺
RYOMEN SUKUNA
無差別攻撃を行い戦場すべてを吹き飛ばす広範囲近接アタッカー。潜在能力"反転術式"は、ダメージを受けても反撃で回復可能

五条 悟
SATORU GOJO
規格外の術式と圧倒的な体術を誇る最強の特級オールラウンダー。潜在能力"無下限呪術"は、あらゆる攻撃を一時的に無効化できる

呪術廻戦 戦華双乱

▲パッケージは、虎杖たちと宿敵・両面宿儺が描かれている

DATA
メーカー／バンダイナムコエンターテインメント　プラットフォーム／Nintendo Switch、PS5、PS4、Xbox Series X|S、Xbox One、STEAM(PS4、Xbox Series X|S、Xbox One、STEAMはダウンロード版のみ)　発売予定日／2月1日(木)(STEAM版のみ2月2日(金))　価格／【パッケージ版限定 超特装版】32,780円(税込)、【パッケージ版限定プレミアム限定版】14,850円(税込)、【パッケージ版限定 パノミラー付き通常版】21,780円(税込)、【パッケージ通常版】8,470円(税込)、【ダウンロード版限定 アルティメットエディション】14,300円(税込)、【ダウンロード版限定 デラックスエディション】11,990円(税込)、【ダウンロード通常版】8,470円(税込)　ジャンル／呪術連携アクション　CERO:C(15歳以上対象)※【パッケージ版限定 超特装版】は、原作者・芥見下々描き下ろしプレミアムキャンバスアートボードやパスケース&タンブラー、シリアルNo.付きゲームビジュアルパノミラー等の多数の特典を同梱。【パッケージ版限定プレミアム限定版】は、原作者・芥見下々描き下ろしプレミアムキャンバスアートボード他の特典を同梱。【パッケージ版限定 パノミラー付き通常版】は、シリアルNo.付きゲームビジュアルパノミラーを同梱。

公式HP | https://jj-senkasouran.bn-ent.net/

※画面は開発中のものです。

CAST
虎杖悠仁／榎木淳弥　伏黒 恵／内田雄馬　釘崎野薔薇／瀬戸麻沙美　禪院真希／小松未可子　狗巻 棘／内山昂輝　パンダ／関 智一　七海建人／津田健次郎　五条 悟／中村悠一　東堂 葵／木村 昴　真人／島﨑信長　漏瑚／千葉 繁　花御／田中敦子　壊相／檜山修之　血塗／山口勝平　両面宿儺／諏訪部順一　他

市川歓喜!?　山田がデフォルメとリアル頭身でフィギュアに

重度の中二病で陰キャの中学生男子・市川京太郎と、クラスで人気者の山田杏奈。全く違う世界にいたはずの2人だが、その距離はもどかしいほどゆっくりと近づいていく……。

第2期が絶賛放送中の人気ラブコメ『僕の心のヤバイやつ』。今回はヒロイン山田のデフォルメ可動フィギュアと、リアル頭身固定フィギュアを紹介しよう。

『マッシュル』マッシュとランスを立体化！

魔法が使えないことを隠して魔法学校に通う少年マッシュ。家族との平穏な生活を守るため、魔法界のトップである神覚者を目指し、彼は鍛え抜かれた筋力であらゆる魔法を粉砕していく。

第2期「神覚者候補選抜試験編」が絶賛放送中のアブノーマル魔法ファンタジー『マッシュル-MASHLE-』から、主人公マッシュと仲間のランスがPOP UP PARADEに登場。「POP UP PARADE マッシュ・バーンデッド」(右)、「POP UP PARADE ランス・クラウン」(左)は各4800円(税込)でグッドスマイルカンパニーからマッシュは1月発売予定、ランスは3月発売予定。それぞれの顔のアザやローブ背面の紋章、ランスの耳飾りなど細部も造型・彩色されている。各全高約18cm。

POP UP PARADE 山田杏奈

『僕ヤバ』ヒロインの山田を固定フィギュアで再現。爽やかな夏服姿で、袖をまくって両手に2段重ねのアイスを持っている。POP UP PARADEはタイムリーな開発&発売、存在感と飾りやすさのバランスが取れたサイズ、お手頃価格が特徴のシリーズだ／4800円(税込)、専用台座付属／全高約18cm／1月発売予定　発売元：グッドスマイルカンパニー

POP UP PARADE 山田杏奈の全高は約18cmである

ねんどろいど 山田杏奈

「チョコミントアイス」「市川のぬいぐるみ」など表情パーツ3種が付属　6500円(税込)／全高約10cm／1月発売予定／発売元：グッドスマイルカンパニー

グッドスマイルカンパニー 0120-915-391(土日祝日休業日除く10～18時)

新房昭之の本棚の奥から

第51回「迷走王 ボーダー」

ゲスト 倉田英之

『迷走王 ボーダー』原作は狩撫麻礼、作画はたなか亜希夫。「漫画アクション」（双葉社）にて1986年から1989年まで連載。単行本は現在、双葉文庫名作シリーズ（全8巻）などが発売中。電子版も配信中

風が吹きすさぶアジアの何処かで二人の旅人が出会った――それから数年後、ボロアパート「月光荘」に二人の無職の男が住んでいた。元は便所だった家賃3000円の部屋で暮らす中年男・蜂須賀と、蜂須賀を「センパイ」と呼ぶ青年・久保田。彼ら二人が、同じく月光荘の住人で東大を目指す浪人生・木村を巻き込みながら、日々騒動を巻き起こす。1986年に始まったとされる「バブル景気」の日本をリアルな絵柄で描き出し、時代に背を向けて生きる男たちの姿を時にコミカルに、時にリリカルに表現して多くの読者の共感を得た。

時代を色濃く反映したアウトローへの憧れ

――今回のゲストは脚本家・小説家の倉田英之さんです。お二人は、一緒に作品を手掛けられたことは？

倉田 多分、一度もないですよね。

新房 一度、対談企画でご一緒したことがありましたね。その対談では「家にある膨大な本をどう整理するか？」という話をして、倉田さんから「本棚なんか飾りです」という名言が出たのを覚えています（笑）。

――お二人とも膨大な蔵書をお持ちで大変ですね（笑）。そんな倉田さんが選んだ漫画は『迷走王 ボーダー』（以下『ボーダー』）です。

新房 僕は、題名は知っていたけれど読んだことはなくて。今回、読んでみて「『独身アパートどくだみ荘』（※1）をお洒落にしたような漫画だ」と思いました。

倉田 確かに設定は似ていますね。ただ、『ボーダー』もお洒落かどうかは微妙ですが（笑）。

新房 下ネタばかりの『どくだみ荘』よりは少し上品かな、という感じですね（笑）。とても面白かったし、どこか懐かしい感覚もありました。「80年代の漫画だな」という印象がかなり強かったです。

倉田 連載開始が86年――バブルが始まって日本全体が「お金持ち」の浮かれムードになっている中、そこに入れずに反感を抱いた人たちを描いた漫画です。まさに、あの時代でしか生まれなかったかもしれません。

――倉田さんはこの作品とどのように出会ったのでしょうか。

倉田 そもそも僕は松田優作（※2）が好きなのですが、彼が監督をした映画『ア・ホーマンス』の原作漫画を描いたのが狩撫麻礼さんとたなか亜希夫さんのコンビだったんです。映画の原作だと思って『ア・ホーマンス』を読んでみたら全然違う話でしたが、絵や雰囲気が気に入って……。その後、自分が高校3年生くらいの時に、同じコンビで『ボーダー』の単行本第1巻が出て「『ア・ホーマンス』の人たちだ」と思ってパラパラ読み出したら、すっかりハマってしまいました。

新房 なるほど。

倉田 高校生という、何となく社会に反発したい気分を持っていた時期でしたが、『ボーダー』ってそういう気分にマッチするじゃないですか。これから日本がバブルに突入するという時代に、ぼろアパートにパンツ一丁で住んでいる中年の話――これこそが正しいんだ！ と思い込んでしまって、自分も高校を卒業してすぐに、新宿で風呂なし・トイレ共同・家賃3万3千円のぼろアパートに住み始めました。

――大きな影響力ですね。「そうするのがかっこいい」という感覚が？

倉田 「かっこいい」というより「正しい」ですね。そのアパートは新宿ヒルトンホテルの裏にあって、ちょっと外に出ればBMWのギャラリーはあるし、新宿中央公園はあるしで。当時はみんなお金を持っていて、お洒落でかっこよかったんです。それを横目で見ながら「ケッ……！」と、まさに『ボーダー』の登場人物たちのように「あちら側の奴ら」とか言って反発心を抱いて。「こっち側の俺たちのほうが正しい」と自己防衛する感覚です。そんな風にものすごく感情移入をして読んでいました。

新房 仲間内だけの世界でダラダラと暮らす。そういう世界観だと中学生の頃、『俺たちの旅』（※3）を観て憧れました。

倉田 ああ、わかります。アウトロー的な生き方に憧れるかどうかというのは、中学～高校くらいの時期にひとつ分岐点になりますよね。この先、進学したり社会人になったりするのか、それとも少し刺激的な人生を送るのだろうか……みたいな。そういう境目に『ボーダー』のような作品にハマってしまうと、もう絶対に「こういう生き方が正しい」と思ってしまう。

新房 もともとで言うと、松本零士の『男おいどん』ですよね。子どもの頃にはまったく面白さが理解できなかったけれど、ある程度の年齢になって読むと面白くて。

倉田 『男おいどん』はキャッチコピーに「ペーソス」という言葉が入っていて、それが子どもの時は何だか意味がわからなかった（笑）。

新房 「ペーソスギャグって何だろう？ 面白くないギャグのことかな？」と勘違いしたり（笑）。

倉田 （笑）。

新房 もう少し成長して、それこそ上京してきてから読んだら結構、グッときたりするんですけれどね。

――ある程度の年齢になって「社会の一員としての自分」という感覚が生まれ始めると、そこからはみ出す気持ちも何となく理解できると。

倉田 『ボーダー』がよかったのは、そういうアウトロー的な生き方をどこか客観的に見る視点が感じられたことです。本当に若い時は『あちら側』が間違いで、『こちら側』が正しい」と単純に納得できたけれど、しばらく経つと「『こちら側』もヤバくないか？」みたいな感覚が浮かんでくる。特に、社会人になって普通に給料をもらうようになると、月3000円の家賃さえ払えない生き方というのは、はたして正しいのだろうか？ みたいな（笑）。

新房 （笑）。

倉田 あるエピソードで、主人公が滞納した家賃を払うために、求人広告に「日給2万」以外は何も書いていない怪しすぎるバイトに応募するんです。その広告を頼りに行ってみたら、軍服を着てホテルの部屋に行かされて、ドアを開けたらオムツを履いたおじいさんたちが床で何人もゴロゴロ転がっていた（笑）。

新房 それは……内容を想像したくないバイトですね（苦笑）。

倉田 読む分には面白いけど、自分も将来こうなったらどうしよう……みたいな（笑）。

――先ほど「バブルの時代だから生まれた作品」というお話もありましたが、今の若い世代は「貧乏だけれど自由なアウトロー生活」に憧れ、共感する感覚はあると思いますか？

倉田 どうなのかなぁ……。ただ、少し思うのは、結局自分も「オタク」は捨てられなかったってことで。『ボーダー』に憧れつつ、『気まぐれオレンジ☆ロード』も毎週ビデオに撮っていましたから（笑）。結局、両方ないと落ち着かない。「貧乏でパンツ一丁」と「鮎川まどか」、『ボーダー』のドロドロした世界と『オレンジ☆ロード』のキラキラした世界、その両方があったほうが、それぞれが際立ちますし。

新房 きっと、誰でも両方持っているんじゃないかな、人間だから。

倉田 それと、『ボーダー』は基本1話完結ですが、時々「絶対にこれはウソだろう」みたいなファンタジーが繰り広げられることがあるんです。「銀行強盗が隠した10億円を手に入れる」とか「ボブ・マーリーのバンドメンバーを呼んで東京ドームでコンサートを開く」とか。つまり、大人向けのファンタジーという面もあったのかな、と。現代の若い人たちには、ある種の「SF」だと思って読んでもらって（笑）、昭和時代にはこういう世界もあったということを知ってほしいですね。

※1 『独身アパートどくだみ荘』 作者は福谷たかし。「週刊漫画TIMES」（芳文社）にて73～93年に連載。阿佐ヶ谷の四畳半アパートで貧乏暮らしをする若者の青春を描く。

※2 松田優作 70～80年代に活躍した俳優、歌手。『探偵物語』『野獣死すべし』などの作品でカリスマ的な人気を獲得するが、89年に40歳で死去。

※3 『俺たちの旅』 75～76年に日本テレビ系で放送されたドラマ。主演は中村雅俊、秋野太作、田中健。社会に縛られることを嫌った若者たちの、自由奔放な生活を描き、人気を博した。

Akiyuki Shinbo
アニメーション演出家／代表的な監督作品に『化物語』『魔法少女まどか☆マギカ』『3月のライオン』ほか

Hideyuki Kurata
脚本家・小説家／主な作品は『R.O.D』シリーズ、『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』『るろうに剣心 -明治剣客浪漫譚-』ほか

倉田英之のオススメ5選

『風雲児たち』
みなもと太郎
「月刊少年ワールド」
「コミックトム」（共に潮出版社）
1979年
1980年～1997年

『みゆき』
あだち充
「少年ビッグコミック」（小学館）
1980年～1984年

『観用少女』
川原由美子
「眠れぬ夜の奇妙な話（ネムキ）」（朝日ソノラマ）
1992年～2001年

『RED』
村枝賢一
「ヤングマガジンアッパーズ」
「週刊ヤングマガジン」（共に講談社）
1998年～2004年
2005年

『大奥』
よしながふみ
「MELODY」（白泉社）
2004年～2021年

ヘンリウタの愛を知りたい!!

荒木哲郎 平尾隆之

新年明けまして、荒木哲郎謹製の新作フィルムが早速お披露目されました！　みんなもう観た？今回はそんな最新情報からスタートですよ!!

美しい映画を知りたい!

荒木哲郎最新フィルム キミはもう観たか?

荒木 今回は2024年の初回、収録は2023年の最後だけれど、平尾くんはどうでした? 2023年を振り返ると。

平尾 僕は新作がついに始動して忙しくなってきて、それはそれで良かったけれど、同時にいろいろと反省した年でもあったなと思います。

荒木 へえ、そうなの?

平尾 自分の至らなさと言いますか……年齢を感じ始めてしまった年でしたね。思ったより馬力が上がってこないとか、疲れがたまるようになったとか。2024年は現場作業が本格化するので、それに備えて体力を着けないといけないなと思っています。荒木くんの2023年はどうでしたか?

荒木 オレは未来の監督作の準備をメインにしつつ、OP映像ほか、まだ情報が表に出ていないものも含めて、いろいろ現場仕事をしていた1年でした。みなさんの目に触れたのは『ヴィンランド・サガ』のOPとMVの『COLORs』だけど、特に『COLORs』は本当に手応えのある仕事になって。新しい自分の名刺というか、「最新作はこれです」ってみんなに見せたくなるフィルムが作れたことが嬉しかったですね。で、今やっている現場仕事が終わったら、2024年は徐々に監督作の準備に注力していくつもりです。

平尾 2024年はお互い、自分の新作作業に没頭していく年になりそうですね。

荒木 そうだね。その分、みんなの目からは遠ざかって、何をやっているのかわからない人になるから心しておけよ！ という感じ(笑)。でね、この号が発売される頃には、2023年に作っていたけれど情報がまだ出ていなかったフィルムが1本、公開されていると思います――実は『僕の心のヤバイやつ』第2期のOPを作らせてもらいました！ 記事的には「みなさん、ご覧いただけましたでしょうか?」ということになりますが、実は、今日現在のオレは「本当に間に合うのか……?」みたいな不安な気持ちで一杯の状態です(笑)。

平尾 まさに今、作業中(笑)。でも、これを読者のみなさんが読む頃には、完成したフィルムが観られているわけですね。楽しみですね。今回は、どんな方向性のOPですか。

荒木 作品のジャンル的に今までやってきたハード寄りではなくて、割と初めてキャラもののOPをやらせてもらいました。そして『僕ヤバ』の赤城(博昭)監督は岩井俊二さんが好きで、原作の世界がしっとりと繊細に映像化されているんです。心理描写も非常に丁寧だし。で、オレも岩井俊二さんは大好きだから、お互いに好きな岩井テイストでまとめつつ、さらにオレとしては『めぞん一刻』や『らんま1/2』のような思春期だった頃のオレに刺さるOPにしたいと思った。

平尾 岩井俊二+るーみっくワールドですか。

荒木 そうそう。つまりね、キャラを可愛く見せるという時にオレの中で、まずるーみっく系のOPが引き出しから出されたわけ。たとえば『めぞん一刻』だと、EDだけど「シ・ネ・マ」(2本目のED)だったかな。響子さんが振り向く時に、髪の毛がフワッと顔の反対側までなびくカットがあるんだよね。それを作画さんに見せて「こんな感じですよ」って雰囲気を伝えたりとか。可愛く見せるための、ちょっとあざといまでの演出……そういう瞬間を、『らんま』や『めぞん』を参考に作ったりしていますよ。

平尾 キャラクターの魅力を表現するために、あえて過剰にした演出、確かに岩井俊二作品にも共通してありますね。僕が思い出すのは『四月物語』かな。

荒木 ああ、今回(イメージをスタッフに伝える時に)めちゃめちゃ『四月物語』の例も出したよ。

平尾 『四月物語』のはじめのほうのシーンで、引っ越しを終えた松たか子が着ていたパーカーをバサバサっとやると、桜の花びらが散るカットとか、ありますよね。

荒木 ああ……素晴らしいカットだね。美しさを強調するためにちょっと「やりすぎ」というくらい盛るというか。『四月物語』で言うと、オレが好きなのは先輩にもらった本に口づけするカット。

平尾 はいはい。

荒木 あのカットは口元だけを光で照らしているんだよね。その演出がとても好きで、『バブル』の時にもそのカットを見せて、「口元だけを照らす」という手法がいかに素晴らしいかの話をした。

平尾 我々の世代にとって岩井俊二さんは、そういう「リアルではないけれどものすごく美しい映像」を作る人というイメージがありますよね。

荒木 特に「光の表現」というものへの気配りを、我々に最初に教えた人だね。画面自体は全体的には暗めに作るけど、強調したいところ、強調すべきところをピンポイントで光らせる、とか。そういう演出を我々は岩井俊二さんから学んだと思いますよ。たとえば、2000年代初頭のオレは、岩井俊二さんの『リリイ・シュシュのすべて』みたいな映像にしたいと思っても、何をどうしたらこうなるのかわからない、というところから始まったんだよね。

平尾 ああ、わかります。

荒木 美術さんや色彩設計さんに「こんな感じにしたいんですけど」ってお願いするんだけど、具体的な指示の仕方がわからないから、やっぱりそうならない。「これは難しいですよ」とか言われて、「そうですかぁ……」みたいな。実際に何をすることが、ああいう画面を作る決め手だったのかは、やっていくうちに会得していって。『DEATH NOTE』以降は、自分的に「これはできた」と思えるカットが少しずつ生まれていって。今も上手くいったり失敗したりしながらやっているね。

岩井俊二監督の影響力と存在感

平尾 僕は岩井さんの作品だと『リリィ・シュシュ』も好きでしたけれど、どちらかというと『ス

ひらお・たかゆき／1979年生まれ、フリーの演出家、監督。『劇場版 空の境界 第五章 矛盾螺旋』、『魔女っこ姉妹のヨヨとネネ』、『映画大好きポンポさん』などで監督を務める。

イラスト=齋藤十夢

ワロウテイル』や『四月物語』、『Love Letter』あたりから一番影響を受けています。やはり「光と影」の使い方だとか、何でこんなに透明感のある映像が撮れるんだろう、とか。昔の映画の理論でいうとたとえば、「レンズフレア」が入るのは撮影ミスだとされていたわけじゃないですか。

荒木　ああ、そうらしいね。

平尾　岩井さんの絵作りは当時、そういった伝統的な考え方を全部破っているように感じられたけれど、それは実は「絵画」に近かった。実写映画よりも絵画を見ているような感覚だなと思っていました。実際に目で見た像に、その瞬間の「心情」が加わって、何てことのない風景がとても美しく見える。そういう、感覚を優先した絵作りがなされていたし、それって実はアニメと相性がいい演出だなと思います。

荒木　オレは犬の散歩で毎日、石神井公園に行くわけだけど。そのたびに「こんなに世界は美しいのに、自分のフィルムにこの美しさを映し撮ることは不可能なのか？ どうすれば作品に焼き付けられるのか？」と思っている。岩井さんはきっと、かつて岩井さん自身が観て「綺麗だ」と感じた景色を、ありありと映画の中に映し出して見せていると思う。逆光の中で吸うタバコの煙がかっこいいとか、「よく、その光の美しさに気付きましたね」みたいなやつ。自分もそうしたいですって思っていたし、今も思っている。そして今回の『僕ヤバ』のOPも、「こういう風にやったら、綺麗なのでは？」というカットをたくさん作っています。まだ現時点では見えていないけど、完成したフィルムで上手くいっていればいいなぁと、今は思っているところですよ。

平尾　ところで、最近の若い人たちと話をすると、意外と岩井俊二という名前を知らない人も多くて。ちょっと衝撃を受けたりすることもあるんです。

荒木　「特に岩井俊二さん（に影響された）」というのは、われわれの世代の特徴のような気がするね。とはいえ若い人たちも綺麗な映像を作っているし、誰かに影響を受けたりはしているんだろうけれど。

平尾　誰に影響を受けているんだろうって、聞いてみたいですね。

荒木　たとえば新海誠さんは岩井さんに大きな影響を受けていると思うけれど……もしかしたら若い人にとっては、「大好きな新海さんが影響を受けた岩井俊二」くらいの距離感だったりするのかもしれないね。それこそオレたちが、「庵野秀明さんは市川崑監督に影響を受けたらしいよ」って言って『犬神家の一族』をお勉強で観る、みたいな感覚。

平尾　あるほど、あまりリアルタイム感がないのかもしれない。そうかぁ……。

荒木　お勉強とはいえ、観たら「確かにすげえな」ってなるんだけどね。「実相寺昭雄さん、すげえな」とか。それでもやっぱり、観る動機が「お勉強」だから。

平尾　心にグサっとくる、ビジュアルと一緒に記憶に焼き付けられる、そういう感覚にはなりにくいかもしれないですね。

荒木　どれだけ「すごい」と思っても、「オレの心の1本」ではない。逆に言うなら、庵野さんたちの世代にとっては実相寺昭雄さんや市川崑さんが「オレの心の監督」になるんだろうけれど、それがオレたちの世代は、それこそ庵野秀明さんとか岩井俊二さんとか、きっとそういうことなんだろうね。

平尾　そうですね、特に映像表現という意味では岩井俊二さんは、我々の世代にとって特別な存在ということでしょうね。でも、ぜひ若い人にも岩井さんの作品は観てほしいな。

話題の最新映画 荒木哲郎はこう観た！

荒木　ちなみにですが、平尾くんはそんな岩井さんの最新作がつい最近、公開されたのを知っていますか？

平尾　いやぁ……すいません、知らないです（苦笑）。偉そうなことを言っていながら、僕は岩井さんに限らず最新の情報に関しては疎いので。

荒木　そうだろうと思った（笑）。『キリエの歌』という、アイナ・ジ・エンドさんが主演の映画が2023年の10月に公開されていて、それも良かったですよ。

平尾　そうだ、新作映画と言えば北野武監督の『首』は観ましたか？

荒木　観ました！

平尾　僕はまだ、観られていないんですよね……。

荒木　そうでしょう？ 今日は岩井さんの話題も出たことだし、何本か最新映画の話をしてもいいけど、きっと「オレは観たけど、平尾くんは観た？」「いや、観ていません」って流れになると思っていた（笑）。

平尾　（笑）。僕はネタバレが大丈夫なタイプなので、思う存分話してもらって大丈夫ですよ。多分、話を聞いて「絶対に僕も観に行きます！」で話が終わると思います。

荒木　だよね（笑）。『首』に関しては、北野イズムを存分に浴びられて満足しました。まず、加瀬亮さんの織田信長の演技がめちゃくちゃで面白かった（笑）。

平尾　ああ、加瀬亮さんは僕も、予告編だけで観ても良いなぁと思いました。

荒木　あと、たけし演じる羽柴秀吉のずる賢さが、話をどんどん面白くしていくのも良かった。ヘラヘラしているけど、時々ヤクザっぽい怖さも見せたりして。やっぱり、たけし自身が演じる役がいつもいちばんワクワクするんだよね。「こいつは何かしてくれそうだ」みたいな。

平尾　途中からお笑いの要素が多くなるという評判も聞きましたけれど、そうなんですか。

荒木　そうだなぁ……かつての北野映画だと、殺す時はすげえ凶暴に殺すとか、寒暖差が魅力だったよね。それで言うと今回は、「ピリっとする怖い瞬間も、もう少し観たいなぁ」と思っているうちに終わっちゃったという感じもあったかもね。観ているうちに何となく、緊張感が拡散していくような印象があったかもしれない。それでも、北野武という監督の「表現」が持っている独特の空気感はビシビシと伝わってくるし、間違いなく面白い映画ですよ。

平尾　そうなんですね……僕もぜひ観てみます！（笑）

荒木　（笑）。それから最近観たのは『ゴジラ-1.0』。

平尾　ああ、監督が山崎貴さんですよね。

荒木　そうそう。めっちゃ面白かった（笑）。評判を聞く前は正直、あまり興味がわかなかったんだけれど、すげえ評判が良かったから行ってみたら、マジで良かった。そして、ひとつ「オレがやらなくちゃいけないこと」のお手本になった部分もあったんだよね。今、頑張って準備している未来の監督作――読者のみなさんはしばらく忘れていてくださいというくらい、かなり先に世に出る予定の作品だけど（笑）――でやらなくちゃいけないことって、こういうことかも知れないなって思ったところがあった。

平尾　それは、たとえばストーリーの構成の仕方とか、そういうことですか？

荒木　それもひとつだね。ごく単純な話で、言ってしまっていいと思うから言うけれど――つまり「ゴジラが出てくるところがいちばん面白い」というシンプルな事実です。ドラマがちゃんとしているからでもあるし、VFXとか映像にも力が入っているんだろうし、いろいろ理由はあるだろうけれど。とにかくゴジラが出てくるシーンがめちゃめちゃ面白い。「ゴジラ映画」であるからには当然、そうなるように考えて作るべきでしょうという、シンプルな事実に感銘を受けた。

平尾　なるほど。

荒木　ゴジラと戦うところが圧倒的に面白くなるためにすべてが組まれているわけで。こうあるべきだなと思ったね。

平尾　それは、エンタテインメント映画として素晴らしい回答ですよね。

荒木　すばらしい回答なんだよ、本当に。あまりにも正しい演出法、シンプルで強い構造で。それはめちゃめちゃ良かった。山崎貴監督の今まで培ったもの、もしくは元々の得意技を使って、いちばんいい形にまとまっていて。もう何か、これを生み出すためにあの方の今までのキャリアはあったのではないか、と思うくらい良かった。こういうのが理想だな……と思わされたね。

平尾　そうなんだ……わかりました、『ゴジラ-1.0』も観に行きます！

荒木　観に行かなきゃいけない映画が2本になった（笑）。じゃあ、せっかくだからもう1本紹介します。『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』です！

平尾　ああ、あれも評判がいいらしいですね。

荒木　いい評判、聞くでしょう？ オレも評判がいいから観に行ったんだけど。まんまと感動させられました。とても良かった。

平尾　あれは、何が良いんですか？

荒木　最後にドッカーンと感動するんだよ。どうやっても泣いちゃうの、最後で（笑）。

平尾　『鬼太郎』で泣くんですか？

荒木　そう、鬼太郎で泣くんだよ。『鬼太郎誕生』ってタイトルのとおりクライマックスで鬼太郎が誕生するんだけど、その光景が「何と……そうであったのか……お前はそんな思いや宿命を抱えて、そんな心を背負って生まれた子であったか……鬼太郎よ！」みたいな感じで、めちゃめちゃ泣けるんだよね。『ゴジラ』と似ているようで違うところもあって。『ゴジラ』は観ているあいだずっと面白かったけど、鬼太郎は途中まで、オレはそこまでのめり込まなかったんだよ。それこそ横溝正史の『犬神家の一族』っぽい祟りの謎解きみたいなパートがあって、誰がこの事件の真犯人なのかが明らかになって……と、ここまでで全体の尺の5分の4は終わっている。「あ、あとは問題の祠を壊して終わりかな」くらいの気持ちで観ていたんだけれど、ミステリー的なパートが終わって最後、鬼太郎のお父さん――後に目玉おやじになる人だけど、その時は人間の姿をしている――と奥さん、つまり鬼太郎のお母さん、それから後に鬼太郎となる子どもの話が最後に語られると、これがめちゃめちゃ悲しいお話なんだよね。

平尾　はあ……。

荒木　その悲しみに「ああっ……」ってやられちゃったらもう、あとはすべてがグサグサきちゃう（笑）。そういう意味では『ゲゲゲの謎』もひとつ大事な教えをオレに授けてくれたね。それは「とてつもない悲しみの楔こそが、観客の心を強く揺り動かすのである」ってこと。知っていたはずだけれど、あらためて教えてもらったような気持ち。つまり、彼らを見舞った悲劇が相当に強烈で、だからこそ、そこからの「愛」を求める姿に涙する。

平尾　かなり表現がグロいという話も聞きましたけど。

荒木　そうだねえ、確かに「グロい死に方をしますね」と感じるところもあったけれど、アニメで描かれているからオレにとってはそこまでじゃなかった。実写映画であの死に方をしたら相当キツいと思うけど、アニメの絵だから。トラウマになるほどのショックは、オレは受けなかったかな。ただ、子どもに見せるかというとちょっとためらっちゃうかもしれないけどね。

平尾　なるほどね……わかりました、観てみます！『首』と、『ゴジラ-1.0』と『ゲゲゲの謎』、3本とも観てみます！

荒木　……1年後くらいのこのコーナーで「『ゲゲゲの謎』、観ました！」って話を聞くことになりそうな予感がする（笑）。

荒木監督と平尾監督への励ましのメッセージや語って欲しいテーマ　疑問質問等は右のアドレスまで！
ambariuta@gmail.com

あらき・てつろう／1976年生まれ、フリーの演出家、監督。『DEATH NOTE』、『ギルティクラウン』、『進撃の巨人』、『甲鉄城のカバネリ』、『バブル』などで監督を務める。

新番組＆新作映画・OVA情報

NEWS

ANIMAGE NEXT RECOMMEND

ANIMAGE NEXT RECOMMEND

ラブコメ、異世界、日常系と１月新番が怒涛の勢いで押し寄せてきていますね。みなさんはどの作品に注目しているのでしょうか？　そして、春以降の新作情報も続々と入ってきてますよ。

宇宙人・心霊・都市伝説・全員集合！ オカルティックバトル＆青春物語

TV 10月

モモがいじめっ子から助けたオカルンは、オカルトマニア。「宇宙人は信じているが幽霊否定派」だった。一方、モモは「幽霊は信じているが宇宙人否定派」。お互いの主張を確かめるため、それぞれUFOスポットと心霊スポットに足を踏み入れたところ……。

すでにアニメ化が発表されている『ジャンプ＋』で人気のオカルティックバトル＆青春物語。その放送が10月に決まった。PVも公開され、メインキャストも解禁された。

モモ役の若山詩音から「全身全霊、体力が擦り切れるぐらいの全力で挑みます！」と、意気込み満点のコメントが到着♪

ロゼとアッシュの兄弟が繰り広げる「奪還」の物語

MOVIE 5月

「ナナシの傭兵」として知られるロゼとアッシュの兄弟。二人が繰り広げる「奪還」の物語が、新たな時代を切り拓く！

「コードギアス Next 10years Project」で発表されたシリーズ最新作がついに始動した。到着したティザービジュアルには、4人のキャラクターが描かれている。彼らがどんな物語が紡いでいくのか、楽しみだ。

キャラクター原案をCLAMPが担当するなどこれまでシリーズを支えた豪華スタッフが集結。大橋誉志光監督が指揮をとる。

コードギアス 奪還のロゼ

CAST ロゼ／天﨑滉平　アッシュ／古川 慎　ほか

不思議な力を持つ生き物とそれにより繋がった三人のお話

MOVIE 秋

幼馴染の青年三人組は、それぞれの気持ちを口にしなくても心が繋がっていた——不思議な生き物の力で。『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』『心が叫びたがってるんだ。』『空の青さを知る人よ』の青春三部作を手がけた長井龍雪監督と岡田麿里（脚本）、田中将賀（キャラクターデザイン）による新作が発表された。公開は今秋。到着したティザービジュアルには、一つの手提げを持つ三人組の背中が描かれている。そしてその中には光る何かが入っている!?

映画『ふれる。』

▶今秋公開決定

STAFF 岡田麿里　キャラクターデザイン／田中将賀　制作 CloverWorks
CAST 未定

試練、葛藤、苦悩が立ちはだかる青春ストーリー

MOVIE 5月

高校1年生の東ゆうは「絶対にアイドルになる」という目的をかかげ、自らに4箇条を課していた。「SNSはやらない」「彼氏は作らない」「学校では目立たない」「東西南北の美少女を仲間にする」。そして、別々の高校に通う東西南北の「輝く星たち」を仲間にしたゆうが、夢に向かって走り出す！

乃木坂46一期生・高山一実の青春小説がアニメ化決定。5月に劇場公開されることが発表された。到着したティザービジュアルには、大粒の涙をこぼす悲しげな表情のゆうが描かれている。さまざまな試練、葛藤、苦悩を、彼女はどう乗り越えていくのだろうか。公開が楽しみだ。

トラペジウム

STAFF 原作 OKAWA『ダ・ヴィンチ』連載）　スーパーバイザー／舛成孝二　脚本／柿原優子　キャラクターデザイン／りお　制作／CloverWorks　CAST 東ゆう／結川あさき　ほか

12月17日に幕張メッセで開催された「ジャンプフェスタ2024」（2日目）で、劇場版『チェンソーマン レゼ篇』の制作が発表された。レゼを演じるのは上田麗奈。公開時期は未定だ。続報が気になる♪

12月17日に幕張メッセで開催された「ジャンプフェスタ2024」（2日目）銀魂ステージイベント。そのなかで、『銀魂』シリーズのスピンオフ最新作の放送が2025年であることが発表された。さらに原作20周年記念展の実施も決定！

MOVIE 4月
「クラガリ」の謎を描く長編映画 スピンオフ作品も同時公開決定！

「クラガリに曳かれるな――」。探偵・荘太郎は集団失踪事件の謎を追い、「クラガリ」と呼ばれる地下世界に足を踏み入れる……。

大正浪漫風の雰囲気と大迫力のガジェット。この二つが物語の大きな魅力となっているミステリーエンターテイメントが、4月に全国ロードショー決定！ さらに、「箱庭（はこにわ）」と呼ばれる町を舞台に地図屋を営む少女・カガリを主人公としたスピンオフも同時公開されることが発表された。

二人の主人公が紡ぎだす一筋縄ではいかない結末とは⁉

『クラユカバ』『クラメルカガリ』
▶4月12日（金）2作品同時公開
STAFF 【クラユカバ】原作・脚本・監督／塚原重義 キャラクターデザイン／皆川一徳 特技監督／maxcaffy 撮画監督／アカツキチョー 制作／チームOneOne 【クラメルカガリ】原作・脚本・監督／塚原重義 シナリオ原案／成田良悟 制作／チームOneOne CAST 【クラユカバ】荘太郎／神田伯山 タンネ／黒沢ともよ サ…／…澤 優 指揮班長／佐藤せつじ …翔 稲荷坂／坂本龍光 ほか 【クラメルカガリ】カガリ／佐倉綾音 ほか

©塚原重義／クラガリ映畫協會

TV 2024年
双子を拾った転生冒険者が のんびり子育てスローライフ！

異世界転生した茅野巧。魔物がうごめく森で（おそらく）双子の男女・アレンとエレナを拾い、身寄りのない二人を育てていくことに……。

水無月静琉の転生ファンタジー小説がアニメ化決定。到着したビジュアルには水辺で元気に遊ぶ二人に加え、それを優しい表情で見守る巧の姿が描かれている。双子の声は、実際に姉妹である鈴木愛奈と花井美春が演じることも発表された。過去にも共演作はあったが、同一作品内で兄弟姉妹を演じるのは今回が初となる。

生計を立てるために冒険者として働き始める巧。彼の子育てスローライフの行く末やいかに⁉

異世界ゆるり紀行～子育てしながら冒険者します～
CAST …鈴木愛奈…／花井美春 ほか

©水無月静琉・アルファポリス／異世界ゆるり紀行製作委員会

ANIME 未定
心あたたまる 猫コメディ

猫が営む「ラーメン赤猫」に、バイトの面接にきた人間・社珠子。「どちらかというと犬の方が好き」と正直に答えた彼女は、なぜか採用。最初の仕事は猫たちのブラッシングだった！

『ジャンプ＋』で連載中の、ほのぼの猫コメディ。そのアニメ化が決定！ 店長の文蔵が「赤猫しょうゆラーメン」を差し出すティザービジュアルも到着した。

ラーメン赤猫
▶アニメ化決定
STAFF …ンプ＋」連載） CAST 未定

©アンギャマン 集英社・ラーメン赤猫製作委員会

TV 2024年
魔法少女としての才能を見込まれ 桜木カナが株式会社マジルミエに入社☆

自然災害「怪異」を退治する魔法少女という職業がある。就職活動に苦戦し自信をなくしていた桜木カナは、災害現場で怪異と戦う魔法少女・越谷仁美の手助けをしたのをきっかけに魔法少女としての才能を見出され、株式会社マジルミエに入社することに。

すでにアニメ化が発表されている『ジャンプ＋』の人気作。その放送が今秋に決定！ さらに、マジルミエの社長・重本浩司役を小山力也が演じるなど豪華な追加キャストも発表された。

株式会社マジルミエ

©岩田雪花・青木裕 集英社・マジルミエ製作委員会

MOVIE 1月
淋しかったこどもたちが 大人になる途中の物語

鹿島柊と八木玄純のバンド「syn〈シー〉」がライブ審査に合格し、デビューが決定。柊は、ギターの不在を補うため、立夏に声をかける。

大人気『ギヴン』のシリーズ続編となる2部作劇場版。その前編が、間もなく公開。美しい夕景をバックに、佐藤真冬たち「ギヴン」メンバーと「syn〈シー〉」の面々が揃う本ビジュアルが到着♪

映画 ギヴン 柊mix
▶1月27日…全国ロードショー
…樹／中澤まさとも 梶 秋彦／江口拓也 鹿島 柊／今井文也 八木玄純／坂 泰斗 ほか

©キヅナツキ・新書館 ギヴン製作委員会

突如超人的な力を持つヒーローが現れたことにより戦争がなくなった21世紀半ばの地球。恥ずかしがり屋の少女ヒーロー・シャイが日本の平和を担う。すでに第1期がアニメ化されている『週刊少年チャンピオン』の人気作。その第2期が制作決定。第1期の第12話に登場したドキ役を土岐隼一、イノリ役を早見沙織が演じていることが発表された。

12月17日に幕張メッセで開催された「ジャンプフェスタ2024」（2日目）で、『ONE PIECE』の新作アニメシリーズ『THE ONE PIECE』が発表された。原作漫画の第1話から完全新作映像で再アニメ化する予定で、制作はWIT STUDIOが担当する。どんな映像になるのか楽しみだ！

MORE INFO

目指すは世界一の飛ばし屋！

WEB 6月/8月

小学3年生の七海ガウェインは「世界一の飛ばし屋」を目指し、ゴルフの名門キャメロット学院に入学した。そして、若き天才たちとしのぎを削ることに。『七つの大罪』の鈴木央が約25年前に『週刊少年ジャンプ』で連載していたゴルフ漫画がアニメ化決定。6月から配信開始されることも発表された。

ライジングインパクト
▶6月よりシーズン1配信開始、8月よりシーズン2配信開始
STAFF 原作／鈴木 央『ライジングインパクト』（集英社ジャンプコミックス刊） ……Lay-duce CAST …… ーベル・リングヴォルド／上村祐翔　ブラダリッサ・ボネール／内山夕実　李王煉／竹本英史　ライザー・ホプキンス／武内駿輔　東堂院成／小西克幸　ほか

『宇宙戦艦ヤマト』は新たな領域へ キーワードは「REBEL（反逆）」

MOVIE 7月

敵士官・アルフォンに捕らえられた森雪と、自責の念から逃れられない古代進。二人の愛は、別離の試練にさらされることに……。

1980年公開の映画『ヤマトよ永遠に』をベースに、新解釈を加えた意欲作が、7月に上映決定。キーワードは「REBEL（反逆）」。そして、タイトルの「3199」が意味するものとは。

福井晴敏総監督から「やさしさと表裏一体の、人の愚かさに対する抵抗。その抵抗の物語は、我々の明日を左右する現実になりつつあります。そんな時代に語られる、五十年目の『宇宙戦艦ヤマト』。スタッフ一同、魂を削って紡ぎあげています」と、意気込み満点のコメントが到着！ 上映が楽しみだ！

ヤマトよ永遠に REBEL3199 第一章 黒の侵略
▶……より全国上映
STAFF …… 順一郎、石津泰志、明貴美加　制作／studio MOTHER　制作協力／サテライト　CAST 未定

新幹線に目を輝かせる姉弟 タイトルに「チェンジ ザ ワールド」

ANIME 未定

新幹線をモチーフにした人気シリーズ。その最新作が制作決定！ タイトル「チェンジ ザ ワールド」の意味するものとは!? さらに新幹線に目を輝かせる幼い姉弟が描かれた特報映像も公開中！

シンカリオン チェンジ ザ ワールド
▶制作決定
STAFF 制作／シグナル・エムディ、Production I.G　CAST 未定

心がぽかぽかにあたたまる 男3人、仲良し家族のホームドラマ

TV 2024年

異種間結婚をして、専業主夫となった藤吉真生。息子も授かり郊外の街に引っ越してきたが、世間からの偏見も少なくない。不安や悲しみにとらわれることもあるが、愛する家族に支えられ強く生きていく。

すでにアニメ化が発表されている、人気のホームドラマストーリー。その放送が今年に決定！ 到着したキービジュアルには優しい笑顔の3人が描かれており、心がぽっぽかに。

原作者・いちかわ壱から「彼らをより身近に、皆様にとってのご近所さんのように感じていただけたら嬉しいです」と、アニメ化決定を喜ぶコメントが到着した！

ただいま、おかえり
STAFF …… 監督 …… 中村…… CAST 未定

妖怪、人間、神様が暮らす縁ヶ森町の ちょっと不思議で優しい物語

TV 4月

猫として20歳まで生きて、猫又に進化したぶちお。行方不明の父親を気にかけながらも、前向きに生きている人間の睦実。代々この町を守っているカラス天狗のジロー。まったりとした縁ヶ森町の日常には、ちょっと不思議で優しい「繋がり」がある。

ほのぼの妖怪ストーリーがアニメ化決定。到着したティザービジュアルには、澄んだ青空の下、散歩する睦実、ジロー、ぶちおが描かれている。

睦実役の結川あさきは「大切なものと真っ直ぐに向き合う姿は変わらないまま、強く優しく成長していく、むーちゃんと素直に向き合いたい」と意気込み十分だ！

となりの妖怪さん
STAFF ……
CAST ……

弱肉強食な異世界を生き抜くために 敵でもなんでも喰いまくってやる!!

TV 4月

突如ストーカーに刺され、目覚めると異世界で最弱ゴブリンに転生していたゴブ朗。喰えば喰うほど強くなる吸喰能力を用いて、あっという間にゴブリン界のトップへ君臨。仲間とともに進化を繰り返していく！

すでにアニメ化が発表されている怪物転生下克上ファンタジー。その放送開始が4月になることが決定した。さらに、進化の過程を表すようなコンセプトビジュアルの全貌が解禁！ 最新PVも公開された。

Re:Monster

赤羽ショート／菅野真衣 ほか

©金斬児狐・アルファポリス／リ・モンスター製作委員会

首に爆弾、逃げても任務失敗でも即死! 極悪人たちが異世界で大暴れ

TV 2024年

首には爆弾、逃げても任務失敗でも即死。命がけのミッションを背負い、悪党たちが送り込まれたのは、異世界だった！ DCコミックスの悪党集団が異世界で暴れまわる期待のファンタジー。そのティザーPVが公開された。描かれているのは、超ド派手なアクションシーンだ。また、ハーレイ役の永瀬アンナから「ハチャメチャに演っちゃいたいと思います！」と気合十分のコメントも到着！

異世界スーサイド・スクワッド

Based on Characters from DC Suicide Squad and all related characters and elements © & TM DC © 2023 Warner Bros. Japan LLC

最強スパイ一家の夜桜さんちに 超・人見知り高校生が乗り込む!?

TV 4月

超・人見知りな朝野太陽が唯一話せるのは、幼なじみの夜桜六美だけ。だが彼女は、代々続くスパイ一家の当主という秘密を抱えており……？

すでにアニメ化が発表されている『週刊少年ジャンプ』で連載中の人気スパイ家族コメディ。その第1弾キービジュアルが到着した。太陽を囲むように夜桜一家が大集合しており、ちょっと不穏な雰囲気。いったいどんな騒動が巻き起こされるのだろうか☆

夜桜さんちの大作戦

©権平ひつじ／集英社・夜桜さんちの大作戦製作委員会・MBS

華やかな芸能界で試行錯誤する二人 それぞれの想いは成就できるのか!?

TV 2024年

母親と同じくアイドルを目指すルビーは、新生B小町として初ステージへ。そして、母親殺害の真相を探るアクアは2.5次元への出演が決定。それぞれの前に、新たな試練が立ちはだかる。

今年、TVシリーズの第2期が放送される人気作。そのティザービジュアルがスペシャルイベント「苺プロダクション☆ファン感謝祭2023」で初披露された。「新たな舞台の幕が開く」のキャッチコピーが意味するものとは……!? さらにYouTubeで公開中の特別映像ではアクア、有馬かな、黒川あかねの新規ボイスが収録されている。

スリリングに描かれるミステリアスな物語。放送が待ち遠しい！

【推しの子】

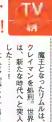
©赤坂アカ×横槍メンゴ／集英社・【推しの子】製作委員会

陰謀渦巻く歴史エンターテイメント 政府転覆を画策する黒幕の正体とは!?

TV 1月

元会津藩士・折笠静馬は、岩倉具視暗殺計画を阻止した手腕を買われて、ポリスの一員に。政府転覆の陰謀を追うのだが、その前に隻眼の剣士・修羅神狂死郎が立ちはだかる。

激動の日本を舞台にした歴史エンターテインメント。その幕が開く!

明治撃剣 -1874-

ヤクザの孫娘&孫息子が繰り広げる クレイジーな極道ラブコメディ

TV 未定

関西最大の指定暴力団・四代目桐ヶ谷組直系染井組・染井蓮二組長の孫娘・染井吉乃が婚約したのは、関東最大の指定暴力団・五代目砥草会直系深山一家・深山萼総長の孫息子・深山霧島だった。一見すると爽やかな好青年なのだが、実は目的のために手段を選ばない超危険な思想の持ち主で……。

『月刊アフタヌーン』で連載中の極道ラブコメがアニメ化決定! 原作の小西明日翔から、複雑そうな表情を浮かべる吉乃と、満面の笑みを浮かべる霧島が描かれたイラストが到着した。この二人はどんな日常を送るのだろうか。

スタッフやキャスト情報も気になるが、続報を待とう!

来世は他人がいいアニメ化

来世は他人がいい

STAFF 原作／小西明日翔「来世は他人がいい」（講談社「アフタヌーン」連載中） CAST 未定

魔王・リムルの胸中にある想いとは…… 第3期は2クール連続放送!!

TV 4月

魔王となったリムルは、クレイマンを処刑。世界は、新たな時代へと突入した……!

大人気『転スラ』第3期の放送が4月に決定。キービジュアルも到着!

転生したらスライムだった件

平穏を求め辺境の地へと向かう元英雄は 自由気ままな旅を始める

TV 2024年

神からの恩恵「ギフト」を得られなかったアレン。そんな話は聞いたことがないと、前代未聞の事態に周囲から侮蔑や嘲笑の的にされ、ついに家から追放されてしまうことに。しかし、アレンは前世の記憶と「ギフト」よりも遥かに強力な力を使える「元英雄」だった!

紅月シンのヒロイック・ファンタジーがアニメ化決定! 到着したティザービジュアルに描かれているのは、アレンが広大な草原の夕日を背景に笑みを浮かべる姿。その胸中には、どんな想いを抱いているのだろうか。自身が置かれている状況を受け入れて、辺境の地を目指すことにしたアレン。いったいどんな大冒険が待っているのだろうか。

出来損ないと呼ばれた元英雄は、実家から追放されたので好き勝手に生きることにした

CAST アレン／蒼井翔太 ほか

和風大河ファンタジー 八咫烏の少年と若宮が挑む朝廷権力闘争

TV 4月

人の姿をした八咫烏の一族が支配する異世界「山内」。少年・雪哉が美しくも風変わりな若宮の側仕えに抜擢された。陰謀渦巻く宮中でさまざまな事件に遭遇するなかで、若宮と雪哉は奇妙な主従関係を結んでいくことになる。

すでにアニメ化が発表されている阿部智里の和風大河ファンタジー。その放送が4月に決定。到着したティザービジュアルには、黒い羽が舞う中、シリアスな表情でこちらを見つめる雪哉が描かれている。彼の胸中にある想いとは!? どんなアニメーションになるのか、放送が楽しみだ！

烏は主を選ばない

CAST 未定

〈物語〉シリーズの原点 暦の高校生活最後の春休みが始まる

MOVIE 1月

ある夜、高校二年生の阿良々木暦が衝撃的な出会いを果たしたのは、伝説の吸血鬼キスショット・アセロラオリオン・ハートアンダーブレードだった。四肢を失い死に瀕していた彼女を助けるため、暦は自らの血を与えた。そして次に目が覚めた時……。

西尾維新が手がける〈物語〉シリーズの原点となるエピソード『傷物語』。それを再構成した劇場版が間もなく公開される。到着したキービジュアルには、二人が初めて出会った地下鉄の駅にあるエスカレーターが描かれている。その先に佇む暦は、何を想うのか。

すべての〈物語〉のはじまりを、ふたたび――。

傷物語 -こよみヴァンプ-

エピソード／入野自由　ドラマツルギー／江原正士　ギロチンカッター／大塚芳忠　ほか

EVENT REPORT 木村良平ほか豪華『BOND』メンバー集結 完全新作のオリジナルストーリーを披露

上映会

『バディミッション BOND歌うマジェスティックホテル』

▶11月26日（日）・なかのZERO大ホール（東京）

コーエーテクモゲームスが開発を手がける『バディミッション BOND』が有観客&配信イベントを開催。木村良平さん（ルーク役）を始めとする豪華メインキャストと、本作のテーマソングを担当するセレイナ・アンさんなどが登壇した。

朗読劇では、本イベントのために書き下ろされた完全新作のオリジナルストーリーを生アフレコ。「バディマジェクイズ」のコーナーでは、キャストの珍回答で会場の笑いを誘った。イベントの最後には、「Bond Again」を会場にいる全員で熱唱し、大盛況のうちに幕を閉じた。

▲朗読劇は、昼の部・夜の部の2部制を活用した趣向が違う物語を披露。大筋は同じながらも、二手に分かれたバディそれぞれのエピソードを楽しむことができる演出がなされた

撮影　大山雅夫

貧乏探偵と異世界の皇女が巻き起こす 予測不能な群像喜劇

TV 4月

貧乏探偵・鏑矢惣助が尾行中に出逢ったのは、異世界から来た皇女・サラだった。なし崩し的に一緒に暮らすことになり、さらにその後、女騎士リヴィアもやってきて、二人は現在日本に馴染めず大騒動になるのかと思いきや、前向きにたくましく生きていくことになるのだが……。

すでにアニメ化が発表されている『変サラ』。その放送が4月に決定！ 岐阜市を舞台に、惣助やサラが飛びまわるPVも公開中だ。

変人のサラダボウル

BD's LABO

NEW RELEASE BD INFORMATION

PICK UP! 1 MOVIE 「劇場版 Collar×Malice -deep cover-」Blu-ray BOX

1/26 発売

大人気ゲームの劇場アニメ・前後編がBlu-rayに！

謎の組織【アドニス】が新宿で起こした連続凶悪事件【X-Day事件】。警察官の星野市香は元警察組織所属の男性たちと共に捜査を続けるが、その最中、新宿から流出した拳銃絡みの新たな事件が発生した。昨年5月26日と6月23日に前後編の2部作で公開された劇場アニメが、Blu-rayで一般販売開始。特典はキャラクター原案・花邑まい描き下ろし特別ジャケット等。

◀ある事件の捜査のために派遣された警視庁の監察官・裕和ミツル

新人警官の星野市香

和哉 星野香月／江口拓也 御國れい／鳥海浩輔 裕和ミツル／小西克幸 他■エイベックス・ピクチャーズ／13,200円(税込)(DVD BOXは12,100円(税込)で同時発売)

PICK UP! 2 TV 「葬送のフリーレン」Vol.1 初回生産限定版 Blu-ray

1/24 発売

イター／東地宏樹 アイゼン／上田燿司 フランメ／田中敦子 他■東宝／13,200円(税込)(DVDは12,100円(税込)で同時発売)

TV TVアニメ「お嬢と番犬くん」
Blu-ray vol.1

瀬名垣組長の孫娘・一咲は、自分の素性を知る人がいない高校で青春を謳歌したいと思っていた。だが、なぜか自分の世話係である宇藤啓弥が、同級生として一緒に入学すると言い出す。第1~4話収録のvol.1は、特製ブックレット24P他を同梱。トールケース仕様。

1/17 発売 ■原作／はつはる「お嬢と番犬くん」(講談社『別冊フレンド』連載) 監督／高本宣弘 シリーズ構成・脚本／皐月彩 脚本／平見瞠、冨田頼子 キャラクターデザイン／番由紀子 他■瀬名垣一咲／鬼頭明里 宇藤啓弥／梅原裕一郎 他■ポニーキャニオン／9,900円(税込)(ポニーキャニオンの公式通販サイト「きゃにめ」限定販売のきゃにめ限定版は13,200円(税込)で同時発売)

TV 帰還者の魔法は特別です 1 & 2
Blu-ray 完全生産限定版

最悪の災害「影の迷宮」最後のボスに敗北するも、13年前の世界に戻されたデジール・アルマン。彼は世界滅亡の未来を変えるべく、仲間たちを再び集めて立ち上がる。1月10日発売の1は第1~2話収録、2月7日発売の2は第3~4話を収録する。

1/10 (1) 2/7 (2) 発売 ■原作／Wookjakga、Usonan(D&C MEDIA 発行) 監督／山口太詩 シリーズ構成・脚本／鴻野貴光 キャラクターデザイン／加藤裕美 他■デジール・アルマン／寺島拓篤 ロマンティカ・エル／鈴代紗弓 プラム・シュナイザー／藤原夏海 アゼスト・キングスクラウン／瀬戸麻沙美 他■アニプレックス／1、2共に7,700円(税込)(DVD 完全生産限定版は1、2共に6,600円(税込)で発売)

TV MFゴースト Blu-ray BOX
Sector1

実在する公道で15台のマシンがレースを行うモータースポーツMFG。名門レーシングスクールを卒業した片桐夏向(カナタ・リヴィントン)は、ある目的のためMFGに参戦する。#1~6収録のSector1は初回特典に特製転写ステッカー等付属。

1/26 発売 ■原作／しげの秀一(講談社「ヤングマガジン」連載) 監督／中智仁 シリーズ構成／山下憲一 脚本／山下憲一、稲荷明比古 キャラクターデザイン／恩田尚之 他■片桐夏向(カナタ・リヴィントン)／内田雄馬 西園寺恋／佐倉綾音 相葉瞬／小野大輔 他■エイベックス・ピクチャーズ／19,800円(税込)

TV 「鴨乃橋ロンの禁断推理」第1巻
Blu-ray

探偵として致命的な欠陥を抱え、探偵養成学校BLUEを追放された鴨乃橋ロン。だが5年後、彼の元に刑事・一色都々丸が訪れたことで、止まっていた時間が動き出す。第1~4話収録の第1巻は初回生産特典にアニメ描き下ろしデジパック仕様他。

1/24 発売 ■原作／天野明(集英社「少年ジャンプ+」連載) 監督／井畑翔太 シリーズ構成／浅航 キャラクターデザイン／石川雅一 他■鴨乃橋ロン／阿座上洋平 一色都々丸／榎木淳弥 雨宮／日笠陽子 シュピッツ・ファイア／八代拓 翡翠臣疾／福山潤 卯咲もふ／東山奈央 他■KADOKAWA／14,300円(税込)(DVDは12,100円(税込)で同時発売)

TV アニメ「暴食のベルセルク」
Blu-ray 第2巻

相手の能力を奪い取る《暴食》の大罪スキルを持つフェイトは、聖騎士ロキシーの手伝いで、彼女の実家・ハート家へ。そして彼は、《憤怒》の大罪スキルを持つ少女・マインと出会う。#04~06収録の第2巻は、スペシャルブックレット等が付属。他、映像特典も収録。

1/24 発売 ■原作／一色一凛(GCノベルズ「暴食のベルセルク ~俺だけレベルという概念を突破する~」(マイクロマガジン社刊)) 監督／柳沢テツヤ シリーズ構成／國澤真理子 キャラクター原案／fame キャラクターデザイン／古澤貴文 他■フェイト／逢坂良太 グリード／関智一 ロキシー／東城日沙子 マイン／松岡美里 エリス／関根瞳 他■ポニーキャニオン／9,900円(税込)

TV TVアニメ「星屑テレパス」
Blu-ray上巻

そこ抜けに明るい宇宙人の明内ユウと出会った女子高生・小ノ星海果は、一緒に宇宙を目指す約束をする。ふたりはクラスメイトの宝木遥乃や雷門瞬と、ロケットを作ることになるが——。1~6話収録の上巻は、原作者・大熊らすこ描き下ろし三方背BOX仕様他。

1/17 発売 ■原作／大熊らすこ「まんがタイムきらら」連載(芳文社刊) 監督／かおり シリーズ構成／高橋ナツコ、かおり キャラクターデザイン・総作画監督／酒井孝裕 他■小ノ星海果／船戸ゆり絵 明内ユウ／深川芹亜 宝木遥乃／永牟田萌 雷門瞬／青木志貴 他■日本コロムビア／19,800円(税込)

TV はめつのおうこく
Blu-ray Vol.1

超産業革命(ギア・エクスパンション)を境に、進歩を阻害する敵と見做されるようになった魔女。魔女狩りで最愛の師を奪われたアドニスは、人類への復讐を誓う。第1~4話収録のVol.1は、初回生産特典に原作者・yoruhashi描き下ろしアウターケース他。

2/2 発売 ■原作／yoruhashi(マッグガーデン「月刊コミックガーデン」「MAGCOMI」連載) 監督／元永慶太郎 シリーズ構成／鴻野貴光 キャラクターデザイン／加藤裕美 他■アドニス／石川界人 ドロカ／和氣あず未 クロエ／白石涼子 他■日活、ハピネット・メディアマーケティング／14,300円(税込)

TV 「アイドル伝説えり子」
BD BOX

14歳の田村えり子は、両親の突然の事故がきっかけで、過酷な運命に巻き込まれていく。89年放送の名作TVアニメが、全51話収録のBD-BOXで登場。本商品はキャラクターデザイン・山内則康描き下ろしイラスト使用アウターケース&インナージャケット仕様他。

1/31 発売 ■企画／逸見 渉(ビックウエスト)、梅原 勝 シリーズ構成／小山高生 監督／アミノテツロー キャラクターデザイン／スタジオライブ、山内則康 他■田村えり子／矢島晶子 朝霧麗／松井菜桜子 田村頂介／飯塚昭三 田村雄介／土師孝也 フォルテシモ／鷹森淑乃 ピアニシモ／本多知恵子 ナレーション／滝沢久美子 他■フロンティアワークス／29,700円(税込)

TV ひきこまり吸血姫の悶々
Blu-ray Vol.1

突然、ムルナイト帝国軍の七紅天大将軍に任命されたテラコマリ・ガンデスブラッド。だが彼女は、吸血鬼なのに血が飲めない弱々娘で……。#1~4収録のVol.1は、4月開催予定のイベントチケット優先販売抽選申込券(昼の部／夜の部)他、各種特典を同梱する。

1/31 発売 ■原作／小林湖底(GA文庫/SBクリエイティブ刊) キャラクター原案／りいちゅ 監督／南川達馬 シリーズ構成／大知慶一郎 キャラクターデザイン／下谷智之 他■テラコマリ・ガンデスブラッド／楠木ともり ヴィルヘイズ／鈴代紗弓 サクナ・メモワール／石見舞菜香 ネリア・カニンガム／ファイルーズあい アマツ・カルラ／島袋美由利 カレン・エルヴェシアス／日笠陽子 他■DMM.com／13,200円(税込)

TV 「Paradox Live THE ANIMATION」
Blu-ray 1 & 2

「BAE」をはじめ、4組のチームに届いた「Paradox Live」の招待状。各々のHIPHOPをかけたラップバトルの幕が上がる。同時発売の1巻(ep.1~2収録)と2巻(ep.3~4収録)は、共に初回封入特典として5月開催予定のLIVEイベント最速先行抽選応募券等が付属。

1/26 発売 ■原作／Paradox Live 監督／安藤尚也 シリーズ構成・脚本／伊神貴世 キャラクターデザイン／羽田浩二 他■[BAE] 朱雀野アレン／梶原岳人 燕夏準／村瀬歩 アン・フォークナー／翠石 [The Cat's Whiskers] 西門直明／竹内良太 神林匋平／林勇 森ユウ／花江夏樹 獅堂四季／寺島惇太 [cozmez] 矢戸乃上那由汰／小林裕介 矢戸乃上珂波汰／豊永利行 [悪漢奴等] 翠石依織／近藤孝行 雅邦善／志麻 征木北斗／土岐隼一 伊藤紗月／畠中祐 円山聡夫／矢野奨吾 他■エイベックス・ピクチャーズ／7,480円(税込)

Blu-ray はみ出し情報！

干支が卯から辰に切り替わり、幕を上げた24年。新たな年に入ったのに合わせて、新規リリースの作品を観たいもの。24日は『「薬屋のひとりごと」第1巻』『ブルバスター Blu-ray BOX 上巻』などが登場だ。1本目は中華風ファンタジー世界の後宮で起きる事件を、薬学知識で解き明かすミステリー。2本目は「巨獣」に奪われた龍眼島を奪還すべく、害獣駆除会社がロボットで立ち向かう内容だ。少し先の2月14日には、ひとりの人間を演じる双子の美少年の暗躍を描く『ミギとダリ Blu-ray BOX Ⅰ』も登場。多種多彩なラインナップを楽しもう。その中でも見逃せないのは2月28日発売の『映画『THE FIRST SLAM DUNK』』。湘北高校2年生の宮城リョータが、バスケ部の仲間である桜木花道、流川楓、三井寿、赤木剛憲とともに、インターハイで強豪・山王工業高校バスケ部を相手に激戦を繰り広げる様子を描いた本作。必見必携の1本と言えよう。

Blu-ray

Blu-rayクロスレビュー

CROSS REVIEW

イラスト：古川ふみ

特別編 響け！ユーフォニアム～アンサンブルコンテスト～

●京都アニメーション・『響け！』製作委員会・ポニーキャニオン　●発売中

強豪・北宇治高校吹奏楽部の部長に就任した黄前久美子を待っていたのは、アンサンブルコンテスト、通称"アンコン"に出場する代表チームを決める校内予選だった。

総勢65名の吹奏楽部員で漏れることなくアンサンブルチームを作り、代表チームを決める校内予選。誰と組むか、どの曲を演奏するかを考えながら、部員たち各々が動き出せば、すり合わせという問題が発生する。

部員たちから舞い込む相談に乗りながら、多忙な日々を送る久美子だが——。

DATA 発売元／京都アニメーション・『響け！』製作委員会　販売元／ポニーキャニオン　発売日／23年12月20日（水）　価格／【数量限定 コンテ集付き特装版Blu-ray】9,900円（税込）、【Blu-ray】8,250円（税込）、【DVD】6,250円（税込）　商品番号／【数量限定 コンテ集付き特装版Blu-ray】PCXE.51046　【Blu-ray】PCXE.51047　【DVD】PCBE.56487　その他／昨年8月4日に公開された劇場アニメ。初回特典に6月2日開催予定の「『響け！ユーフォニアム』今度こそ！7回目だよ！宇治でお祭りフェスティバル」チケット優先販売申込券他が付属。【公式HP https://ensemble.anime-eupho.com/】

STAFF 原作／武田綾乃（宝島社文庫『響け！ユーフォニアム 北宇治高校吹奏楽部のホントの話』）　監督／石原立也　副監督／[illegible]　脚本／花田十輝　キャラクターデザイン／池田晶子　総作画監督／池田和美　楽器設定／高橋博行　楽器作画監督／太田稔　美術監督／篠原睦雄　音響監督／鶴岡陽太　音楽／松田彬人　アニメーション制作／京都アニメーション　製作／『響け！』製作委員会　配給／松竹ODS事業室　他

CAST 黄前久美子／黒沢ともよ　加藤葉月／朝井彩加　島緑輝／豊田萌絵　高坂麗奈／安済知佳　塚本秀一／石谷春貴　釜屋つばめ／大橋彩香　中川夏紀／藤村鼓乃美　吉川優子／山岡ゆり　鎧塚みぞれ／種﨑敦美　傘木希美／東山奈央　久石奏／雨宮天　鈴木美玲／七瀬彩夏　鈴木さつき／久野美咲　剣崎梨々花／杉浦しおり　滝昇／櫻井孝宏　他

大仏三郎

19年公開の劇場版と、4月開始のTVアニメ第3期を繋ぐ本作は部長になった久美子の奮闘、友情と才能の狭間で揺れる各キャラの心情が丁寧に描かれていて満足の1本。校内予選での各チームの演奏も聴きたかったが、流石にムリか。

★★★★★

あさりよしとお

本作単体で見るとキャラクターの説明が不足気味ではあるものの、まあなんとか独立した作品として成立している印象。逆にシリーズ通して観続けて来た層には、いろいろ感情をくすぐられる、ご褒美的な番外編として楽しめる。

★★★★

むっちりむうにい

今回も作画＆演奏音源共に最高でした！　久美子の頑張りが丁寧に描かれていて胸に来ます。校内予選当日の様子を描かないのは潔い。見てみたくはありましたが、各チームの演奏がカットされたことで、いろいろ想像ができました。

★★★★★

ぶるマほげろー

"アンコン"校内予選の本番ではなく、それに向けてのチーム編成に時間が割かれてるという、なかなか攻めた内容。でもその分、キャラクター間のやり取りがたっぷりと描かれており、ニヤニヤが止まりません。正直もっと観たい！

★★★★★

タカハシヒョウリ

恐ろしくクオリティが高く、小編といったスケールながら、ちょっとした芝居や描写に引き込まれる感覚。どんな立場になっても、「プレイヤー」の視点を失いたくない。しかしみんな根が良い子だと思う。もっとギスギスしそうなのに。

★★★★

英雄教室 OVA「真のテルマエ」

●バンダイナムコフィルムワークス　●1月26日（金）

遥か昔、男女が共に裸で湯船に浸かり、身体と交流を温めるテルマエという場所があった。なぜかローズウッド学園に残されていたテルマエのシステムを使い、広大な湯船を用意したギルガメッシュ国王だったが、コンプライアンスを遵守し水着着用が必須。

だが、膨大な業務のストレスで爆発寸前のギルガメッシュ国王は、抑えるべき欲望を炸裂させ、真のテルマエを提言。水着なしでの混浴を許可するという暴挙に出る。

さあ若者よ、水着を脱ぎ捨てて湯船に飛び込むのだ!!

DATA メーカー／バンダイナムコフィルムワークス　発売予定日／1月26日（金）　価格／22,000円（税込）　商品番号／BCXA-1772　その他／TVアニメ「『英雄教室』Blu-ray第1巻 特装限定版」に収録される新作OVA。本商品は特典に、原作者・新木伸、イラスト・森沢晴行によるOVA原作小説「真のテルマエ」や特製ブックレット（40P）、「AnimeJapan 2023スペシャルステージ映像」他の映像を収録した特典ディスク等が付属する。【公式HP https://eiyukyoushitsu-anime.com/】

STAFF 原作／新木伸　原作イラスト／森沢晴行（『英雄教室』集英社ダッシュエックス文庫刊）　監督／川口敬一郎　脚本／ハヤシナオキ　キャラクターデザイン・総作画監督／[illegible]村幸祐　絵コンテ／中野英明　演出／吉本雅一　美術監督／E・カエサル　音響監督／山口貴之　音楽／中川幸太郎　アニメーション制作／アクタス　他

CAST ブレイド／小林龍士　アーネスト／山田美鈴　ソフィ／東山奈央　クーフーリン／木野日菜　マリア／マオ／フリドカットセーラ恵美　イオナ／内田彩　クレア／幸村恵理　イェシカ／白石晴香　クレイ／内田修一　カシム／大野智敬　レナード／高塚智人　イライザ／小原好美　国王（ギルガメッシュ）／小山力也　セイレーン／生天目仁美　アスモデウス／稲田徹　アルティア／福田薫音

▲ギルガメッシュ国王による真のテルマエ提言により、水着を脱ぎ捨てタオル1枚になった、アーネスト（中）をはじめとするローズウッド学園の女子生徒たち

▲堂々と肌を晒し仁王立ちのギルガメッシュ国王（中）と、後の側近セイレーン（左）

▲中身5歳児のブレイド（右）とベビードラゴンのクーフーリン（左）は、羞恥心未発達

大仏三郎

水着＆温泉という王道を昭和のノリで描き切り、おっさんアニメファンの俺のハートに直撃。己が欲望を恥じることなく解き放つ、ギルガメッシュ国王の大胆さに大笑い。内容らしい内容はない。けれどサービス回としては満点。

★★★★

あさりよしとお

ヒロインたちの裸を出せばサービスというのは安易すぎる。それによって誰がどうなるという演出があって、はじめて裸という状況が機能する。本作は時間が短いのはあるが、段取り先行しすぎで、そうしたドラマ要素が薄いのが残念。

★★★

むっちりむうにい

最初から最後までファンのためのノリノリな1本。笑いと色気が満載なうえ、作画もいいぞ！　でもなんでしょう、全員裸なのに、なんかこう健康的。で、全裸で真面目な会話をする絵面が面白い。何も考えずに楽しめる作品でした。

★★★★

ぶるマほげろー

ゼロ年代を思わせるノリに、懐かしさと恥ずかしさと心苦しさが、胸に押し寄せグッときます。ただ残念なのは乳首が描かれてない点……。OVAだし、そこは見せてほしかった……。でも逆に気楽に見れる内容になってるのも確かか。

★★★★

タカハシヒョウリ

な、何を見せられているんだ？　ドタバタとお色気とパロディという、平成深夜アニメ三種の神器を見ているような懐かしさも漂う。振り切ったテンポの良さに押し切られそうになりますが、やっぱり何を見せられているんだ……。

★★★

多才を奏でる音楽人
ミュージシャン
タカハシヒョウリ

昨年から当コーナーに参加させていただき、沢山の素敵な作品と出会えました。『特別編 響け！ユーフォニアム～アンサンブルコンテスト～』を観て、プレイヤーとして前線に立つことを常に忘れず24年を過ごしたいと思いました。本年もよろしくお願いします！

作画に向ける鋭い視線
マンガ家
ぶるマほげろー

昨年12月に東京ドームで開催された『異次元フェス アイドルマスター☆♥ラブライブ！歌合戦』に行ってきたダスが、座席がまさかの最後尾！　ドームのライブで最後尾ははじめての経験でしたが、そこから見る『Snow halation』はとんでもなく綺麗で最高でした。

耽美と萌えにキラリ輝くその瞳
マンガ家
むっちりむうにい

『TVアニメ「はめつのおうこく」』のOPが綺麗すぎて何度も観ています。カッコいいし、歌も作画もいいですわー。放送中の『ミギとダリ』は原作未読なので、絵の印象で猟奇的な展開の暗い話をイメージしていました。すみません。うん、原作コミックスも買おう。

厳しい評価は愛ゆえに
マンガ家
あさりよしとお

先日、往復8km程を歩いた。北海道あるあるで、見えてきた信号機に「あそこの交差点を右折したら目的地だ」と思ったものの、その信号機までの距離は実のところ1Km以上。道が平坦で真っ直ぐだからいいけれど、一向に辿り着けないのは精神的に疲れて困ります。

萌える心のへちライター
フリーライター
大仏三郎

追いかけているVTuberグループ「ホロライブ」の去年末の動きが凄まじかった。なかでも6期生「秘密結社HoloX」のスペシャルショートアニメ配信＆放送の報には驚き。たつき監督がアニメを手掛けただけでも大注目だが、まさか地上波で流れるとは……。

本文中にある★は、各コメンテーターのオススメ度を表しています。最高点は★★★★★。

★★★★★	レンタルとかじゃダメ！ 個人的には購入したい！
★★★★	文句なしにオススメ。とにかく観て！
★★★	：一見の価値はあります。
★★	：ヒマ潰しにどうぞ。
★	宿題の方が重要です。

以上、意見と共に参考にして下さい。

文化放送 超!A&G+のススメ 特別編

インターネットラジオ http://www.joqr.co.jp/qr/

配信▶youtube.com/@genki_radiodes(毎週金曜日18時更新)　X(Twitter)▶@genki_radiodes　メール▶genki@plus-on.co.jp

大変おそれいりますが、大河元気のラジオです。

今月はインターネットラジオの枠を飛び出して、文化放送のオンデマンド番組をご紹介。YouTubeで配信中の『元ラジ』が、新たな形で楽しめます！

パーソナリティ 大河元気

Information 有料サービス実施中

昨年10月より文化放送オンデマンドサイトで有料サービス実施中(月額・税込550円)。

❶ 一日早く、毎週木曜日18時にラジオを配信！
❷ 復活「DX 大変おそれいりますが、大河元気のラジオです。」月一回の特別企画。時にはDX生配信も！
❸ 新コンテンツ「あなたのための大河元気です。」毎月一つのテーマに沿ったセリフを朗読！

2007年から配信中の大河元気さんのトーク番組、通称『元ラジ』。昨年10月からはオンデマンドサイトにも進出して、ますますの広がりを見せています。

番組が始まった頃の大河さんはまだ20歳で、「喋りが苦手な大河元気が一人喋りに挑戦」というコンセプトだったそう。「ところが、今や全然苦手でもなくなったし、構成作家のナガハマさんもずっと一緒に喋っているから、全然一人喋りでもないという(笑)。ただひたすらに、『自由な番組！』という感じになっています」(大河)。

今のコンセプトをあえて言うなら、オタク全開な大河さんが、昭和のエンタメ中心に、好きなものを熱く語り倒す番組です。それにツッコミを入れるナガハマさんとのコンビぶりもいい感じ。20歳近い年の差をものともせず、男のロマンで盛り上がります。

ちなみに、番組の最後の挨拶「G(ジャスト)・サラバ」は、90年代の山口貴由の格闘マンガ『覚悟のススメ』からきています。「敵だった奴が味方になって言う、カッコいい決めゼリフがあるんです。ナガハマさんが台本に入れ込んでくれました！」

基本的に「分かるヤツだけついてこい！」な番組なので、気になるタームは各自でチェック。振り落とされないように並走しましょう。『元ラジ』は約4年後の配信1000回目指して、今年もマイペースに爆走中！

大河元気&ナガハマ(構成作家) Interview

「世界」はその人が認識するもの!?

――年が明けて2024年。辰年が始まりました。

大河　なんかカッコいいですよね。僕はうさぎ年の乙女座なんです。そこは、虎かドラゴンがよかったなぁ！で、星座は獅子座がカッコいい！

――(笑)。そんな2024年で、番組は丸17年。ナガハマさんとのコンビも長いですね。

大河　第1回からずーっと一緒です。

ナガハマ　僕が体調不良でお休みした回以外は。

大河　僕が遅刻して、マネージャーとナガハマさんでやったこともありました(笑)。なんかあの回、人気でしたね。

――しかしナガハマさんは、今日の収録(829回)でまた新たな大河さんを知ったそうですが。

ナガハマ　まさか元気くん、日々「見えない敵」と戦っていたとはね(笑)。

大河　むしろ知らなかったのが驚きだよ！

――リスナーの息子さん(小1)も、毎日行く先々で、見えない敵と戦っているというお話でしたね。

大河　見えない敵じゃないの。見えてるの！　だってほら、白線を見たら、そこを歩かなきゃいけないって思うでしょ。落ちたら鮫がいるんだから。子どもってみんなそうじゃん。僕は今でもそうなんです。普段はそれを、あえて表に出していないだけ！

――ご自宅でプラモデルを作る時も、敵を想定しているそうで。

大河　言う言う。めっちゃ一人で喋ってる！　この番組もそういうノリですよ！

ナガハマ　元気くんがここまでオタクの部分をさらけ出せる場は、貴重だよね(笑)。

大河　この番組、居心地良すぎですよ。「いいかげんにしろ」って、いつか誰かに怒られないかなと思いつつ。

――30代なのに『聖闘士星矢』とか『ファーストガンダム』とか、昭和のネタが多いですよね。

大河　そこはまだメジャーですよ。ドラマの話とかにいくと「もうやめな？」という感じかも。

ナガハマ　50代半ばの僕世代の話を、元気くんが喋るのがね(笑)。でも、当時のCMの話はさすがに分からないという。

大河　そういうところでジェネギャが出るのが面白いよね。もう僕の脳内には、いろんな情報がグチャッと入っています。

――そして日々戦い。イマジネーション豊かに生きている感じですね。

大河　だから、僕の中では現実なの！　イマジネーションじゃないの！　世界はその人が認識するものなの！

――そうでしたね、失礼しました！

ナガハマ　(笑)。

大河　ありがたいことに、最近この番組を聴き始めたって人も増えていますが、濃すぎてついてこられない話もあると思うんです。でも、申し訳ないけど、やめません。どうかこの自由な空気を味わってもらえればと思います！　文化放送のオンデマンドサイトも始まったので、少しお金に余裕のある方はぜひそちらも。

――オンデマンドサイトの「あなたのための大河元気です。」というコーナー、1月のテーマは「次回予告」ですが、どんな内容なのですか？

ナガハマ　次回予告風のナレーションです。今日の仕事やデートの予定を、次回予告風に読み上げたりします。「13時から部長と会議？　コイツはやべえぜッ！」

大河　「次回！『部長の頭上』」とかね。ちょっとダルイ時に、くすっと笑えたらいいかなと。

――(笑)。毎日の憂鬱な予定も、次回予告的に考えればいいんですね。

大河　そういうこと。「ハハッ、これから一山くるぜッ！」みたいな。皆さんにもオススメです。

久保田未夢さんがパーソナリティを務める『ラジオアニメージュ』が文化放送「超！A&G+」にて放送中。「アニメージュ」の最新情報や濃いオタクトークが聴けるこちらの番組もチェックしてね。

次回放送は1月18日
夕方5時30分～6時

アニメ歳時記

今回のテーマ

新春2024

明けましておめでとう！　今年も大好きな作品の話で盛り上がったり、推しキャラを愛でたりして、みんなで楽しく過ごせるといいね♪

VTuber ▲鹿児島県　さゆ（16）
正月休暇のひとときを生配信しちゃうぞ！

▲神奈川県　織人（51）
ネモとアシェラッドとジェット、和装もシブくていいね♪

▲宮城県　りあん（15）
お正月は祈瑠お兄ちゃんの誕生日。にゃんこ飴でお祝い！

▲千葉県／みこ
仲良し家族でいられるように、初日の出に願掛け◎

▲栃木県　夏烏 奕
墨だらけになるのもいとわない三郎、かっこいい！

▲神奈川県　miマカロン（27）
今年の干支を出現させてしまう魔法の筆のパワー☆

▲千葉県　絵描きの冒険者KATOSAN
名前にちなんだ柄の晴れ着がよく似合っているね♥

▼栃木県／竹ちょ（47）
来年もその先も、みんなでお正月が迎えられますように……

▲秋田県　カタバミ
おせち料理に使う食材も、当然ダンジョン産!?

▲福岡県　本田由美子
晴れ着で引き立つ、凛とした魅力☆

▲東京都　しばづけ（45）
クラピカが、干支の竜を召喚した!?

▲埼玉県　RINNE
竜の顔出しパネルで仲良く記念撮影

▲山梨県　とうや
お正月は升酒を味わいつつのんびり◎

▲福島県／翠菓
辰年はまさに、エネドラの年だね♪

▲福岡県　ぶっとび恵理子（31）
バクガメスの運を分けてほしいな☆

▶神奈川県　のにのー(29)
九井と青宗が自撮りでポーズ。こんな時間があったかも……

▲福島県　三浦大亮
過去を背負いつつ、新たな一歩を踏み出していく！

▲鹿児島県　城弥
おお〜カッコいいグウェン。ポーズもキマってる☆

▲神奈川県　黒帳姫(29)
竈には見えない謹吉のコスプレが◎

▶山口県　IMAGE(44)
山田に食べられそうになる市川。この初夢は吉か凶か？

▶兵庫県　炭太郎
斎賀さんの想いが、サンラクさんに届きますように……

▶北海道　野澤多加志(53)
フランクフルトの街を、浴衣を着てそぞろ歩き。風流だね♪

▶福岡県　ひいらぎ一帆
ツバサが成長したら、こんなりりしい姿で青の護衛隊員に？

▶埼玉県　苺シロップ(37)
アニメと舞台の枠を超えて、スカイとトップが夢の競演☆

▶徳島県　七福猫(29)
タケミっちと千冬。お互いに支え合う、よき相棒だね◎

▲神奈川県／るん
鏡餅になったツバサ、おめでたい！

▶東京都　橋本直樹
マジンガーシリーズのロボット大集合。この迫力を見よ！

▼北海道　さっちん
豪華なご飯をあげたくなっちゃう♥♥

▲滋賀県／MAX SLEUTE
ユイの笑顔はいつ見てもかわいい☆

▲神奈川県　ヒロカ
オチビサンたち、今日は何をする？

▲京都府　みみたん(13)
1月12日は『ZZ』エルの誕生日だね♪

▲東京都　くま&ピーコ(42)
傷もバラガキの勲章の一つ！

今月のイラストコンテスト！

フリースペース
Free Space

選者（寸評） 月見里智弘さん（監督）

『ビックリメン』

ファンから寄せられたイラストで、さらに広がるビックリメンワールド。みんなの夢が盛りだくさん。さあ、今こそハガキ合神だ!?

1等賞

▼ビックリマンシールが大ヒットした80年代を思い起こさせる、ノスタルジックな雰囲気です。ワチャっと賑やかな描き込みに、ビックリマンらしさを感じます。そんな空間で、令和の3人が仲良くしているのが、とっても嬉しくなりました！

大阪府／なまず48号

2等賞

三重県／サカイ

▲若神子たちが合神姿で大集合！ アニメ本編では見られなかった集合絵で、スペシャル感満載！ 細やかなパーツまでていねいに描き込まれていて、彼らへの愛が伝わってきました！

▼第4話ジャック音楽回の発展形で、3人がバンド活動!? ポップな配色といい、得意気なジャックと牛若の表情といい、すごく楽しそう。巻き込まれたボーカルのヤマトの顔もかわいい！

東京都／鞍馬マウンテン（20）

3等賞

山形県／どうん

▲キャラだけでなくシールも集合。アナログイラストでのシールの細かい描き込み、大変だったでしょう。奥にいるフェニックスたち大人組も、みんな仲良さそうで何よりです！

▶偶然集まったみんなをカーン先生が撮影中、という着想が楽しいです。どのキャラも個性がよく出ていますが、ピーターの行動がダイレクトすぎるよ！（笑）

北海道／[illegible]

神奈川県／りらりら（26）

▲原作シールが存在しないために本編に出せなかった、ヤマトとアリババのメイドン姿。オリジナルで描いてくださってありがとうございます。デザインもすばらしい！

神奈川県／ヘッドユウコ

▶ポップな色彩と絵柄が目を引きました。天チキを食べているメイドン遊使と十字架天使というテーマも平和でかわいくて、幸せいっぱいな気分になります

東京都／アリババ好きのななこ

▲ビビットな色遣いが原作シ　ルっぽい印象で好きです。みんな個性的ですが、特にアリババがなんとも言えないかわいさです！

東京都／沙田みかん

▲いろんな衣装のヤマト。愛が伝わってきます。それぞれ表情も違っていて、様々な魅力が感じられます

東京都／[illegible]

▲かわいさとカッコよさが融合！　OPからイメージしたという背景の青空とキラキラが効いています

▶彼らの日常を切り取ったような一枚。アルバイト姿のヤマトと対になる、クロの存在感もいい感じ

兵庫県／みなも

佳作

▼第４話のわちゃわちゃ。牛若がふっくら最中の袋を持っていたりと、細かい部分まで気を遣って描かれています

東京都／RURITO●

▲ヤマトの何ともいえない無邪気な表情に惹かれました。大好きなアイテムに囲まれて、すごく幸せそう

千葉県／前川泉

▲手しか描かれていないのに、ヤマト、牛若、ジャックの表情が目に浮かぶよう。困りつつもテレるクロもかわいい！

宮崎県／しょいふる

▲感動的ですね。第１話ではお姫様抱っこされていたヤマトも、いつかは次のリーダーになることでしょう！

大阪府／HAL／凛香

▲コス替えのワンシーンですね。ヤマトとアリババの表情から、まだ打ち解ける前の関係性が伝わってきます

東京都／のりまき

北海道／橘マコト（37）

▲あえてノーマークであろうタカやんを描いたそうですが、その力強さや存在感がビシビシ伝わってきます

神奈川県／えむこ

▲第4話のオフショット。亀として一緒に過ごした日々があってこその、ヤマトとの心のつながりを感じます

福岡県／Queen.M

▲シルエットが騎神アリババのイメージに。彼の持つ二面性や物語を感じさせる、デザイン力のある一枚です

埼玉県／[illegible]

▲ピーターといえばアイスですが、かつてのビックリマンアイスを持ってくるところがニクいですね！

熊本県／遠野愛

▲決して好戦的ではない、守りに徹したヘッドロココらしさを表現。さりげない髪のなびかせ方もいいですね

長崎県／コラル

▲シンプルな構図で描かれていると ころが、一本釣らしいと感じました。明るい表情にも彼の個性を感じます

愛媛県／[illegible]

▲インパクトのあったセリフを使い、主人公らしい力強い絵に仕上げてくれました。ありがとうございます

愛知県／bk38（52）

▲ポージングといい構図といい、洗練されていてクール！　本編にはない感じのフッドの表情も新鮮です

神奈川県／日下

▲第7話の髪を下したフッド。寝起きらしい無防備さがいいですね。彼の魅力をうまく切り取ってくれています

神奈川県／ちまねこ

▲ヤマトたちがお昼寝、いいですね。お母さんが撮ったのかな。日常のこんな一コマもきっとありそうです！

『ビックリメン』

One point Lesson!

月見里智弘さん
（監督）
つきみさとともひろ／1978年生まれ。レスプリ所属。主な監督作品は『カピバラさん』『上野さんは不器用』ほか。

月見里監督の自画像

☆キャラ原案の武井宏之先生の個性的なデザインとその魅力について、企画スタート時にキャラデの大和田彩乃さんと研究してました！当時、先生から直接伝授いただいたポイントもいくつか皆様にもお伝えします！

ヤマト

☆ヤマトは眉毛と角髪（みずら）がチャームポイント！

×並行　◎くの字

長い

☆角髪（みずら）

ほどけるとコレくらいかな？

ファサァ…

主人公の眼力！

シールと同じホホタッチ

ちょい目離す

KAWAii♡

この黄金比

YAMATO☆

ナデ肩＋イカリ肩でシルエットを強調。（ボディラインのメリハリ）エッヂを効かせる!!

末端肥大で。

☆秘訣は線の中のカキコミよりも体全体のシルエットにあります！ダイナミックに線を走らせてみてくださいね

『薬屋のひとりごと』
選者：**中谷友紀子**さん（キャラクターデザイン）
募集終了

『柚木さんちの四兄弟。』
選者：**本郷みつる**さん（監督）
1月31日（水）消印有効

『戦国妖狐』
選者：**奥田陽介**さん（キャラクターデザイン）
2月29日（木）消印有効

募集作品＊4月号のフリースペースは『柚木さんちの四兄弟。』。応募締切は1月31日（消印有効）。続く5月号は『戦国妖狐』の登場です。応募締切は2月29日（消印有効）。

応募要項＊●ハガキ、またはハガキ大のサイズに描いて送ってください。●イラストの裏には、住所・氏名（本名）・ペンネーム（必要な場合）・年齢・月号と作品名（例えば【4月号『柚木さんちの四兄弟。』】など）を忘れずに書いてください。●イラストの簡単な説明もあると嬉しいです。WEB投稿も受け付けます。●投稿イラストは選者に譲渡する場合もあります。

今月は中野のレスプリにお邪魔してきました。訪問日はまさに最終回制作の真っ最中。忙しいところ、時間を作ってじっくりセレクションしてくれた月見里監督に大感謝です！　では、投稿の総評から聞いてみましょう。

「ビックリメンワールドに、皆さんそれぞれの夢を詰め込んで描いてくださいました。どのイラストも素敵でしたが、全部載せられなくて申し訳ない。原作シールからずっとファンだった方々からのメッセージも拝見し、その熱い思いにどうにか映像で応えたい、ぜひ2期も作りたいという気持ちが強くなりました！」

月見里監督が本編で描きやすかったキャラ、苦心したキャラなどはいますか？

「特に苦心したのはアリババでしょうか。心情の変化が表に出にくい子なので。絵と声の両方で気持ちを表現するとアリババの感情が出すぎてしまうために、あえて絵には変化をつけず、演じている田丸篤志さんの演技におまかせすることもありました。音響監督の藤田亜紀子さんの細やかな演技指導を信頼していましたので、僕自身は絵での芝居付けに専念できましたね」

応援してきたファンへのメッセージをお願いします。

「原作シールが大流行したのは1980年代ですが、現在に至るまで根強い人気があって、今回のアニメ化で今後もさらに盛り上がっていただけたらいいなと思っております。後世に語り継がれるコンテンツであるビックリマン、これからも一緒に歴史を育んでもらえたら嬉しいです！」

★『ビックリメン』特集はP.70～を見てね。

◀「凝ってる！」「愛が感じられる！」と盛り上がる監督と制作スタッフ。皆さんの応募にとても喜んでおり、選ぶのに熱魔していました！

宛先➡〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒CS　㈱徳間書店 アニメージュ「フリースペース○月号」係

Letter Room

明莉（めーじゅん）　アニ美（あにみ）

原作の叙情性を大切に作られた『フリーレン』

冒険の終わりから始まる漫画『葬送のフリーレン』。この作品の面白さは、血沸き肉躍る冒険活劇にはない。例えば、勇者パーティが北部高原に生息する最強の竜種を討伐する第113話「皇獄竜」では、強敵との戦いはわずか4コマしかない。アクションをコマに落とせば、ストーリーは進展しなくても簡単にページ数を稼ぐことができるのに、あえてそうしていない。

魔王討伐の10年間は、勇者ヒンメルたちにとって充実したかけがえのない冒険の時間でも、千年以上を生きる主人公フリーレンにとっては「たった10年」という「短い間」でしかない。再会を簡単に「50年後」と言ってしまえるのはそのためだ。再会後、ヒンメルの死に立ち会った彼女は「人間の寿命は短い」という現実を実感し、「なんでもっと知ろうと思わなかったんだろう」と後悔する。だから新たな旅の目的は、かつての勇者パーティのような魔王討伐でも、ましてや世界を救うためでもない。趣味の魔法収集であり、人間を知ることであり、かつての勇者たちとの冒険の痕跡を辿ることなのだ。

旅を通して過去を回想するとき、仲間たち（主にヒンメル）の言動や、それが周りに及ぼした影響から、当時は思いもしなかった新たな発見をする。新旧の旅の対比によって、フリーレンの変化が如実に浮かび上がってくるのだ。

アニメではそうした原作の情緒的な感動を大切に掬い上げている。実は個人的に注目したいのは、原作では略されたアクションシーンにどう対応するのかということだ。原作通りに簡単に終わらせるのか、アクションシーンを膨らませて映像的な見せ場とするのか。どちらもアリだと思うが、個人的にはせっかくアニメ化するのだから、派手なバトルシーンを見てみたいと思う。

東京都／ダーザイン

ドラゴンと戦うシュタルクのシーンは、アニメならではの迫力がありましたね。

魔族との戦いでも、結構アクションが激しくて、手に汗握っちゃったよ。

なのに、原作の静かな雰囲気も失われていなくて、何度も見返したくなります。

『最遊記』とサンリオのコラボも楽しみ

高校生の時分に、配信で『機動戦士ガンダムSEED』シリーズを観たことがキッカケで、関俊彦さんのお声に魅了された私。『新機動戦記ガンダムW』や『仮面ライダー電王』など、ほかにご出演されている作品をいろいろチェックする中で、『最遊記』に出会いました。保志総一朗さん、石田彰さんも出ていらっしゃる上に、誰もが知っている『西遊記』をベースにした世界観、ブロマンス要素……と、とにかく多面的な魅力のある作品で、「これは人気が出るわけだ……」と感動。原作も『最遊記 REROAD』まで読み進め、ドラマCDや小説版などアレコレ楽しみました。

それから5年経ち、なんと『最遊記』25周年になったとのことで、原作の峰倉かずや先生のイラストや原稿を間近で見られる展示会が行われるとのこと!! 我が愛知も開催会場があったので、美しい絵の数々をたっぷり堪能することが叶いました……! ホワイトや書き文字の筆運びまで感じられる生原稿、素晴らしかったです。

中には少々キワどい（シガーキスなどの）イラストもあり、一緒に行った母はどう感じたのかなと思ったら、「八戒（と天蓬）って悟浄（と捲簾）と親密だったのねー。てっきり八戒は三蔵派だと思ってた」とのこと。日頃、BLやブロマンスにあまり言及しない人なので、「そんな母にもカップリング概念（?）を感得させる『最遊記』すごい……!」と、改めて峰倉先生のお力を実感したのでした。

2024年は（まさかの!）サンリオコラボのポップアップストアもあるので、今からとても楽しみにしています♪ それにしても、三蔵とキティちゃんって……。

愛知県／月辺流琉(23)

サンリオキャラたちと一緒の『最遊記』キャラ、意外に似合っているよね。

ちびキャラバージョンもかわいいし、見ていてほのぼのしました。

名古屋会場はこれから開催だね。ぜひ楽しんできて!

12月号アンケートハガキ

★表紙の『アンデッドアンラック』などの文字に目がとまり、手に取りました。『葬送のフリーレン』もそうですが、こういった死が遠い人を見ると、人間の寿命があまりにも短いことを考えさせられます。『鬼太郎』の記事は、鬼太郎のお父さんを初めて見てビックリしました。「ハッピーアニメライフ!」では、コミュニケーション能力の必要を知りました。今号は大切なお話をいっぱいお聞きすることができてよかったです。 広島県／Y(17)

★舞台「鬼滅の刃」のインタビュー、初共演となる同い年二人の対談がとてもおもしろかったです。お二人の舞台にかける思いが伝わってきて、より観劇が楽しみになりました! 2ショットのピンナップもあって嬉しかったです。 愛知県／S(25)

▲広島県 上田美和(35)
かわいいすみっコたちに癒やされたい☆

▶千葉県 伯ミシェル(18)
シャルの言うわがままなら、どんなことも叶えたくなっちゃう☆

▲神奈川県 るん
SRPGで、彼らの新たな活躍が見られる♥

▶東京都 くま&ピーコ(42)
仕事も恋も正義の味方も、体当たりでこなす姿に励まされるね◎

▶秋田県 カタバミ
サリーの美しさに惑わされてしまう。ミギと瑛二もかわいいね♪

▶神奈川県 たまちゃん(12)
アーニャと猫猫が出会ったら……お互いの腹の探り合いが始まる⁉

▶福島県 藍桜 改め アオ。
この先もまた、手に汗握る展開が待っていたりするのかな⁉

▶千葉県 紫雲寺 零(19)
光流ヒスイ。さんと零薬さんに、温かいメッセージが届いたよ♪

まんが 永野のりこ

まじょっ子ソリソリ

ハーイ みなさん おげんき？

わたし まじょっこよ

あったかに ご自愛なさってますか？・冬

受験生さんも お元気で のりこえられますように!!

コレは本当にあった事なんですけどネ…

ギクッ

ポッ

←つづく

私、困ってるんです～

回答編【12月号】男性キャラを描くのが苦手

愛坂ななかさんへ

★主観ですが、描く難易度は簡単なほうから順に、女性、マスコット、男性だと思っています。男性キャラは女性キャラと比べますと、目の大きさやあごの形が大分違う上、頭身も6から8頭身あります。10代前半までの少年なら女性キャラと同じ描き方でも通りますが、成人男性は目の大きさは女性の半分くらい、あごも1・5倍ほど長くするのが基本のようです。筋肉質なキャラの場合、腕の太さも計算しないといけません。

どういうキャラを描きたいかのイメージや、そのキャラの性格付けなどで、骨組みは決まります。描き方も人によって異なりますので、できるだけ「観察」して、コツを掴んで慣れていくことでしょうね。お互い頑張りましょう！

山形県／pakugyu(45)

★描き分け方としては、やはり骨格でしょうか。男性を描く時は、首を太くし、肩幅も女性より広めでガッシリさせています。あと、鎖骨をバキバキ描き込んでも◎

新潟県／色

★私も男性キャラを描くのが苦手です。やはりプロの人の絵をなぞり描きして練習するのがいいと思います。この方法は男性キャラを描けるようになるだけではなく、画力向上にもつながると思います。

宮城県／黒魔♡(19)

★最近は中性的な人も増えましたが、男性と女性では首の太さ・肩幅・骨盤・手指など、根本的に違いがあるので、ひたすら観察&写生です！ 模写だけだと変なクセがつく可能性があるので、やはり生身の人間の写生がいいでしょう。アイドル雑誌やTVの映像、あとは家族にモデルになってもらうのもいいと思いますよ。

兵庫県／まーし(60)

皆さん口をそろえて「男性と女性は骨格が違う」とのことで。

そこを押さえて練習するのが、上達の一番の早道なんだね。愛坂さん頑張って！

ただし、誰かの真似やトレスをした絵を投稿すると盗作になっちゃうので、あくまで練習にとどめてくださいね。

お悩み編 イメージ通りに絵が描けない！

★イラストを描くとイメージと違う絵になりがちで、何度も描き直してしまいます。皆様はイメージどおり描けていますか？ 教えてください。一回で描いてみたいです。あと、自分の絵になっているのかも気になっています。私の絵だと分かりますか？

大阪府／プリン

下描きの時からイメージ通りに描けないのかな？ それとも下描きとペン入れ後でイメージが変わっちゃうのかな？

どちらのケースもありそうですね。皆さんもぜひ、自分の体験やイメージ通りに描く工夫、対策などを聞かせてください。

あとプリンさんの絵、見ればすぐに分かるよ！ そこは安心してね♪

Happy New Year 2024

こんにちはこんばんは スナメリと申す者でございます。11月号12月号と掲載ありがとうございました！2023年はずっとシャドウバースFを週末に観るために生きてました笑 お休みの期間はポケモンに癒やされてました。2024年もよろしくお願いします

辰年

▶新潟県 スナメリ

シリーズ再開を励みに、今年も元気に乗り切ろう！

明けまして おめでとうございます

▶埼玉県／零薬(16)

鶴さんと清光に挟まれたら、雪の中でも温かい♥

◀兵庫県／宵空かがり

フリーレン様、お風呂で寝ないでくださいね！

◀三重県／舞夢(20)

ライブが思う存分楽しめるよう祈ってるよ♪

アニメ歳時記 今月のテーマ 新春2024

▲福島県 みにゃん(34)

みんなで集まって、わいわい楽しいお正月◎

▲沖縄県／抹茶うさぎ 改め 抹茶かな(13)

いろいろ体験して忘れられない年にしよう☆

▲岡山県／てがみ(15)

体調は戻ったかな？ 温かくしてお大事に……

▲愛知県／光流ヒスイ。

頑張れ受験生！ 推したちも応援しているよ◎

なんでも おしゃべり箱

➡ NHK-FMの『青春アドベンチャー』を聞いていたら、何やら聞き覚えのある女性のウィスパーボイスが……。エンディングまで聴いてみると、声の主は能登麻美子さん！近年は母親役かヤバい女性役を演じる機会が多い能登さんですが、まだ10代の可憐な少女役もこなせるのかと、目から鱗が落ちた次第。これで『君に届け』第3期への期待も高められたというもの！群馬県／ゼフィランサス

★アニメージュは母も学生の頃から読んでいたので、一緒に毎号読んで、いろんなアニメについての話をしています。付録のクリアファイルはアニメージュオリジナルの絵が描かれているので楽しみにしています。日常的に使うこともできるのでいいですね。今TVで観ているアニメの情報から映画情報まで、面白い、知りたい情報がいっぱいで、一ページ一ページ楽しく読んでいます。 **岐阜県／T(17)**

★梶田大嗣さんと斉藤壮馬さんの『ビックリメン』対談、読み応えがありました! 梶田さんのオーディションのお話は、あらためてすごい経験なんだなと思いました。個人的に、壮馬さんは牛若っぽいと思っていたので、オーディションを受けていたことや、そのうえでフェニックス役に決まって感じた思いについて知ることができました。「フェニックスは根本的なマインドセットが大人」ということには、なるほど……! と思いました。また、兼ね役のクロについてのお話が知れたのもよかったです。お二人のお写真も素敵でした!! **埼玉県／O(28)**

★『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』について特集を組んでいただき、本当にありがとうございます!! 映画の背景や作り手、キャストの方の思いを知ることができました。何度も読み返しております!! **東京都／A(27)**

すばらしいぞ!『ウマ娘』3期

ということで、『ウマ娘 プリティーダービー Season 3』。

いや……。なんという安定感。安心万全。もうすでにがっつり世界観が確立されているが故の、てらいなし、ためらいなし、手加減なし。

いやすばらしい。多くは語る必要もあるまい。ただ、「『ウマ娘』は今期もよかったぞ」と。

惜しむらくは。レース解説者が交代した上にほとんどしゃべらなかったことが、な……。細江さん、ちゃんと上達してたからなあ……。

それにしても、1期の頃から放映中にこっちの世界の競馬事情と妙なシンクロが見受けられるが。キタサンブラックとドゥラメンテの産駒がそれぞれ大活躍するとはなあ……。いや素晴らしい。

ところで。「発売決定」の報が出たときにすぐ予約した商品、発売日が近づいたときにまた買いそうになってしまった。という経験はないかね皆の衆? 先日やらかしかけたので、皆も気をつけような(ウマ箱2セットは実現しちゃったら大変だったなあ……)。ネット商い、奥が深い……。 以上

群馬県／その名を心に常時常在ミネバ様祭時♡(55)

物語といい絵といい声といい、作り手側の熱意が伝わってくる出来映えでしたね。ぜひこのテンションで、4期、5期と続いていってほしいな。

そして、とっくに予約してあるのに、発売日が近づいたときにまた買いそうになる現象、なんなんでしょうね。誰か名前を付けてほしいです!

ネコバス声優の正体を初めて知った衝撃!!

11月24日のNHKラジオ『ラジオ深夜便』に、大ファンであるベテラン声優・龍田直樹さんがご出演されました。たくさんの楽しいキャラクターを演じられてきた龍田さんの、「(声優の)自分よりも演じたキャラクターをまず愛してほしい」というお言葉が印象的でした。

ところで私が驚いたのは、龍田さんが『となりのトトロ』のネコバスを演じていたという事実です。

ああ、なんということでしょう。私は35年間、全くそのことに気付きませんでした。

試写会で大感動して以来、映画館でもTVでも何回も観ているのに。当時、投稿していたご縁でアニメージュさんの付録「トトロ・データブック」で大好きなネコバスのお笑いネタも書かせていただいたのに。龍田さん&トトロファンとして恥ずかしい!! トトロの口があったら入りたい!!

その反面、先の龍田さんのお言葉「自分よりキャラクターを愛してほしい」を図らずも実践していた(龍田さんが演じたと知らずにネコバスを好きになった)ことを嬉しく思ったりもしています。これからもネコバスを愛し、龍田さんを応援していきたいです。

神奈川県／戸島竹三(58)

誰が演じているか知らずに、同じ声優さんのキャラを好きになるって、あるあるだよね。声質の好みや、演技法の好みも関わってくるんでしょうか。龍田さんの言葉もいいね! これからも素直にキャラを愛していこうっと。

思い出アニメ×滋賀

▲滋賀県／MAX SLEUTE
ビフォーアフターのどっちもかわいい♪

▲千葉県　絵描きの冒険者KATOSAN
今年でアニメ放送開始25周年、めでたい!

▶神奈川県／やゐと 改め どすこいタロウ
壮大な叙事詩を、思う存分楽しみたい!!

▶神奈川県　のにのー(29)
姉妹みたいに仲のいい二人。見ているだけで心がほっこりする……

▶大阪府／プリン
『ダンジョン飯』の飯テロっぷりに、カロリー対策も考えなくちゃ!?

▶福岡県　本田由美子
フラッシュとソニック、カッコいいだけではないところも魅力♥

▶福島県／栖章
山南さんと千鶴ちゃんが尊い～。特典映像はファンへのご褒美!

▶神奈川県　織人(51)
諦めないでよかったね! すてきな体験として残しておきたいね

広島県　かなみ(33)
物語冒頭から大きく成長したアルミン。今後は君に任せたよ!

▶京都府　みみたん(13)
プルツーは絶対に生き永らえていると、みんな信じているはず……

▶東京都　柚源このは
投稿4周年おめでとう! 今後も末永くよろしくしてほしいな♪

そこまで言っちゃっていいい!?

➡原語の発音に忠実にするため、今は「マホメット」を「ムハンマド」、「コーラン」を「クアルーン」と言うらしい。なら、いずれは「ミッフィーちゃん」を「ナインチェちゃん」、「スナフキン」を「スヌスムムリク」と呼ぶようになるのか!? 絶対に舌を噛む自信があるぞ。 **福島県／ねんころりん**

➡『君たちはどう生きるか』を観て以来、大型の鳥を見るたびに、口の中からなんか出るんじゃないかと思ってしまう……。 **東京都／飛剣 祐**

▲北海道　よもぎ
どのキャラも強烈だったけど、やっぱり双子はかわいい

▲兵庫県／月
80年代風のオシャレさ満載。ノスタルジックでいいね～

合作にトライ☆

▶左：千葉県　紫雲寺 零(19)　右：鹿児島県　さゆ
合作イラストで、不破さんと加賀美さんの魅力もさらに引き立っているね♥

▲愛知県　Ryonn(･･)。
今年も充実したオタ活ができるように、陰ながら応援！

▲千葉県／つなマヨ＝クレープ

▲大阪府／おーかゆかり

マイアニ御殿

今月のテーマ

推し活マストアイテム

人の数だけやり方がある、推し活・オタ活。それぞれに、なにがしかの「物」が必要になってくるはず。「私にとってのマストアイテム」をぜひ教えて！

★最近の推し活では、お気に入りのぬいぐるみが必須です。セリアで買った道具も一緒に使っています。好きなキャラクターと毎日一緒にいると、かわいくて癒されます。明日からも頑張ろうという気持ちになれます。
島根県／クルミ(29)

★リュックサックとイベントTシャツです。『ヒプノシスマイク』のイベントなら、ヒプノシスアベマのTシャツを着て、リュックには缶バッジやキーホルダー、ストラップを付けて行きます。
神奈川県／森川萌子(26)

★藤子不二雄ファンの私は、映画の舞台挨拶、原画展などの関連イベントには、必ず先生の作品の単行本を1冊、カバンに入れて参加していました。藤子・F・不二雄先生の告別式の日も、藤子不二雄Ⓐ先生のサイン会の日も……。藤子不二雄先生はもうこの世にいませんが、単行本と一緒に思い出は今も残っています。
東京都／さかえはるお(55)

★市販のアンソロジー本（全年齢版）です。手軽に入手できる上に、アニメや漫画本編とは別のオリジナルシナリオが作家さんそれぞれの想像力で自由に描かれています。中でも、最終回後のストーリーは、キャラクター一人一人の成長物語であることが多く、温かい気持ちになれます。
宮城県／仙台四郎(55)

★郵便局で購入できる切手シートです。季節に合わせた花や、観光地の風景、『鬼滅の刃』や『ポケモンカードゲーム』とコラボした絵柄もあり、どの切手シートを選ぶか考えるひとときも楽しみの一つです。アニメージュへの投稿、漫画家の先生や声優さんへのファンレター、アンケートの応募など、受け取ってくださった相手に「かわいい」「嬉しい」と思ってもらえるような切手を貼るようにしています。
新潟県／ヒロセ

★オススメグッズはたくさんありすぎて選べません。サイリウムにCD、フィギュアにアクスタ、魔法道具やDVDにキャラT、どれも推しの領域を超えた愛であふれた品物です。知り合いの人にもらったクルミ・ヌイのフィギュアなど、激レアグッズも大切にしています。
宮城県／黒魔♡(19)

★俺の推し活アイテムは、現在制作中です。百円ショップで3Dパスケースやクリアケースを買ったので、アニメキャラのグッズと合わせて、自分だけのアイテムを作ろうと思っています。特に、3Dパスケースの中に推しキャラのフィギュアを入れて、カラビナに付けてぶら下げたいと思っています。
滋賀県／属性勇者カズト

★私はスマホの壁紙を推しキャラのものにしてますよ。隠れヲタクであることをアピールできますし、起動するたびに推しに会えるし、毎日推し活できる（笑）。また壁紙を見た人に「これ好きなん!?」と声をかけられたりと、好きな者同士との縁も繋げられるのでオススメですよ!!!
大分県／のんのん(17)

みんなの推しやグッズに対する愛情、伝わってきたよ。いいね、いいね～！

コスプレイヤーさんなら、衣装やウィッグも推し活アイテムですよね。

そういえば3月19日の「ウィッグの日」も間もなくだね。ということで、4月号のお題は「髪型チェンジ!」でーす！

去年も楽しいアイデア満載だったので、今年も楽しみです。誰にどんな髪型をさせたいか、その理由も一緒に教えてくださいね。

私、『ビックリメン』のヤマトくんが髪を下ろした姿がいいなぁと思って（P.131）。長さを活かして、ゆるふわウェーブとかにチャレンジしてほしい！

締切は1月31日消印有効で。今年もよろしくお願いします！

←つづく

なんでもおしゃべり箱

➡12月号のフリースペース「実は俺、最強でした?」のワンポイントレッスンで、魔族の瞳孔は細長いとのこと。今まで気づかず、思わず「おお!!」となりました。とても綿密に設定されていますね。私としても2期があることを願っています。　新潟県／ひーろーがーる

パロステ

Paro Sute

PARU パル＆マル MARU

4コマ、ダジャレ、擬人化、ちびキャラ、カン違い……笑えてハッピーになれるパロディハガキはこちらに集合！

今月のタイトル看板

埼玉県／苺シロップ(37)
うさぎポケモンからドラゴンポケモンへ、バトンタッチだね

神奈川県／やみと改め どすこいタロウ
机で眠ってしまったハチワレ。うさぎ年の夢を見ているのかな

宮城県／細貝パスコ(49)
話題のA－マンガ「ばいどん」。クールでカッコいい！

兵庫県／㊊
力尽きても タイトルコールはしてくださるフリーレン様！

アニメの日常

千葉県　伯ミシェル(18)
手描きの良さもあるよね。アニメのアナログ背景美術の人たちも画材の確保が大変みたい

♥カット♥
ただのかずみ

中国風の後宮モノは目の保養になります。（ただの）

▶東京都／柚源このは
チセくんには、応援する声が何よりのプレゼントかも？

▶佐賀県／的野秀紀(51)
プレゼントのお米は、日陰の涼しい場所に保管してね☆

▶大分県／紅水晶(13)
誕生日はオーケストラ部のみんなとパーティーしよう♪

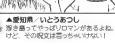
▶新潟県／スナメリ
花束をプレゼントされて微笑む、フワリさんがまぶしい♥

ゆあんとみつき

▲福岡県／ぶっとび恵理子(31)
「デパプリ」「ミギダリ」の双子コラボ。ハミィちゃんもいらっしゃい！

アニメコラボ

▲愛知県／いとうあつし
浮き島ってやっぱりロマンがあるよね。けど、その呪文は言っちゃいけない！

▲富山県　カツヒサ(35)
千空 vs フリーレン!?　もう数値が大きすぎて、実感わかないよね

★『翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～』の片岡愛之助さん目当てで初めて購入しました。私は絵を描くのが苦手なので、設定資料FILEやワンポイントレッスンも参考になります。読者プレゼント、愛之助さんのサイン入りポラよろしくお願いします♥　京都府　N(17)

★小さい頃から大好きなプリキュアが、『キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～』としてこんなに大きく取り上げられていて、とても嬉しいです!!　今期は、いろいろなアニメを毎週欠かさず観ているので、それらの記事もたくさん読めて大満足の一冊でした!!　神奈川県／K(19)

★今期は『薬屋のひとりごと』がすごく良いですね！　作画のクオリティが高いのはもちろん、テンポよく進み、原作や漫画版では省略された部分を上手く映像化しています。ヒロイン猫猫役の悠木碧さんの演技も素晴らしい!!　ぜひ、アニメージュの表紙を飾ってほしいですね！　広島県／O(21)

★『王様戦隊キングオージャー』の特集ありがとうございます!!　昔から特撮が好きで、中でも今作のリタが一推しなのでピンナップ嬉しいです!!　また、視聴していないものの気になっているアニメの記事もあったので、読めて良かったです!!　愛知県／E(16)

なんでもおしゃべり箱

➡2023年秋アニメは『ミギとダリ』が面白い。ミギとダリの二人の目的がはっきりしてサスペンス感が出てきたあたりで、一気に面白くなりました。現状ミギとダリは、オリゴン村の人を信じていないようです。友達を作ろうとしたのも、村人の家を調べるためでしたが……。ところどころにある、フワリとしたエピソードも好きです。ダリが変装した美少女に、ミギが惚れてしまったことも！　岡山県／吟獅子丸

出た!! ソのですっ!! レが!!

『オモシロ』で 読んだとこ!? ズバリ★ ふしぎっ♥ ありがとう『ふしぎ』

4枚受けた うちの2枚でっ

合格ッ!

『ふしぎ』DE合格!!

で

『ふしぎ』が 出なかった ほうの2枚は?

てな わけでっ

「アワアワでも あきらめず 前進♥だネッ

ふしぎだけど こういうことって よくあるっていうものね♥

みなさんにも すてきな『ふしぎ』 ありますように

END

まとめて募集告知

月替わりテーマ投稿

4月号のテーマ

★アニメ歳時記★

「花の季節」

桜やスミレ、バラにチューリップなど、春の花にちなんだイラストを。花柄や花小物、花見でもOK！

★ハッピーバースデー★

「3月生まれのあなたへ」

アニメキャラや声優、俳優、クリエイターのお誕生日祝いに、イラストやお手紙をお願いします！

★マイアニ御殿★

「髪型チェンジ!」

3月19日は「ウィッグの日」。推しキャラに合うヘアスタイルを提案してね。イラスト付きも歓迎！

★締切：1月31日（水）消印有効

フリースペースのテーマ

4月号『柚木さんちの四兄弟。』

選者：本郷みつるさん（監督）

★締切：1月31日（水）消印有効

5月号『戦国妖狐』

選者：奥田陽介さん（キャラクターデザイン）

★締切：2月29日（木）消印有効

※選者に向けたイラストの説明もあると嬉しいです。

レギュラー投稿

★アートギャラリー★ あなたの好きなアニメの絵をカラーで。アニメ作品の新旧は問いません。マンガ・小説・特撮・ゲームなどの絵でもOK。

★レタールーム★ 文章投稿では、アニメの感想や身近な出来事について語ってね。イラスト投稿では アートギャラリー同様 オールジャンル OK。白黒でヨロシク。

★合作にトライ☆★ 投稿仲間や友達 家族と一緒に一枚のイラストを完成させてね。住所・氏名（ペンネーム）・年齢は全員分お忘れなく。なるべく白黒でお願いします。

★私、困ってるんです〜★ 人には言えないお悩みやギモンをお寄せください。読者のみんなが答えてくれます。

★そこまで書っちゃっていい!?★ そんな、まさかと思ったことへのツッコミはこちらへ。

★アニメ川柳★ 五・七・五のリズムに乗せて、感じたことを表現しよう。

★なんでも おしゃべり箱★ アニメについて何でも叫んでください。

★パロステ★ あなたの笑いのネタ、待ってます。

★ファンコールプリーズ★ マイアニ投稿者の交流の場。熱いメッセージをお願いします。

投稿のパクリはダメ絶対！

投稿する作品は、自分が制作した著作物および二次的著作物に限ります。トレスやネタのパクリ、他の著作物をもとに自動生成されたものなど、他人の作品を無断で投稿する行為はNGです。マイ・アニメージュは読者の善意で支えられているページです。好きなアニメを応援したいという気持ちを大切にして あなた自身のセンスをそのまま投稿作品にぶつけてください。他のファンの方に不快な思いをさせないよう、どうかご協力よろしくお願いします!

応募の宛先ときまり

★ウェブ投稿はこちらへ★

https://animageplus.jp/ から赤いバナーをクリックして進んでください。イラスト画像も投稿できます。

★郵送はこちらへ★

〒141-8202 東京都品川区上大崎 3-1-1 目黒 CS
㈱徳間書店 アニメージュ編集部
マイ・アニメージュ「○○○（コーナー名）」係

★応募のきまり★

①イラストは必ずハガキサイズで。イラストの裏面には、あなたの住所・氏名（本名）・ペンネーム（必要な場合）・年齢 送りたいコーナー名・アニメ作品名とキャラ名をはっきり書いてね。イラストの簡単な説明もあると嬉しいです。②文章投稿は、1枚の紙には1コーナーごとのネタをお願いします。同じ紙にまとめて書くと、他のコーナーにまぎれてしまいます。 ③投稿物を複数作成された時は、まとめて封筒に入れて送っても大丈夫です。封筒には裏面に住所・氏名（本名） 表面には送りたいコーナー名をはっきり書いてお送りください。その際、中のハガキ1枚1枚にも、住所・氏名（本名）・ペンネーム（必要な場合）年齢・送りたいコーナー名を忘れずにご記入くださいね。

※皆様の個人情報は運営上、誌面に掲載されます。ご了承の上お送りください。※ご記入頂いた個人情報は、上記の目的以外での利用はいたしません。※文章投稿は誌面のスペースの都合で全文掲載できない場合がありますのでご了承ください。

「レギュラー投稿」は
「月替わりテーマ投稿」の締切に準じて送ってね！

どうかお身体大切に! よく食べて、無理のないようやることやって、睡眠をとって元気にね♪ 祈っています。
➡http://naganoare.wordpress.com/ （のりこ）

―読者交流の広場― ファンコールプリーズ

FAN CALL 愛知県／光流ヒスイ。

ひいらぎ一帆様

12月号P.120の『キラキラ☆プリキュアアラモード』キュアショコラこと剣城あきらのイラストに感動しました。ほかの投稿者様の描いたキュアマジェスティ（エルちゃん）とともに、イケメン女子たる彼女にはピッタリのいい雰囲気が出ていて最高でした。本当にありがとうございました。

北海道／山田啓太（51）

FanCall Thanks 上下チエ様
中の人(加隈亜衣さん)つながりでましろちゃんとラビリンをどうぞ!!
12月号ではファンコールと共にキュアグレースとラビリンのイラストありがとうございます！自分自身初めてだったので驚きました！こんなオジサン絵師の私なんぞに…。正直、僕は嬉しかったです！あと、上下様のマイ・アニメージュでのイラスト初の掲載おめでとうございます！お互いにマイ・アニメージュの投稿を頑張りましょう!!

F.C Thanks 北海道／橘マコト（47）

まーし様

「私、困ってるんです〜」の「スマホに反対する親を説得したい」という相談に対し、「スマホは時間泥棒」と一刀両断した、まーし様の文章を拝見して以来、まーし様のファンです。12月号「なんでもおしゃべり箱」の『この素晴らしい世界に爆焔を!』に関する投稿も鋭くて感動しました!! 今後もまーし様の鮮やかな筆致の文章を楽しみにしています。

PS. 僕の悩みへの回答も嬉しかったです!! 今回は文章でのファンコールですが、もしリクエストなどあれば、ぜひ描かせていただきたいです……!!

新潟県／色

アニメ川柳

なんでかな いつも気になる ヴィランたち
栃木県◎キャンペール（43）

主人公より敵役のほうを好きになることが多いそうです。敵たちが魅力的じゃないと、主人公たちも輝けない！

驚いた 五十路になっての 写真集
埼玉県◎PG

津田健次郎さん、写真集発売おめでとうございます。津田さんのように魅力的な年のとり方をしたいものです！

2月の ハッピーバースデー

▲宮城県 柏（14）
桃李くんにとって、いい年になりますように♥

いつまでもお元気で、ずっと活躍し続けてほしいな☆

▲千葉県 荒井 孟（40）

生徒会メンバーにお祝いされて、かぐや様もご満悦◎

▲神奈川県／たまちゃん（12）

▶山梨県／とうや
年を重ねるごとに、ますます演技力に磨きがかかる！

▶千葉県 絵描きの冒険者KATOSAN
誕生日を迎えて、かすみんも一つステップアップ♪

パル&マルからのお願い

ハガキか紙に、黒のインクやサインペンで、縮小印刷でも読みやすいように大きめにハッキリ描いてね。マニアックなネタは 宛名側に解説を付けておいてくれると助かります（笑）。「パロステ」のタイトル看板は6センチ×13センチのワク内で。切らなくても大丈夫だよ。

STAFF

Editor-in-Chief
川井久恵

Contributing Editors
久保田志乃
佐久間翔大
近藤　朧
西俣　斉

Advertising
岩水洋子
小出健太郎
谷川浩史

Marketing Analyzer
片山伸之
柳楽公三

Public Relations
斎藤信恵
松本留衣子

Writers
徳木吉春
原口正宏
渡辺麻紀
渡辺由美子
石井　大
中野克己
浜田望生
ぽろり春草
新庄　圭
ぬのまる
川畑　剛
スタイル
福西輝明
許士明香
鈴木雅展
高円寺工房
後藤悠里奈
みちかみ

EDITORS VOICE

実写作品の担当が多くなったせいか、俳優やアイドルに取材することが増えました。芸能情報に疎いので、「この俳優さん誰？　そんなに有名なの!?」と驚くこともたびたび。合同取材の場合、周囲がTV誌や映画雑誌ばかりなので、「なんでアニメ誌がいるの？」と内心思われているような……。そんなアウェー感を感じつつ、今年もいろいろな人に取材できるといいな。（久）

明けまして2024年。昨年は『【推しの子】』が大ヒットしましたが、有馬かなちゃんの言う「世は大エゴサ時代、コンテンツとファンは既に相互監視状態にある」というやつ、本当みたいですね。なんと私の知り合いのプロデューサーが、ファンに擬態して自分のコンテンツのファン活動をやっていたことが判明。新手のスパイか。なんか面白い時代になってきた。　（志）

10月号からスタートした「王様戦隊 謁見の間」。第１話以前から王様だったキャラクターをピックアップするという趣旨の本連載、今回のラクレス様とダグデド様でラストとなりました。ギラ様とジェラミー様のピンナップは、どこかで実現できればと考えていますので、シュゴッダムとバグナラクの民の皆様は引き続き、応援していただけますと幸いです……！　（サ）

昨年は、多くのアニメ・ゲーム関連のイベントを取材することが多かったように思います。今月号では、「パディミッションBOND歌うマジェスティックホテル」の様子をレポートしているのですが、２部制を活用したシナリオ構成に唸らされました。少しずつ緩和されてきたリアルイベントの良さが、読者の皆さんに伝わると嬉しいです。　（近）

宝くじ１等の確率は1/2000万だそうです。例えるならば、人間の髪の毛って約10万本あるそうで、単純計算で200人集めたら1/2000万になります。この中から髪の毛を引く権利を得るのが宝くじの購入とも言えるのでしょう。途方もない確率ですが、その中に手を突っ込む権利をついつい獲得してしまう業。2024年も善き１年になりますように。　（二）

アニメージュ2月号アンケート用作品リスト

下記の作品リストから該当するものの番号を、ハガキ表面（宛名面）の解答欄に記入してください。

①100カノ　②100わか　③16bit　④BASTARD!!　⑤BEYBLADE　⑥Bプロ　⑦Helck　⑧HIGH CARD　⑨MFゴースト　⑩ONE PIECE　⑪Paradox Live　⑫PLUTO　⑬SHAMAN KING FLOWERS　⑭SHY　⑮SPY×FAMILY　⑯SYNDUALITY　⑰Sランク娘　⑱アークナイツ　⑲青エク　⑳悪魔くん　㉑悪役令嬢レベル99　㉒新しい上司はど天然　㉓アニアキングダム　㉔あんスタ　㉕アンダーニンジャ　㉖アンデラ　㉗アンパンマン　㉘イケナイ教　㉙異修羅　㉚ウマ娘　㉛オーバーテイク！　㉜おさるのジョージ　㉝おじゃる丸　㉞お嬢と番犬くん　㉟おしりたんてい　㊱オチビサン　㊲おでかけ子ザメ　㊳オトッペ　㊴オトナプリキュア　㊵鬼武者　㊶俺レベ　㊷愚かな天使　㊸陰陽師　㊹陰の実力者　㊺カッラフルなエッッブリデイ　㊻カノジョも彼女　㊼カミエラビ　㊽鴨乃橋ロン　㊾川越ボーイズ・シング　㊿帰還者　51絆のアリル　52キミゼロ　53キャプ翼　54休日のわるものさん　55キングダム　56薬屋のひとりごと　57クズ悪役　58クリプトニンジャ　59クレしん　60ケンガンアシュラ　61攻略うぉんてっど！　62ゴブスレ　63最強王図鑑　64最強タンク　65最果てのパラディン　66サザエさん　67佐々木とピーちゃん　68しまじろう　69シャドバ　70シャンフロ　71終末のワルキューレ　72呪術廻戦　73真の仲間　74聖女の魔力は万能です　75銭天堂　76せまつか　77全力ウサギ　78葬送のフリーレン　79即死チート　80ダークギャザリング　81盾の勇者　82ダンジョン飯　83ちいかわ　84チキップダンサーズ　85地球外少年少女　86ちびまる子ちゃん　87治癒魔法　88超普通県チバ伝説　89月が導く異世界道中　90ティアムーン　91でこぼこ魔女　92デッドマウント・デスプレイ　93デュエマ　94天官賜福　95転スラ　96とあるおっさん　97逃走中　98東リベ　99道産子ギャル　100ドッグシグナル　101ととのえ！サクマくん　102トミカヒーローズ　103友崎くん　104ドラえもん　105トランスフォーマー　106ニンジャラ　107忍たま　108望まぬ不死　109バービー　110パウパト　111パジャマスク　112パズドラ　113はめつのおうこく　114範馬刃牙　115ぴーくるずー　116ひきこまり　117ビックリメン　118ヒプマイ　119姫様拷問　120ひろプリ　121豚レバ　122ブルバスター　123暴食のベルセルク　124ポーション頼み　125ボクアメ　126ぼくのデーモン　127僕ヤバ　128ポケットモンスター　129ポケモンコンシェルジュ　130星屑テレパス　131ぼのぼの　132ぽんのみち　133まついぬ　134マッシュル　135魔都精兵のスレイブ　136魔法少女にあこがれて　137魔法使いの嫁　138ミギとダリ　139ミニ豆ちゃん　140ミリマス　141名探偵コナン　142女神 OF THE ドロップス　143め組の大吾　144黙示録の四騎士　145悶えてよ、アダムくん　146もふなで　147百千さん家　148遊☆戯☆王　149柚木さんち　150ゆびさきと恋々　151よう実　152ラグナクリムゾン　153ルプなな　154るろ剣　155レエル・ロマネスク　156わた推し

クリスとフィンはお互いに必要な存在ー

あかざわ りょうたろう
1997年1月11日生まれ　神奈川県出身　ケイファクトリー所属　『マッシュル-MASHLE-』THE STAGE　マッシュ・バーンデッド、MANKAI STAGE『A3!』シリーズ(七尾太一)ほか

衝撃的だった!? 初対面の思い出

―― お二人は約1年前、ミュージカル『チェーザレ 破壊の創造者』で共演していましたよね。

赤澤　そうなんです。ただ、あの時は全然お話できず、舞台上でも一回も会わなくて。

輝山　そうそう。

赤澤　だから、今回晴ちゃんさんとバディを演じられることが本当に嬉しくて。ほかのキャストも信頼できる方々ばかりで、今から楽しみです。

輝山　最初にお話を聞いた時、遼ちゃんがキャストにいると知って「それ最高だね!」と思いました。大好きな遼ちゃんとバディ役で共演するのは楽しいだろうなって。

赤澤　いやー、嬉しい!

―― すでに仲良しな感じですが、最初に会った時の印象は?

赤澤　周りの人から、「晴ちゃんは唯一無二の人だよ」「晴ちゃんは晴ちゃんだから」と聞いていて。稽古場で初めてお会いした時に、お尻を触られたんだったかな?

輝山　僕の中では、スキンシップ[illegible]フレンドシップだと思って[illegible]

赤澤　でも僕、[illegible](笑)。嬉しくて。

輝山　普通に[illegible]

赤澤　いやいや、「あ、これが晴ちゃんなんだ」みたいな(笑)。

輝山　なんか「初めまして」みたいな感じで触るんです(笑)。そのビックリした瞬間に、心のドアが開くので、そこにガッと入り込むという。

赤澤　[illegible]開けて[illegible](笑)。

輝山　だから僕、人と仲良くなるのが早いんです。遼ちゃんは、共演した人たちがみんな「すごくいい子」と言っていて、実際に会ったら本当にかわいいなぁと。お芝居も丁寧だし、話に聞いた印象のままでした。ただ、遼ちゃんから見た僕は、初対面と今じゃ、全然印象が違うと思う。あの頃はロン毛で、女性みたいな感じだったから。

赤澤　確かに。『チェーザレ』では美を追求している役でしたね。

輝山　[illegible]っていたし。

赤澤　クリスとも全然違うから。

輝山　そう、強烈な出会いだったと思います。

―― あらためて、今回の出演が決まった時の感想を教えてください。

赤澤　メチャクチャ嬉しかったです! 主役ですし、フィンの成長を表現できることが楽しそうだなと思いました。僕、バトルもののアニメが好きで、トランプのカードの数だけ異能の力があるって設定がまず魅力的だなと。本編もいい意味で厨二的というか。現実では言わないようなカッコいいセリフ回しで、戦い方も派手で、[illegible]快感があって面白かったです。

輝山　決まって[illegible]アニメを拝見し[illegible]のですが、イングランド系の世界観や伝統のある雰囲気がすごく好みで、これを演じられるのは嬉しいなと思いました。映画の『キングスマン』に似たものを感じたというか。遼ちゃんも『キングスマン』観てみ? バチバチにアガるから!

赤澤　ちょっと観てみよう。

輝山　あと、カーチェイスがすごく多いので、これを舞台でどう表現するのか気になりました。

赤澤　舞台でカーチェイスは、あんまり見たことがない。

輝山　舞台化でみんなが期待しているところだと思うし、どうするのか楽しみだなって。

赤澤　それでいうと、クリスの能力もどうやって表現するんだろうって思いました。要するに不死身じゃないですよね(※クリスが所持する♥5《カロリーズパイ》は、カロリーを消費してケガを修復する能力)。

輝山　[illegible]そうだよな。撃たれても平[illegible]

赤澤　そうそう。舞台でやるのはなかなか難しそうだよなあって。フィンのピストルもどこから出すんだろうって思うし(※フィンが所持する♠2《ネオニューナンブ》はリボルバー式の銃を出現させる能力)。[illegible]から、舞台のセットも楽しみで。

輝山　確かに。

赤澤　今日(取材日)だとまだどんなセットになるか分からないですが、こだわって作られるんじゃないかな。

輝山　SE(効果音)とかライトもかなり凝りがいがありそう。

赤澤　すごく舞台映えしそうな作品ですよね。

世界観に入り込める衣装のこだわり

―― ご自身が演じるフィンとクリスに、どんな印象を抱きましたか?

赤澤　やんちゃな性格が前に出てい[illegible]でもその裏には幼い頃の記憶が[illegible]

フィン・オールトマン

明るくてやんちゃなイカドの新人。トラブルを前にしても物怖じしない。幼少期に事故で家族を失い、孤児院で育った過去を持つ

クリス・レッドグレイヴ

世渡り上手で軽薄な振る舞いを見せるが、根は硬派で常識人。イギリスの伝統菓子ファッジを棒状にしたものを常食している大の甘党

きやま はるき
1985年1月10日生まれ　東京都出身／メディアプラネット所属／ミュージカル『刀剣乱舞』巴形薙刀、『HUNTER × HUNTER』THE STAGE(ヒソカ)ほか

なかったり、わりと重い過去がある。フィンという人間の中に、陰と陽があるのが魅力だなと感じました。あと、能力があまり強くないところがなんかいいなって（笑）。クリスの「不死身」みたいに、ほかのみんなは超強いじゃないですか。

丘山　そうだよね。ボビー（・ボール）なんて「触ったものをビー玉にする」とか。

赤澤　「メチャクチャ運が良くなる」というのもあるし。

丘山　あれが一番欲しい。

赤澤　運が良くなるはズルいっすよね！　フィンは弾がまっすぐに飛ぶだけ（笑）。ただ、ここから進化していくのかなと想像がかき立てられる。逆に主人公っぽいなって。

丘山　クリスはレディたちが大好きで、ちょっとチャラい印象だけど、それも全部計算のうちというか。いろんな仮面を持っているところに魅力があるのかなって思います。

――では、二人の関係性についてはどう思いますか？

赤澤　フィンとクリスは最初から仲がいいわけじゃなくて、話が進んでいくごとに絆が深まっていくのが見ていて面白いと思いました。性格とか正反対で、「絶対コイツら合わねえだろうな」ってところから始まったじゃないですか（笑）。そんな二人が、どんどん支え合うようになっていくのがいいですよね。

丘山　そうそう。二人とも本当に心を許した相手としか馴れ合わないし、友達が少ないタイプだと感じました。あと二人とも、心に闇を抱えているという共通点があるんです。だから、自分の素性や抱えているものを話すようになり、お互い必要な存在になったんだと思います。本当の友達というか、親友のような関係性なのかなと。

――公演PVでは劇中の衣装を着ていましたが、撮影した感想は？

赤澤　『HIGH CARD』の世界に入れたなと感じました。もう衣装のスーツがカッコよくて！　ウィッグもキャラクターの印象のまま、僕にとってナチュラルに一番いい形になるようにいろいろ調整して作ってくださっていて。これはもう、あとは僕が頑張るだけだなと思いました。あの日は晴ちゃんさんとも会えて、一緒にプライベートショットも撮りました。

丘山　ビジュアル撮影って、僕はいつも探り探りで行くんですが、今回はお互い最初からバチバチに決まった状態でした。撮影の時の遼ちゃんは本当にフィンで、「すごいな！」と思いましたね。PVも凝って作っていただいて。二人の掛け合いやポーズも丁寧につけてもらいました。

赤澤　なんか現場も沸いていましたよね。

丘山　沸いた沸いた。みんながニコニコ、ワクワクした感じで、いい現場だなと。

――これからどのように役作りしていきたいと考えていますか？

赤澤　アニメのお芝居のニュアンスや方向性は、意識していきたいです。あくまで舞台のフィンを作っていくんですけど、アニメのファンが観に来た時、全然違う印象だったら寂しいと思うし。

丘山　そうだね。

赤澤　アニメをもっと研究して、いい味を出していければなと思っています。

丘山　クリスのバックグラウンドや妹との関係性を掘って、僕の中にあるものとリンクしていく作業は楽しみにしています。クリスの甘えん坊な一面は、僕とも上手くリンクできそうだなって思います。それから、世界観が持つ雰囲気をちゃんと身につけたい。国のしきたりやルールみたいなものが入ってくると、演じやすいので。

赤澤　細かいところもチェックして。

丘山　そういう作業をするのが結構好きなの。アニメを何回も観て、自分の中に落とし込んでいきたいです。

スタイリッシュなアクションに期待！

――演出を山本一慶さん、脚本を西森英行さん、音楽をただすけさんが手がけます。丘山さんは今回初めてご一緒する方が多いですよね。

丘山　初めましての方ばかりですね。でも、僕は初めてが大好きだから楽しみです。僕も稽古ではそれなりに真面目なので（笑）。特に山本さんとは、バディの関係を3人で一緒に作っていきたいと思います。

――逆に赤澤さんにとっては、おなじみの方がそろっているのかなと。

赤澤　そうなんです。特に一慶さんはミュージカル『憂国のモリアーティ』シリーズで俳優として一緒に戦ってきた人で、気心が知れているというか。決まった時には一慶さんに「よろしくお願いします」と連絡して、「頑張ろうね」「楽しい作品にしようよ」とやり取りしました。

丘山　いいね！

赤澤　立場は違いますが、ご縁を感じましたし、また一緒に作品を作れることがとても嬉しいです。それと、ただすけさんが書かれる音楽は、すごく難しいんですよね。

丘山　マジで？

赤澤　うん。『モリアーティ』をやっている時は、いい意味で「変態だな」と思った（笑）。

丘山　とても凝っているんだな。

赤澤　楽譜に見たことないぐらい音符とかいろんな記号がびっしりあって……。今回も歌が何曲かあるので、ただすけさんがどんな楽曲を書かれるのか楽しみです。

――ほかに今回の舞台で期待していることを教えてください。

赤澤　やっぱりアクションシーンです。僕ら、メチャクチャ戦わされると思うんで。

丘山　そうだね。俺、何回も死ぬだろうし。

赤澤　わりと素手のことも多いし。

丘山　だよね。銃くらいしか武器がないし。

赤澤　基本はカードですもんね。

丘山　戦闘シーンはそこまで長尺じゃないと思うけど、パッと見せられたら気持ちいいと思う。

赤澤　今回はスタイリッシュなアクションが求められる気がする。

丘山　分かる分かる。泥臭くない感じのやつが。

赤澤　硝煙が[illegible]

トランプのカードの数だけ異能の力がある！

丘山　スーツに合うアクションだ[illegible]

赤澤　見せ方も研究していきたいですね。

丘山　特に、二人の手がずっと離れないやつを遼ちゃんとやれるのが、すっごい楽しみ。

赤澤　チェルシーのラヴコネクション（笑）。面白くなりそうですよね、あれ。

丘山　外れちゃったら「あっ！」ってなりそう。

赤澤　ヤバいヤバい（笑）。

丘山　それも舞台の良さだから（笑）。早くやりたいね。

――フィンとクリス以外で、気になっているキャラクターは？

赤澤　レオがけっこう気になっています。生意気な感じがかわいい（笑）。

丘山　分かる。いい感じにやってくれると思う。

赤澤　レオ役の石橋（弘毅）さんは僕は今回が初めましてで。

丘山　ものすごくいい子だよ。

赤澤　そうなんだ！　レオも好きだし、石橋さんとの出会いも楽しみです。

丘山　今回知っているキャスト[illegible]どんなふうに演じてくれるのか、いい意味で全員想像できるんだよね。ヴィジャイ役の（松田）岳くんとか。

赤澤　確かに！　ウェンディ役の（七木）奏音ちゃんも、普段の姿とラヴ&ピースが憑依した姿、どっちも想像できる。

丘山　酔っ払った時も面白いと思う。個人的にはバーナードさんが楽しみ。『HIGH CARD』の世界観を出すキーパーソンだから、バーナードさんが作った雰囲気を継ぎた[illegible]ね。僕たちも寄せていきたい。

赤澤　あのセリフも早く聴きたいです。「必要なのはマナーと気品、そして命を張れる覚悟」って。

丘山　そうだね。意外と重要なキーワードかも。僕らもマナーと気品を持って演じたいから。フィンはそれがない状態から始まっていくけど（笑）。

赤澤　フィンもいつか求めていくのかな、気品とマナー。

――最後に公演を楽しみにしている読者へメッセージを。

丘山　先ほどお話した通り、僕らのスーツ衣装はこだわりを持って仕立てられているので、細かいところまで見ていただけたら嬉しいなと。ビジュアルでもストーリーでも、この世界に皆さんを引き込んでいける舞台にできればと思っています！

赤澤　皆さんの想像の上をいくようなものを作り上げて、圧倒的な没入感のある作品を届けられたらと思います。そして、アニメでseason 2が放送されるみたいなので、今回の公演が舞台の続編につながるようにできたらなと。

丘山　いいね！

赤澤　楽しみにしてくださると嬉しいです！　よろしくお願いします！

トランプ使いの道は険しい!?

丘山　『HUNTER×HUNTER』THE STAGEでヒソカ役をやった時は、マジシャンの先生が稽古にずっとついていたんだよね。

赤澤　へー、実際にトランプのマジックもやられたんですか？

丘山　やったやった。でも、先生に教えてもらうというよりは、ずっと先生のマジックショーを見て、撮った動画に合わせて、見よう見まねでやった感じ（笑）。

赤澤　すごいなぁ、それ。

丘山　トランプって、上手くカードを出し入れできるとカッコいいし、みんなそこに注目するけど……。

赤澤　その後が難しいですよね。

丘山　そうそう。テグス（釣り糸）で引いて袖の中に隠すとか、手元から一時的に消すことはできても、その後の処理をどうするかだよね。しかもフィンみたいにカードと入れ替わりで銃を出すっていうのは、僕は見たことがない。

赤澤　絶対難しい！

丘山　本番でやるのは、最初はビビると思うよ。でもま、それも楽しいと思う。

赤澤　そうですね、演劇はナマモノなので。でも、カッコつけてカードが消えていなかったら、ちょっと恥ずかしい（笑）。

丘山　かわいいじゃん（笑）。その時は「お前、銃出てねーよ」って言ってあげるから。

赤澤　その時は「うるせぇ！」って返すよ（笑）。

CAST
山﨑賢人　眞栄田郷敦　工藤阿須加　柳俊太郎
山田杏奈／矢本悠馬
泉澤祐希／勝矢／高畑充希／マキタスポーツ
大谷亮平
木場勝己　大方斐紗子　秋辺デボ
玉木宏・舘ひろし
STAFF
原作／野田サトル「ゴールデンカムイ」（集英社ヤングジャンプ コミックス刊）　監督／久保茂昭　脚本／黒岩勉　音楽／やまだ豊　主題歌／ACIDMAN「輝けるもの」（ユニバーサル ミュージック）　アイヌ語・文化監修／中川裕　秋辺デボ
制作プロダクション／CREDEUS
GOLDEN KAMUY
ゴールデンカムイ
★1月19日(金)より全国公開・IMAX同時公開
★HP kamuy-movie.com
©野田サトル／集英社　©2024映画「ゴールデンカムイ」製作委員会

クセ者たちの冒険活劇

北海道を舞台に個性的なキャラクターたちの金塊争奪戦を描く『ゴールデンカムイ』がついに実写映画に！俳優たちの怪演とこだわりの映像で魅せる冒険活劇を堪能せよ！

雪原の女神
山田杏奈演じるアシㇼパは本作の大きな魅力。可憐さ、逞しさ、神々しさ……多彩な表情をスクリーンで堪能してほしい。アシㇼパ名物（？）の“変顔”も非常にチャーミング。

大自然の中で二人
壮大で美麗な北海道の雪景色だが、そこには情け容赦なく人の命を脅かす自然の脅威が待ち受ける。アシㇼパの知恵に導かれ、杉元は自然の中で生き抜く術を徐々に学んでいく。

地獄の戦場
映画冒頭では杉元の心に大きな影を落とす経験となった、二〇三高地の凄惨な戦場が描かれる。生き残るために鬼神のごとき表情でロシア兵に襲いかかる杉元の姿は衝撃的だ。

独特の魅力を放つ原作コミックと、その魅力を見事に映像化したTVアニメに続き、満を持しての登場となった実写映画『ゴールデンカムイ』。

漫画にもアニメにもない実写の魅力は、「生身」の役者たちが演じる確かな実在感と生命感だ。しかし、強烈なクセ者ばかりの本作のキャラクターを表現する難しさは、想像に難くない　杉元の人並み外れた生命力やアシㇼパの可憐さと高貴さ、そして鶴見や土方、白石といったエキセントリックかつエクストリームな面々を誰がいかに演じるのか？　今回の映画は、そんなファンの圧倒的な注目と期待に見事に応えている。

杉元役の山﨑賢人やアシㇼパを演じる山田杏奈をはじめとしたキャスト陣は、それぞれのスタイルでキャラクターの特殊な持ち味を見事に表現して、観客を魅了する。そしてアイヌ文化や北海道の広大な自然を丁寧に描写する映像は、荒唐無稽な物語世界に不思議なリアリティを醸し出してくれる。

「杉元と一緒に冒険をしてほしい」という久保茂昭監督の言葉通り、『ゴールデンカムイ』の世界を生々しく実体験できるこの映画――ファンなら是が非でも見逃せないッッ!!

漲る生命力
情け容赦なく襲いかかる自然や次々と現れる第七師団の刺客など、常人ならいくつ命があっても足りない窮地を、杉元は決して諦めない執念と驚愕の生命力でくぐり抜ける。

明治の風景
小樽の街並みなど、明治時代の北海道の再現度にも注目したい。杉元がにしん蕎麦を食べたり、鶴見中尉と対面したり、名シーンの数々がこの風景の中で繰り広げられる。

アイヌの描写
料理や衣装、住居や道具、そして物事の捉え方や考え方まで、細かく監修されたこだわりのアイヌ文化描写は、確固たる“骨”として荒唐無稽な冒険物語を支えている。

脱獄王の秘技を見よ！
出てくるだけで空気をコミカルにするが、やはりどこか妖しい？　そんな白石の独特な存在感を矢本悠馬が見事に表現。拘束された杉元を救う際の奇妙な「脱獄王の技」も必見！

刺青人皮
埋蔵金の在処は24人の脱獄囚の刺青を組み合わせることで明らかになる。刺青にまつわる残酷な描写も限界までリアルに表現。その過激さも『ゴールデンカムイ』の魅力だ。

レジェンドの貫禄
若き日と変わらぬ刃のごとき鋭さと、雌伏の年月が培った老練さ、そして決して揺らぐことのない強固な意志。“生きていた土方歳三”をさすがの貫禄で演じたのは舘ひろしだ。

アブない双子
第七師団の双子の軍人、二階堂浩平／洋平と杉元の、過激でトリッキーな絡みにも注目したい。エキセントリックな双子を一人二役で演じる栁俊太郎は本作の隠れMVP！

狂気の中尉
アクの強い登場人物の中でも、特に強烈な存在感を持つ鶴見中尉。“理性”と“狂気”の狭間に生まれるカリスマ性が、演じる玉木宏の“色気”と融合し妖しい魅力が放たれる。

野望の行方
土方の野望実現に協力するこちらもクセ者揃いの面々。柔道の達人・牛山辰馬と元・新撰組二番隊隊長の永倉新八。人間離れした牛山の強烈なビジュアルも見事に再現されている。

雪原の死闘
第七師団の狙撃手・尾形百之助と杉元の死闘は必見のシーン！　文字通り命を獲り合うシビアな戦いとその顛末が、この映画がヤワではないことを証明する。

第七師団、進軍！
鶴見中尉の側近・月島基やマタギ出身の谷垣源次郎など、第七師団の面々も原作通りの佇まいを見せてくれる。リアルな軍服や武器の描写などにも目を凝らしてほしい。

監督 久保茂昭
杉元と一緒に冒険を！

北海道を自分の身で感じるッ！

――本作を監督することが決まる以前から、原作のファンだったそうですね。

久保　大ファンです。初めて読んだのは『ヤングジャンプ』連載中で、二瓶とレタㇻが闘っている回でした。野田（サトル）先生の強い画力で表現される躍動感に、思わず引き込まれましたね。そこから「何だろう、これ。動物の漫画かな？」「何だ、この少女は？　ああ、アイヌなのか」となり、遡ってコミックスを第1巻から読んで……と、どんどんハマっていきました。

――特にハマったポイントは？

久保　まず、自分の知らない明治時代の北海道を冒険しているような感覚が新鮮でした。見たことのない土地を登場人物と一緒に冒険し、少し西部劇っぽい興奮もあり、読めば読むほどストーリーも面白くて。そして、登場するキャラクターがあまりにも濃くて魅力的でした。特に僕は、最初に第七師団が大好きになったんです。軍団としての魅力も個々の役割や個性も際立っていて、この中に入りたいと思いました。

――第七師団に入りたいと（笑）。

久保　個人的に、軍団が好きなので（笑）。もちろん、のちには杉元とアシㇼパも大好きになりましたが、第七師団は最高ですね。第七師団だけで何かスピンオフを作ってみたいです。

もうひとつのポイントは、アイヌです。「民族の教え」的なものは世界中のいろいろな国にあって、たとえば「インディアンの教え」などは知っていますが、身近なはずなのに知らないアイヌ文化や考え方を、これほど深く漫画で知れるとは思わなかった。作中でも、濃いキャラクターたちがアイヌ文化に触れて浄化されていく瞬間が描かれて、自分も読みながら同じ感覚を得ていました。知れば知るほど、人として大切なことを教わるというか、自然と思い出すというか　そこも魅力のポイントかなと思います。

――それだけハマった作品を監督すると決まった時は、どう感じましたか？

久保　監督のお話をいただき、企画が決定した瞬間は本当に泣きました。そして15分後に「本当に撮れるのか？」と頭が真っ白になって……。一読者として「実写化するなら、相当な規模の映画でないと無理だな」と感じていたし、「本当にみんな、これを実写映画にするつもりなのか？」とかいろいろな考えがグルグルと回り始めて、でも、嬉しくてまた泣いて（笑）。

――情緒が不安定に（笑）。そこから実写映画化に向き合って、「これなら作れる」と思えたきっかけはありましたか。

久保　本当に自信を持てたのがいつかは覚えていませんが、そこに至る以前にまず、アイヌや明治時代を勉強し、北海道を自分の身で感じなければいけないなと思いました。以前から野田先生のブログや取材記事なども読んでいたので、野田先生の軌跡をまず辿ろうと考えて。野田先生が最初の頃に訪れた、登別のクマ牧場に自分もまず行ったし、二風谷や第七師団の博物館、網走監獄、北海道開拓の村にも行きました。アイヌのことも、それまで深く勉強はしていなかったので、監督が決まってから関東でアイヌ展が開かれれば足を運んだり、北海道のウポポイ（民族共生象徴空間）にも個人的に赴きました。実際に現地に行くと、そこには今もアイヌの方たちがいて、現実にそういう場所があり、『ゴールデンカムイ』という架空の物語が現代と地続きでつながっている。野田先生も実際に取材して感じた空気感を大事に描いているので、僕もその後を追いながら少しずつ感じ、勉強するというところからアプローチしていきました。そして、それをひとつひとつ丁寧に追求していけば本当に実写化できる　そうして実写化しなければいけないんだと、あらためて思いました。

特に、ウポポイに行ってアイヌの歴史を感じ取れたのは大きかったです。アイヌの服はすべて手縫いで木の皮で作られているとか、そういったことも触って感じることができたので。作中の衣装も可能な限り再現しています。実際にアシㇼパの衣装の刺繍なども、アイヌの方に手縫いで作ってもらいました。生地も木の皮に近い質感の生地を探して使いました。なので、アシㇼパやフチの衣装は1着作るのに数ヵ月はかかっています。アイヌの方々に協力してもらって、本当に細かく作っていきました。

――そうした衣装やアイヌの道具類などのディテールも、今回の映画の注目点ですね

久保　もちろんアイヌ関連だけではなく、たとえば杉元の衣装ひとつ取ってもどこまでボロボロにするかと、かなり議論して決めました。杉元が一張羅でずっと服を洗っていないとしたら、本当に汚い格好になってしまいます。その姿で北海道をウロウロするほうがリアルだという感じ方もあると思うけれど、でも、杉元も人間だし、どこかで服を洗濯したり、修繕したり、マフラーなどは新しく買ったりするかもしれない。映画の中では不自然になりすぎないように、徐々にボロボロになっていくようにしています。アシㇼパの衣装も綺麗に見えますが、実はよく見るとかなり使い古したダメージ

Shigeaki Kubo　1973年生まれ　東京都出身　映画監督・MV監督　EXILE、安室奈美恵ほか多数のMVを制作
映画　監督作品に、ドラマ『HiGH＆LOW』シリーズ、映画『小説の神様 君としか描けない物語』ほか

感を施してあります。雪の中で撮ると反射で光が飛んだりして、実物より綺麗に映ってしまうことがあるのですが、そういう部分も計算しながら、かなり気を遣って撮っています。

不死身の杉元は二〇三高地で生まれたッ!

原作は非常に多彩な魅力を備えていますが、映画としては特にどんな要素でファンを楽しませたいと考えましたか?

久保　北海道の大自然の中を杉元と観客が一緒に冒険するように、いろいろな世界やさまざまな人が次々と視線に飛び込んでくる感覚を、まずは映画として伝えたいと思いました。同じ空間、大きなスクリーンでみんなが一緒に楽しむという映画ならではの醍醐味の部分ですね。杉元と一緒に二〇三高地の悲惨な戦場を体験し、北海道の大自然の中で季節と共に移り変わる風景を見て、アシリパと出会ってアイヌ文化に触れ、次々に襲ってくる刺客と戦いサバイバルする　このアドベンチャーを実体験できるような作りを目指しました。そのためにも"リアル感"を追求しなければいけない。先ほど触れたような文化の面もそうですし、自然の描写、ヒグマやオオカミをどれだけリアルに表現できるのかというのも挑戦でした。
　そしてアイヌ文化を知っていく中で自然に心が浄化し、和んでいくような感覚、つまりアシリパの変顔が見られたり、白石が登場してコミカルな空気が生まれたり、そういった感覚を、杉元を通じて実際に観客にも体感してもらえれば、と。

まさに杉元と一緒に観客が冒険をしていく映画ですね。

久保　そうですね、そういうつもりで作っています。

そうなると、杉元を誰がいかに演じるかは重要だったと思います。監督として山﨑賢人さんに、どんな杉元を期待していたのでしょうか。

久保　これまで山﨑君が出演した映画を観て感じたのは、お芝居がとても自然だということ。演技をしているようには見えない瞬間が何度もあり、どの映画を観ても主人公として放っておけない存在感があるのが大きな魅力です。実際に会うと、ご本人はとても繊細で純朴な面を持っていると感じます。そういった部分が、杉元の根っこにある純朴さや優しさに重なるなと思いました。そして、そこに杉元が二〇三高地を経験したことで得た"狂気"を注入できれば、と。だからこそ山﨑君にはまず、二〇三高地のために肉体改造してくれとお願いしました。当時の山﨑君は『アトムの童』や『今際の国のアリス』を撮っている途中で身体が細かったのですが、そこから筋肉を数キロ増量してもらい、結果、当時寸法した衣装が着られなくなるくらい首が太くなったりして。本当に頑張ってもらいました。

それで本作の山﨑さんは逞しく見えるのですね。

久保　さらに撮影も、先に二〇三高地を撮らせてくれとお願いしました。二〇三高地を最初に撮影することで、山﨑君に"戦場"を体験してもらう――日本兵としての訓練やアクション練習もたくさんして、戦場で生き残るためにどんどん人を殺して……というお芝居にとにかく集中してもらいました。その時の感覚を北海道の雪山にも持っていってもらい、賢人君の本来の素朴な優しさや自然な言い回しの中に、「ここは少し、二〇三高地でロシア兵を殺した時を思い出して」とかお願いすることで、彼の中に狂気がスッと出てくる。そんな風に杉元を作っていきました。

二〇三高地のシーンは相当に凄惨ですが、山﨑さん自身もあの"戦場"をくぐり抜けることで、杉元と同じ狂気を獲得すると。

久保　そうですね、あの場面でロシア兵をたくさん手にかけて、自分自身も傷だらけになって……はじめにそれが撮れたのがよかったと思います。

――杉元の戦闘アクションも見どころになりそうですね。

久保　杉元の戦い方も、山﨑君には3段階に分けて説明しました。普通の軍人としての"通常型の戦い"はたとえば尾形と戦う時などで、日本兵として身につけた体感や表情で戦ってほしい、と。一方で、「俺が不死身の杉元だ!」と叫ぶ時は"不死身型の戦い"。これは命の危険を感じた時に出る言葉だから、それは通常の戦いとは変えたいと話をしました。もうひとつ、原作やアニメには"暴走型の戦い"も出てきます。アクション監督の下村（勇二）さんにも、その3種類を区別してほしいとお願いしました。そんな風にみんなで一緒に、杉元というキャラクターを作っていけたかなという手応えを感じています。

実は苦労したアシリパの変顔ッ!

山田杏奈さんのアシリパも気になるところです。アシリパを実写で登場させるのは、かなり難しかったのではないかと思いますが

久保　難しいですね。僕はアニメ版の『ゴールデンカムイ』も大好きで観ていましたが……アシリパ役の白石晴香さん、正直、非常にハマり役ですよね（笑）。アニメ版は演出しかり、声優しかり、本当に完璧だと思っていて。だからこそ"アニメを実写化する"という意識はまったく持たずに取り組みました。特にアシリパに関しては、原作やアニメのような"少女"として描くのは困難だと思ったので、公式な設定ではないですが、（原作やアニメより）少し上の年齢を想定して、杏奈ちゃんに演じてもらいました。彼女が持っている瞳の奥深さがとても多くのことを物語ってくれるし、アシリパも瞳が大切な役なので、そこが非常にマッチしているなと思います。また、杏奈ちゃんはあまりアクションをしたことがなかったので、山育ちのアシリパの佇まいが出せるようにたくさんアクション練習もしてもらいました。特に弓矢の撃ち方ですね。樹木に隠れて弓矢を打つだけでも、アクション練習をしないと実はまったくさまにならないんです。そういう部分もみっちり取り組ませてもらいました。
　ご本人も原作をしっかり勉強し、「少し年齢が上のアシリパなら、こういう感じじゃないか」というセリフ回しを演じてくれて。そのおかげで、小さいアシリパの雰囲気も引き継ぎながら、この映画に相応しいアシリパを作ることができたと思います。なおかつ、やはりできるだけ小さく見せたいということで減量もしてくれて。杏奈ちゃんは身長が160cm近くあるのですが（公式プロフィールでは159cm）、山﨑君とのバランスもあって、そうは見えない佇まいが醸し出されていると思います。そういうところも非常に頑張ってもらいました。

――原作やアニメでお馴染みの「変顔」も登場して、普段の凛とした表情とのギャップも魅力的です。

久保　変顔は実は、一番苦労したことのひとつです。実写だと、アニメや漫画のように唐突にグニャッと変顔をしても何となく信ぴょう性がないし、無理にやっているような印象にもなってしまうな、と撮影していて感じました。そのため、自然と変顔に持っていけるように雰囲気やお芝居を工夫したりもしています。特に白石役の矢本（悠馬）君がいると、彼のお芝居に合わせて自然に変顔が出てきたので（笑）、そこはよかったなと思いました。
　杏奈ちゃんは、カットによってはとても美人に見えるし、シチュエーションやお芝居によっては少し丸顔なところが本当にかわいらしく見える瞬間もあって。それもアシリパっぽいなと感じました。誰が何と言おうと、アシリパは山田杏奈にしかできないなと、僕は思っています。

――杉元とアシリパを筆頭に、どのキャラクターも役者陣が原作のイメージを見事に再現していますね。

久保　杉元、アシリパなどメインキャラに関しては、原作でのそれぞれの重要なシーンを僕が抜粋した「杉元ノート」とか「アシリパノート」とか、そういったものを作って渡しました。「自分の（演じるキャラクターの）行動や感情がわかるように抜粋したので、これを見て勉強してください」と言って。もちろん、皆さんも原作全体を読んでくださり、自分なりに役について考えてきてくれたり、その上で何か質問があれば……という感じでしたが、どのキャラクターも本当にハマったと思います。
　鶴見の場合は「狂気」を最初に表に出すのはどの瞬間か、といったことを玉木（宏）さんに説明しました。登場時はそれほど感じられない狂気が、少しずつ垣間見えてきて、最後に全面的に出るシーンは注目していただきたいです。玉木さんが演じてくれた鶴見の長ゼリフには、本当に圧倒的な説得力があります。ただ……あんな特殊メイクをしていても玉木さんの色気がだだ漏れで隠せませんでしたが（笑）。でも、その色気も鶴見の魅力ですね。

『ゴールデンカムイ』と言えば料理、食べ物も注目ポイントです。

久保　料理については、アイヌの方やフードコーディネーターの方に入ってもらって、本物のアイヌ料理を作っています。カワウソの頭は食べられませんが（笑）、それ以外は原作に基づいて作ってもらい、作中で役者さんに食べてもらいました。僕も食べましたが、本当においしかったですよ。

最後に読者へのメッセージをお願いします。

久保　僕は『ゴールデンカムイ』は原作もアニメも大好きで、オタク気質のある監督として今回の実写映画に挑みました。偉大なる原作へのリスペクトを込めて、本当に丁寧に作り上げたつもりですし、今まで観たことのない日本映画になっています。劇場の大スクリーンで、ぜひ杉元と一緒に北海道の大自然を冒険してください!

杉元佐一
「不死身の杉元」と呼ばれる元陸軍兵。砂金を求めて北海道を旅する最中でアイヌの莫大な埋蔵金の噂を聞き、大自然の中でアシリパと出会う

アシリパ
北海道の自然の中で生き抜く知恵と優れた狩猟の技術を持つ、アイヌの少女。亡き父とも関連がある埋蔵金の謎を、杉元と共に追う

尾形百之助
第七師団に所属する上等兵で、凄腕の狙撃手　雪原で、杉元と壮絶な死闘を繰り広げる。彼を通して鶴見は杉元の存在を知ることになる

白石由竹
"脱獄王"の異名を持つ天才脱獄犯で、金塊の在処を記した刺青を持つ24人の脱獄囚のひとり。杉元たちと行動を共にすることに

鶴見篤四郎
陸軍最強と謳われる第七師団を率いる中尉。日露戦争で戦死していった師団員のため、北海道征服を目論み、その資金として金塊を狙う

土方歳三
元・新撰組の鬼の副長　戊辰戦争で戦死したと思われたが、生きて網走監獄に収監されていた。野望実現のため、金塊の在処を探す

アニメが好きッ!
アニメ、詳しくはないですが好きです。年齢的に80年代のアニメで育ったので、その時代のアニメが好きですね。なかでも僕はりんたろう監督が大好きで、作品で言うなら『幻魔大戦』（1983年）と『メトロポリス』（2001年）です。ほかにも『AKIRA』（1988年）なども好きですが、「好きなアニメ」と問われて真っ先に浮かぶのは、その2作です。特に『メトロポリス』は映像も本当に美しいし、名作だと思います。当時、映画館に3回観にいってしまいました（笑）。

山やまの超人気コミック『カラオケ行こ!』が実写映画化。監督は『リンダ リンダ リンダ』『味園ユニバース』など人間ドラマに定評のある山下敦弘、脚本はドラマ『アンナチュラル』『MIU404』など多くの話題作を手掛ける野木亜紀子が務める。
らなければならない……成田狂児を綾野 剛が、変声期に悩む合唱部部長の中学生・岡 聡実を、オーディションを勝ち抜き選ばれた齋藤 潤が演じる。
変声期で以前のようなソプラノの美声が出せず、「歌う」ことに対するモチベーションを失いつつあった聡実。組長主催のカラオケ大会で、最下位＝歌ヘタ王だけはなんとか回避したい狂児。そんな何の関わりもない二人を繋いだのが「歌」だ。合唱コンクールで聡実に光るものを感じた狂児が、「歌がうまくなる方法、教えてくれへん?」と強引に師事してきたことから、二人の物語がスタートする。
カラオケを通して、ヤクザと中学生がどんな関係を築いていくのか。そしてどんな歌声を響かせてくれるのか。彼らが紡ぐ物語と歌をお楽しみに!
岡 聡実役
齋藤 潤
歌が上手くなりたいヤクザと、変声期に悩む合唱部部長の中学生
時に衝突し、時に笑い合い、二人は不思議で特別な絆を育んでいく
コミカルで、「紅」で、切ない青春は——ノンストップ!?
ザと中学生

カラオケ行こ！
♪2024年1月12日（金）公開
HP♪movies.kadokawa.co.jp/karaokeiko
CAST
綾野 剛　齋藤 潤
芳根京子　橋本じゅん
やべきょうすけ　吉永秀平　チャンス大城　RED RICE（湘南乃風）
八木美樹　後 聖人　井澤 徹　岡部ひろき　米村亮太朗
坂井真紀　宮崎吐夢　ヒコロヒー　加藤雅也（友情出演）　北村 輝
STAFF
原作／和山やま『カラオケ行こ！』（ビームコミックス/KADOKAWA刊）　監督／山下敦弘　脚本／野木亜紀子　音楽／世武裕子　主題歌／Little Glee Monster「紅」（Sony Music Labels Inc.）
photo:Junichiro Noumi
Go Ayano
Jun Saito
成田狂児役
綾野 剛
成田狂児
悩めるヤク

まっさらな10代の眩しさに モノ作りの原点を思い出す

――綾野さんは聡実役のオーディションを見守っていたそうですが、当時の齋藤さんにどのような印象を抱きましたか?

綾野　一緒に戦っていく方々の姿を見ることで、山下組と狂児を生きる上で大切なひと時になるのではないかと思い、最終審査に参加させていただきました。美術や衣装も何もない空間で、真摯にお芝居に向き合われる姿勢にただただ感動し、彼らのお芝居に惹きつけられました。本当にまっさらで眩しかったです。その後、潤くんに決まったという結果を伝えられたときも、こちらまで目頭が熱くなってしまって。改めてモノ作りの原点に触れさせていただいた時間でした。

――齋藤さんは「絶対に(役を)取るぞ」という思いで最終審査に臨んだとおっしゃっていましたが、会場で綾野さんにお会いしたときはどう思いましたか?

齋藤　剛さんが最終審査の会場にいらっしゃると、全く知らなかったんです。『オールドルーキー』や『アバランチ』など、剛さんの出演作品はいろいろ拝見していたので、最初に剛さんを生で見たときは「(『オールドルーキー』の)新町さんと(『アバランチ』の)羽生さんだ!――オーディションだったので、気持ちはちゃんと真剣ではありましたが――)と思いました。

――現場に入る前や撮影期間中、綾野さんに何か相談したり、アドバイスをもらったりしましたか?

齋藤　撮影した1年前は、今よりももっとお芝居の経験や知識がなかったので、とにかく無我夢中で演じていました。演じているときは噛み合ったと思っても、映像で観ると「何か違うな」となって、何が正解なのかわからなくなってしまって。それで心が折れたこともありました……。

綾野　心が折れたとは感じなかったです。階段をひとつ確実に登ったのだと思いました。

齋藤　階段を登れたのは剛さんのおかげです。何度演じても腑に落ちないし、自分が何を演じているのかわからなくなってしまったときに、剛さんがずっと傍にいてくださったんです。役者としてのモチベーションについてのアドバイスなどをいただいて、そのおかげでやるべきことが見えました。

綾野　「ちょっと散歩でもしよっか」と声をかけたくらいですよ。(撮影時期が)1月だったから寒かったよね(笑)。

自分の身体を役に預けて、狂児や聡実に人間として生きてもらうためには、勤で演じるのではなくて、恐れず実力に変えていかなければならない。噛み合わない演出を求められ、不安にさせてしまったかもしれないけれど、「そこに立ち向かった」こ

Go Ayano
1982年1月26日生まれ
岐阜県出身　トライストーン・エンタテイメント所属
主な出演作は『幽☆遊☆白書』(戸愚呂弟)『花腐し』(栩谷修一)ほか

Jun Saito
2007年6月11日生まれ
神奈川県出身/テアトルエンターテインメント所属
主な出演作は『猫カレ　少年を飼う』(遠野凪[illegible])『仮想儀礼』(竹内由宇太)ほか

とが重要なんです。潤くんは一度も目を背けることなく、今日この場に立っています。

狂児と聡実の掛け合いは噛み合ってはいけない

——座長として何か意識したことや、大事にしたことはありますか？

綾野　岡聡実の成長、言うなれば齋藤潤くんの成長が、この作品にとても大きな影響を与えると考えています。それは山下（敦弘）監督も含め、現場全体が同じように考えていて、彼の魅力をなんとしても映し出そう、描こうという想いが集結した現場でした。「岡聡実＝齋藤潤の心の動きが見える環境」を大切にしていました。

——具体的にはどんなことなのでしょうか？

綾野　クランクイン前に、かなりリハーサルも重ねました。でも、そこで完成させていくのではなく、どう完成させずに成立させられるか。台本があって、僕たちはそのセリフが入った状態で、自分たちの心を通して会話をする。それが噛み合っていくことで、「今のは上手くいったんじゃないか」「成立したんじゃないか」と体感を得る方法もありますが、狂児と聡実はヤクザと中学生なので、噛み合ってはいけないんです。

——確かにそうですね。

綾野　「初めて会ったヤクザにいきなりカラオケに連れてこられた15歳」という状況で、両者の会話が噛み合うはずがないのです。漫画では聡実くんの心の声があり、それが狂児と聡実の噛み合わなさを修復して、二人の間にできた溝を治癒しています。でも、映画ではそうはいかない。そのどこまでも噛み合っていないところが、お麩みたいな。

——お麩ですか？

綾野　はじめは固くて、お湯に入れるとホワ〜と変化する。より掴みどころがなく繊細な感じが、聡実と狂児の関係値っぽいなと。それに、水分を吸いきると、元の形よりも大きく、柔らかくなりますよね。それがこの作品のたおやかさや、温かさにつながっているような気がします。

——面白い例えですね。齋藤さんは、聡実と狂児の関係を食べ物で例えるなら何だと思いますか？

齋藤　う〜ん……聡実からしたら狂児はパフェですかね。パフェって食べようと思えば普通に食べられるメニューだけれど、ちょっと特別感がありますよね？　その普通の中にある特別……「特別すぎない特別」というのが、聡実の中の狂児なのかなと思います。

綾野　最高です。

——綾野さんはYouTubeのクランクアップのコメントで、「聡実が狂児を照らして、初めて狂児は存在する」とおっしゃっていましたね。

綾野　聡実という存在が照らすからこそ、狂児が見えてくる。なぜなら、聡実の主観で物語が豊かになっていますから。言ってしまえば、聡実にしか狂児は見えていないのかもしれません。

——逆に聡実から見た狂児はどんな存在だったと思いますか？　先ほど「パフェのようだ」とコメントされていましたが、

齋藤　まさに「特別すぎない特別」な存在だと思います。変声期のせいで、合唱部から逃げ出したいと思っていたときに狂児と出会い、カラオケボックスで二人の時間を過ごしていたのは、ある種の現実逃避でもあったはず。そんな時間を過ごせる、特別すぎない特別な相手なんでしょうね。

——狂児とのカラオケは、聡実にとって必要な場所であったと。

齋藤　そうですね。最初こそ怯えていましたけれど、息を抜ける場所

——変声期の悩みから逃れられる空間だったと思います。

綾野　この二人って、シンプルに優しい関係ですよね。立場や職業、年齢など関係なしに、すごくフラット。その対等さが、誰にでも伝わる優しさに変化するんだと観ていて感じました。「ありがとう」も「ごめんね」も「さよなら」も言える、すごく素敵な優しい関係。

齋藤　本当にその通りで、観ていてこちらの気持ちが温かくなるし、同じように思ってくださる方も多いんじゃないかなと思います。すごくエモい関係ですよね。

綾野　エモい関係！　ぜひそれでお願いします。

齋藤　（笑）。

クランクイン前のカラオケで「紅」をデュエット！

——物語が進むにつれ、狂児と聡実の距離もだんだんと縮まっていきましたが、お二人の距離感はどのタイミングで近づいたと感じましたか？

綾野　ずっと一緒に二人三脚で走っていたので、かなり早い段階で感じました。聡実と狂児という関係性とはまた別で、僕たち齋藤潤、綾野剛として、大切な関係性を築いていけたと思います。

齋藤　最初はものすごく緊張して、もう剛さんの目も見られないくらいだったのですが、クランクイン前にカラオケに連れて行ってくださったり、一緒に過ごす時間を作っていただいて。僕はそれに甘えっぱなしでしたね。

——リアルに「カラオケ行こ！」状態だったのですね。そのカラオケでは何を歌ったのですか？

綾野　潤くんの好きな歌を聴きました。声も選曲も本当に素敵で。

齋藤　やっぱり一番思い出に残っているのは、最後に歌った「紅」ですよね。

綾野　「紅」をデュエットしました。作中では絶対にないシーンだね。

齋藤　ないですね（笑）。

綾野　あの時間は最高に楽しかったです。

齋藤　はい。本当にすごく楽しかったです！

——作中で狂児は聡実に優しく接していましたが、撮影中に齋藤さんが綾野さんの優しさを感じたエピソードがあれば教えてください。

齋藤　もうずっとです。会ったときから毎回、ハグしてくださいますし。

——毎回ですか！

齋藤　毎日お会いしたときに「おはよう」と言いながらハグして、段取りで上手くできたときもハグして「よかったよ」と言ってくださって、疲れも一瞬で吹き飛びました。

綾野　それはよかった（笑）。

齋藤　すごく幸せな時間でした。

——綾野さんは普段からよくハグされるのですか？

綾野　撮影中は噛み合わない二人なので、撮影外では自分たちのパーソナルや、体温を感じられる距離感が大切だと思いました。物語の序盤は狂児が聡実に近づいていたのが、途中からは聡実から狂児のもとへ来るようになる。そういう心の動きがとても丁寧に描かれていますが、お互いにずっと孤独だったんです。「一緒の船に乗っている」「隣で一緒に漕いでいる」ということを伝えようとしたときに、気づいたら相手を包み込むことしか自分には残されていなかった。それがそのうちどんどん変わっていって、握手だけになっていったり、声だけでも充分に伝わるかもしれないし、肩を組むことになるかもしれない。そんなに深い意味はなかったのですが、（ハグをしていたことに関して）改めて考えてみると、本能的なものだったような気がします。

——撮影を通して、綾野さんから齋藤さんはどのように見えましたか？

綾野　一人の役者として尊敬しています。あらゆることから目を背けず、さまざまな難関に立ち向かうその佇まいに感動し、琴線に触れる部分がありました。今後も注目し続ける役者ですし、お互い成長した姿でまた共演したいです。最近出演した映画『正欲』も本当に素晴らしかったですし、ドラマも潤くんが出ているとつい観てしまいますね。

齋藤　本当ですか！　いや、もう本当に照れちゃう（笑）。

綾野　組は各部署も含めて経験者が多いですから、彼はその中で「自分が一番何もわかっていないんじゃないか」という不安を抱えて入ってきました。でも、実際はみんなもわかっていない。なぜなら一緒に作っていくものです。今回それを学び、今後さらに役者という仕事に魅力を感じ、夢や目標を持ってそれを叶えていく姿を変わらず見つめ続けたいです。山下監督も「今後の彼に対しても、僕たちがちゃんと注目して、見つめ続けていく証人の一人になっていかないとね」とおっしゃっていました。こうしてインタビューを一緒に受けたり、番宣に出たりと、いろいろな経験を潤くんはこれからしていくと思います。その姿を見守る証人の一人に、皆さんもなっていただけたら幸いです。僕もそうやって皆さんに育てていただきましたから。

Q 最近ハマっているアニメは？

綾野　普段、漫画との出会いが多いので、アニメを観る機会を模索している最中ですが、『風の谷のナウシカ』『AKIRA』『竜とそばかすの姫』『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』はずっと心に残っている作品です。

齋藤　実は『カラオケ行こ！』を読むまでは、漫画もあまり読まないし、アニメを観る習慣もなかったんです。この作品をきっかけに、漫画やアニメの楽しさに触れることができました。最近観たアニメだと、『キングダム』かな。実写映画『キングダム』を観て芸能界を目指したこともあって、アニメの『キングダム』も観たらハマりましたね。

　それと、先日『進撃の巨人』をSeason1からThe Final Seasonまで、1週間で一気に観ました！　言葉に表せないくらい壮大な物語で、人の心をここまで動かせるなんてすごいなと思いました。特にエレンとミカサの関係がもう……！　最後のほうはもう切なくてつらくて、観ていて本当に心臓が苦しくなりました。

カラオケで必ず歌うのは「紅」！

岡聡実役 齋藤 潤

photo:Junichiro Noumi

変声期に悩む少年の思いを等身大で演じた

―オーディションを見事勝ち抜き、岡聡実役を射止めましたが、当時はどのような思いでオーディションに臨んでいましたか？

齋藤　第一次審査の課題で、「紅」の歌唱と芝居と監督面談があったのですが、思うようにできなかったんです。それでも最終審査に呼んでくださったので、一回目の審査のときよりもっと成長して臨めたらなと思い、最終審査までの間に一人でカラオケにこもって「紅」を練習したり、オーディションの課題台本を読み込んだりしました。

　最終審査には（成田）狂児役の綾野剛さんや脚本家の野木亜紀子さんもいらっしゃって、たくさんの方々に見られている中ですごく緊張しました。でも、この役を勝ち取って、いつも支えてくださる方に少しでもいいお知らせができるようにするぞという気持ちで、「紅」を歌いました。

―その時点で手応えはありましたか？

齋藤　実は芝居のときにセリフが飛んでしまったので、そこ以外は出せるものは出し切ったとは思うのですが……手応えとしてはあまりなかったんです。他の方のお芝居がとてもよかったので、「これは落ちたな」と思いながら待合室で結果を待っていました。

―審査の直後に結果発表だったのですね。

齋藤　そうなんです。審査後に待合室で一旦待機してから、呼ばれて決定の知らせを聞きました。最初に呼ばれたので、「あぁ、落としていく形式なのかな」と思っていたら、まさかの「お願いします」で。本当に信じられなかったし、しばらくしてようやく「本当に決まったんだ」と実感できたときは、同時にものすごい緊張と不安に押しつぶされそうになりました。

―『カラオケ行こ！』の原作を読んだ感想は？

齋藤　まず、ヤクザと中学生が出会

ってカラオケに行く、という誰も想像しないような世界観や展開に魅力を感じました。しかも、それを映画化するということで、ものすごくワクワクして。聡実は変声期に悩む合唱部部長で、いろいろなことが起こって感情がぐちゃぐちゃになったりもするので、そんな重要な役を役者として何も武器のない自分が本当にできるのか、と不安にもなったのですが……(苦笑)。実際に撮影が近づき、リハーサルをやるにつれて、この役を演じ切るのに壁を感じたし、くじけそうになったことも多々ありました。

──プレッシャーを抱えながらの撮影だったそうですが、山下敦弘監督とはどんなやり取りやディレクションがありましたか？

齋藤　段取りからの本番という流れで、同じシーンを何度か撮るのですが、繰り返すことでそのシーンの芝居やセリフに慣れてしまって、空間が成り立たなくなってしまうことが、経験の少ない僕にはありました。そうならないように、監督が「リセットね！」とずっと言ってくださったので、僕もそれを意識しながら毎回気持ちを新たに、慣れないようにやろうと心がけていました。

──撮影時期は1年前くらいですか？

齋藤　そうなんです。ちょうど1年前にクランクインしたので、聡実と同じ中学3年生でした。

──まさに等身大で演じられていたのですね。聡実との共通点や、共感することはあったのでしょうか？

齋藤　変声期真っ只中、というところですね。撮影時は僕も変声期で、その中で「紅」を歌わなければいけなかったので、練習しているときのもどかしさはとてもよくわかりました。それと、合唱部部長としての責任感や周りから期待されているプレッシャーも、こんな素敵な作品を背負わなければいけないというプレッシャーと、ちょっと近しいものがあったので、そうした部分を重ねて役作りをしていきました。

──撮影現場の雰囲気はいかがでしたか？

齋藤　皆さん親しく接してくださったし、現場も和気あいあいとしていて、すごく楽しかったです。ヤクザ役の皆さんの登場シーンは強面で迫力があるのですが、皆さん面白すぎて！(笑)　本番になると僕と剛さんを撮るカメラがあるんですが、カメラの後ろにいると映らないんですよね。橋本じゅんさんたちが唐揚げを食べようとしていたり、ふざけていたりするんです(笑)。段取りのときは、思わず笑ってしまいました。

撮影が進むにつれて深まる剛さんへの愛

──綾野剛さんの印象をお聞かせください。

齋藤　毎日、間近でお芝居やその姿勢を見せていただいて、作品や役だけじゃなく、いろいろなことにとてもストイックな方だなと思いました。だからこそ、あれだけの作品を作れているんだな、と改めて役者としての真髄みたいなものを実感できましたね。

──現場ではどんなやり取りをしましたか？

齋藤　最初のカラオケのシーンは、段取りが始まってから本番まで、張り詰めた空気みたいなものをずっと作ってくださっていました。そのおかげで、僕も身を引き締めてお芝居ができたと思います。お芝居のことだけじゃなく、僕のプライベートの話なども聞いてくださったり……。

──何かアドバイスをもらったりすることも？

齋藤　聡実は感情の起伏が激しい役なのですが、感情が生まれたとしても、僕はそれを体で表現できなかったんです。「こんなものかな」と想像してやったものだと全然足りなくて。でも、剛さんが「失敗してもいいから。全然外れていてもいいから、一回思い切りやってみて」「ちょっと離れすぎていても、そこからまた落としていけばいいから」とアドバイスしてくださったんです。お芝居やいろいろな面でも、毎日ご一緒できることがすごく刺激的でした。

──綾野さん演じる狂児の印象は？

齋藤　狂児はヤクザだけど、すごくかわいらしい人という印象があります。それと、剛さんがもともと原作のファンということもあって、狂児に対する愛がものすごくて！　ストイックに役と向き合っている姿が本当にすごかったです。聡実と狂児のように剛さんに引っ張っていただいて、僕も撮影が進むにつれて、毎日剛さんへの愛がどんどん深まっていきました。……改めて言うと、ちょっと恥ずかしいな(笑)。

──最初の頃の聡実は、狂児に対して敬語を使い、怖がる様子を見せていましたが、最後のほうはタメ口で友人のようになっていましたよね。あれはだんだんと変化していったのでしょうか？　それとも何かターニングポイントがあったのでしょうか？

齋藤　どちらもあると思います。少しずつ近づいていった中で、ひとつの大きな出来事があって、一気に距離が縮まったのかなと。それがビデオデッキを買いに行った際に助けてもらった後の、屋上のシーンですね。聡実として狂児を受け入れることができたところで、二人の関係性を語る上で重要なシーンだと思います。

実はあのシーン、別の日にリテイクしたんです。何でダメだったのかを考えていたときに、剛さんが「ヤクザに襲われて怖いと思うんじゃなくて、狂児に対してカッコいいというか、そういう目線で見てみたらどうなる？」と言ってくださったんです。そのときに、「ああ、そうなのかな」と納得したんです。実際にやってみたら、それがぴたりとハマるような感覚がしてとても気持ちよかったし、あのシーンが二人の前後をつなげているのかなと感じました。

歌うことが好き　一人でカラオケにも

──撮影を振り返って、楽しかったシーンや大変だったシーンはありますか？

齋藤　カラオケのシーンは本当に楽しかったです。それは剛さんが一緒にいてくださったおかげですね。大変だったシーンはいっぱいあります(苦笑)。一番は、やっぱり感情がぐちゃぐちゃになるところですかね。狂児に怒鳴ったり、狂児のために走ったりするシーンは、後から完成品を観て「ああ、がむしゃらにやっていたな」と、感慨深いものがありました。あれを表現するには少し時間がかかって大変でしたが、やっぱり全体的に楽しかったです。お芝居として新しいことを学べたし、現場の皆さんと話すこともとても楽しかった。人との出会いってこんなに素敵なんだなと、改めて思いました。

──合唱部部長という役どころでしたが、歌は得意ですか？

齋藤　歌うことはすごく好きです。現場でも「気づいたら歌っているね」とよく言われることがあるくらい(笑)。でも、歌が得意とは思っていなかったので、歌が上手い合唱部部長に近づけるよう、撮影に入るまで歌の練習をひたすらしました。

──得意な歌や、カラオケで必ず歌う曲はありますか？

齋藤　すでにいろいろなインタビューでも言っているのですが、実は「紅」なんです。

──そうなんですね！

齋藤　というのも、僕がこの作品に出会う前って、ちょうどコロナ渦でそもそもカラオケに行く機会がなかったんです。この作品に出演するにあたって、練習も兼ねてカラオケに行くようになって。もちろん、他の好きな曲も歌いますが、やっぱり一番はずっと歌ってきていた「紅」ですね。今も歌いたいと思うとたまに一人でカラオケに行きますが、そのときも必ず「紅」を歌います。

──『カラオケ行こ！』で練習する前から、「紅」という曲自体はご存知でしたか？

齋藤　サビは聴いたことはありましたが、Aメロとかは知らなかったです。この作品がきっかけで出会えました。

──では、あの有名な長い前奏も知らなかったのですね。

齋藤　そうなんです！　実際にカラオケで歌ってみて、42秒ってそういうことなんだと。これだけ長ければ、確かに聡実は逃げられるなと思いました(笑)。

──公開を楽しみにしているファンへメッセージをお願いします。

齋藤　原作を知っている方はもちろん、まだ読んだことのない方にも、ヤクザと中学生のあり得ない出会いから始まるというところで、まずは興味を持っていただけたら嬉しいです。映画を観れば、個性あふれるキャラクターや、狂児と聡実の関係もきっと好きになってくれるんじゃないかなと思います。

山下敦弘 監督

1976年生まれ。愛知県出身。映画監督。大阪芸術大学卒。『リンダ リンダ リンダ』で商業映画デビュー。主な作品に『天然コケッコー』『苦役列車』『もらとりあむタマ子』『コタキ兄弟と四苦八苦』『1秒先の彼』ほか

上品な笑いと巧みな会話劇

―今回の映画はどんな経緯で実現したのでしょうか。

山下監督は映画化にあたり、原作の魅力をどう感じましたか。

笑いと切なさがあふれて

―和山さんからは、映画化に際して何かリクエストなどは?

―和山さんの作品は会話のテンポや言葉のチョイスが独特で魅力的ですが、今回の映画化でもその点は大事に?

―キャスティングはどのように決めていったのでしょうか。

ソリスト
合唱祭のソリストに選ばれることは、本来なら喜ぶべきこと。だが、変声期にあたり上手く歌えない悩みを抱える聡実にとっては、またひとつプレッシャーになってしまい……。

避けられない変声期
持ち前の美しいソプラノで部活に励んでいた聡実だが、ついに変声期を迎えてしまう。部長として部を率いる立場でありながら、思うように歌えないもどかしさに悩まされることに。

ヤクザが合唱コンクールへ!?
どしゃぶりの雨の中を歩く狂児が向かった先は、全国合唱コンクールの会場。ぐっしょりと濡れたシャツから透けて見える刺青が、狂児が堅気の人間でないことを物語っている。

ヤクザ×中学生
狂児は、聡実が普通に暮らしていたら絶対に関わらないであろう人間だが、そのチグハグな組み合わせが面白い。最初は萎縮していた聡実が、次第に心を開いていく様にも注目だ。

待ち伏せ
昼間から中学校の校門前に黒のセンチュリーで乗り付けるスーツ姿の狂児は、どこからどう見ても怪しい人でしかない。待ち伏せされた聡実が焦ってしまうのも仕方がない。

コンクール後に
練習を重ね、全力で挑んだ合唱コンクールの本番。しかし、森丘中は残念ながら銅賞という結果に終わる。この後ヤクザに声をかけられるとは、このときの聡実は知る由もない。

薬屋のひとりごと
Illustrated by Yuki Hino
Painted by Erika Tanabe
Special effect by Takeshi Ogawa

ダンジョン飯
©九井諒子・KADOKAWA刊／「ダンジョン飯」製作委員会
Illustrated by Tetsuya Hasegawa
Finished by Mayu Takata(BeLoop)
Color coordinated by Hiroki Takeda
Special effect by Mutsumi Saitoh(GRAPHINICA)